

札幌市立大学研究論文集 第2巻 第1号

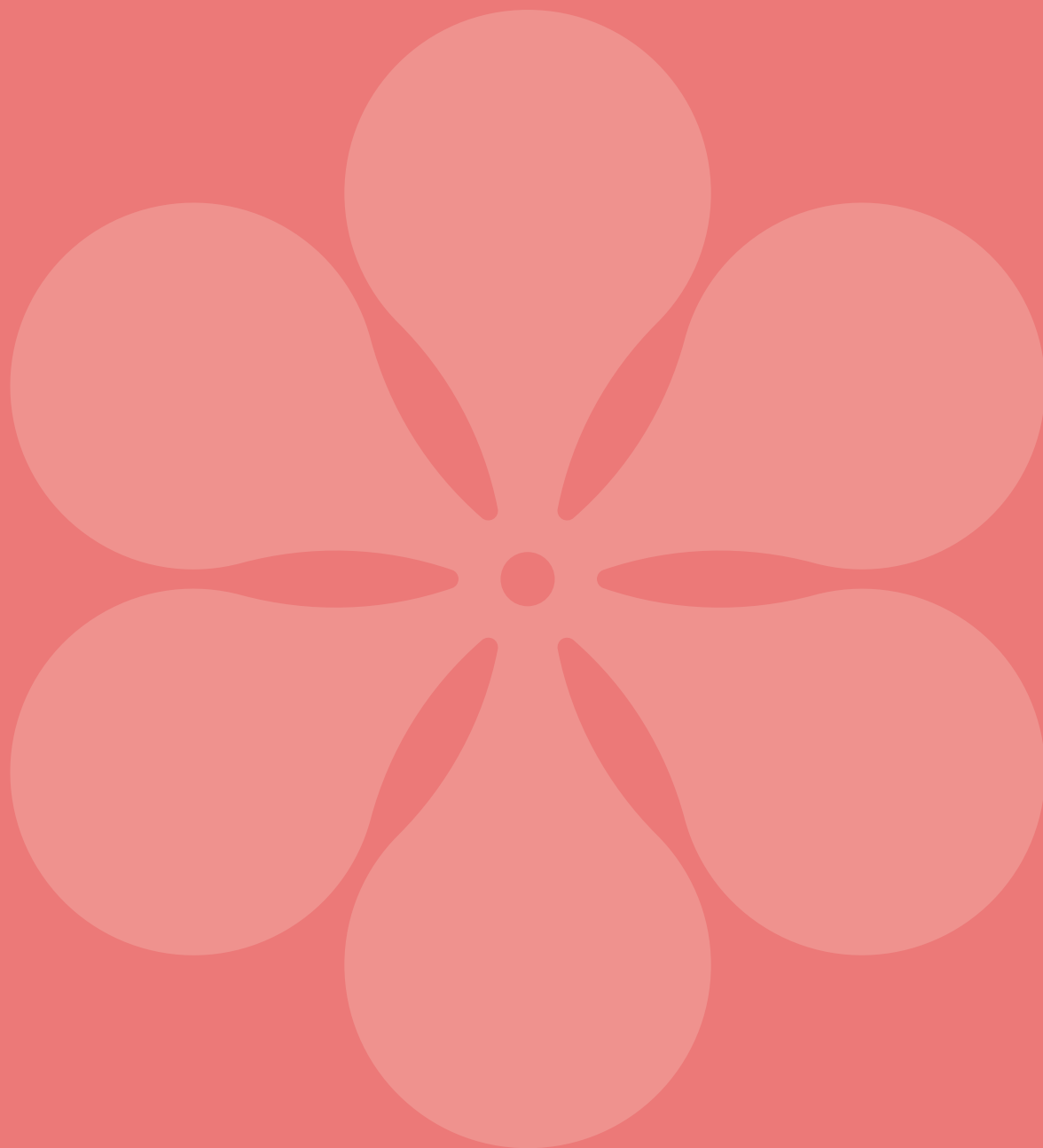
雑誌名	札幌市立大学研究論文集
巻	2
号	1
発行年	2008-03-31
URL	http://id.nii.ac.jp/1261/00000157/

SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING 2008

02

ISSN 1881-9427

札幌市立大学研究論文集
第2巻 第1号



札幌市立大学

SAPPORO CITY UNIVERSITY

SCU Journal of Design & Nursing
札幌市立大学研究論文集

第 2 卷 第 1 号

2008 年 3 月

目 次

巻頭言	1
副学長・看護学部長 中村 恵子	

第1部

原著論文

札幌市の少子化：人口学的特徴・社会経済的背景・政策的対応可能性	5
原 俊彦	

研究報告

地域に根ざす住民主体の健康づくりグループ活動の発展に関する一考察	17
保田 玲子, 清水 光子, 照井 レナ, 塚辺 蘭子, 松村 寛子	

点滴スタンドのユーザビリティ評価	
(第1報) 患者と看護師の使用感についての考察	25
多賀 昌江, 照井 レナ, 神島 滋子, 三谷 篤史, 酒井 正幸	

点滴スタンドのユーザビリティ評価	
(第2報) 点滴スタンド使用時の騒音についての考察	33
三谷 篤史, 酒井 正幸, 多賀 昌江, 神島 滋子, 照井 レナ	

現代芸術論におけるデザイン学生の授業感想と教員からの通信 #1	
ダダイズムからポップアートと1960年代の美術までの現代美術	39
上遠野 敏	

現代芸術論におけるデザイン学生の授業感想と教員からの通信 #2	
ミニマルアートからニューペインティングまでの現代美術	59
上遠野 敏	

現代芸術論におけるデザイン学生の授業感想と教員からの通信 #3	
1980年代の美術から現在(2007年)までの現代美術	77
上遠野 敏	

第2部

作品紹介

文部科学省知的クラスター創成事業「札幌ITカロッツェリアの創成」研究成果	97
城間 祥之, 酒井 正幸, 杉 哲夫	

Exhibition View 2007	101
望月 澄人	

被災地における仮説プライベート空間研究 その1 「養生シェルター」	107
山田 良	

編集後記	111
紀要編集委員長 城間 祥之	

巻頭言

「SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING 2008」刊行への期待

公立大学法人札幌市立大学の研究論文集「SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING」第2巻が刊行されます。これらは、各教員が個人研究費、学内公募研究費の他、科学研究費、受託研究費などの外部資金を得て研究した成果として本論文集へ投稿されたものです。学外の競争的資金はもちろんですが、学内の競争的資金も有効に活用し、研究活動を活発化し、単年度あるいは複数年度に及ぶ研究もありますが、必ずその成果は論文や報告として広く公開することは我々の使命であろうと考えています。そのような観点からこの JOURNAL を刊行し続けることには大きな意味があります。

第2巻には原著論文1本、研究報告6本が掲載されています。執筆者も共通科目担当教員・デザイン学部教員・看護学部教員が並んでいます。本学はデザイン学部と看護学部を擁し、また、いわゆる教養科目群を両学部の共通教育群とし構成されているので、各々からの投稿があることはそのバランスにもなると考えています。

大学の社会的使命は益々大きくなり、本学におきましても市民に開かれた大学、市民の力になる大学、市民が誇れる大学を目指し教職員一体となって推進しているところでありますが、その一端として、教員の研究成果を公開してゆくことは重要な務めであろうと考えています。

札幌市立大学は開学2年目の若い大学ですが、教員達の日ごろの教育研究活動が JOURNAL を通し、教職員や市民の皆さまからご批判を頂くことによって、慢ずることなく更なる教育研究へと進んでゆくことに期待をこめています。

2008年2月 雪が降りしきる日に

副学長・看護学部長 中村恵子

第 1 部

〈第 1 部掲載内容〉

査読を受けた原著論文，作品，
総説，研究報告，研究ノート，資料，その他

札幌市の少子化：人口学的特徴・社会経済的背景・政策的対応可能性

原 俊 彦

札幌市立大学デザイン学部

抄録：従来の少子化研究は全国か首都圏を中心としたものが多く、特定地域を対象に少子化の要因とメカニズム、社会・経済的影響、政策的対応と効果などを総合的に分析する試みは殆ど行われて来なかった。そこで本稿では、札幌市の少子化の特徴と社会経済的要因、政策的介入の可能性について考察した。主な知見は以下の通りである。

(1)1974 年以降の合計特殊出生率（女性が生涯に生む子供の数の指標）は全国・北海道・東京都と並行して低下しており基本傾向は同じだが、全国を 1 とした格差は 2000 年で北海道の 0.90 に対し 0.77 と東京都の水準に接近しつつあり格差が拡大している。さらに他の大都市地域とは異なり、低い有配偶率（独身者の結婚行動）のみではなく低い有配偶出生率（夫婦の出生行動）の影響も大きく両者がほぼ均等に作用している点や、晩婚・晩産化によるキャッチアップ（先送りした結婚や出生を高年齢で実現）が働かない点で特異である。

(2)男子の最終学歴（高卒以下）割合と第二次産業就業者割合の二要因を用い時系列回帰分析とコンピュータ・シミュレーションを行い、1965 年から 2000 年までの合計特殊出生率の動きがこの二要因のみで説明可能であることを示した。

(3)他の要因として、女子離別割合や、性・年齢別人口移動率の影響は極めて限定的だが、人工妊娠中絶率の影響は大きく、全国並みと仮定すれば札幌市の合計特殊出生率は 1.43 と、全国値より高くなることがわかった。

キーワード：出生力、家族政策、時系列回帰分析、コンピュータ・シミュレーション、地域人口、札幌市

Fertility Decline of Sapporo: Demographic Characteristics, Socio-Economic Backgrounds and Possibilities of Policy Interventions

Toshihiko HARA

School of Design, Sapporo City University

Abstract: This paper focuses on the low fertility of Sapporo and considers its demographic features, socioeconomic backgrounds and possibilities of policy intervention to this problem.

The important findings are as follows.

1) The Total Fertility Rates (TFR) in Sapporo shows almost same trend with total Japan since 1974, but the gap to national standard is growing parallel with Tokyo to more than -20%. Factor analysis of TFR indicates the low marital fertility and the low proportion of married women cause this lower fertility level. It's unique among the government-designated major cities both factors have almost same weight and the catch-up effect realizing postponed marriage and birth by an advanced age does not work.

2) The computer simulations combined with time series regression analysis could successfully reproduce the fertility decline from 1965 to 2000 by using multiples from only two factors of males, the proportion of high school graduates and that of the industry sector labor force.

3) As other possible factors, the high proportion of divorced women, the imbalanced sex-age specific migration rates and the high level of abortion rate are examined. The impact of abortion on fertility

is not negligible, according to model calculation with the abortion rate in national average, Sapporo's TFR is set to be 1.43 i.e. 0.08 higher than Japanese standard value of 1.35 in 2000.

Keywords: fertility, family policy, time series regression analysis, computer simulation, regional population, Sapporo

I. 研究の背景・目的

従来の少子化研究は全国レベルか首都圏などを中心としたものが多く、それ以外の特定地域を対象に、少子化の要因とそのメカニズム、社会・経済的影響、政策的対応とその効果などを総合的に分析する研究はあまり行われて来なかった。とりわけ、「なぜ緑豊かで広大な北海道、あるいは、その中心都市である札幌市が、近年は東京都、京都府などと並び全国でも1, 2位を争う低出生力地域となってしまうのか」については、従来から不明な点も多く、沖縄県の高い出生力と並び、研究者の間でも長年、疑問とされてきた。

そこで本稿では、筆者が2003年-2005年に行った研究(「北海道における少子化一地域出生力低下のシステム・ダイナミックモデルの構築」文部科学省 科学研究費補助金一基盤研究(C)(2)課題番号15530335)⁹⁾をもとに、札幌市の少子化の人口学的特徴、その社会経済的要因を分析するとともに、政策的介入の可能性について考察する。

II. 研究方法

1. 使用データ及び研究倫理面での配慮

本研究は、文部科学省科学研究費補助金一基盤研究(C)(2)をベースに、札幌市子ども未来局からの要請を受け行ったものであり、本研究には、主として、総務省統計局の国勢調査結果⁴⁾、都道府県基礎データファイル⁵⁾、市区町村基礎データファイル⁶⁾及び厚生労働省の人口動態統計²⁾⁽³⁾、また札幌市保健所統計¹⁾⁽³⁾など、一般に公表されたデータを使用し独自の加工・分析を行った。また研究成果の報告等においても、研究倫理面での問題が生じることのないように十分な配慮を行った。

2. 社会経済要因に関する重回帰分析について

北海道の少子化では、女子の20歳~34歳までの初婚率(初めて結婚した人の割合)や30歳以上の有配偶出生率(結婚している人の出生率)が全国平均に比べ極端に低く、これが全国との格差を生んでいることが明らかとなっている¹⁾。このため少子化の社会経済的背景の分析においても合計特殊出生率(女性が生涯に産む子どもの数の指標)全体を扱うのではなく、年齢別女子未婚初婚

率(有配偶者を除き未婚者の数で初めて結婚した人の数を割ったもの)と年齢別女子有配偶出生率を従属変数に、都道府県別のクロスセッション・データ(年次データ)を用いて、各々に影響すると思われる社会経済要因を独立変数とする重回帰分析を行った。

社会経済要因としては主に総務省統計局の都道府県基礎データファイル⁵⁾と市区町村基礎データファイル⁶⁾の年次データを利用し、先行研究を参考に(A)学歴、(B)就業、(C)経済、(D)その他地域特性に関わるものの4つのカテゴリーを考え、2000年時点のデータを可能な限り取り入れた。ただし、総務省統計局の基礎データファイルには多岐にわたる項目があり、またその加工は容易ではないため、分析対象とした変数は、比較対照が可能なように、過去の先行研究で取り扱われているものだけに限定した。また東京都と沖縄県についてはダミー変数を設定した。

分析にはSPSSによる重回帰分析を用いたが、全変数を対象にステップワイズ法により、有意性があり多重共線性の低い要因への絞り込みを行った。分析結果については、決定係数 R^2 の大きさとモデルの当てはまりの良さを、また偏回帰係数 β で各変数の影響力の大きさをみた。なお重回帰分析における投入変数の絞り込み方法には、ステップワイズ法の他にも変数増加法、変数減少法、順列組み合わせ法などがあるが、シミュレーションモデルの構築には少数の主要な影響要因に絞り込む必要があり、この方法を採用した¹²⁾。

3. コンピュータシミュレーションについて

本稿で紹介する社会経済要因の影響に関する時系列シミュレーションの結果は、基盤研究(C)(2)で開発したプロトタイプ・モデルによるものでプログラミングにはExcel-VBAを使用した。

このモデルは0歳-4歳から85歳以上までの年齢5歳階級別・性別人口をベースに、これらのコーホート・センサス間の変動(同年に出生した人口ごとの、二つの国勢調査年次間の変化)を推計するもので、具体的には札幌市を中心に、道外他地域(北海道以外の全国都府県)との転出入、道内他地域(札幌市以外の北海道内の市区町村)との転出入、海外からの転入(転出についてはデータの制約のため誤差に算入)、センサス間の死亡数、これらの要因では説明されない転出入誤差を求め、次のセン

サス年次の状態を算出する仕組みとした。

また配偶関係は、15歳-19歳から45歳-49歳まで、年齢5歳階級別、男女別に未婚・有配偶・離別・死別・配偶関係不詳の各人口に分けたものをベースに、これらのコーホート・センサス間の変動を推計するものである。

具体的には、基準コーホート・センサス間の初期値から未婚初婚率・有配偶離別率・有配偶死別率・配偶関係不詳率などを求め、これらをベースに、性・年齢別人口のコーホート・センサス間の変動率による補正を行い算出する形を取っている。

出生数は、15歳-19歳から45歳-49歳での7つの年齢5歳階級別女子人口に、同年齢階級別の女子有配偶率と女子有配偶出生率を乗じて求める。

年齢5歳階級別女子有配偶率は上述の配偶関係の計算から求められるが、このうち未婚初婚率には、社会経済要因の影響を、基準年の値を1として指標化した、未婚初婚率倍数を掛け合わせ、シミュレーション結果を操作する形を取っている。

また同様に同年齢階級別女子有配偶出生率にも、社会経済要因の影響を指標化した有配偶出生率倍数を掛け合わせ、シミュレーション結果を操作する構造となっている。このようにして求めた年齢5歳階級別女子出生数を分子に、各年齢5歳階級別女子人口を分母に、年齢別出生率を計算し、それらを合計することにより合計特殊出生率を求める。

一方、この年齢5歳階級別女子出生数を合計したものを総出生数とし、これに出生性比（0歳児の男児と女児の比率、通常105で男児が多い）と0-4歳人口との差を補正する0-4歳児補正率を乗じることにより、男女別の0-4歳人口を算定する⁽³⁾。

III. 研究の結果と考察

1. 札幌市の少子化の人口学的特徴

1974年以降の合計特殊出生率の動きは、全国・北海道・東京都・札幌市がほぼ並行した形で低下しており、札幌市の少子化は日本全体の傾向を反映したものであるといえよう⁽⁴⁾（図1a）⁽¹⁰⁾⁽¹¹⁾⁽¹²⁾⁽¹³⁾⁽¹⁴⁾⁽¹⁵⁾。

しかし全国を1とした場合の格差（地域の値÷全国値）は、北海道全体が概ね0.9の水準で推移しているのに対し、札幌市は2000年時点で0.77と東京都の水準0.76に接近しつつあり、全国との格差は年々拡大している（図1b）。

合計特殊出生率は、各年齢別の出生率を足し合わせたものなので、2000年国勢調査と人口動態統計のデータを用いて年齢別の出生率を算出し、全国や東京都、13大都

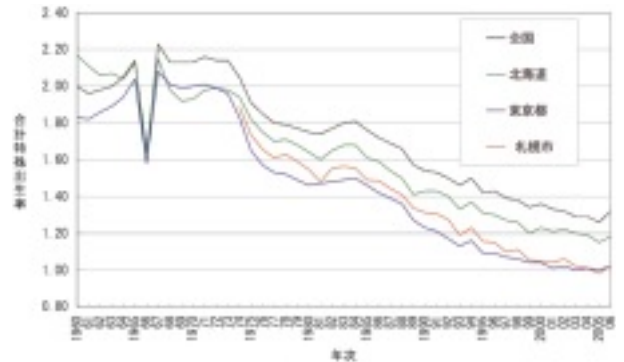


図1a 合計特殊出生率の推移 1960年-2006年

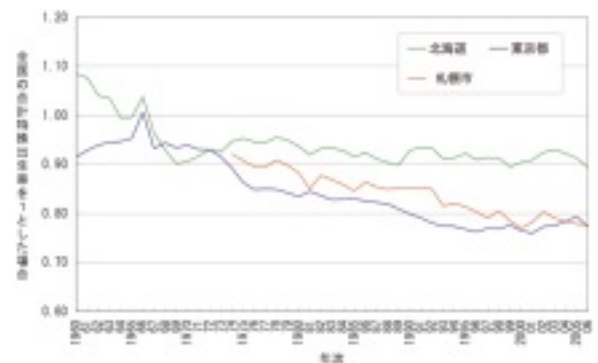


図1b 全国との格差 1960年-2006年

市平均⁽⁵⁾などと比較する（図2a）⁽³⁾⁽⁴⁾と、札幌市の出生率は、(a)20~24歳までは13大都市の平均よりやや高いが、(b)25~29歳では東京都より低くなり、(c)30~34歳、(d)35~39歳では、他の政令指定都市より明らかに低くなるのがわかる。一般に大都市地域では若年齢で出生率が低下するが、その分、晩婚化・晩産化による「キャッチアップ」効果から、高年齢で出生率が高くなる傾向があるが、札幌市の場合は、東京都を初め他の政令指定都市とは異なり、高年齢になっても出生率が低いまま留まるという特徴があることが確認できる。

この年齢別出生率は、さらに夫婦が子どもを生んでいるかどうかを示す「有配偶出生率」と、夫婦になっている

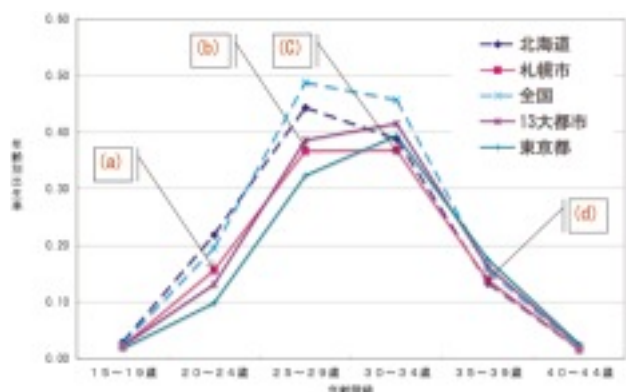


図2a 年齢5歳階級別出生率 2000年

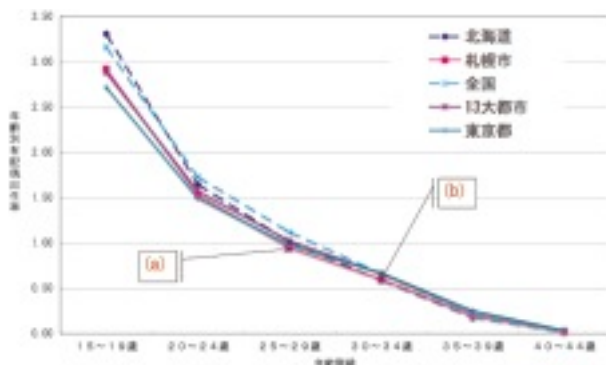


図 2 b 年齢 5 歳階級別有配偶出生率

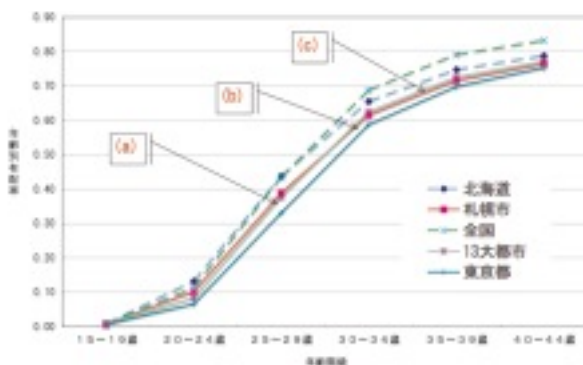


図 2 c 年齢 5 歳階級別女子有配偶率

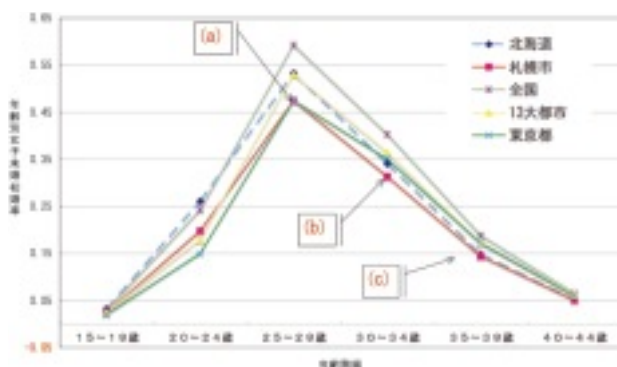


図 2 d 年齢 5 歳階級別女子未婚初婚率

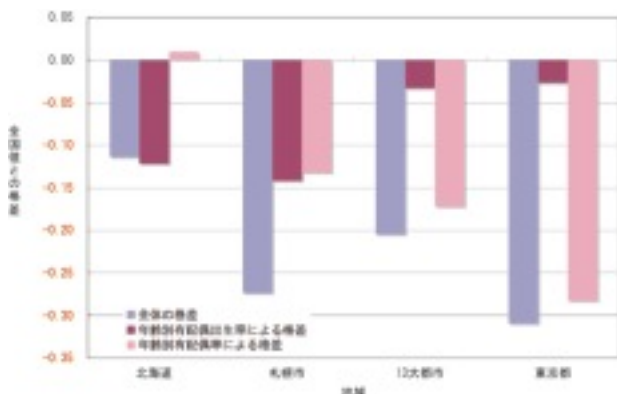


図 2 e 合計特殊出生率の要因分解 2000 年

人の割合を示す「有配偶率」に分解することができる。

札幌市の場合、夫婦の出生行動の指標である有配偶出生率は、(a)25-29 歳で政令指定都市の平均より低くなり、(b)30-34 歳以上では東京区部も含め政令指定都市中、最低の値を示している (図 2 b)³⁾⁴⁾。

また結婚行動の指標である有配偶率の方も (a)25-29 歳までは政令指定都市の平均よりわずかに高いものの、(b)30-34 歳以上では政令指定都市の平均より低く、逆にいえば離別・死別者も含めた独身者の割合が高年齢で高いといえる (図 2 c)⁴⁾。

この傾向は、より直接的に独身者の結婚行動を示す、女子の未婚初婚率 (分子に初婚件数、分母に未婚者数) でも確認でき、(a)25-29 歳では東京都と同水準で東京区部を除き政令都市中、最低となり、(b)30-34 歳以上では東京区部も含め政令指定都市中、もっとも低い値となっている (図 2 d)³⁾⁴⁾。

実際、合計特殊出生率の全国との格差の要因分解を行うと、北海道全体の場合は、もっぱら有配偶出生率の低さ (夫婦の出生行動) によるものと解釈されるが、札幌市の場合は、これに加え、他の大都市と同様に低い有配偶率 (独身者の結婚行動) の影響も大きく、両者がほぼ均等に作用している点で特異である (図 2 e)⁶⁾。

2. 社会経済要因の影響

2.1 都道府県別データによる重回帰分析の結果

2000 年の都道府県別データを用いて、年齢別女子未婚初婚率 (未婚者の初婚傾向) と年齢別女子有配偶出生率 (既婚者の出生傾向) を従属変数に、各々に影響すると思われる社会経済要因 (過去の 20 余の先行研究から抽出した 36 の変数)⁵⁾⁶⁾ を独立変数 (表 1) として重回帰分析を行なった。

この結果 (表 2)、女子未婚初婚率への影響は、35 歳未満の年齢層では、統計的に有意な社会経済要因は比較的少数に限定され、しかも決定係数も 0.68 から 0.87 と当てはまりが良いことがわかった。また女子有配偶出生率の場合も同様に 35 歳未満では影響力の強い変数は比較的少数の社会経済要因に絞られるが、決定係数は 0.50 から 0.68 と未婚初婚率の場合よりやや落ちる。これに対し 35 歳以上では未婚初婚率と同様、有意な要因が多くなりモデルが複雑になるが、決定係数は 0.885、0.926 と未婚初婚率の場合より当てはまりは良くなる。

また女子未婚初婚率、女子有配偶出生率とも、ほぼすべての年齢階層で、男子の学歴や産業就業構造に関する変数が重要な社会・経済要因として作用していることがうかがえる。

表 1 社会経済要因の分析：独立変数リスト

	独立変数	註
学歴関係	00 高卒以下女子割合	*15-19 歳を除き、20-29 歳、30-39 歳、40-49 歳と 10 歳刻み、いずれも最終学歴。高卒以下は小中学校卒を含む。男女比は男性/女性。大短大卒男女比は、男性大卒/女性短大以上
	00 高卒以下男子割合	
	00 高卒以下男女比	
	00 大短大卒男女比	
	00 女子学校在籍割合 2024	*15-19 歳と 30 歳以上はなし。
	00 男子学校在籍割合 2024	
	女子高校生の大学等進学率	*15-19 歳は 2000 年、20-24 歳は 1994-98 年の平均、25 歳以上も同様。
	男子高校生の大学等進学率	
就業関係	00 新規卒業者就職率（高校）	*15-19 歳のみ
	00 女子就業率	*いずれも 5 歳階級別
	00 男子就業率	*いずれも 5 歳階級別
	00 男子第 1 次産業従事者比率 1564	
	00 男子第 2 次産業従事者比率 1564	
	00 男子第 3 次産業従事者比率 1564	
	00 女子第 1 次産業従事者比率 1564	
	00 女子第 2 次産業従事者比率 1564	
	00 女子第 3 次産業従事者比率 1564	
	00 第 3 次産業従事者比率	
	00 完全失業率（男）	
	00 完全失業率（女）	
経済関係	00 所定内給与額男	*15-19 歳は高卒初任給、20-24 歳は大卒初任給、25 歳-29 歳、35 歳-39 歳は年齢階級。30 歳-34 歳は 35 歳-39 歳で代用。40 歳-44 歳は 45-49 歳を代用。
	00 所定内給与額女	
	00 所定内給与額男女比	
	00 女子パート賃金	
	00 所定内給与額（女）地域間物価補正	
	00 消費者物価	
その他	00 教育費支出 AV3	*過去 3 年の平均
	00 住居費割合 AV3	*過去 3 年の平均
	99 農林水産業生産額割合	
	00 保育所定員比率	
	00 昼夜間人口比率	
	00 人口集中地区人口比率	
	00 人工死産率	
	沖縄ダミー	
	東京ダミー	

2.2 時系列回帰によるシミュレーション

そこで各年齢階層に共通して影響の大きかった男子の最終学歴（高卒以下）割合と、男子の第二次産業就業者割合の二つの要因に絞って、札幌市を対象に時系列回帰分析を行った。

まず、年齢別の女子未婚初婚率に従属変数に、男子の最終学歴高卒以下割合と男子の第二次産業就業者割合を独立変数とする時系列回帰結果は、観測数がいずれも 7 と小さいが、30-34 歳以下の年齢階層では補正済み R² も概ね 0.8 から 0.9 以上と高く統計的にも有意性があるが、35 歳以上では当てはまりが低下することがわかる。なお系列相関の有無をチェックするためにダービン・ワトソン統計量（DW：Durbin-Watson 比）を計算したが、概ね 2 前後の値となっており問題はなかった。

この結果を、より直感的に理解し易いように、実績値、男子の最終学歴高卒以下割合、男子の第二次産業就業者割合、両変数による回帰式から算出した推計値（いずれも 1965-1970 年を初期値 1 とする倍数に変換）で示したのを見ると（図 3）、まず 15-19 歳では男子の第二次産業就業者割合が 1970 年-1975 年で一時的に上昇する例外的な動きはあるものの、その他は、いずれもよく似た

表 2 社会経済要因の分析結果

年齢別女子未婚初婚率			
年齢	決定係数	従属変数	β 係数
15-19	0.700 **	00 最終学歴高卒男 1519	0.56
		00 消費者物価	-0.37
		沖縄ダミー	0.31
20-24	0.870 **	00 最終学歴小中高卒男子 2029 割合	0.54
		00 国調男子就業率 2024	0.30
		00 教育費支出 AV3	-0.20
25-29	0.828 **	00 国調男子就業率 2529	0.71
		00 男子第 2 次産業従事者比率 (15-64)	0.24
		00 最終学歴高卒男女比 2029	0.16
30-34	0.679 **	00 女子第 2 次産業従事者比率 (15-64)	0.47
		沖縄ダミー	0.48
		00 完全失業率 (男)	-0.64
35-39	0.543 **	00 女子第 2 次産業従事者比率 (15-64)	0.40
		00 最終学歴高卒男女比 3039	0.50
		00 最終学歴格差 3039 大学 A	0.31
		男子高校生の大学等進学率 7983 AV	-0.23
		昼夜間人口比率 00	-0.22
40-44	0.432 **	00 最終学歴格差 4049 大学 B	-0.26
		00 男子第 1 次産業従事者比率 (15-64)	0.96
		00 女子第 2 次産業従事者比率 (15-64)	0.44
		保育所定員比率 2000	-0.27
		所定内給与額 (女) 地域間物価補正 2000	1.21
		00 完全失業率 (男)	-0.91
		沖縄ダミー	0.91
東京ダミー	-0.34		
年齢別女子有配出生率			
年齢	調整 R ²	従属変数	β 係数
15-19	0.509 **	00 男子第 2 次産業従事者比率 (15-64)	-0.58
		00 消費者物価	-0.50
20-24	0.680 **	00 女子パート賃金	-0.79
		00 最終学歴大卒男女比 2029	-0.24
25-29	0.594 **	女子高校生の大学等進学率 8993 AV	0.55
		所定内給与額 25-29 (男)	-0.91
30-34	0.612 **	沖縄ダミー	0.74
		人工死産率	0.48
		00 動態女子平均初婚年齢	0.71
		人口集中地区人口比率%00	-0.62
		女子高校生の大学等進学率 8488 AV	0.23
35-39	0.867 **	沖縄ダミー	0.71
		男子高校生の大学等進学率 7983 AV	-0.29
		所定内給与額 3539 賃金格差	-0.26
		00 教育費支出 AV3	-0.28
		00 動態女子平均初婚年齢	0.54
40-44	0.915 **	人工死産率	0.35
		沖縄ダミー	0.45
		00 男子第 2 次産業従事者比率 (15-64)	-0.28
		00 動態男子平均初婚年齢	0.30
		00 最終学歴高卒男女比 4049	0.30
00 最終学歴格差 4049 大学 A	0.27		
00 国調男子就業率 4044	-0.27		

註：決定係数はいずれも調整済み R²、** 有意水準 1 %

トレンドを示しており、特に最終学歴の方は女子未婚初婚率の動きに近似している。20-24 歳では女子未婚初婚率の 1970-75 年の一時的な変動は再現できていないが、他の年次のトレンドは概ね近似している。25-29 歳でも男子の第二次産業就業者割合の動きがやや乖離しているものの、学歴データの当てはまりは極めて良い。30-34 歳では学歴データがやや乖離するものの、男子の第二次産業就業者割合と女子未婚初婚率のトレンドのほぼ完全な一致が見られる。35 歳以上については、女子未婚初婚率の変動自体が大きくなるため、比較的単調に推移する就

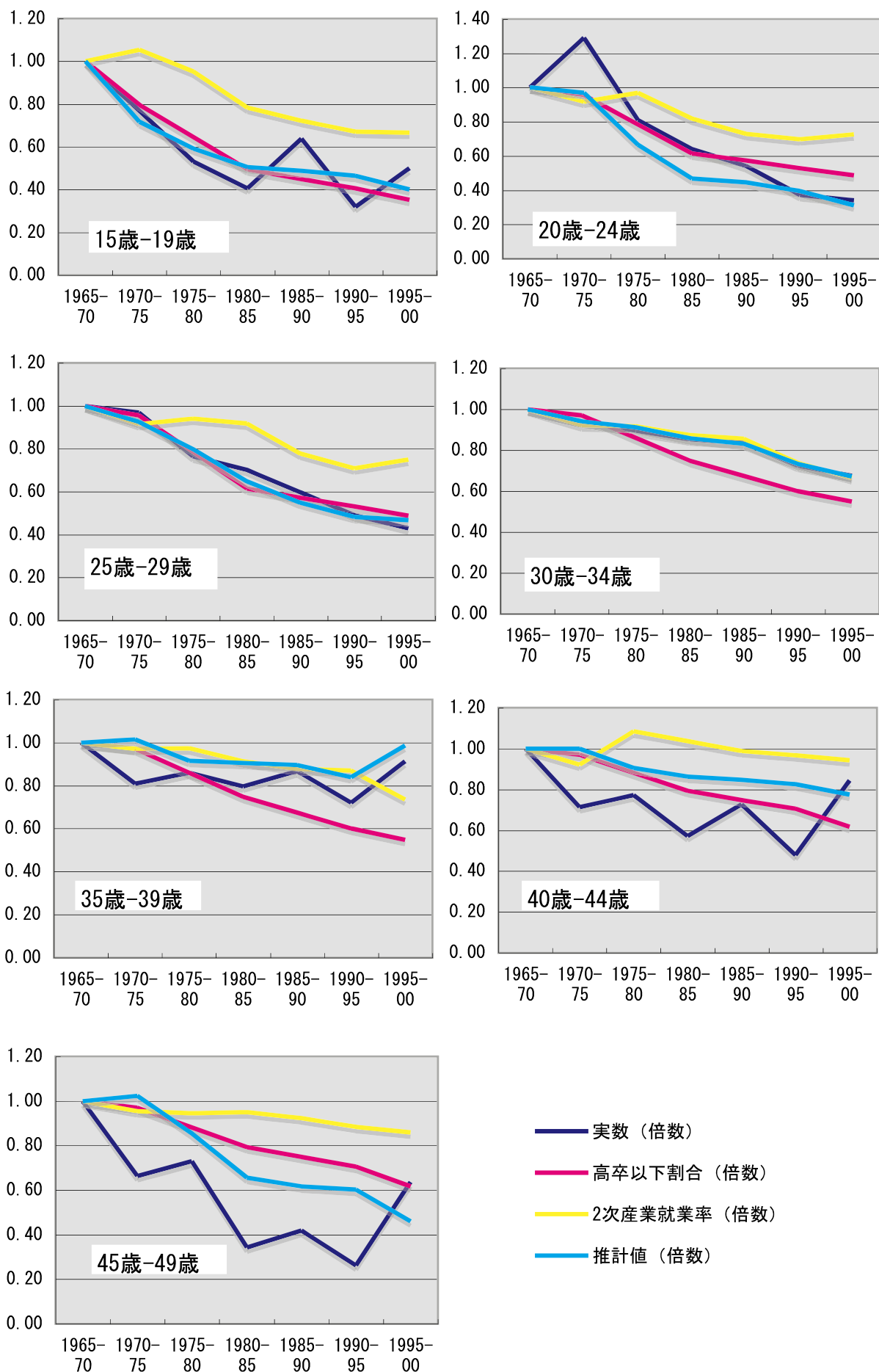


図3 女子の未婚初婚率倍数

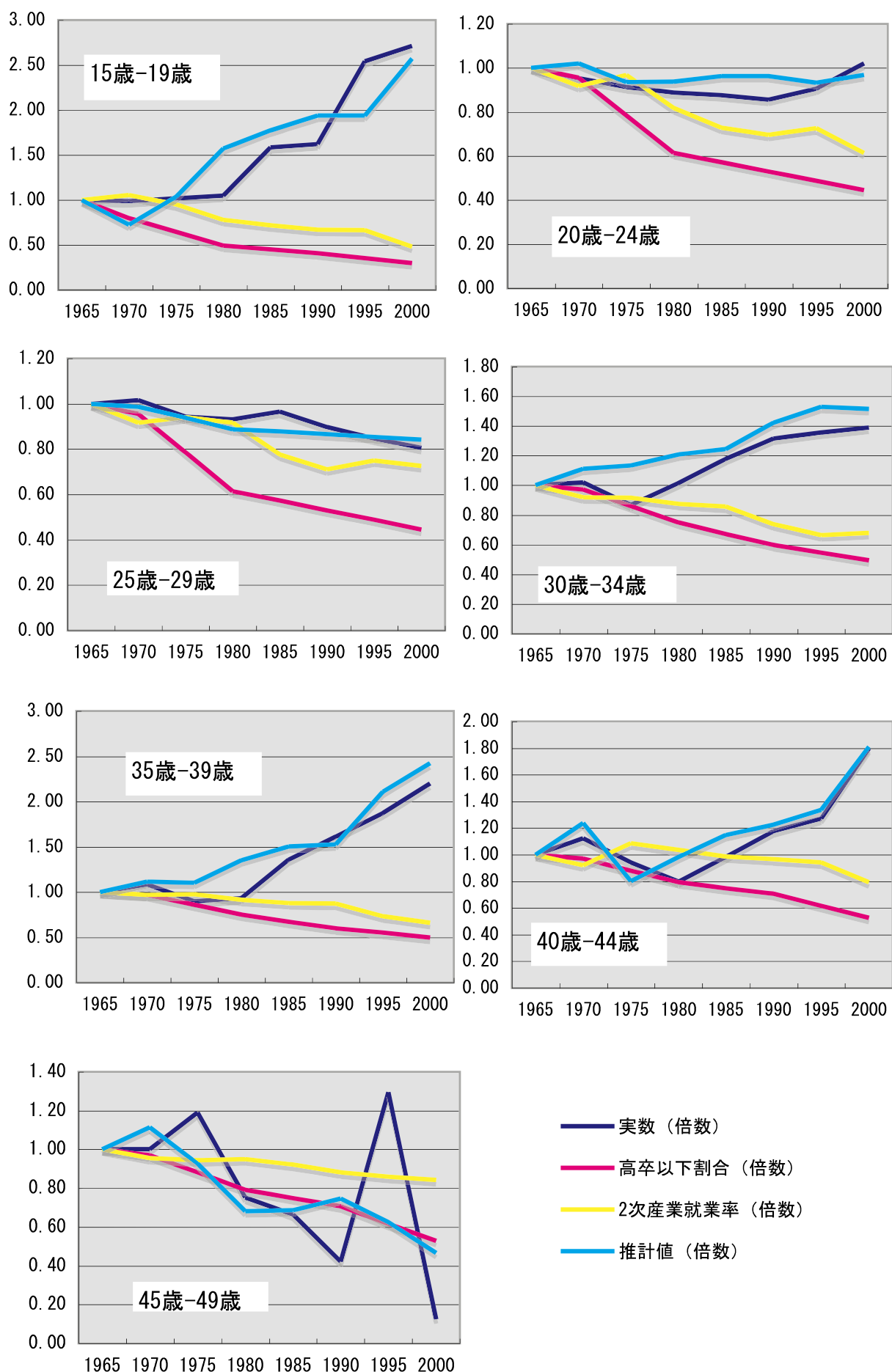


図4 女子の有配偶出生率倍数

業割合や学歴割合との相関が低下していることがわかる。

同様に、年齢別有配偶出生率を従属変数に、男子の最終学歴高卒以下割合と男子の第二次産業就業者割合を独立変数とする時系列回帰結果は、観測数がいずれも8と少ないが補正済み R^2 も概ね0.7から0.9以上と高く、統計的にも有意性がある。ただし、女子20-24歳と45-49歳は例外で、前者は補正済み決定係数がマイナスとなるなど当てはまりが極めて悪い。また後者も補正済み決定係数の値は極めて低い。ダービー・ワトソン統計量(DW: Durbin-Watson 比)にもかなりのばらつきが見られ、概ね2前後の値となっているが一部で1以下や2.5に近い値を示すケースも見られる。

この結果をより直感的な倍数の形で示すと(図4)、まず15-19歳では、男子の第二次産業就業者割合も男子の最終学歴高卒以下割合も、ともに低下傾向にあるものの、両変数による回帰式からの推計値は、この年齢の女子有配偶出生率の動きによく近似していることがわかる。同様のことは女子20-24歳(回帰分析結果は良くないが)、女子25-29歳、女子30-35歳、女子35-39歳、女子40-44歳にもいえる。例外は女子の45-49歳で、この年齢層では近年になるほど、女子有配偶出生率の動きが不安定になっており、男子の第二次産業就業者割合や最終学歴高卒以下割合といった要因よりも、より年次変動の大きな要因の影響を受けていると考えられる。

このようにして得られた倍数をプロトタイプ・モデルに組み込み、1965年から2000年までの期間について出生動向のシミュレーションを行った(図5)。

まずシミュレーション期間中、両方の倍数を1で固定するという操作を行い、未婚初婚率も有配偶出生率ともに1965年の水準のまま変化しなかったと仮定した場合を再現してみると、合計特殊出生率は1965年の1.87から1970年の1.84、1975年1.77、1980年の1.76まで

緩やかに低下することがわかる。つまり、仮に1965年以降、未婚初婚率や有配偶出生率の変化がなかったとしても、札幌市の合計特殊出生率は1980年頃までは緩やかな低下傾向にあったといえる。両要因以外の変化要因としては、過去の人口移動や未婚初婚率の累積効果からコーホートに沿って有配偶率が低下するといった効果が考えられる。

次に未婚初婚率の影響のみを分離して観察するために有配偶出生率倍数のみを1に留め、男子の第二次産業就業者割合と男子の最終学歴高卒以下割合から回帰式で合成した未婚初婚率倍数のみを用いてシミュレーションすると(図中の黄色「未婚初婚率倍数のみ」)、1965年から1980年までは実際の合計特殊出生率の動きを非常によく再現することがわかる。ただし、この場合、1985年以降の低下は実際の値より急である。

これに対し、未婚初婚率倍数のみを1に留め、回帰式で合成した有配偶出生率倍数のみを用いてシミュレーションすると(図中の朱色「有配偶出生率倍数のみ」)、1985年までは両倍数を1で固定場合とほぼ同じ動きを示すが、1990年からは上昇に転じ、2000年の水準は1.96と、実績値の1.07や、両倍数=1の1.76よりも高くなることがわかる。

最後に、未婚初婚率と有配偶出生率の両方に回帰式で合成した倍数を用いた場合(図中の青緑色「両倍数とも推計値」)をみると、1965年から1980年までは、実際の合計特殊出生率に非常によく近似していることが確認できる。これは、すでに見たように未婚初婚率倍数が実際の動きをよく再現しているためである。これに対して1985年と1990年は推計値の方が低く、この乖離は未婚初婚率倍数のみを使った場合の方が大きい。これは、この間の有配偶出生率倍数の効果が実際の動きより、なお弱いためであると思われる。これに対し1995年から2000年にかけては実際の動きがよく再現されており、有配偶出生率倍数の効果が効いているといえよう。

このように両倍数による推計値を用いたシミュレーション結果は、1965年から2000年にかけての、札幌市の合計特殊出生率の動向を全体としてよく再現しており、1965年以降の札幌市の出生力低下は、主として女子未婚初婚率の低下と、その結果としての女子有配偶率の低下を反映したものであり、これに対し女子の有配偶出生率自体は1980年以降、むしろプラスに作用していたと解釈できる。

また、このプロトタイプ・モデルには、社会経済要因として男子の第二次産業就業者割合と男子の最終学歴高卒以下割合の二つの変動要因しか組み込まれていないが、シミュレーション結果をみる限り、この2変数で、女子

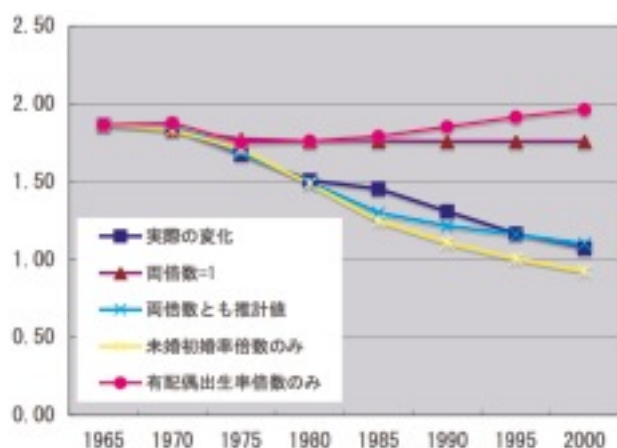


図5 シミュレーション結果の比較

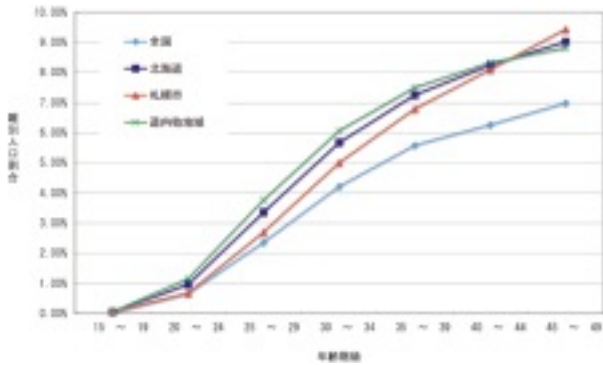


図 6 a 女子の年齢別離別人口割合

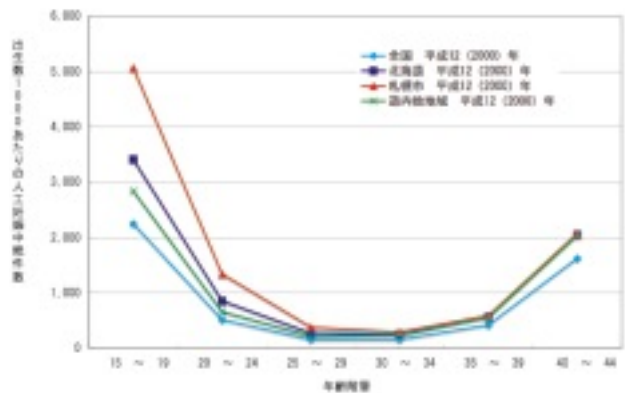


図 7 a 年齢別人工妊娠中絶率の比較

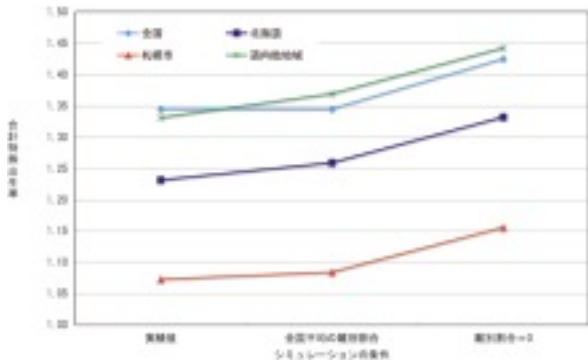


図 6 b シミュレーション結果 (合計特殊出生率)

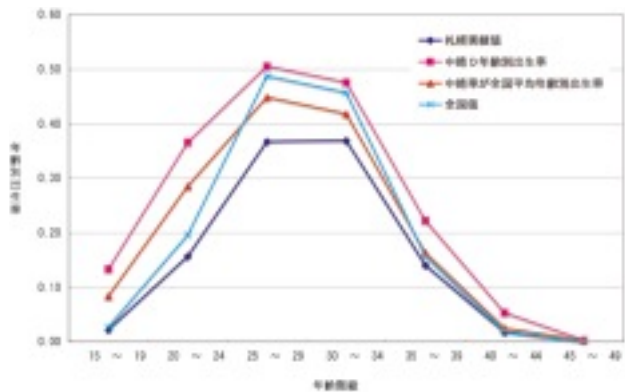


図 7 b シミュレーション結果 (年齢別出生率)

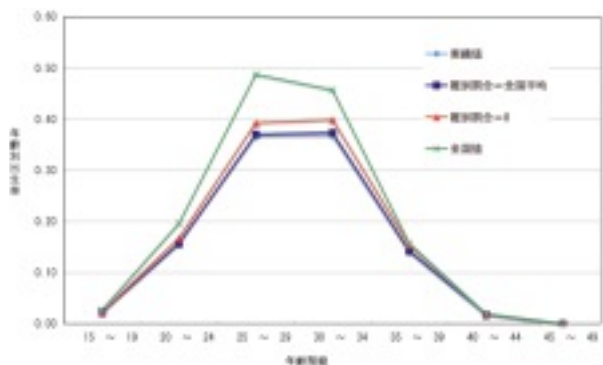


図 6 c シミュレーション結果 (年齢別出生率)

未婚初婚率と女子の有配偶出生率の両方の動きを十分に説明しうることがわかる。

3. その他の要因

3.1 高い離別率

北海道は沖縄県と並び離婚率が高いことで知られており、このため人口に占める離別者の割合も高く、これが出生力に与える影響が懸念される (図 6 a)。そこで、この効果を見るために、仮に離別人口の割合が全国平均と同じレベルまで低下し、その減少分がすべて有配偶人口に置き換わるとした場合に、合計特殊出生率がどうなるかを計算した。この結果、仮に札幌市の年齢別女子離別割合が全国平均並みであったとしても、2000 年の TFR

(1.07) は 1.08 にしかならず、この要因の影響は極めて限定されたものであることがわかった (図 6 b)。これは離別人口の割合が高まるのは比較的高年齢となっており、出生力の高い 25 歳から 34 歳までの年齢層への影響はそれほど強くないためであると考えられる (図 6 c)。

3.2 高い人工妊娠中絶率

北海道・札幌市の人工妊娠中絶率は、全国平均や東京都の値に比べ極めて高いことが知られており、低出生力状態にあるという事は、当然、この高い人工妊娠中絶率が出生抑制手段として働いていると考えられる (図 7 a)。そこで、この効果を見るために、人工妊娠中絶率が全国平均と同レベルまで下がり、下がった分 (全国平均との差) だけ出生数が増加する (事前に適切な避妊が行われることにより妊娠出産が回避される可能性は考慮していない点に注意!) として、その場合の合計特殊出生率を計算した (図 7 b)。

この結果、人工妊娠中絶率が全国平均並みと仮定すると札幌市の 2000 年の合計特殊出生率は 1.43 となり、全国値の 1.35 より 0.08 高くなることがわかった。また、これを年齢別にみると、25-29 歳、30-34 歳に関しては中絶率が全国平均並みと仮定しても、年齢別出生率は全国

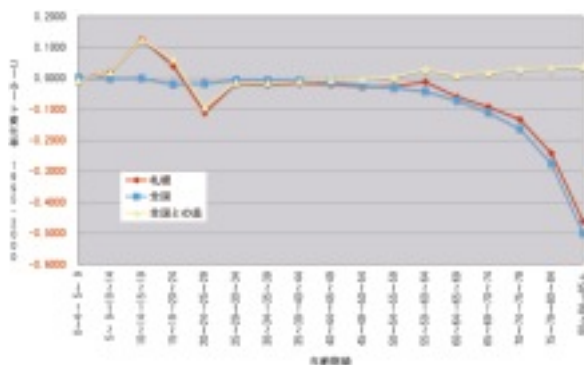


図 8 a 男子のコホート変化率 (1995-2000)

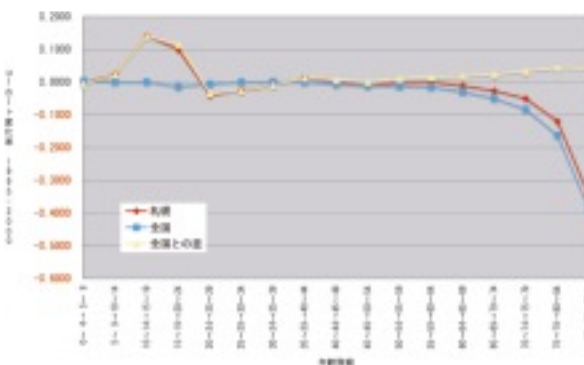


図 8 b 女子のコホート変化率 (1995-2000)

値より低いままであり、これに対し低年齢と高年齢では人工妊娠中絶率の影響が大きいことがわかった。

3.3 人口移動率

札幌市のような大都市地域では市内外との人口移動が年齢構造に影響し、これが間接的に地域の出生数や少子高齢化に作用する可能性が考えられる。そこで 1995 年-2000 年のコホート変化率を計算し全国と札幌市と比較した。

日本の場合、海外との人の出入りは無視できるくらい少ないため全国のコホート変化率は年齢別の死亡率を反映していると考えて良く、また札幌市と全国で年齢別死亡率に大きな相違がないと仮定すれば、両者の相違は、札幌市の人口の純移動率の大きさを反映していると解釈できる。

計算結果(図 8)をみると、札幌市は男女とも進学年齢で転入超過となり、この若年人口の流入が年齢構造を若返らせる効果を持つが、その後は、男子の就業移動や女子の出産・子育て期の移動で、この超過分が流出してしまい、十分、市内に定着していないことがわかる。

これに対し、高年齢では男女とも流入超過であり市内に戻って来る傾向が強く、この動きが年齢構造の高齢化に強く作用しているといえる。

ちなみに地域の出生数への影響について試算してみた

が、コホート変化率が全国と同じと仮定(純移動率=0)し、その分、出生年齢の女子人口が増えたとすると、2000 年の出生数は 15347 人から 98 人(0.63%)増加することがわかった。

4. 政策的対応の可能性

合計特殊出生率の時系列的な変化は、札幌市における少子化が、わが国全体の少子化傾向に沿って起きており、その意味では決して例外的なものではなく、また基本的な原因・背景が全国と共通するものである可能性を強く示している。実際、都道府県データを用いた重回帰分析の結果からも、合計特殊出生率の地域間格差が、男子の最終学歴や産業・就業構造など比較的少数の社会経済要因で十分説明されることがわかった。

とりわけ、札幌市についての時系列回帰分析と、これを用いたシミュレーション結果は、札幌市における少子化の進行が、男子の最終学歴(高卒以下割合)と男子の第二次産業就業割合の二つの要因の変化から推計しうることを示しており、近年における、全国の出生力水準との格差拡大傾向も、恐らく、これらの要因に沿って発生しているものと思われる。

これら二つの要因がミクロレベルでどのように少子化と結びつくのかについて、現段階では推測の域を出ないが、一般的に学校教育を受けている間は家族形成に意識が向かないことが知られおり、この点から男子の最終学歴が高卒以下で終わった場合の方が家族形成への心理的準備がライフサイクルの早い時点で整い易いと考えられる。また製造業、建設業、鉱工業などの第二次産業就業者の場合、職場が親元から離れた場所となる可能性が高く離家のタイミングが早くなり、親から自立し家族形成に向かう可能性が高まるものと思われる。さらにバブル経済崩壊後、サービス産業を中心に急速に進行した若年雇用の不安定化などを考慮すれば、第二次産業の方が雇用の安定性という点では相対的に有利であるともいえる。

このように考えると札幌市における少子化の進行や全国との格差は、基本的に、この都市が持つ「学術・サービス産業都市」的特性、すなわち学校・大学が多いという文化的側面と、製造業などの第 2 次産業部門が弱く、サービス産業中心の産業構造となっているという 2 つの特性によるものと思われる。

この点については、家族形成に関わるライフサイクルを、高学歴化と経済のサービス化に対応しうる形に大きく変えるような、国家レベルでの取り組みが行われな限り、出生力の低下や格差の拡大は止まらないであろう。従って、一政令指定都市としての札幌市にとって、この

問題への対応は容易ではないが、若年雇用の推進や安定化、サービス産業との連携を生かした製造業分野の開発・強化など、家族政策よりは、むしろ経済産業政策的な施策を、強力に推進することが必要であると思われる。

その他、少子化に影響しうる要因として、まず高い離別割合を検討したが、これが出生力に直接作用している可能性は少ないことがわかった。しかし離別が子育てに与える影響については不明であるし、産まれた子どもを大切に育てるという観点からも、札幌市の高い離別割合に対応した、単親世帯への支援・工夫も検討すべき重要な政策課題であるといえよう。

また札幌市の高い人工妊娠中絶率は、処置可能な医療機関の一極集中や届出上の問題などの事情があるとは思われるが、統計的にみる限り明らかに出生力水準に影響しており、より詳しい実態調査が必要である。無論、人工妊娠中絶率の減少分がそのまま出生力の上昇に繋がるとは限らないが、人工妊娠中絶は性病感染などとともに、不妊となるリスクを高めるものであり、また男女のパートナーシップの不平等性の指標でもあるので、少子化対策はもとよりリプロダクティブ・ヘルスという観点からも早急な政策的対応が求められる。

最後に、人口移動が地域の出生数に与える直接的影響は限られているが、男子の就業移動や女子の出産・子育て期の移動を通じ、進学年齢時の超過分が流出してしまい、十分、市内に定着していない傾向があり、また逆に高年齢では男女とも流入超過で市内に戻って来る傾向が強く、このような人の流れが人口構造全体の高齢化を加速していると考えられる。政策的に婚姻率や出生率そのものを上昇させることは容易ではないが、就業機会の増加や、男女がともに働き・子どもを育て易いような生活環境の整備・支援を進めることで、家族形成期の人口の定着率を高め、この層をより厚くすることで、市の年齢構造を相対的に若く保つことは十分可能であり、間接的ではあるが極めて有効な少子化対策となるとと思われる。

IV. 今後の課題

本稿では、札幌市の少子化の人口学的特徴と社会経済的要因を分析するとともに政策的介入の可能性について考察した。

札幌市の少子化の人口学的特徴として、東京都を初め他の政令指定都市とは異なり、晩婚化・晩産化による「キャッチアップ」効果が弱く、高年齢になっても出生率が低いままに留まるという特徴が確認できた。しかし、これは2000年時点のデータによるものであり、その後、2005年時点も同様の特徴が見られるかどうか、現在、確

認作業をおこなっている。

また本稿では、主として都道府県データをベースに人口学的特徴の抽出を行ったが、政令指定都市の一つとしての札幌市という視点に立った分析、とりわけ、第二次産業の強い川崎市や横浜市、また女子の高学歴化が進んだ京都市など、現在、他の政令指定都市との比較研究を進めているところである。

さらに本稿で確認された男子の最終学歴（高卒以下割合）と男子の第二次産業就業割合の二つの社会経済要因については、全国、北海道、他の政令指定都市へとモデルの適用範囲を拡大しテストすると同時に、これら二つの要因がミクロレベルで、どのように少子化と結びついているのかについて、別途、調査分析を進めたいと考えている。

また政令都市レベルでの、少子化への政策的対応可能性については単に人口学的な分析に留まらず、今後、厚生労働省を初め、各種行政機関、また札幌市は元より他の政令指定都市などが実施した、国民や住民に関する意識調査の結果なども踏まえ、実効性のある対策を提案して行きたい。

謝辞：本研究の成果は平成15～17年度文部科学省科学研究費補助金一基盤研究(C)(2)と平成18年度学術奨励研究費（「研究課題名：札幌市の少子化：その要因と背景—統計及びコンピュータシミュレーションによる分析」）による。なお研究を進めるにあたり、高橋眞一・中川聡史（神戸大学）、西岡八郎・佐藤龍三郎（国立社会保障・人口問題研究所）、加藤和久（明治大学）他、多くの方から貴重なアドバイスを頂いた。またシミュレーションモデルの時系列データの収集にあたっては、札幌市の大学設置準備室をはじめ関係セクションの職員の方々のご協力を頂くとともに、研究結果については、札幌市長はじめ、こども未来局の方々から貴重なコメントを頂いた。末尾ながら改めて謝意を表します。

註

- (1) 北海道全体の少子化の人口学的特徴については原(2004)⁷⁾を参照のこと。
- (2) ステップワイズ法とは、どの変数も入っていない状態からスタートし、変数を順番に1つずつ追加して回帰係数の検定のためのF値を計算し、これが指定されたF値より大きく、かつその変数を採用することによって多重共線性が生じないならば、その変数を取りこんで次のステップに進む、というプロセスを通じ変数を取捨選択する方式をいう。早い時期に棄却した変数は復活しないため、すべての組み合わせを網羅する訳ではなく、有意な変数が脱落する可能性もある。他の分析方法も試してみたが重要な少数の変数に絞り込む効果は高い(その分、他の手法より決定係数が低

- くなる傾向がある)。なお、ここで行っている社会経済要因の重回帰分析の詳細については原 (2005)⁸⁾ を参照のこと。
- (3) シミュレーションモデルの詳細については、原 (2007)⁹⁾ の基盤研究(C)2研究成果報告書を参照のこと。
- (4) データの出典：全国と北海道は1960年から2005年まで北海道 (2000)¹⁰⁾、東京都は1960年から2001年まで東京都健康局 (2003)¹¹⁾、2002年から2006年までは東京都福祉保健局 (2007)¹²⁾、札幌市は1960、1965、1970、1975-2005年まで札幌市保健所 (2007)¹³⁾。また2006年の全国、北海道、東京都は、厚生労働省大臣官房統計情報部 (2000)¹⁴⁾、札幌市は、札幌市こども未来局 (2007)¹⁵⁾ による。なお、格差は、各年次の全国値で、各地域の合計特殊出生率を除し、全国値1に対する倍率として計算した。
- (5) ここでいう13大都市平均は各政令指定都市の数値 (東京都は東京区部) を合算して政令都市全体を一つとして算出したものであり、個々の数値の平均ではない。なお、政令指定都市の範囲は2000年国勢調査時のものであり、さいたま市、千葉市、静岡市は含まない。
- (6) 図2の数値は、いずれも平成12年人口動態統計及び平成12年国勢調査より算出。分母には日本人人口を用いた。なお45歳以上は40-44歳に合算。全国値を1とした場合の格差＝各地域の値÷全国値。要因分解の方法は (岡崎 1993：42-43)¹⁾ による。

引用文献

- 1) 岡崎陽一：人口分析ハンドブック。古今書院，1993
- 2) 厚生省大臣官房統計情報部編：人口動態統計 (1899-1997) CD-ROM。財厚生統計協会，1999
- 3) 厚生省大臣官房統計情報部編：平成12年人口動態統計 CD-ROM。財厚生統計協会，2000
- 4) 統計情報研究開発センター：平成12 (2000) 国勢調査第1次基本集計 00 全国。01 北海道 CD-ROM，2002
- 5) 統計情報研究開発センター：社会・人口体系 都道府県基礎データファイル 1975年-2001年。CD-ROM，2002
- 6) 統計情報研究開発センター：社会・人口体系市区町村基礎データファイル 1980年-2001年 北海道。CD-ROM，2002
- 7) 原俊彦：北海道における少子化の人口学的特徴。北海道東海大学紀要人文社会科学系 17：39-62，2004
- 8) 原俊彦：北海道における少子化の社会経済要因。北海道東海大学紀要人文社会科学系 18：81-99，2005
- 9) 原俊彦：北海道における少子化—地域出生力低下のシステム・ダイナミックモデルの構築 (課題番号 15530335) 文部科学省 科学研究費補助金—基盤研究(C)2研究成果報告書。北海道東海大学，2007
- 10) 北海道：『北海道保健統計年報 平成12年』。2000。
- 11) 東京都健康局：東京都の衛生統計。東京都，2003
- 12) 東京都福祉保健局：『東京都の衛生統計』人口動態統計「出生数・死亡・死産・婚姻・離婚・合計特殊出生率・平均初婚年齢」(明治33年～平成18年)2007。http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp
- 13) 札幌市保健所：「年次別にみた人口動態総覧」2007。http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/f9sonota/s12index.html
- 14) 厚生労働省大臣官房統計情報部：「平成18年人口動態統計月報年計 (概数) の概況」2007。http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai06/index.html
- 15) 札幌市こども未来局：H18札幌市の人口動態 (確定値) の概況 (保健所作成公表資料) 1，2007

地域に根ざす住民主体の健康づくりグループ活動の発展に関する一考察

保田 玲子, 清水 光子, 照井 レナ, 塚 辺 蘭子, 松村 寛子

札幌市立大学看護学部

抄録：地域で自主的に健康づくり活動を行っている住民グループが、地域で継続的な活動をしていく上でのニーズを明らかにすることが研究の目的である。札幌市内で活動している22の健康づくりグループのリーダー経験者24名を対象として、フォーカス・グループ・インタビュー法によるグループディスカッションを実施し、その逐語記録をデータとして内容分析を行った。その結果、健康づくりグループが、地域で継続的な活動をしていく上でのニーズとして、3つのカテゴリーと10のサブカテゴリーのニーズが抽出された。以下、『』内はカテゴリー、「」内はサブカテゴリーとして記述する。『グループ内に向けられたニーズ』には、「魅力的な活動であり続けること」「リーダーの発想力や行動力」「自分たちのための活動であることの自覚」、『居住地域に向けられたニーズ』には、「地域住民の関心や参加が得られること」「地縁組織からのバックアップ」「他のグループとの連携」、『行政機関や健康政策に向けられたニーズ』には、「通年使える身近な施設」「個人負担の軽減」「活動に役立つ技術、知識、情報の提供」「パートナーシップ」が含まれた。フォーカス・グループ・インタビュー（FGI）全体を通しては、活動施設に関するニーズが高く、活動を安定させ継続させていくためには、施設の利用に関する助成や減免などの公的な支援の必要性が示唆された。

キーワード：ヘルスプロモーション、住民主体、グループ支援、リーダーシップ、フォーカス・グループ・インタビュー

I. 緒言

地域で生活する個々の人々の健康問題の解決にあたっては、その地域全体での取り組みを要する場合が多く、この地域内の住民組織や小集団を対象とする支援は地域看護の大きな特徴である。保健師活動における地区組織活動やグループ支援の特徴について田口ら¹⁾は、「参加する住民の主体性を伸ばす支援」と「グループ活動を地域に発展させることを志向した支援」を挙げている。それらの支援は、住民が地域の仲間と共に、自身や地域の健康課題の改善に取り組むプロセスの中で、意欲や自信を得、課題の解決に効果的なノウハウおよび社会資源とのつながりを持ち、問題をコントロールする力を得るといような、個人や地域のエンパワメントが図られていくことを最終的な目標とするものである。しかし、保健師の特徴的なこのグループ支援に関して、その展開理論、技術、評価方法は検討が十分とは言えない²⁾段階にあり、関連分野における知見の集積が必要とされている。

一方、近年、公衆衛生学や社会疫学の分野では、ソーシャル・キャピタルと健康との関連が注目されている。ソーシャル・キャピタルとは、人間社会に存在する信頼・規範・ネットワークなどがその構成要素とされる³⁾が、前

述の地域組織や住民グループ活動などもその中に含まれる。国内外の先行研究では、地域のソーシャル・キャピタルの豊かさと、住民の健康の維持増進との有意な関連⁴⁾が多く示されている。このため、人間関係の希薄化と地域活動への関心の低下が進む現代社会において、地域のソーシャル・キャピタルの醸成は、効果的なヘルスプロモーションの推進の上で期待が寄せられている。

このように、住民グループへの育成、支援は、健康な地域づくりを促進する上で、重要な意味を持つ。しかし、人々の集合体であるグループは、時間の経過と共に発展する一方で、さまざまな要因によって、活動が停滞し、終結を迎える場合も少なくない。グループ活動の発展プロセスにおいては、グループ内外における何らかの課題が発生し、その対処に関わるさまざまなニーズが生じていることは想像に難くない。

本研究は、著者らが平成18年度に実施した研究⁵⁾で得られたデータを基に、健康づくりグループが地域で継続的な活動をしていく上でのニーズを明らかにすることを目的としている。本研究を通し、このような住民主体のグループ活動を促進するための、支援の方向性に関する示唆を得たいと考える。

II. 研究方法

1. 対象地域と対象者

対象地域は、グループ・インタビューの実施場所である札幌市立大学との地理的な近さや、公共交通機関の利便性を基に、市内の5つの区を選定した。対象者は、健康の維持増進を目的に身体運動や栄養に関するプログラムを企画し、近隣の住民地域とともに活動が続けているグループ（以下、健康づくりグループ）の代表者（以下、リーダー）、およびその経験者である。なお、本研究では、この住民主体の健康づくりグループについて、グループのメンバー自身により運営されていること、原則として月1回以上定例的な活動を行っていること、活動の目的が運動技能の向上や競技会への参加でないことを条件とした。

2. リクルート方法

平成18年7月、研究代表者が本調査について5つの区の保健センターに説明し、協力の同意を得た。その後、各保健センターの担当者により、各区で把握しているグループに研究者へのグループ情報提供の可否について打診が行われた。その結果、35グループの了解が得られ、研究者は各グループのリーダーと面接、あるいは電話連絡を行った。各々のリーダーには本研究の趣旨の説明を行った上で、グループの結成経緯、活動の目的、活動の実態、運営方法、会員の概要、リーダー自身の活動への関与など、活動状況に関する情報収集を実施した。その結果、33グループのリーダーおよびリーダー経験者に対して、フォーカス・グループ・インタビュー（以下、FGI）への参加を依頼した。最終的に22のグループの男性16人、女性8人、計24人より協力が得られた。この24人の対象者を4回に分け（1回につき5～7人）、9月にFGIを行った。

3. 調査方法

FGI当日、対象者の性別、年齢、居住年数などの個人特性、および仕事、町内会活動、ボランティア活動、趣味・教養・文化活動などの社会的活動に関する自記式質問紙調査を実施した。

FGIは当大学の演習室で実施し、司会は4回とも研究代表者が担当した。記録は各回交代で2～3人の研究者および研究補助員が担当し、参加者の了解を得た上でICレコーダーでの録音と筆記記録を行った。参考文献⁶⁻⁷⁾を基にインタビューガイド（表1）を作成し、1回のインタビューに約1時間30分を要した。

表1 グループ・インタビューガイド

オリエンテーション

- 1) スタッフ紹介
- 2) 本日の目的の説明
- 3) インタビューを行う上での約束事項について

グループ・インタビュー

- 1) 参加者自己紹介および、グループ活動紹介
- 2) グループ結成時のエピソード
- 3) リーダーとしての心がけ
- 4) グループが地域で活発に活動していくために大切なこと

4. 倫理的配慮

FGI参加者への調査協力依頼は、書面と口頭で実施し、研究目的、グループ・インタビューの日時と場所、インタビュー内容録音のお願い、個人情報保護の方法および倫理的配慮、結果の公表の方法、謝金に関する説明を行った。その後、研究に協力するか否かの承諾について書面で同意を得た。FGIの実施にあたっては、原則として参加者の氏名は明らかにせず、お互いを番号で呼ぶよう協力を求めた。また、分析や資料作成においても個人名、およびグループ名が特定できないよう配慮した。本研究は、平成18年度の札幌市立大学研究倫理審査委員会の承認を得た。

5. 分析方法

FGIでの録音および筆記記録から作成した逐語記録を基に、地域でグループ活動を実践している中で課題に感じていることや、今後、継続的な活動において必要、大切、重要と考えていることを情報単位として抽出した。そして、個々の情報単位について、意味内容の共通性や類似性にしたいがい、抽象化しながら分類した。この情報単位の抽出、分類作業は、1回分のFGIに対して2人で担当し、研究代表者はすべてのFGIの分析を行った。研究者個々の作業を終了した後、同じFGIの回を担当した2人で結果を持ち寄り、比較しながらそのカテゴリーの類似点や相違点を検討した。その後、4回全てのFGIで抽出・分類したデータについて、研究代表者が統合し、ニーズが向けられた方向性の観点から検討して最終的なカテゴリーとサブカテゴリーを作成した。

III. 結果

1. FGI参加者のグループの概要

FGI参加者24人が所属する22の健康づくりグループは、いずれも参加メンバーによって主体的に運営され、健康増進を目的とした活動を行っている。プログラム内

容は主にウォーキング、体操、パークゴルフ、健康に関する学習、調理実習などであり、年間を通してこれらのいくつかを組み合わせながら実施しているものが多かった。

グループの概要については表2に示す。

グループ結成のきっかけでは、地域住民の有志による発案によるものが5グループ、単位町内会あるいは、その役員が中心となって企画したものが9グループ、保健センターの健康づくり教室や地域リーダーの育成事業など行政の保健関連事業によるものが8グループであった。

各グループのメンバーの人数は10人台から100人以上にわたったが、全体の半数は20～30人台のグループであった。

調査時点における活動年数は3年未満が8グループと最も多かったが、20年以上続いているものも3グループみられた。

グループの例会の開催頻度では、毎日が3グループ、週1回が5グループ、月2～3回が3グループ、月1回

程度が11グループであった。

活動資金はメンバーの会費のみが3グループ、行政や町内会からの助成金のみが2グループ、メンバーの会費と助成金の両方が15グループ、特別な資金を要していないものが2グループであった。会費の額は、グループの会員数、施設利用料や講師料、助成金の有無などにより異なり、1ヶ月あたり約100～3000円と開きがかった。町内会からの助成金は年間1万円～5万円の範囲であった。当初は住民有志で立ち上げたグループでも、居住地域の町内会と折衝し、活動資金の一部の助成を受けるようになったケースもあった。行政からの助成金は、札幌市の、ヘルシーコミュニティ促進事業によるものがほとんどであった。この事業は健康づくりグループの育成、支援の一環として、住民の自主的に継続的な健康づくり活動の推進を目的に、助成金（年間5万円、3年間を限度）の交付を行うものである。

活動施設は、地区会館、町内会館、地区センター、民間施設など施設利用料を要しているものが10グループであった。一方、施設利用料の減免が認められている地区会館や町内会館、施設利用料を要しない保健センター、児童会館、公園、マンションの集会所などを利用しているものは12グループであった。この12グループの中には、活動が20年以上継続している3グループが含まれていた。

2. 参加者の属性および社会活動状況

FGI参加者24名の平均年齢は71歳であり、男性は16人で平均年齢は74歳、女性は8人で平均年齢は63歳であった。現在の住まいにおける居住年数の平均は27年であり、男性は28年、女性は26年であった。

社会活動状況では参加者の25%が就労中であり、88%が町内会役員を経験していた。ボランティア活動は、高齢者関連では54%、子育て支援関連では38%の者が地域内での何らかの活動に関わっていた。また、サークル活動では趣味に関するものが71%、教育・文化に関するものには38%が参加していた。

3. 健康づくりグループが地域で継続的な活動をしている上でのニーズ

FGIの逐語録内容の分析より、健康づくりグループが地域で継続的な活動をしていく上でのニーズは、グループ内に向けられたニーズ、居住地域に向けられたニーズ、行政機関や健康政策に向けられたニーズの3つのカテゴリー、および10のサブカテゴリーに分類された(表3)。以下、カテゴリーごとにそれぞれのサブカテゴリーについて記述する。なお、「」内は、参加者の発言内容である。

表2 調査対象グループの活動状況 (n=22)

活動状況	グループ数
グループ結成のきっかけ	
地域住民の有志による発案	5
町内会の保健関連事業	9
行政の保健関連事業	8
参加人数	
～19人	3
20～29人	6
30～39人	5
40～49人	2
50～99人	3
100人～	3
活動年数	
～3年	8
4～6年	6
7～9年	3
10年～	2
20年～	3
開催頻度	
毎日	3
週1回	5
月2～3回	3
月1回	9
活動資金	
メンバーの会費のみ	3
行政あるいは町内会からの助成金	2
メンバー会費と助成金の両方	15
なし	2
活動施設	
有料	10
無料	12

表3 健康づくりグループが地域で継続的な活動をしていく上でのニーズ

カテゴリー	サブカテゴリー	発言例
グループ内に向けられたニーズ	魅力的な活動であり続けること	腕上がるようになったとか、足上がるようになったとか、毎日のこの足踏みだけでも違うって言ってね、…足上がらなかった人、手上がらなかった人がね、うん、だから毎日同じ方でなくてもね、やればっていうんでね。
		楽しさを中に入れる、活動の中に、入れると皆集まり良いんですね、…プラスアルファの楽しみをつけることにしてますね。
		男の場合はね、現役から離れてるから、現役のこの話は一切しない。私どもは自然的に言わない、それ言い出すと、派閥が出来ちゃう。
	リーダーの発想力や行動力	我々の活動のねらいつていうますのは、家に引きこもりがちの人を誘い出して、一緒に運動しようという趣旨ですから。結局いろいろあの手の手と工夫していると、興味をもって出てくると、…やはりリーダーのそういうアイデアと、…やる気だと思いますね。 1年ぐらいやっぱりそういうふうにもっていくのかかりましたけれどもね、いろいろね、とにかく考えないでやってみよう…。
居住地域に向けられたニーズ	自分たちのための活動であることの自覚	もっと健康っていうのは自分自身の問題なんだから、自分自身でね、守るんだという意識をもう少し自覚していく必要があるんじゃないかっていう気するんですね。市で金だせていったって金ないんだから、どうかって場所作れたって金ないんだからね、皆ね自分らでやるんだというグループだから、なんだってできるんだから。ある程度はね、そうすれば、この地域の活動っていうものが活発化していくんじゃないかなーと思いますね。
		最初発足した時にはかなり50人位、名簿上にはいたんですけれども、参加する方が以外と少なくて、どんどんどんどん減っていつて、で、大体20名弱になって、これではやっていられない、そういうことで、町内会の回覧とかで、呼びかけてもらって…で、どうにか今年は33～4名いるのかな。
		町内会のあの回覧板も利用して呼びかけましてもね、ちょっと今までのところ効果が無いなと。まあ1人2人来ましたけれどもね、…ま、口コミしかないんじゃないかなっていうかね。
	地域住民の関心や参加が得られること	誰かがおいおいこいこいって言ったら皆が集まってね、歩き始める、運動し始める。そういう雰囲気が必要じゃないかなと思いますね、…そうすれば、この地域の活動っていうものが活発化していくんじゃないかなーと思いますね。
		(町内会と交渉して)まあようやっと、夜間、役員会議開くときだけは無料ということまで発展しましたけれどもね。
		〇〇地域の近所の人達が集まったグループだったら、その地域の〇〇会館とか利用できるんですよ。で、この今集まっているのは、(区内の)あちこちから来ている人達だから集まる場所が作れない。結局、保健センターなり区民会館なりを、利用せざるを得ないんですね。
行政機関や健康政策に向けられたニーズ	通年使える身近な施設	町内会の中に溶け込んでる役員と、私みたいにマンション暮らしで町内会に全く離れたところにいる役員とではね、その働きが違うわけです。働く力が、…やっぱりお願いに行って、とにかく(町内会の)〇〇部長さんを説き伏せて、そして参加してもらっちゃう、その行程がなきゃね、地域に根付かないですよ。
		〇〇区のほうはどんなことやってるのか、そういうような情報を得たり、それからそちらのほうに広げていくようなことね…、そんなことも大事な一つっていうふうには私は思います。
		やっぱり高齢になるとちょっと距離がある人は来なくなります。体操とかはそこに来るのが大変になっちゃうので、だからその場所の確保っていうのはすごく大事ですね。
	個人負担の軽減	私達今、児童会館借りてるんですけどね、もう来年の3月で終わりですよって言われてるんですね。…健康づくりしたいけれども、会場が無いってことね。
		夏の間は屋外でも良いですけど、冬になるとどうしても屋内になりますよね。そうすると会場が無ければ、せっかく出来たものも、そのまま壊れてしまうっていうこともありますよね。
		うちの場合は確実に、あの一市からの助成金がなければできなかったっていうのはありますけども、一番私達が大変なのは、会場料の関係、…これから先、1万でも2万でも、ずっと継続して助成してもらえたら、会員もそれぞれ負担が少なくて済むなと。
	活動に役立つ技術、知識、情報の提供	初め、ラジオの電池代が大変だったんですよ。…それで今度カンパするようにしたんですよ。皆から、そのうちに、これはもうしょっちゅうこんなことやってるんじゃないかこりゃ大変だからって、会長が、まあ幹部と一緒にこの区役所に行きましてね、ま、こういう状態なんだけれども、何とか援助をお願いできないかというお願いしましてですね、電源のボックスをつけてもらったんですよ。
		低料金で、いらしてくださいる講師の方のニュースをこうたくさん集めたいと思ってるんですよ。私はこういうことを、ヨガならヨガをね、ボランティアで教えますよっていう情報を流していただけるとね(行政から)。
		雨降ると、ストレッチとかやろうっていうふうに提案してるんですよ。当初は保健センターの一保健師が指導してくれた。去年辺り、保健師さんが来なくなってから本見ながら皆でこう、やらなければならなくなり…でも、いざ雨降った時、もう今日は全てもうやめたって、できないもんだから。
パートナーシップ	パートナーシップ	地域ぐるみでね、健康になろうと思えばね、行政と民間とね、交流っていうか、一体感がないとだめなんですよ。一般の我々がね、どういうことをやってるかっていうこと。…この間、約9キロあるんですけども、一緒に歩いたんです。〇〇部や〇〇の課長さんも来ましたがね、一緒にその汗を流したと。紙切れの報告だけでなく、一緒にやってみる。補いつくことがあったら、役所として行政として補いをしてもらう。そういうような交流がもっとあったほうが良い。
		市のほうは寝たきりにさせないという、予防、そういうことを推進して、盛んにPRしていますよね。でも実際的にそういうこと、市民が行動を起こして、起こすときに、そういう公共の施設からもね、お金を取ると、会場費をね、取るということをね、そういうところではすごく矛盾を感じますね。

1) グループ内に向けられたニーズ

このカテゴリには、グループのリーダーやメンバーに必要な参加姿勢や、実際の活動場面で求められることが分類された。

魅力的な活動であり続けること

メンバーがグループに参加を続ける上で、個々のメンバーが活動に常に魅力を感じることができることが、動機付けの上で重要であることについて語られた。例えば、体操の効果の実感や、通常の活動にプラスされた楽しみなどである。また、退職者が多いグループでは、メンバーの中で派閥などができないよう、現役時代の仕事や職位に関する話はしないなどの配慮の必要性が語られた。

リーダーの発想力や行動力

閉じこもりがちな地域の高齢者の関心を得るためには、「あの手この手と工夫」が必要であったとの体験が語られた。同様に、グループを立ち上げた時期には、「とにかく考えないでやってみよう」という気持ちが必要であったとの、当時を振り返る発言がみられた。

自分たちのための活動であることの自覚

今回の FGI の中では、自分たちのグループ活動に対する行政や町内会からの支援に対する要望が多く出される傾向にあった。しかし、周囲にばかり期待するのではなく、自分たちの健康のためであるという意識を持ち、創意工夫しながら活動を行うことが必要であるという意見もみられた。

2) 居住地域に向けられたニーズ

このカテゴリには、グループメンバーが居住する地域の住民全体や、地縁組織、他の住民グループに対して望むことが分類された。

地域住民の関心や参加が得られること

地域の中の健康づくりグループとして安定した活動を行うためには、会費や活動施設の確保の面においても一定の参加人数が必要となる。グループの会員が減少し活動の継続が危ぶまれた際に、町内の回覧板の活用で参加者が増加した例がみられた。しかし回覧板の効果がまったくなかったという例もあり、住民が協働して活動を行っていくためには、ふだんから声を掛けあえる雰囲気が必要であるとの意見もみられた。

地縁組織からのバックアップ

町内会との交渉の結果、町内の会館の施設利用料の減免してもらえるようになり、グループ運営の上で助かっているという趣旨の発言がみられた。しかし、町内会館の中には、その町内の以外のメンバーが多いグループでは利用そのものに制約がある場合もあり、活動場所の確保に苦労している悩みが語られた。また、町内会と接点がなく結成されたグループでは、今後、地域に根づいた活動を続けていくためには、町内会の役員の理解や参加を得ることが必要であるとの思いが語られた。

他のグループとの連携

近隣で活動している、同様の健康づくりグループと交流しながら、情報やノウハウを共有し、活動に生かしたいという発言は、参加者の多くに共通していた。

3) 行政機関や健康政策に向けられたニーズ

このカテゴリには、グループでの活動に関わりのある地域の行政機関や、健康づくりに関わる施策レベルでの対応を期待する内容の要望が分類された。

通年使える身近な施設

活動施設の問題は4回全ての FGI の場面で活発なディスカッションに発展した。グループメンバーの中には高齢者も多く、身体機能の個人差も大きいことから、生活圏内に立地する通いやすい施設を望む声が多かった。また、市の制度が変わったことにより、何年も活動の場としてきた無料の施設の利用ができなくなり、活動の継続に不安を感じていたグループもみられた。一方、屋外での活動を続けていたグループでは、冬季間は活動を休止せざるをえず、「せっかく出来たものも、そのまま壊れてしまう」という不安を抱えていることが示された。

個人負担の軽減

施設の利用や、講師に支払う謝礼などを主な使途とする、運営資金に関わる発言も多かった。特に、参加人数が安定しないグループ結成初期には参加者一人当たりの施設利用料が高くつくこともあり、市からの助成が活動の継続において有効であったとの感想が聞かれた。地域住民全体に広く参加を呼びかけて活動しているグループでは、誰でも参加しやすいづくりに個人負担を抑えたいという意図があり、公的助成の継続の希望がみられた。また、実際に行政機関に働きかけたことにより、個人負担の軽減につながる対応が得られたという体験談も語られた。

活動に役立つ技術、知識、情報の提供

活動の企画に役立つプログラムや講師料などについて、行政から情報提供あることが望まれていた。

また、専門職による技術提供へのニーズもみられた。

パートナーシップ

住民グループと行政との関係について、行政機関の管理職も実際に現場に足を運び、市民と直接交流して体験を共有することで、より実際的な支援を検討してほしいという、パートナーシップに関する要望が語られた。また、行政のPRしている介護予防の取り組みとして行っている自分たちの活動において、会場費が徴収される実態についての疑問や不満が示された。

IV. 考察

1. 住民主体の健康づくりグループが地域で継続的な活動をしていくためのニーズ

地域の健康づくりにおいて、草の根的な活動を展開している住民主体の健康づくりグループのリーダーを対象に、FGIを4回にわたって実施した。そのインタビュー内容を基に、彼らが地域で継続的な活動をしていく上で必要と考えていることについて分析した。その結果、最終的な3つのカテゴリーは、グループの内部に向けられたニーズ、居住地域に向けられたニーズ、行政機関や健康施策に向けられたニーズに分類された。

FGIの実際においては、地縁組織や行政などに対する要望が多く出される傾向がみられた。この背景としては、今回の対象者は、グループの結成時や活動の経過を通し、地縁組織や行政機関と関わりがあるケースがほとんどである。このため、これらの経験が、支援を求める対象としてのイメージにつながりやすかったことが考えられる。また、対象者の中には、行政からの要請を受けてグループを結成し、やむを得ずリーダー役を引き受けたという意識を持っていた者も含まれていた⁵⁾ことも事実である。現実の地域の中には、行政や町内会などの関与がまったくないグループも多々存在しており、今回の結果を、住民主体の健康づくりグループ全般にあてはめることには限界がある。しかし、ヘルスプロモーションの推進において、地域活動の意図的な強化は、ソーシャル・キャピタルの醸成の観点からも必要とされている。このため、行政や地縁組織が関与しているグループの、発展過程におけるニーズとしての限界を踏まえた上で、カテゴリーの内容を検討し、グループへの支援のあり方および、活動を促進するための環境づくりに関する示唆について考察する。

1) グループ内に向けられたニーズ

グループが地域に根ざして活動していくためには、その前提条件として、まず、そのグループが存続していくことが必要である。中村⁸⁾は集団の存続について、「離脱を妨げる抑制力と、集団の凝集力とによって支えられている」と述べている。今回の健康づくりグループのように、メンバーの主体的な意思によって参加や脱退が自由な集団においては、特に、集団の凝集力の維持が課題である。そのためには、メンバーがそのグループにとどまっていたいと感じられる魅力、すなわち、運動の効果や楽しさ、良好な人間関係などが、グループ活動の中でのニーズに上がってきたものと思われる。発言の中には、個々のメンバーの現役時代の話をしていないというものもみられた。地域住民が参加し長期に継続していく活動においては、「肩書きを消した人間付き合いが求められ⁹⁾」るとされるが、実際にグループのリーダーを務めた者の経験知が背景にあったものと考ええる。また、そのような課題への対処も含め、グループの中でリーダーシップを取る者には、他のメンバーと比較した場合、発想力や行動力がより必要とされるのは当然なことであると言えよう。グループ支援に際しては、メンバーがグループ活動そのものの魅力を失わないような企画や雰囲気作りに関する助言や、リーダー自身の努力への支持が重要であると考ええる。

また、このグループ活動が、自分たちのための活動であることを自覚することの必要性も示された。グループの中でリーダーは、メンバーに対し積極的な参加の促進を常に心がけていることが示されている⁵⁾。自分たちのための、自分たちによる活動であるという意識を個々のメンバーが持たなければ、住民主体のグループが成り立たないという実感を、リーダーである参加者が感じているものと推測する。

2) 居住地域に向けられたニーズ

今回の対象者のグループは、その活動対象範囲において、区、町内会、マンション、公園の周辺地域など、そのコミュニティの空間体系に違いはあるが、基本的にそのコミュニティに居住する人々の健康づくりを目的としている。今回は、自分たちの活動を地域に根づかせ、継続して行うために、地域の中で、自分たちの活動に対し住民全体からの参加や関心が得られることを必要と考えられていることが明らかになった。このことは、一定数のメンバーを確保し、活動を安定して行う上でも重要である。対象者らは、回覧板や口コミなどさまざまな方法で、地域のなかでの浸透を試みているが、その手ごたえは様々であった。住民間のコミュニケーションや地域活

動への関心の低下、さらに高齢化の進む都市部において、健康増進や介護予防に役立つ情報をいかに住民に周知するかは大きな問題である。宇良ら¹⁰⁾の65歳以上の高齢者を対象とした調査においては、町内会の回覧板や口コミの利用率は、行政の広報誌に比べて高いことが示されている。FGI参加者のグループにおいても回覧板を利用しているが、その効果はまちまちであった。今回のグループは、本学周辺の5つの区から選択したが、これらの区に含まれる町内会の平成18年度の加入率は、40～85%と開きがあった。市の広報誌と異なり、町内の回覧板は町内会に入っている世帯にしか回らないため、加入率の低い地区においての周知の効果は期待しにくい。それは、地域活動への参加に関する情報自体を得ることができない住民の存在を示すものであり、有効な情報伝達の方策の検討は、健康なまちづくりに取り組む行政にとって重要な課題である。

地縁組織からのバックアップもニーズのひとつであったが、それらは主として、区全体からメンバーが集まっているグループのリーダーの中からみられていた。今回の対象者の中には、地縁組織と関係のないグループは複数あったが、会場の確保に苦労している場合に、特徴的であった。施設の問題は下記で述べるが、活動の上で、安定した活動場所が確保に関するニーズが大きいことを示している。

地域内で、同様の活動を行っているグループとの交流に対する関心も高かった。実際のFGIの場面でも、互いの活動について質問をしあう場面が多々みられており、互いのノウハウを交換し合うことは、活動の発展の上で非常に有効であると考えられる。

3) 行政機関や健康政策に向けられたニーズ

通年使える身近な施設と活動費の個人負担の軽減に関するニーズや課題は、今回のFGI参加者の最大のテーマであった。年間のプログラムを立てていく上では、施設を安定的に確保し、会費や助成金による収入の見通しが持てる必要がある。1年を通して安定して借りることができ、通いやすく、メンバーにとって経済的な負担が小さくて済む施設が求められていた。今回特にこのテーマへの関心が高まった背景には、平成18年度より、市内の公の施設に対する指定管理制度が導入されたことの影響があると考えられる。これに伴い、利用料の減免の廃止や施設の制限などが生じ、今後、会費の値上げや、新たな会場を確保する必要に迫られているグループのリーダーからは、深刻な問題としての訴えがあった。都市部高齢者の社会活動に関する岡本らの調査¹¹⁾では、個人活動の活発さと、ゆとりのある暮らし向きには有意な

関連あることが示されている。さまざまな経済的な背景を持つ人々の参加を促進しながら、健康な地域づくりを目指す活動を推進するためには、活動に最低限必要な施設の利用について、助成や減免制度があることが有効なのではないかと考える。また、今回の参加者のグループの中には、20年以上も続いているものが3つあり、それらはいずれも、利用料の要しない施設を利用していた。このうち、2つは公共の公園を利用しており、グループのメンバー以外にも、周辺に居住する住民であれば誰でも参加でき、緩やかな人間関係を基盤とする活動として発展している。このことは、地域に根ざす住民主体の活動において、人と人をつなぐ拠点となる場所があることの重要性を示唆するものであると考える。

また、グループでの活動に役立つ技術、知識、情報の提供に関するニーズもみられた。これらについては、グループの活動が発展し成熟していく段階においては、ニーズの優先度としては低くなると考えられる。しかし、グループが活動上必要な情報を得たいときに、その情報にアクセスできる手立てを講じておくことは重要であろう。今回の参加者の平均年齢は71歳であったが、そのグループのメンバーもその年代が多いことが推測される。昨今は、様々な情報がインターネット上で得られることが多いが、2004年に札幌市の65歳以上を対象にした「高齢社会に関する意識調査報告書」¹²⁾では、日常的にパソコンを利用しているものは12%に過ぎなかった。インターネットだけでなく、多様なメディアを活用した情報提供の整備が求められている。

行政に望むことの中には、行政機関とのパートナーシップに関するニーズも示された。実際にはグループの発達段階は様々であり、現在の活動に満足しているものも多かった。しかし、自分たちが行っている活動は公共の利益が大きく、健康な地域づくり施策の一翼を担っているという意識を持っている参加者も少なからずみられた。このような人々の発言からは、行政機関と、対等な立場での交流や話し合いなどが望まれていた。FGI全般を通して、自分たちの活動への行政の支援や、施設の整備などの要望は多々見られたが、その一方で、市の財政状況や国全体の政策の流れにも一定の理解を示す発言もみられている。それゆえに、参加者たちは、日常の活動を通して関わりのある行政機関の職員と、地域の健康づくりを目指す者どうしとして対等な立場で話し合い、それぞれの目標や役割分担について納得し、合意することの必要性を感じるのではないだろうか。Courtney¹³⁾は、「専門家と住民間の対等な関係のパートナーシップは住民の能力やエンパワメントをいっそう向上させる」と述べているが、住民主体の地域のヘルスプロモーションを

進める上で、行政と住民のパートナーシップが不可欠であることについて、改めて示唆が得られたと考える。

2. 本研究の限界と今後の課題

本研究において実施された4回のFGIに参加した22グループ、24人の参加者たちは、グループの結成の経緯をはじめ、その活動内容は多様であり、活動上のニーズや課題には違いがある。そのため、今回抽出した9つのカテゴリーが、対象グループ全てに当てはまるわけではない。例えば、活動場所の問題も、現在進行形の懸案事項であるグループもあるが、まったく問題がないか、あるいは既に解決されているグループもある。また、実際のディスカッション場面では、発言に対する共感や同意も多かったが、反対意見や別な切り口からの考え方も出されていた。しかし、FGIの目的は合意形成にあるわけではなく、参加者間の相互作用による意見の広がりを理解すること⁶⁾にある。今回の9つのカテゴリーは、都市部で活動している住民主体の健康づくりグループのリーダーを、最低1年以上経験した参加者によるディスカッションを基に、その根底で共通すると考えられた活動上のニーズや課題を集約したものである。このため、グループの発達段階や活動目的、地域性などが異なる場合に、今回の結果を適用することは困難である。

今回の対象者はグループのリーダーであったことや、個々の社会活動においても、町内会役員の経験者が多く、一般住民と比べると、地域活動に対して経験が豊富であり意識の高い人々であったことが考えられる。今後は、調査対象を一般のメンバーに広げ、このような地域活動に参加した経緯、参加の意義、参加継続を可能とする条件、あるいはこのような活動に参加をしたことがない住民の背景や地域活動へのニーズなどについて、検討を重ねていきたいと考える。

本研究は、財団法人北海道高齢者問題研究協会の平成18年度調査研究事業として行われた。

ご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

引用文献

- 1) 田口敦子・錦戸典子・竹内奈緒子：保健師活動におけるグループ支援の特徴と意義。看護研究 36：527-536, 2003
- 2) 村嶋幸代・田口敦子・蔭山正子・他：保健師によるグループ支援活動の理論および実証研究に関する課題。看護研究 36：609-613, 2003
- 3) 稲葉陽二：ソーシャル・キャピタル―「信頼の絆」で解く現代経済・社会の諸問題―。東京：生産性出版, pp.3-16, 2007
- 4) 近藤克則：健康格差社会―何が心と健康を蝕むのか―。東京：医学書院, pp.135-147, 2006
- 5) 保田玲子・清水光子・照井レナ・他：地域の健康づくりグループの発展を促進するための基礎的研究―グループ活動初期段階においてリーダーシップが発揮される条件とは何か―。高齢者問題研究 23：71-85, 2007
- 6) 安梅勅江：ヒューマン・サービスにおけるグループ・インタビュー法―科学的根拠に基づく質的研究法の展開―。東京：医歯薬出版, 2001
- 7) S. ヴォーン・J.S. シューム・J. シナグブ・他：グループ・インタビューの技法。東京：慶應義塾大学出版会, 2001
- 8) 中村陽吉：集団の心理―グループ・ダイナミックス入門―。東京：大日本図書, pp.41-63, 1993
- 9) 稲葉陽二：ソーシャル・キャピタル―「信頼の絆」で解く現代経済・社会の諸問題―。東京：生産性出版, pp.141-151, 2007
- 10) 宇良千秋・矢富直美・本間昭：高齢者の IADL による情報源利用の違いについて。老年精神医学雑誌 14：1271-1279, 2003
- 11) 岡本秀明・岡田進一・白澤正和：大都市居住高齢者の社会活動に関連する要因。日本公衆衛生雑誌 53：504-515, 2006
- 12) 札幌市保健福祉局保健福祉部：「高齢社会に関する意識調査報告書」。2004。http://www.city.sapporo.jp/koreifukushi/keikaku/chosa/report2.html
- 13) Reni Courtney, Elaine Ballard, Shawn Fauver et. al: The Partnership Model: Working with Individuals, Families, and Communities toward a New Vision of Health. Public Health Nursing 13：177-186, 1996

点滴スタンドのユーザビリティ評価 (第1報) 患者と看護師の使用感についての考察

多賀昌江¹⁾, 照井レナ¹⁾, 神島滋子¹⁾, 三谷篤史²⁾, 酒井正幸²⁾

¹⁾ 札幌市立大学看護学部, ²⁾ 札幌市立大学デザイン学部

抄録: 本研究は、点滴スタンドを使用中の患者と看護師に対するインタビューおよび質問紙調査によって行った点滴スタンドのユーザビリティ評価に関するものである。ベッドサイドにおいて点滴スタンドを使用中の患者3名への半構成型インタビューを実施し、同時に点滴スタンドの使われ方を参加観察した。看護師に対してはフォーカスグループインタビューを1回実施した。患者の語りからは、点滴スタンド使用時の騒音が特に大きな問題点として指摘され、看護師は安全性を第一に挙げていた。質問紙調査は、点滴スタンドを使用中の患者106名を対象として、SD法を用いた26項目の質問紙を作成して実施した。点滴スタンドに対するイメージとその利用に伴う満足度の関係については、「ごてごてした」、「くらい」、「きらいな」、「きたない」、「うるさい」、「危険な」、「束縛された」、「つめたい」、「重い」、「迷惑な」、「たよりない」と回答したものの満足度が低かった。したがって本研究の結果から、臨床における患者と看護師に対する点滴スタンドの使い勝手は構造上の問題等により低い評価であることが分かった。患者の療養生活の質の向上と安全性の保持のためには、点滴スタンドのデザインを含めた構造や形状に改良の余地があることが示唆された。

キーワード: 点滴スタンド, ユーザビリティ評価, SD法, 騒音, 安全性

I. 緒言

ナイチンゲール¹⁾, ヴァージニア・ヘンダーソン²⁾は看護の基本として環境を重要な項目として挙げている。病気で療養する患者にとって、使用する医療用具は療養環境の一部である。点滴スタンド(イリゲータースタンド)は、外来・入院ともに多くの患者が利用し、医療従事者と共有する身近な医療用具であるにもかかわらず、その形状はこれまで半世紀のあいだほとんど変化していない。また、点滴セット(輸液バッグ、クレンメ等)の保持と移動という本来の使用目的以外にも、筋力が低下した患者が行動拡大のために歩行支持に使用するなど臨床では多様な使われ方がされている。一方、点滴スタンドを移動する際に発生する転倒事故やヒヤリハット事例が報告されており³⁾、使用目的の多様化に伴い安全性に配慮した点滴スタンドが求められている。

点滴スタンドに対する患者側の評価としては、先行研究から長期療養患者ほど使いやすさの評価が低くなること、移動が困難な術後患者は、動きが円滑で安定性のある点滴スタンドを望んでいること⁴⁾、「騒音」「操作性」「走行性」⁵⁾などの因子が使いやすさに影響していることが明らかになっている。ユーザーにとって使いやすいものを追求するためには、実際の使用現場に立ち会い、多様

な影響因子について直接ユーザーに違和感や問題点を尋ねることが重要である⁶⁾。したがって、点滴スタンドのデザインを検討するためには、ユーザーにとっての機能性、安全性、ユニバーサルデザインを視野にいたれた検討が必要であると考えられる。

そこで本研究では、ユーザーにとって機能的かつ安全で、ひとに優しいデザインの点滴スタンド開発に向けた基礎データを得るために、実際に臨床で点滴スタンドを使用している患者および看護師によるユーザビリティ評価を行うことを目的とする。

II. 研究方法

点滴スタンドのユーザビリティ上の問題点を抽出するため、ユーザーに対し次の2種類の調査を実施した。

1. 患者と看護師へのインタビュー調査
2. 患者へのSD法による質問紙調査

II-1. 患者と看護師へのインタビュー調査

1) 調査対象者

患者: 札幌市内のA医療施設で24時間持続点滴治療中の20歳代女性2名と、B医療施設にて前日まで点滴を施行していた12歳の男児1名の合計3名。

看護師：A医療施設に勤務する臨床経験5年以上の看護師3名。

2) 調査方法

患者：それぞれ各1回、点滴スタンドの使われ方についての半構成型インタビューおよびフィールドワークを行った。

看護師：フォーカスグループインタビューを1回実施した。

インタビューの内容は、患者、看護師共に点滴スタンドの使用に際して困ったこと、改善して欲しい点、点滴スタンドに対する思いや考えなどについて自由に語ってもらった。

3) 研究期間

平成18年10月から平成19年3月

4) 倫理的配慮

札幌市立大学倫理委員会の承認を受けて調査を実施した。対象者が治療中の患者であることから、病状と心身の負担を考慮するために予め医療施設の看護部と病棟の看護師長に調査の主旨と方法の説明を行い、施設側から対象者の紹介を受けて研究依頼を行った。調査の実施に当たっては、調査実施前に研究者から再度対象者に調査内容の趣旨と説明を口頭と書面で行い、同意の得られた者を対象として同意書に署名を得た。インタビューは対象者の病室か個室で行い、対象者の同意を得てICレコーダに録音し、逐語録を作成した。参加観察時は対象者の同意を得てインタビューと同時にビデオ撮影を行った。研究者以外がビデオ画像データの共有をしないことを誓約し、公表する際には対象者の顔が写らないようにした。

5) 分析方法

データは逐語録を作成して研究者3名で意味内容をコード化し、類似性に基づくコードのカテゴリー化を行って質的帰納的に分析した。参加観察の内容は分析結果の参考とした。

II-2. 患者へのSD法による質問紙調査

1) 調査対象

札幌市内のC医療施設入院患者のうち、調査開始時点で点滴治療を受けている者(106名)を対象とした。

2) 調査方法

無記名自記式配票留置法。看護管理者より入院患者に対するアンケートの実施許可を得、各病棟師長を通して対象者に配布した。回答済のアンケート用紙は、対象者自らが各病棟のナース・ステーションに設置した回収ボックスに投函。後日、研究者が回収した。

3) 調査期間

平成19年3月8日から平成19年3月15日

4) 調査内容

基本属性(年齢・性別)、点滴スタンドの形状(脚・グリップ)、使用中の点滴スタンドの満足度、気になる点、SD法による点滴スタンドのイメージ16項目(表2)、および自由記述2項目の計26項目。

イメージの対語は、インタビューにより抽出された形容詞に反対語を配置して用いた。それらを左右どちらに配置するかは無作為に選び、評価的によい言葉が左右どちらかに偏らないように配置し、左右の対語に対し、「2-1-0-1-2」の5段階で回答を求めた。

5) 倫理的配慮

札幌市立大学倫理委員会において承認されたことを含め、文書で本研究の趣旨を説明、回答・投函をもって同意とする旨を伝えた。

6) 分析方法

回収した質問紙票から表計算ソフト(Microsoft Excel)を用いてデータセットを作成し、統計解析ソフトSPSS Ver. 15を用いて集計解析した。

点滴スタンド利用に伴う満足度と点滴スタンドに対するイメージなどについてクロス集計を行った。満足に関しては2群に分類し、「とても満足」、「やや満足」と回答した群を満足群、「とても不満」、「やや不満」と回答した群を不満足群とした。また、点滴スタンドに対するイメージは、各イメージについて、5段階で回答を求めたものを、中間群(0:どちらともいえない)と、両側(回答の1, 2にあたる)2群に分類し、回答を求めた。統計は、 2×3 表での χ^2 検定を実施した。

III. 結果

III-1. 患者と看護師へのインタビュー調査

インタビューと参加観察に要した時間は、患者が各20分から30分、看護師は25分であった。分析の結果は、患者と看護師の語りから点滴スタンド使用に際しての問題点について、患者は7つのカテゴリー、看護師は5つのカテゴリーが抽出された。以下に分析結果をそれぞれ示す。【 】はカテゴリーを示し、「 」は特徴的な語り手の言葉をそのまま示している。文脈において補足説明が必要な部分は()で説明を加えた。

1) 患者の語りからみた点滴スタンドの問題点

分析の結果、点滴スタンド使用時の問題点について【音】【操作性の悪さ】【場所をとること】【重さ】【点滴チューブの絡まり】【キャスターのひっかかり】【安定性

の悪さ】の7つのカテゴリーが抽出された。

(1)【音】

【音】は、3名の患者すべてが点滴スタンドを移動する際の音、廊下や部屋の入り口の段差とベッド周囲のものにキャスターが衝突して発生する音についての不快感を表出した。また、その音から他の患者に対する配慮の必要性を第一に訴えていた。

「音は、夜、夜中とかトイレに行きたいときとか、他の患者さんに音うるさいかな、と思いながら（点滴スタンドを）押してるんですけど、静かになつたらいいなーとも思いますね」「夜とか、同じ部屋の人とかもいるのでやっぱりドアのところでガチャガチャしたり、動かす度に音がするのでちょっと気を使うというか、うるさくないか、と思ったりしながら使っています」「子どもだから思いっきりこうやって（部屋の段差を乗り越えようと）点滴スタンドを押すと、結構音が出て寝てる子（を起こしてしまう）ね、迷惑」

(2)【操作性の悪さ】

これは、点滴スタンドの移動が自分の思ったとおりにスムーズには動かすことが出来ないことを示している。そして、点滴スタンド上部にある輸液フックや輸液がカーテンなどに接触して引っかかることも操作性に影響を与えていた。

「（点滴スタンドを移動時に）ズボンの裾が踏まれたりします」「小回りが利く感じになってくれれば」「（車椅子で移動時に）この上（点滴スタンドの脚の部分）に足を乗せていくんですけど、段差にちょっと引っかかって、この（点滴スタンドの）脚だけ残っちゃったり」「こう押してくるとやっぱり（点滴スタンドのフックが）トイレだとか引っかかるんですよ、カーテンに引っかかったりだとか」

参加観察時には、患者が点滴スタンドを携行する際に移動したい方向に体重をかけるようにして点滴スタンドを操作していた。また、点滴スタンドが患者の歩行スピードよりも遅れるため、患者が点滴スタンドを後ろ手に引くようにして移動する姿が見られた。

(3)【場所をとること】

患者は、点滴スタンドの脚の幅がトイレの中やベッド周囲などの限られた空間に占める割合が大きいこと、狭い空間で壁や床頭台に点滴スタンドがぶつかり、患者の立ち位置や体動が制限され、さらに点滴スタンドの配置に気を配る必要性について負担を感じていた。

「洗面所を使うときにもその足（点滴スタンドの脚の幅）があるので、（洗面所の）端のほうに（自分の）体をもっていってしまう状態なので、もうちょっとコンパクトに脚がならないのかな、と思ってたんです」「これ（点

滴スタンドの脚）はもっと短いほうがいいかなと思うんですよ。ずっと入院していると、テーブル周りとか色々物を置いたりするので、ご飯食べるときとかもいつも手元に点滴（スタンド）をこう（輸液チューブがひっぱられるため自分の近くに）置かないといけなくて、ぶつかったりとか、避けたりしなきゃなんなくて、なのでもっと短ければスイスイ自分の近くに置けたりとか（出来る）」「狭いところを通るときには、人の邪魔になったりする」

参加観察時には、1名の患者が実際に洗面所での自分の立ち位置と点滴スタンドの位置関係について説明し、患者が点滴スタンドの脚の間に立たなければ洗面所を利用できない状況を示した。

(4)【重さ】

患者が点滴スタンドを携行する際に、段差や配線乗り越えたり、避けたりする目的で点滴スタンドを持ち上げるため、点滴スタンドと付帯する輸液バッグや輸液ポンプなどの重さを負担に感じていることを示していた。

「やっぱり重たいっていうのもありますね、本当に。引っかかったときに（点滴スタンドを）ずらすときに結構力があるんですよ」「トイレ入るときは、（段差があるので）ちょっと軽く（点滴スタンドを）持ち上げて、もって行くかですね。（中略）重たいです。一瞬フツとなっちゃう」

(5)【点滴チューブの絡まり】

点滴スタンドを携行する際に支柱が回転し、それに伴って点滴チューブが支柱にまきつくために患者は支柱を回転させて絡まりを解く作業を要する負担を感じていた。点滴チューブが支柱に絡まり長さが短くなることによって、患者と点滴スタンドとの距離が短くなり、患者はベッドに戻ると臥床出来なくなるため、医療者に絡まりを直してもらうのではなく自らで行っていた。

「この管（点滴チューブ）がいつもここ（支柱）に絡まっちゃうんですよ。トイレに行ったり、ちょっと洗面所にいったりとか移動したときに気がついたらクルクルって（支柱に絡まって）なってて、それが嫌ですね。（ベッドに）戻ってきたときに、こうしてまた全部こうやって（支柱を絡まった方向と逆に何度も回転させる様子を実際に示す）戻して（ベッドに戻らなければならない）」

(6)【キャスターの引っかかり】

トイレや部屋の入り口の床面に段差がある場合、段差にキャスターが引っかかり、点滴スタンドのバランスが崩れそうになるため支柱の保持に力を要している。またキャスターが段差に引っかかると走行スピードが変化し、患者の足が点滴スタンドの脚に衝突することを示している。

「(点滴スタンドの)下が段差とかを超えるときに、(自分の)足がひっかかったりする」「段差にひっかかって棒(点滴スタンド)が倒れそうになった」「なんかこういうところ(病室内に配線されている医療機器のコード類)にひっかかって戻すときによいしょって感じになる」

2) 看護師の語りからみた点滴スタンドの問題点

看護師へのフォーカスグループインタビューを分析した結果、点滴スタンド使用時の問題点について【安全性】【安定性の悪さ】【キャスターのひっかかり】【場所をとること】【不十分なメンテナンスと不衛生さ】の5つのカテゴリーが抽出された。

(1) 【安全性】

インタビューに参加した看護師すべてが点滴スタンドに求める第一の機能としての項目として挙げた。これまでの臨床経験から、点滴スタンドが転倒した例、点滴が抜けた例などを示した。このような点滴スタンドにまつわる事故を経験した事例から、看護師は患者に危険のない医療機器としての点滴スタンドを求めている。

「ナースコールが鳴ってたんで(患者のところへ)行ってみたら、点滴棒の下敷きになっていた患者さんがいて、ちょっと寝返りをうったら引っかかっちゃったみたいで、それでバタッと(点滴スタンドが)倒れてきたらしいんですね。それは危険なので」「(支柱の)高さを調節するこれ(調節つまみ)ありますよね。あれに(点滴チューブが)ひっかかったりするのかな。時々(点滴チューブが)何かに引っかかって点滴が抜けたとか、棒にひっかかって、というふうなことも(あった)」

(2) 【安定性の悪さ】

点滴スタンドの脚のバランスが不安定なために点滴スタンドが倒れたり、バランスが不安定になるために支柱がぐらついたことを示す。点滴スタンドが不安定になると、点滴スタンドが転倒するなどの危険性がある。点滴スタンドには、治療上輸液バッグ以外にシリンジポンプや輸液ポンプなどの点滴スピードをコントロールする機器を装着する場合がある。その場合には機器が点滴スタンドの支柱の片側に装着されるため、点滴スタンドの重心バランスが崩れることを示唆している。さらに脚の本数が4本の場合には、点滴スタンドが転倒しやすいという経験があるため、看護師は輸液ポンプを点滴スタンドに装着する場合には脚の本数が4本のものは意図的に選択しないようにしている。

「(点滴スタンドの脚が)4本足ありますよね。あれは危険なのでやっぱり安定性といのはすごく大事なことだと思うので、できれば臨床的に危険なものはもう製造しない方がいい」「安定がやっぱり一番(大事)、そこが

なんていうか輸液ポンプを使う際(専用)の台っていうのもオプションであっていいのかなって思いますね」「輸液ポンプをつけて倒れるようなもの(点滴スタンド)ってやっぱり危険ですよ、結局は」「(点滴スタンドの脚が)4本足には輸液ポンプをつけるなって言われているんですよ、危ないので、重たいと倒れるから」「脚も4つだったり5つだったりっていうのがあって、やっぱり安定感を求めるには(脚の数が)たくさんあったほうがいいのかなって感じはします」

(3) 【キャスターのひっかかり】

キャスター自体の回転がしぶく、点滴スタンドを移動しにくい状況を示す。

「動きづらかったりというのはよくありますね。引っかかってうまく動かないっていうことがあったんですけど」「キャスター自身のあれが、ちょっと回転のしぶいことがあったので」

(4) 【場所をとること】

これは、看護師が病室や患者に同行したトイレ内での限られたスペースで看護を行うときに、点滴スタンドが空間に占める割合が大きいため作業時に支障をきたすことを表す。

「それ専用の(輸液ポンプ専用の点滴スタンド)やつって大きいですよ。妙におおきくってトイレだとかには不便だとか、重たいっていうのがあるんですよ」「トイレが狭いとお腹大きい人(妊婦)があれ(点滴スタンド)押してトイレに行ってどうすればいいのか。」「確かに部屋が狭いっていうか、部屋の問題もあるかと思うんですよ。分娩台と分娩監視装置と入ると(部屋の)片方が(点滴スタンドを含めて)びっちり(いっぱい)って感じになりますね」「怪我はしないかもしれませんが、(点滴スタンドに)躓きますね」

(5) 【不十分なメンテナンスと不衛生さ】

点滴スタンドの点検や清掃が不十分なため、キャスターにゴミや髪の毛が巻きついたり、キャスターが取れたりすることがある。そして、誰がメンテナンスや清掃を担当するのが明確ではなく、トラブルが生じた際に随時対処していることを示す。また、点滴の液が点滴スタンドの脚に垂れたあとの清掃がされないときには、感染対策上問題であると認識している。

「(点滴スタンドのキャスター部分に)ゴミが絡まったりね、そういうのっていうのはこちらの掃除の仕方とかもあるのかもしれないんですけど」「定期的に掃除、車輪の掃除っていうのをどういうふうにすればいいのかっていうのもないですね。あの油差すってこともちょっとわからないので、そういう提言があれば明示されたものがあればいいのかなと思いますけど。何かあったときにし

か見ないので」「前は用務員の方とかに言って定期的にやってもらってたんですけど、ゴミとって、油さしてとって」「それも誰がやるって明確なものは何もないですよ」「それも多分、汚い、あまりにもひどければって感じたときだけですよ」「点滴スタンドの説明書って読んだことがないんですけど、定期的な清掃とか、それ不潔になりますよね、高カロリーの輸液とかしていると液だれとかしてベタベタしてて、私〇〇（他の地域）の方の病院にいたことがあるんですけど、蟻とか這ってきているんですよ、点滴スタンドに、定期的な清掃っていうのは義務づけられていないっていうか、気がつけば拭く程度なので、そういうふうな点をちょっと例えば定期清掃必要とか、そういう指導を受けたことがないなって思いますね。不潔な気がします、すごく。感染の面においても」

III-2. 患者への SD 法による質問紙調査

1) 調査対象者の基本属性と使用している点滴スタンドの属性など（表1）

質問紙票の回収数は 57 名分、回収率 53.8%であった。対象者は、平均年齢 55.49（±18.14）歳、男性 29 名（50.9%）、女性 28 名（49.1%）であった。

「五脚」を使用しているものが、74.1%、「四脚」が 22.2%、「三脚」が 3.7%であった。グリップの形状は、「グリップなし」が 21.8%であった。使用期間は、「2 日以上 1 週間未満」が 58.9%と半数以上、気になる項目では、「音」が最も多く、次いで「動かしにくさ」、「安定性」、「つかみにくさ」の順であった。現在使用中の点滴スタンドに満足であるものは、36 名（64.3%）、不満足であるものは 20 名（35.7%）であった。

2) 現在使用中の点滴スタンドに対する満足度と SD 法によるイメージなどとの関連（表2）（表3）

点滴スタンドに対するイメージに関する SD 法での単純集計を表2に示す。

点滴スタンドの脚部が「5 脚」と「それ以外」の 2 群間、「グリップの有無」では、満足度に差はなかった。

現在使用中の点滴スタンドの満足群におけるイメージを表3に示す。「ごてごてした」、「くらい」、「きらいな」、「きたない」、「うるさい」、「危険な」、「束縛された」、「つめたい」、「重い」、「迷惑な」、「たよりない」の 11 項目で不満足な者が有意（ $p < 0.05$ ）に多かった。

満足度と気になる点については、「動かしにくさ」が気になると回答した者の満足度が有意（ $p < 0.05$ ）に低かった。

表1 調査対象者の基本的属性および使用している点滴スタンドの属性
(n=57)

属性	カテゴリ	n(%)
年齢	全体(Mean±SD) 55.5±18.14	
性別	男性	29 (50.9)
n = 57	女性	28 (49.1)
脚の形状	重心の低い五脚	3 (5.6)
	五脚(支柱と直角)	32 (59.2)
	傘状五脚	5 (9.3)
	四脚	12 (22.2)
n = 54	三脚	2 (3.7)
グリップの形状	グリップなし	12 (21.8)
	平たいグリップ	20 (36.3)
	手形のグリップ	15 (27.4)
	円形グリップ	6 (10.9)
n = 55	棒状グリップ	2 (3.6)
使用期間	本日初めて	2 (3.6)
	2 日以上 1 週間未満	33 (58.9)
	1 週間以上 2 週間未満	7 (12.5)
	2 週間以上 3 週間未満	5 (8.9)
	3 週間以上 4 週間未満	3 (5.4)
n = 56	1 ヶ月以上	6 (10.7)
気になる項目 (複数回答)	音	31 (54.4)
	動かしにくさ	28 (49.1)
	安定性	25 (43.9)
	つかみにくさ	13 (22.8)
	材質	6 (10.5)
	色	1 (1.8)
	形	3 (5.3)
n = 57	その他	2 (3.5)
満足度	とても満足	8 (14.3)
	やや満足	28 (50.0)
	やや不満	19 (33.9)
n = 56	とても不満	1 (1.8)
他用途	あり	14 (24.6)
n = 57	なし	43 (75.4)

3) 点滴スタンドに対する要望についての自由記述

(表4) (表5)

不満足群の点滴スタンドに対する要望を表4に、満足群の点滴スタンドに対する要望を表5に示す。

不満足群は、「多色からの選択」、「温もりを感じるものの」、「騒音の解消」、「キャスター部分の円滑性向上」、「安定性向上」、「治療中の活動を自由にするオプション」、「不潔さの打開」、「状況対応・万能型」、「点滴目的にのみ使用」の要望が出された。

満足群は、「現状に満足している」とした上で、「明るい暖色」、「気持ちを明るくするデザイン」、「デザイン重視」、「単純・シンプル」、「軽量化」、「高さの易調節」、「携行品向けオプション」、「小児向け」、「高齢者向け」、「静止機能付」、「車イス使用時の利便性」が挙げられた。

表2 SD法によるイメージ

イメージA 人数(%)	中間群 人数(%)	イメージB 人数(%)
細い 10(17.5)	— 29(50.9)	太い 17(29.8)
やわらかい 4(7.0)	— 19(33.3)	かたい 32(56.1)
すっきりした 25(43.9)	— 15(26.3)	ごてごてした 14(24.6)
あかるい 11(19.3)	— 32(56.1)	くらい 11(19.3)
すきな 5(8.8)	— 34(59.6)	きらいな 14(24.6)
低い 3(5.3)	— 35(61.4)	高い 15(26.3)
くさい 5(8.8)	— 46(80.7)	かぐわしい 3(5.3)
丈夫な 31(54.4)	— 20(35.1)	もろい 3(5.3)
きたない 15(26.3)	— 24(42.1)	きれい 16(28.1)
しずかな 9(15.8)	— 11(19.3)	うるさい 35(61.4)
危険な 14(24.6)	— 24(42.1)	安全な 17(29.8)
束縛された 26(45.6)	— 14(24.6)	自由な 15(26.3)
あたたかい 8(14.0)	— 23(40.4)	つめたい 25(43.9)
軽い 16(28.1)	— 17(29.8)	重い 21(36.8)
迷惑な 7(12.3)	— 24(42.1)	ありがたい 24(42.1)
たのもし 21(36.8)	— 28(49.1)	たよりない 6(10.5)

表3 点滴スタンドに対するイメージと満足度の関連

イメージA	各群における満足群該当			イメージB
	イメージA該当群 人数(%)	中間群 人数(%)	イメージB該当群 人数(%)	
細い	7(70.0)	19(67.9)	9(52.9)	太い
やわらかい	4(100.0)	11(57.9)	19(61.3)	かたい
すっきりした	21(84.0)	7(50.0)	5(35.7)	ごてごてした*
あかるい	10(90.9)	20(64.5)	3(27.3)	くらい*
すきな	5(100.0)	25(75.8)	2(14.3)	きらいな*
低い	3(100.0)	22(62.9)	7(50.0)	高い
くさい	1(25.0)	29(63.0)	3(100.0)	かぐわしい
丈夫な	22(71.0)	10(50.0)	2(66.7)	もろい
きたない*	4(28.6)	15(62.5)	15(93.8)	きれい
しずかな	9(100.0)	6(54.5)	19(55.9)	うるさい*
危険な*	4(30.8)	15(62.5)	15(88.2)	安全な
束縛された*	8(32.0)	11(78.6)	15(100.0)	自由な
あたたかい	8(100.0)	16(69.6)	11(45.8)	つめたい
軽い	13(81.3)	12(75.0)	8(38.1)	重い*
迷惑な*	4(57.1)	8(34.8)	22(91.7)	ありがたい
たのもし	18(85.7)	14(51.9)	2(33.3)	たよりない*

*p<0.05

表4 不満足群の点滴スタンドに対する要望（自由記述）

自由記述の内容	ラベル
・タテ棒の多色化 ・何色かある ・カラフル	多色からの 選択
・金属的な冷たさではなく、もう少し温もりが欲しい ・銀一色はいやです…	温もりを 感じるもの
・夜間うるさい ・移動時の声が気になるいかにも点滴人が通るとい う感じを与える ・音がうるさかったのでもっと静かになれば…	騒音の解消
・ベッドサイドテーブルの脚がじゃま ・1個ずつつけてあるためエレベーターなどすきま (段差)に引っかかりやすい ・スタンドを動かし始める時や動かしている途中にす べりが悪くなり、びっくりする ・円盤形にして中に大きなグルグルまわる玉（パソコ ンのマウス）のようなものはどうか	キャスター 部分の 円滑性向上
・キャスターの部分が安定感がない感じがする。 ・安定感のあるもの	安定性向上
・ペットボトルホルダー ・尿の袋とかつり下げられるようにしたい。 ・点滴ホースが収納できる	治療中の活動 を自由にする オプション
・色々な人が触るので（多分）不潔な感じがする。グ リップ抗菌材質？	不潔さ打開
・就寝時、移動時にも取扱可能なヘッドレス型 or リュック型	状況対応 ・万能型
・シンプルにスタンドだけに使用すること ・他の用途に使用することは事故の元になる	点滴目的に のみに使用

表5 満足群の点滴スタンドに対する要望（自由記述）

自由記述の内容	ラベル
・色もオレンジとか明るい色が好ましい ・色はきれいなピンク（持ち手）良い ・クリーム色など明るい物がよい。	明るい暖色
・デザイン次第では、もっと明るい入院スタイルや治 療スタイルができそう ・かわいかったり、オシャレな色やデザインになると、 気分がめいっていても、ほほえましくなる	気持ちを 明るくする デザイン
・スタイリッシュな感じ ・デザインもオシャレにしたいと思っています ・やっぱりかわい〜物を使っていたい ・スタンドの吊す部分を「スズラン」のようにする	デザイン重視
・機能は単純であるべき ・形—シンプル ・デザインはシンプル	単純 ・シンプル
・軽い材質の物 ・材質—プラスチック、カーボンファイバー ・支柱をもう少し細く軽量化して、移動しやすくする	軽量化
・高さ、取手等は身長に合わせて調節できたら良い ・使う人の背の高さにあわせて手軽に調整できるもの	高さの易調整
・配膳する時に、お盆を支える折りたたみ式台 ・小物入れ	携行品向け オプション
・子供には色とかキャラ物でちょっとは変わるかも。	小児向け
・高齢者が歩く時の支点とするなら、スタンドの作り をもっと丈夫にしなければならない ・お年寄りの方が使用の際、買い物袋など手に提げて 歩いているが、つらそうに見える。	高齢者向け
・車にブレーキ（ノック歯止） ・手元で操作できる簡単なロック機能	静止機能付
・車椅子等で移動するとき、段差をスムーズに ・車いすを使用するときもっと便利にならないものか	車イス移動時 の利便性

IV. 考察

本研究では、ユーザーである患者と看護師の使用感を調査するために、実際に点滴スタンドが使用されている臨床においてインタビュー調査、フィールドワーク、そして質問紙調査を行った。得られた結果から、実際に臨床で点滴スタンドを使用しているユーザーからみた点滴スタンドの使用感とユーザビリティ評価について考察する。

IV-1. インタビュー調査結果からみた患者と看護師の点滴スタンドの使用感について

分析結果より、患者、看護師ともにユーザビリティ評価として、現状の点滴スタンドには使い勝手の面において問題が認められた。患者は不自由を感じている点について、特に移動時の音の問題を精神的な負担として感じていた。特に、自分の点滴スタンドの騒音が同室者に迷惑をかけるのではないかと気を使い、療養中にもかかわらず点滴スタンドを持ち上げたり、キャスターの音が大きくならないように操作時に工夫するなどして構造上の問題点を改善を試みていた。点滴スタンドの操作時に発生する音については、不快な音であることは容易に想像される。しかし、実際の音圧、周波数を測定した文献は見られず⁷⁾、調査が必要と考える。

看護師は、これまでの経験から点滴スタンドの問題点について不十分なメンテナンスと不衛生さについて実例を挙げて意見を述べていた。これは、鈴木ら⁸⁾が「清掃のしづらさ」を点滴スタンドの問題として挙げた調査結果とも一致している。臨床の場において点滴スタンドのメンテナンスや清掃を担当するのは医療従事者以外であることが多く、問題が生じて改善までに時間を要している。したがって、点滴スタンドの構造上の改善と機能性を保持するためには、清掃やメンテナンスの実施が適宜行われる必要があると考える。

患者の安全性を保つためには、看護師は点滴スタンドの転倒や点滴の誤抜去を避けなければならない⁹⁾。看護師は点滴スタンドの脚の数が安定性に強く影響すること経験上認識しており、意図的に安定性が高いと思われる点滴スタンドを選択して使用していると考えられる。しかし、使い手である患者の予期せぬ体の動きや行動範囲、環境因子により、看護師が配慮していても点滴スタンドの転倒事故等が起きていることを示唆している。したがって、点滴スタンドの安全性を考慮するためには、点滴スタンドの脚の数や安定性を考慮するだけでなく、ユーザーの特徴を捉え、ベッド周囲を含めた病床環境の多様な因子の影響についても考える必要がある。

IV-2. 質問紙調査結果からみた点滴スタンドに対する患者の満足度について

SD法において、点滴スタンドに関するユーザーの満足度と関連が認められた項目は、「ごてごてした」、「くらい」、「きらいな」、「きたない」、「うるさい」、「危険な」、「束縛された」、「つめたい」、「重い」、「迷惑な」、「たよりない」といったネガティブなイメージを持つものであった。さらに自由記述から、温もりを感じるような親近感のあるものにして欲しいという要望があった。すなわち、点滴スタンドが治療環境の一部として、親近感を与えるものである必要性を示唆しているものと考えられる。患者にとって病室は「生活の場」である¹⁰⁾ため、患者が使用する医療機器の使い勝手を改善することは患者の生活環境を整える看護につながると考える。上記のような「環境因子」は、患者の生活機能に大きな影響を与えるため、その快適性を阻害する因子を改善していく必要がある¹¹⁾。

質問紙の自由記述において、不満足群は、現状の不満足要素の解消、満足群は、よりよくするための提案を挙げているものと思われる。気になる点において、満足と有意な関連が認められた項目が、「動かしにくさ」であっただけに、不満足群では「キャスター部分の円滑性向上」が要望にあげられたものと考えられる。

IV-3. 点滴スタンドのユーザビリティ評価

病床環境において発生する音として、「患者が発生させる音」「医療者が発生させる音」「それ以外の人や物が発生させる音」があるとされている⁷⁾¹²⁾。点滴スタンドに関する「音」は、医療者、患者両者が発生させる騒音と考えられる。インタビューでは、患者自身の操作により発生させる「音」が、「他者に迷惑をかけるのではないかと」日中も夜間も行動する際に最も気を遣っている患者の様子が窺えた。しかしながら、質問紙では、気になる項目として最多の回答を得たが、満足度との有意差は認められなかった。このことは、患者にとって「音」が気になるレベルではあるものの、「騒音」としての不快感をもたらすレベルにまでは至っていないのではないかと推察される。質問紙の自由記述において、「騒音の解消」が不満足群から挙げられたことは、音が騒音と感じられるのは、不眠や体調が不良の時であったという調査結果¹¹⁾から、恐らく体調不良時の不快経験によるものではないかと考える。このことは、インタビュー結果により得られた問題点である操作性や騒音についての不満足を強調した結果と考えられる。

本調査結果を鑑みると、点滴スタンドの一時的利用者としての患者による点滴スタンドのユーザビリティ評価

は、点滴スタンドの形状よりも主観的な使用感や印象と満足感が関連していることが推察された。操作性や安全性については、点滴スタンドの設計上から開発がすすみ、バランスが良く倒れにくい5脚型が望ましいと言われていた。しかしながら、患者の満足は形状と関連を認めなかった。一方、SD法では「ごてごてした」「くらい」「きたない」といった視覚的な情報、「つめたい」「重い」といった触感的な情報、「うるさい」という聴覚的な情報、「束縛された」「迷惑な」「たよりない」といった自分との関係性から判断する情報、などから満足度を判断していることが明らかになった。現状において、どの点滴スタンドを使うかの選択の際は、医療者がイニシアティブを取っているのが一般的である。もちろん、患者の状態をアセスメントし、適切と考えられるものを用いているが、患者が使用感を確かめたうえで、より使い勝手のよいものに変更すること、すなわち評価からのフィードバックが十全ではないことも、推察される。今後は、ユーザーの多様性を考慮し、ユニバーサルデザインであること、患者が自ら選択可能なバリエーションとシステムが求められているのではないかと考える。

V. 結論

点滴スタンドは医療用具の中でも患者に身近であり、外来・入院ともに多くの患者や看護師が使用するにもかかわらず、本研究結果からは使い手にとって満足が得られない複数の問題点が存在していることが明らかになった。点滴スタンドを使用している患者と看護師の点滴スタンドのユーザビリティ評価は、発生する音の大きさ、安定性、脚幅の大きさ、操作性といった構造上の問題点等により評価が低かった。そして、これらの要素と患者の点滴スタンド使用時の満足度には関連が認められた。よって、患者の療養生活の質の向上と安全性の保持のためには、デザインを含めた構造や形状に改良の余地があると思われる。

VI. 謝辞

本研究の実施にあたり調査にご協力してくださいました医療関係者の皆様と研究協力者の皆様、ならびに資料提供のご協力をしてくださいました(株)大塚製薬、(株)パラマウントベッドと(株)竹山の関係者の方々に心よりお礼申し上げます。

引用文献

- 1) F. ナイチンゲール, 湯槇ます監修: ナイチンゲール著作集第1巻. 東京: pp.149-154, 現代社, 1975
- 2) ヴァージニア・ヘンダーソン, 湯槇ます・小玉香津子訳: 看護の基本となるもの. 東京: 日本看護協会出版会, pp. 56-59, 1961
- 3) 川村治子: ヒヤリハット 11000 事例によるエラーマップ完全本. 東京: 医学書院, pp.73-75, 2003
- 4) 安藤詳子・渡邊憲子・渡邊順子他: 入院患者による病院生活環境評価―(その1) 設備品に関して―. 病院管理 34(4): 43-47, 1997
- 5) 大河原千鶴子・酒井一博編集: ヘルス・ケア・ワークを支える看護の人間工学. 東京: 医歯薬出版株式会社, pp.135-136, 2002
- 6) 中川聡監修, 日経デザイン編: ユニバーサルデザイン実践マニュアル. 東京: 日経 BP 社, pp.174-180, 2005
- 7) 大倉美穂・黒田裕子: 病床における音環境のエビデンス. 臨床看護 28(13): 1923-1932, 2002
- 8) 鈴木里利, 安田恵美子, 新藤悦子: 点滴架台の改良・開発に関する研究(1)点滴架台の使用に関する現状調査. 日本看護技術大会第4回学術集会講演抄録集: 61, 2005
- 9) 中島紀恵子: 生活の場から看護を考える. 東京: 医学書院, pp.106-113, 1994
- 10) 吉田恵子・川島みどり: 看護婦が患者になってベッドサイドからケアの質を問う. 東京: 看護の科学社, pp. 15-18, 1997
- 11) 上田敏: ICF (国際生活機能分類) の理解と活用―一人が「生きること」「生きることの困難 (障害)」をどうとらえるか. 東京: 萌文社, pp.22-49, 2005
- 12) 大沼栄子・平野照子: 患者が不快と感じる音一音に対する患者の意識調査と音の測定―. 看護学雑誌 58(4): 4334-339, 1994

点滴スタンドのユーザビリティ評価 (第2報) 点滴スタンド使用時の騒音についての考察

三 谷 篤 史¹⁾, 酒 井 正 幸¹⁾, 多 賀 昌 江²⁾, 神 島 滋 子²⁾, 照 井 レ ナ²⁾

¹⁾ 札幌市立大学デザイン学部, ²⁾ 札幌市立大学看護学部

抄録: 第1報において実施した患者のインタビュー調査結果の中で, 特に点滴スタンド使用時の騒音が問題点として指摘された。騒音は, 点滴スタンドの大きさや重さ, 形状寸法といった機械的特性に依存する要素と, 使用者の違いすなわち点滴スタンドの棒の高さ, 把持位置, 移動速度に依存する要素が存在する。本研究では, 7種類の形状の異なる点滴スタンドを用意し, それらを二人の被験者が使用する場合についての騒音を計測し分析を行った。分析には高速フーリエ変換 (FFT) を適用した。これらの結果から, 点滴スタンドに存在する機械的なすきまの差異が, 騒音の大きさに影響を与えることがわかった。これらは, 点滴スタンドの機械的なすきまが発生源となることを示唆しており, それらの解消が低騒音化の一手法であることを示している。また, 同一の負荷条件においても, 点滴スタンドによって最大 40 dB の騒音の違いを生じた。これは, 使用者の身長や歩行速度が, 音の大きさに影響を与えることを示している。したがって, 点滴スタンドのユーザビリティを下げる騒音の問題の一つは, 点滴スタンドの構造的な問題であることが示された。

キーワード: 点滴スタンド, ユーザビリティ評価, 騒音解析, 周波数特性, 高速フーリエ変換 (FFT)

I. はじめに

第1報において実施した点滴スタンドのユーザビリティ評価についての半構成型インタビューにおいて, 点滴スタンドのユーザビリティを下げる要素として「使用時における騒音」が挙げられた。他者による音の調査^{1)~3)}においても, 気になる音・不快な音の一つとして上位を占めている。騒音は点滴スタンドのもつ機械的なすきまによるがたつき, 環境との干渉や部品どうしの接触によって生じる。騒音における周波数特性は, 騒音源となる対象の機械的特性によって変動する⁴⁾。すなわち騒音は, 点滴スタンドに生じている機械的振動と密接な相関がある。点滴スタンドの騒音を低下させることは, 点滴スタンドの振動を低減させることにつながり, その結果点滴スタンドの使用時における安定性・安全性の向上が期待できる。点滴スタンドの騒音低減化を目指す場合には, 点滴スタンドの物理パラメータと騒音の関連性を見極めることが重要である。

そこで本研究では, 点滴スタンド使用時に発生する騒音に着目し, 形状および寸法の異なる7種類の点滴スタンドを用意してそれぞれの使用中に生じる騒音を解析した。はじめに, 点滴スタンドの物理パラメータおよび構造を検証した。次に, それぞれの点滴スタンドを二人の被験者が使用する場合における騒音を測定した。ここで

は, 被験者の身長差によるスタンドの高さ, および吊り下げる点滴袋の重さ, すなわち負荷条件による騒音の変化を検証した。

II. 点滴スタンドの機構解析

実験のために用意した7種類の点滴スタンド1から7について, それらの機械的特性を検証した。点滴スタンドの写真を図1から7に, 概略図を図8に示す。この図において, 記号R, SおよびTはそれぞれ吊り下げ部, 上下軸連結部, およびキャスター部を示す。また, 寸法a, b, c, d, e, f, gおよびhはそれぞれ可動軸長さ, 可動軸直径, 固定軸長さ, 固定軸直径, 軸からキャスター取付位置までの距離, キャスター軸の振れ幅, 足の厚さ, および足の高さを示す。寸法φはキャスターの直径, rは軸から点滴袋吊り下げ位置までの距離である。本研究で用意した点滴スタンドについて, それぞれの寸法および重量を表1に示す。なお, 単位は長さがcm, 重量がkgである。図1から7より, 点滴スタンドには以下のような構造のちがいがある。

- (1) 足の数: 4本または5本
- (2) 上下軸連結部の構造: 抜けるまたは抜けない
- (3) 点滴棒吊り下げ部: 固定式または回転自由
- (4) 取手の有無



図 1 点滴スタンド 1



図 4 点滴スタンド 4



図 2 点滴スタンド 2



図 5 点滴スタンド 5



図 3 点滴スタンド 3

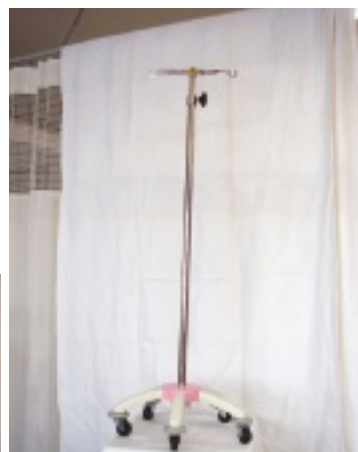


図 6 点滴スタンド 6



図7 点滴スタンド1

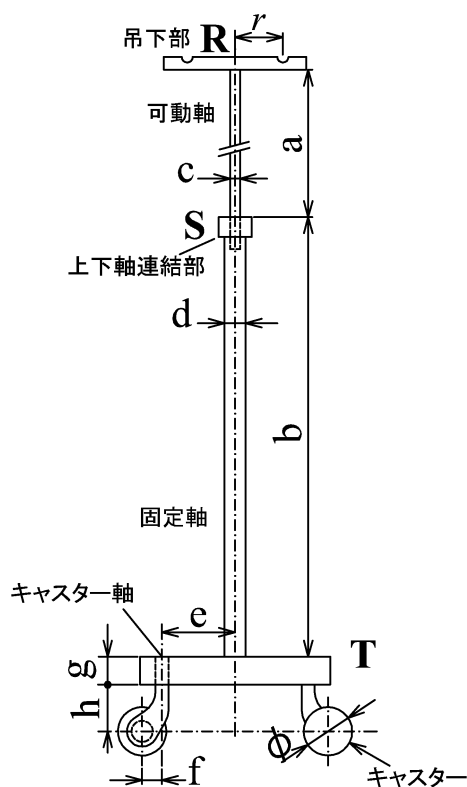


図8 点滴スタンドの概略図

表1 点滴スタンドの各パラメータ

スタンド	1	2	3	4	5	6	7
a	98.0	86.0	91.5	97.0	80.5	97.0	122.0
b	102.0	91.5	101.0	99.0	105.0	98.5	101.5
c	1.6	1.6	1.7	1.6	1.6	1.7	1.6
d	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
e	21.0	21.0	23.5	23.5	24.0	24.5	24.0
f	2.0	2.0	2.5	2.0	3.3	1.5	1.5
g	3.0	2.5	3.5	3.5	2.8	2.0	2.5
h	4.0	4.0	4.3	2.0	5.5	5.5	5.0
ϕ	5.0	4.0	7.5	5.0	7.5	5.0	5.0
r	15.0	14.5	13.0	13.0	13.0	14.0	14.0
重量[kg]	6.1	4.5	4.6	3.1	4.2	3.3	5.0

表2 点滴スタンドの構造的特徴

スタンド	1	2	3	4	5	6	7
足の数	4	4	5	5	5	5	5
連結部構造	抜ける	抜ける	抜けない	抜ける	抜けない	抜ける	抜ける
吊下部	自由	自由	固定	自由	固定	自由	自由
取っ手	無し	無し	有り	無し	有り	無し	無し

それぞれの点滴スタンドにおけるこれらの特性について、表2にまとめた。

III. 騒音測定実験

III-1. 実験方法および負荷条件

実験のために用意した形状の異なる7種類の点滴スタンド（スタンド1から7）において、それぞれの点滴棒を同一高さに調整し、点滴袋や機材を取り付けた状態で使用したときの騒音を計測した。なお、被験者は健常な男女各1名とした。

被験者の身長と点滴スタンドの条件を表3に示す。また負荷条件は以下のように設定した。

負荷条件1：ソフトバッグ500 ml+3方活栓+延長チューブ1m

負荷条件2：ソフトバッグ1,000 ml+3方活栓+延長チューブ1m

負荷条件3：ソフトバッグ500 ml+3方活栓+延長チューブ1m+輸液ポンプ1台装着

また、図9に実験方法を示す。実験は本学桑園キャンパス実習室にて行い、被験者が10mの距離を2往復する間様子をデジタルビデオカメラを用いて撮影した。得られた動画から音声ファイルを分離し、それらを解析することにより騒音を測定した。騒音の解析

表3 被験者の身長と点滴スタンドの条件

[cm]	身長	スタンド高さ	点滴溜まりの顎高さ
被験者A	178.0	190.0	153
被験者B	156.5	178.0	141

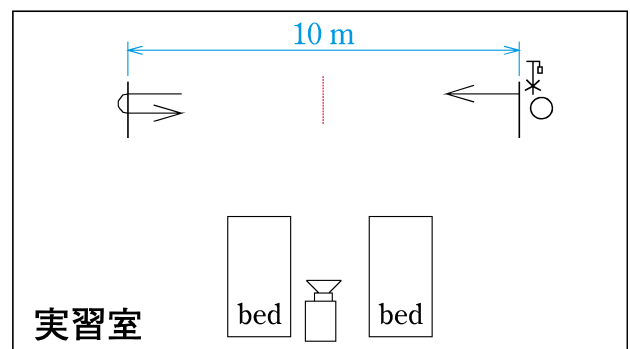


図9 測定方法

には高速フーリエ変換（FFT）を用い、騒音の周波数スペクトルを分析した。

III-2. 実験結果

はじめに、負荷条件を同一とし、点滴スタンドを変えた場合における騒音の違いを検証した。ここでは、被験者Aにおいて、負荷条件を1とした場合の実験について、騒音が最大であったスタンド1と最小であったスタンド5を比較した。結果を図10に示す。なお、横軸が周波数(Hz)、縦軸がマイク信号の大きさを表すデシベル(dB)である。スタンド1と5において、同一負荷条件下にあるにもかかわらず、平均で10 dBの騒音の違いが生じ、特に4.5 kHz付近で最大30 dBの騒音の違いが生じた。同様に被験者B、負荷条件1において、騒音がそれぞれ最大および最小であったスタンド4および5を比較した結果を図11に示す。この場合においては、1.5 kHz付近および4.0 kから5.0 kHz付近で40 dBの騒音の違いが生じた。

次に、同一の点滴スタンドおよび負荷条件において、被験者が異なる場合の騒音の違いを比較した。ここでは、双方の被験者において最も低騒音であったスタンド5を用い、負荷条件を1とした場合の騒音を比較した。結果を図12に示す。

騒音はほぼ同様な傾向を示しているものの、被験者Bの方が全体的に10 dBほど高い結果となった。

さらに、同一の点滴スタンドにおいて、負荷条件を変えた場合の騒音の違いを検証した。図13に、被験者Aおよびスタンド5、図14に被験者Bおよびスタンド5、図15に被験者Bおよびスタンド1における騒音比較をそれぞれ示す。図13および14を比較すると、被験者Aの場合は負荷に応じて最大20 dBの違いが生じているのに対し、被験者Bの場合は負荷にかかわらずほぼ一定の騒音レベルとなっている。一方、図15ではそれぞれの負荷に対して同一の傾向ながら、周波数によっては10から30 dBの騒音変化が現れている。

III-3. 考察

図10および11の結果から、同一の負荷条件においても、異なった点滴スタンドを用いることにより最大30 dBの騒音の違いが生じた。これらの原因として、点滴スタンドの構造的特性が挙げられる。両スタンドの構造を比較すると、スタンド5は上下の軸が抜けない構造になっているだけでなく、吊り下げ部が固定されているモデルである。すなわち、スタンド1に比して機構的なすきまや遊びが少なく、それらが騒音の低下をもたらしたと考えられる。

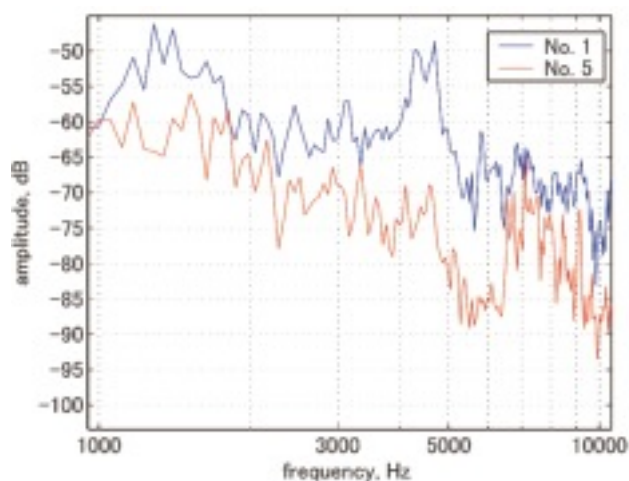


図10 被験者A、負荷条件1における騒音比較
(キャプションのNo. はスタンドの番号を示す)

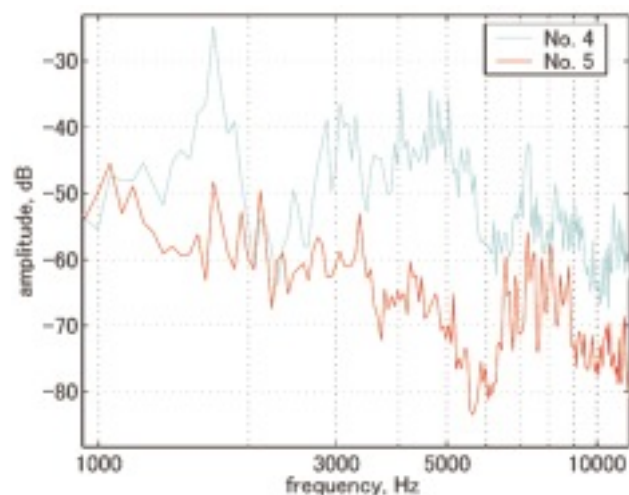


図11 被験者B、負荷条件1における騒音比較

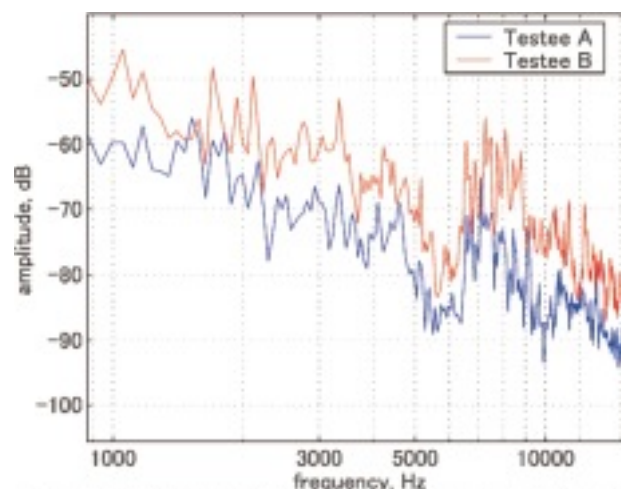


図12 スタンド5、負荷条件1におけるによる被験者による騒音の違い
(キャプションのTesteeは被験者を意味する)

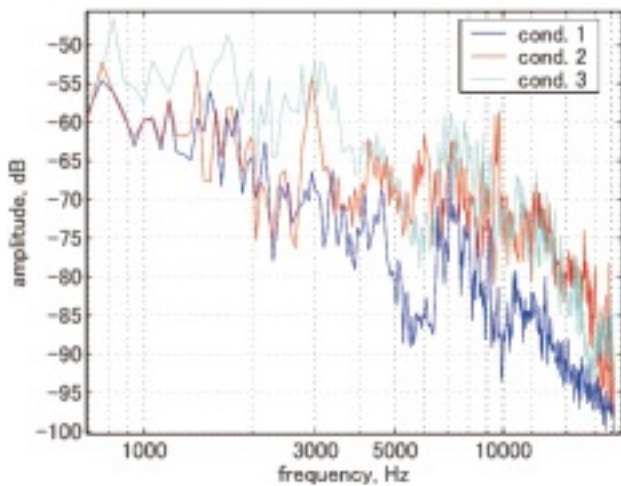


図 13 被験者 A, スタンド 5 における負荷条件による騒音の違い
(キャプションの cond. は負荷条件を意味する)

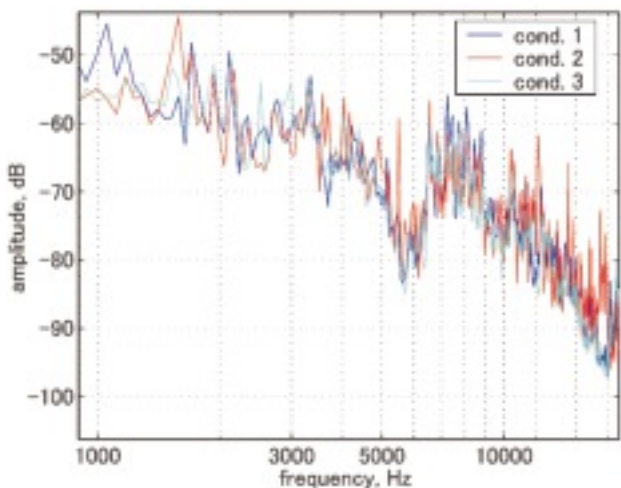


図 14 被験者 B, スタンド 5 における負荷条件による騒音の違い

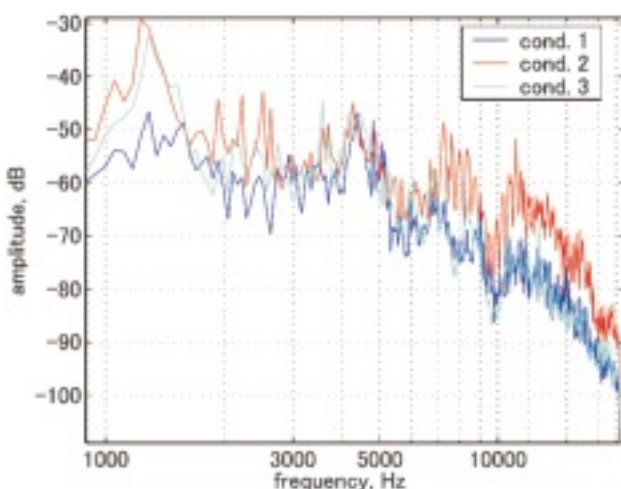


図 15 被験者 B, スタンド 1 における負荷条件による騒音の違い

図 12 の結果より、同一の負荷条件および点滴スタンドであっても、異なった騒音が生じている。ここでの実験条件の違いは、身長の違いに由来する点滴スタンドの高さ、および歩行速度が挙げられる。被験者 A および B の点滴スタンド高さはそれぞれ 190 cm, 178 cm であり、歩行速度はそれぞれ 0.89 m/s, 0.96 m/s であった。これらは、騒音を最小化するスタンド高さおよび速度が存在することを示唆している。

図 13 から 15 における騒音計測結果においては、負荷条件や被験者によって、それぞれ異なった傾向が生じた。これは、負荷条件や被験者によって騒音特性が大きく変わることを意味しており、これらの要因をより正確に把握するには、実験条件が騒音におよぼす影響についての検証が必要となる。

IV. おわりに

本研究では、点滴スタンド使用時における騒音の検証により、以下のことが分かった。

- ・同一の負荷条件でも、点滴スタンドの構造によって騒音の違いが生じる。
- ・同一の負荷条件および点滴スタンドであっても、点滴スタンドの高さによって騒音の大きさが異なる。
- ・点滴スタンドの騒音は、複合的な要因により生じる。

また、実験結果から、全般的に最も騒音が小さかったのはスタンド 5 であった。スタンド 5 は、本研究で用意した 7 種類の点滴スタンドのうち、キャスター径が最も大きくかつ低重心で、上下軸連結部や点滴吊り下げ部の機械的なすきまが少ない構造をしている。これらの特長が低騒音化をもたらしていると考えられる。したがって、点滴スタンドの低騒音化を考えるには、それらの騒音が生じる要因を減らすことが必要である。騒音源となる要因の一つにキャスターが挙げられる。キャスターは床面との接触点であり、段差や壁面に衝突することによって騒音が生じるだけでなく、キャスターの経時的劣化により駆動音が増大するという問題がある。

一方、本研究で実施した実験の環境は、外部環境から侵入する雑音を低減するための対策を行っておらず、実験データはそれらの雑音を含んでいる。点滴スタンドから生じる騒音をより正確に検証するためには、それら雑音の影響を低減する必要がある。これらの方法として、以下の方法が考えられる。

- (1) 実験環境における暗騒音を計測し、それらと実験結果を比較することにより雑音を除去する。
- (2) 残響室や無響室のような、雑音が侵入しにくい音響実験施設内に、同一の実験環境を構築し、同様な実験を

行う。

(3) 点滴スタンドの動特性を定式化し、ダイナミクスの振動解析を行うことにより、点滴スタンドに生じる騒音の周波数成分を推定する。ダイナミクスモデルに現れない周波数成分を雑音として扱う。

(1)の方法は、本研究で利用した実験環境が、周辺を走る自動車や電車の音など種々の雑音が入りやすく、雑音を完全に除去することは非常に困難である。すなわち、外部からの雑音を特定する方法を検討する必要がある。

(2)の方法は、上述の音響実験施設内にどのように実験環境を構築するかを検討する必要がある。特に、音響実験施設の壁面は、むき出しのコンクリートスラブやウールマット、宙ぶりの床面などで構成されており、一般的な病院とは大きく異なる。これらを考慮して実験環境を整える必要がある。

(3)の方法は、騒音が点滴スタンドの動特性に依存するため、妥当な方法であると考えられる。しかし、今回の実験により、点滴スタンドの高さや移動速度、把持位置が騒音に影響を与えることがわかった。これは、被験者の使用方法が騒音に影響を与えることを示しており、点滴スタンドそのものの動特性解析だけでなく、それを使用する被験者の動作分析をも含めて検討していく必要がある。すなわち、点滴スタンドの動特性モデルの中に、使用者に依存するパラメータが存在していることを示しており、それらをどのように同定するかという課題がある。

今後はこれらの問題を検証するために、以下について検討する。

- (1) 点滴スタンドの移動速度による騒音の違い。
- (2) 床面の状態による騒音の違い。
- (3) 点滴スタンドの経時的変化に伴う騒音の違い。
- (4) 雑音除去に最適な方法の検証。

V. 謝辞

本研究の実施にあたり、御協力してくださいました医療関係者の皆様と研究協力者の皆様、ならびに資材提供のご協力をしてくださいました(株)大塚製薬、(株)パラマウントベッドと(株)竹山の関係者の方々に心よりお礼申し上げます。

引用文献

- 1) 大沼栄子・平野照子：患者が不快と感じる音一音に対する患者の意識調査と音の測定一。看護学雑誌 58(4)：334-339, 1994
- 2) 岸由佳子・斉藤博貴・中川仁他：病む人の生活環境を考える一病棟における音の実態調査一。看護技術 41(3)：95-101, 1995
- 3) 大倉美穂・黒田裕子：病床における音環境のエビデンス。臨床看護 28(13)：1923-1932, 2002
- 4) 秋下貞夫・三谷篤史：圧電素子アクチュエータを用いた床衝撃音のアクティブコントロールシステム。システム制御情報学会論文誌 18(8)：276-283, 2005

現代芸術論におけるデザイン学生の授業感想と教員からの通信 #1

ダダイズムからポップアートと1960年代の美術までの現代美術

上遠野 敏

札幌市立大学デザイン学部

抄録：本研究は「ダダイズムからポップアートと1960年代の美術まで」の50年間の現代美術を分かり易く解説したものである。本学デザイン学部の授業「現代芸術論」での毎回の授業感想で書かれた学生の質問や疑問を、次の授業までに筆者が返答を作成して「上遠野通信」として配布したものを基にしている。特に関連の深い記述を抜粋して、講義で教授した内容や、美術の考え方、学生からの質問や感想の分析と考察を交えて、現代美術の基本理念、表現の時代背景、表現の地域特性、作品概念、表現論の観点から明らかにした。デザインや芸術文化を創造するためには、先人の歴史を学ぶと同時に芸術文化も学ばなければならない。創造の源泉として、本研究が考え方の大きなヒントになるであろう。「ダダイズムからポップアートと1960年代の美術まで」を#1、「ミニマルアートからニューペインティングまで」を#2、「1980年代の美術～現在（2007年）まで」を#3とした。現代美術の系譜を通して作品の理解を深めることを目的としている。

キーワード：現代美術の基本理念、表現の時代背景、表現の地域特性、作品概念、表現論

I. 研究の背景・目的

芸術は「哲学の具象」である。特に現代美術は「時代を映す鏡」とも言われ、時代背景と密接な関係を結んだメッセージが現れている。それは表現の自由を最大限に保障している証である。しかし現代美術に対して本学デザインの学生を含め人々の情報は極端に乏しく、難解であり垣根が高いと感じているのが一般的である。鑑賞する側にも多少の知識を必要とするのは「美」の価値観が時代とともに変化して、創造の概念が拡張しているからと言える。本学2年生を対象にした「現代芸術論」の講義では、1910年代のダダイズムから2007年の現在までの流れを、先人のユニークな創造の作品スライドを見せながら、筆者が現代美術家としての目を持って易しく解きほぐした。表現の自由を尊重しながら、発想の展開を理解することは、デザイン活動においても自己の心を解放して創造空間を拡張してくれるものと確信している。

本研究では「ダダイズムからポップアートと1960年代の美術まで」の50年間の作品を通して講義した内容と併せて、学生から寄せられた質問に答えることによって、「現代芸術の基本理念、表現の時代背景、表現の地域特性、作品概念、表現論」の観点から現代芸術の歴史を概観し表現の根幹を明らかにした。

学生の現代美術に対する戸惑いや興味は、授業を進めの中で理解が深まり親しみへと変化する心理も読み取ることができる。本学の特徴である看護学部との学部連携

の授業においても、デザイン教育においても現代美術の創造の歴史を系譜を通して理解を深めることは、人間性をより豊かにして、デザインや看護の専門性をより拡充することが期待できる。

II. 研究方法

1. 現代芸術論について

受講生88名、本学デザイン学部2年生76名、札幌市立高等専門学校専攻科1年生12名。

選択科目、2年次前期、90分×15回、2単位

〈科目のねらい〉

現代芸術の基本理念とその特徴を、時代背景や地域特性とともに概説する。モダンアート、ダダイズム、シュルレアリスム、抽象表現主義、ポップアート、ミニマルアート、アースワーク、コンセプチュアルアート、ポストモダニズム等について、代表的な作家の作品を紹介しながら、歴史的・地域的特徴について概観する。

〈授業の目標〉

- ・20世紀から現在までの現代芸術が系譜を通して理解することができる。
- ・現代芸術の理解を深めることによって、デザインの専門性を拡充することができる。
- ・表現の自由を尊重し、発想の転換や創造の概念を学ぶ。

表1 現代芸術論シラバス

第1回	現代美術概説：モダンアートから現代までの流れ1	アート関連：ショートフィルム紹介1
第2回	現代美術概説：モダンアートから現代までの流れ2	// 2
第3回	芸術の転覆①：マルセル・デュシャンの反芸術的たぶらかし	// 3
第4回	芸術の転覆②：ダダイズム、シュルレアリスム	// 4
第5回	脱イリュージョン：抽象表現主義、アンフォルメル、具体美術	// 5
第6回	大衆文化の夜明け①：ネオダダ、ポップアート、フォトリアリズム、オブアート	// 6
第7回	大衆文化の夜明け②：ブリティッシュポップ、ヌーボレアリズム、ネオダダ・オルガナイザーズほか	// 7
第8回	概念の構築：ミニマルアート、プライマリー・ストラクチャー、コンセプチュアルアート	// 8
第9回	物の言葉を聴く①：アースワーク	// 9
第10回	物の言葉を聴く②：アルテポーベラ、もの派	// 10
第11回	ポストモダニズム①：ニューペインティング	// 11
第12回	ポストモダニズム②：1980年代の美術・アートメディアとしての写真、ニュースカルプチャーなど	// 12
第13回	多様化する表現：1990年代の美術・シミュレーションほか	// 13
第14回	物質と非物質の行方：現在の美術	// 14
第15回	映像アートの検証	

〈授業の流れと内容〉

第1回から第7回までの講義の現代美術のながれが本研究の考察事項である（表1を参照）。

授業では豊富なスライド資料と映像資料、レジュメ、参考資料を用いて行われる。第1～2回の現代美術概説をふまえ、第3～4回、芸術の転覆：現代美術の祖と言われるマルセル・デュシャンを中心に上げ、ダダイズムやシュルレアリスムの作品を紹介した。併せて、当時の美術である、キュビズム、フォービズム（野獣派）、表現主義、構成主義、デ・ステル、未来派、抽象などの作品との関連や違いを検証した。第5回の脱イリュージョン：抽象表現主義、アンフォルメル、日本の具体美術では、自然や事物の再現を目的としない美術を紹介した。第6回では、大衆文化の夜明け①：ネオダダ、ポップアートとそこから派生したフォトリアリズム、オブアートを上げた。第7回では、大衆文化の夜明け②：ブリティッシュポップ、ヌーボレアリズム、日本のネオダダ・オルガナイザーズ、ハイレッドセンターを取り上げた。

同時に、アート関連のショートフィルムも毎回紹介している。アート系の映像は、マスメディアに取り上げられることも少なくマイナーとも言える。しかし良質な映像が多く学生の感性と知識を立体的に涵養するためにやっている。映像についての考察は別稿で取り上げる。

2. 学生の授業感想について

「現代芸術論」では毎回の授業終了時に講義の感想を書

いてもらっている。授業感想は出欠確認もかねている。真摯な感想が寄せられて、授業内容が伝達できていることが確認できる。講義で聞き漏らしたことや疑問に思ったことの質問も多いことが分かった。2回目の授業から毎回、レジュメと併せて授業感想や質問、疑問に答えるA4サイズ、8ページの「上遠野通信」を発行した（図1）。学生との往還の中から、現代美術が系譜を通して理解することが可能な110ページを超えるテキストを作成した。

本研究では「ダダイズムからポップアートと1960年代の美術まで」の上遠野通信の中から、特に関連事項の深い学生の質問と筆者の答えの記述を抜粋した。意味の補完をするために、各美術様式の講義内容の簡略な説明と



図1 レジュメと上遠野通信

紹介した作家も併せて掲載した。

III. 研究成果と考察

「ダダイズムからポップアートと 1960 年代の美術まで」の 50 年間の美術様式の変遷のながれから「現代芸術の基本理念、表現の時代背景、表現の地域特性、作品概念、表現論」の観点で、学生の授業感想や質問を交え現代芸術の歴史を概観し表現の根幹を明らかにする。

1. 芸術の転覆：ダダイズム、シュルレアリスム

1-1. ダダイズム（ダダ）1910 年代中頃～

ダダイズムの運動によって変革された美術の概念から現代美術の始まりと言われている。特にマルセル・デュシャンによって創られた概念の影響は、今でも現代美術の水脈となって現れている。ダダイズムまたはダダは第一次世界大戦によって多くの犠牲者を出した近代文明の懐疑と批判から生まれた反芸術運動である。詩人のトリスタン・ツアラが命名をした。ダダの呼称にさしたる意味は込められていない。文章の前後を意味脈絡なくつなぎ合わせた文芸やチューリッヒのキャバレー・ヴォルテールでの公開イベントなどから始まり、これまでの自然を再現する美術の文脈を否定して、反芸術と言える表現で芸術の転覆をねらった。フォトモンタージュ、アッサンブラージュ、コラージュなどを駆使して社会批判を現した作品が多い。チューリッヒからヨーロッパのいくつかの都市やニューヨークに波及した。

重要人物：マルセル・デュシャンの反芸術的たぶらかし

フランス出身。現代美術の祖と言われ、20 世紀を代表するアーティストの一人。マルセル・デュシャンの影響を抜きに現代美術を語ることができない。キュビストから批判を受けた「階段を降りる裸体 No.2」はアメリカのアーモリーショーで絶大な支持を受けた。以後渡米してニューヨーク・ダダの中心的存在となる。何も作らずに創る既製品を使ったレデ・メイドのオブジェを提示。男性便器を横にして、便器会社の社長の名前をサインした作品「泉」が有名。この作品は自らか展示委員であったアンデパンダン展に匿名で出品。不謹慎であると展示されず紛失となる。展示委員であるデュシャン自ら抗議文を新聞に掲載して話題づくりをするなど「たぶらかし」の企てを行い「泉」を神話化させたことで有名。「彼女の独身者たちによって裸にされた花嫁さえも」通称「大ガラス」は代表作。花嫁が独身者たちと永遠に結ばれることのない観念と記号のガラスの絵画作品。移送中にひび割れが入ったことも喜んだと言う逸話もある。難解なメ

モや制作ノートが入った「グリーンボックス」は「大ガラス」と対の作品と言える。後年の研究者や「大ガラス」再制作者が分析することで謎が深まり、より混乱するように仕掛けられている。

その後チェスの名手として活躍し作家活動休止と見せかける。死後、「のぞき穴」の作品。愛人との結ばれることのない永遠の愛をテーマに精巧に作った裸体が横たわる、「(1)落ちる水、(2)照明用ガス、が与えられたとせよ」を発表して世間を仰天させた。のぞき穴から見る作品は、死後 15 年は一切の作品写真の掲載を禁止して、足を運んだ人のみのぞき穴から作品を観ることができるなどの話題作りをするなど、自分の人生や死さえゲームの様に作品の構成要素とした。

ダダイスト：マルセル・デュシャン、マン・レイ、クルト・シュビッターズ、マックス・エルンスト（後にシュルレアリスムに移行）、フランシス・ピカビア、ラウル・ハウスマン、ゲオルグ・グロスの作品を紹介。

1) 学生の質問・疑問と教員のコメントから

ダダを代表するマルセル・デュシャンやダダの作家や作品について、学生の質問・疑問と筆者の答えて意味を補完し概観する。現代美術のなかでも最大の変革者、マルセル・デュシャンの反芸術を意図した作品には、これまで教わった美術とまったく性格を異にするため、学生の美術に対する規範や価値観が揺らぐようである。美術とは、かくあるべしに一撃を与える。日本の美術教育は印象派以降をあまり触れない社会的構造がなぜかある。

Q 1. デュシャンの「階段を降りる裸体 No.2」は、なぜ他のキュビストから批判されたのか、キュビズムとの違いが分かりません。

キュビズムの絵画とは、パブロ・ピカソとジョルジュ・ブラックが始めた動向で画家がモチーフや人物などの対象の周りをめぐり、1 枚の平面上（キャンバス）に多方向から見たものを描いた絵画を言います。横から見た顔と正面から見た顔などが同一画面に描かれています。デュシャンの「階段を降りる裸体 No.2」はキュビズムの作法の上に時間概念の連続する運動を現しています。他のキュビストにとっては、裸体は横たわるものであって運動して階段を降りることに対して批判したのです。イタリア未来派の連続する動きを 1 枚の絵に描き込む方法にも近いモノを感じて嫌ったのでしょうか。キュビスト達は兄をつかって、せめてタイトルの変更でもと打診したそうです。デュシャンは会場から作品を外して持ち帰ったそうです。やはりショックだったらしく、デュシャン

はミュンヘンに向かいました。パリからはなれ一人になる時間が必要だったようです。ミュンヘン滞在の中から「大ガラス」の構想が始まりました。彼はそれ以来、一切集団に所属することを嫌って孤高を貫きました。

Q 2. デュシャンの絵画をもっと見たかったです。

デュシャンの初期の絵画の時代は、わずか8年足らずでした。この期間をデュシャンは「水泳訓練」のようであったと述べています。印象派風、フォビズム(野獣派)風、キュビズムとスタイルを次々に習得しては変遷していったようです。ついには、絵画を放棄してしまいました。網膜に訴える1点崇拜主義に対する反動と、絵画を超える概念(大ガラス構想やレデ・メイド構想)が見つかったからでしょう。

Q 3. マルセル・デュシャンに対しての「反芸術的たぶらかし」とは良く言い得ていると思いますが、よく使われる言葉ですか？

デュシャンの芸術に対して、「反芸術」や「芸術の転覆」は良く形容される言葉です。「たぶらかし」は森村泰昌の作品、デュシャンのローズ・セラビ(女装)に扮した作品を引用したセルフポートレートタイトルの「たぶらかし(マルセル)」から来ています。デュシャンの人生と芸術は、まるでゲームの様に仕掛けられたものでした。市販の便器「泉」をレデ・メイドとして仕掛けたのも、それまでの美術観を超えた「たぶらかし」と言えます。作品タイトルに意味深な言葉遊びを入れた、モナリザの絵葉書に描き込んだひげの作品も、鑑賞の読み取りを得て作品として完成する企てです。ローズ・セラビの女性名を使って作品も発表しています。死後に発表された、のぞき穴の作品「(1)落ちる水、(2)照明用ガス、が与えられたとせよ」はチェスに打ち込み作家活動を休止していたと見せかけて、20年間こっそりと制作した作品です。死んでから作品を発表して、墓碑銘は「されど死ぬのは他人」。やはり「たぶらかし」の達人です。

Q 4. マルセル・デュシャンの作品はどこで見ることができますか？

デュシャンの重要作品は、アメリカの「フィラデルフィア美術館」で見ることができます。アレンズバーグ夫妻のコレクションとキャサリン・ドライヤー所持の「大ガラス」(彼女の独身者たちによって裸にされた花嫁さえも)が美術館へ寄贈されて常設展示されています。のぞき穴の作品「(1)落ちる水、(2)照明用ガス、が与えられたとせよ」と「大ガラス」はここでしか見る事が出来ません。「大ガラス」の公認レプリカは世界に4点あります。

その内の1点が、東京大学教養学部美術博物館の「大ガラス」東京バージョン(瀧口修造、東野芳明監修)です。

Q 5. フォトモンタージュとコラージュの違いは？

写真をコラージュしたものがフォトモンタージュ。コラージュは糊付けの意味。写真の普及は画家にとって大変脅威だったと思います。日本の浮世絵が衰退したのも写真が出て来たからほかなりません。しかしその脅威は、ニューメディアとして用いられました。デュシャンの「階段を降りる裸体 No.2」は連続する動きを捉えた写真の影響と言われています。ダダイストにとっては、わざわざ絵を描かなくても写真を切り貼りして構成をするフォトモンタージュの面白さが時代のリアリティを表現するのに適していたのでしょう。コラージュ(パピエ・コレ)はピカソが発明したと言われており印刷物の発展と密接な関わりがあります。印刷物のリングを絵画の中に貼り付けても、リングとしての固有な言語を失わないことを発見したのです。いわゆる絵具と一緒にの考えです。脈絡のないものが激突して反芸術を目指したダダイストとの違いはそこにあります。ラウル・ハウスマンの「機械的頭部」のオブジェはアッサンブラージュと言いい立体版コラージュと言えます。

Q 6. マン・レイのソラリゼーションの写真の技法は。

マン・レイの写真には白黒が反転した表現がみられます。この技法は偶然出来た効果でした。助手で恋人の写真家のリー・ミラーがマン・レイの現像中の部屋のドアを開けてしまったのが原因です。現像液に印画紙を入れている段階に一瞬光を入れると現れます。レイヨグラフ(フォトグラム)はフィルムを使わず、印画紙の上に物を置いて感光させる写真でもマン・レイは有名です。ネガがなくても写真の作品が作れます。光を操りデッサンを描くように陰影を作れば良いのです。

Q 7. クルト・シュビッターズやマックス・エルンストのコラージュはポップアートに通じるような表現が見えます。

シュビッターズのコラージュやアッサンブラージュ(集積、集合)の作品を、「メルツ」と彼は命名しました。メルツ絵画やメルツバウ(建築)として収集物を貼付けていきました。マンガや雑誌も貼付けたのでポップアートの先例とも言えます。ポップアートの夜明けと言われていたネオ・ダダのロバート・ラウシェンバーグの寄せ集め絵画(コンバイン)と共通する表現が見られますのでうなずけます。エルンストはコラージュ、デカルコマーニ、フロッタージュ、ブロンズ彫刻など多岐に渡る技法

を駆使する作家です。作品もダダからシュルレアリスムへと変化した作家です。コラージュの作品にはマンガや挿絵などを使いポップアートそのものと言える作品もありますので予言者とも言えるでしょう。

2) 美術の見方考え方についての質問

第1～2回現代美術概説：モダンアートから現代までの流れや、ダダを代表するマルセル・デュシャンやダダの作家や作品から美術の見方や考え方に対する疑問も発生する。現代美術に対する興味の現れや、理解不能への拒否反応など、率直な心理状況を読み取ることができる。これは今後の美術・デザイン教育の上でも興味深い内容でもある。講義から受けた化学反応として答える義務があると考え、学生には体験や経験を通して自己啓発して欲しいと願っている。

Q1. どのような視点で作品を見ればよいのでしょうか？

まず名品と言われる作品を沢山見る事をお勧めします。例えば、焼き物は名品も凡庸な作品も材料はさほど変わりません。名品からは深い精神性と品格のオーラが発せられています。それを感じる心や審美眼を鍛えてください。鑑定眼とは違います。現代美術作品からは時代背景も読み取れます。作者がどのような状況で、何を表現しようとしたのかを感じられるとより理解が深まります。まず美術館や展覧会を見る事をお勧めします。

Q2. 作家の考えや表現がすごいです。どうしてこんな発想ができるのでしょうか？

何を作りたいのか、何を表現したいのかは、作家で各々違います。時代背景を背負う作家もいますし、作家の作るモノが時代を作っていく、と言う考えの方もあります。「つくる」を考えてください。作る。造る。創る。3つの言語から多様な意味が読み取れます。作家も、作品で表現を造る人、作品で概念を創る人など各々います。では、どのようなところから発想が出てくるのかと言うと、「思いつき」の下に地下茎がぞろぞろ続くような引き出しをいっぱい持っていると言えませんが、誰も歩かない荒野を開拓するのがアーティストの使命なのです。

Q3. 見せて貰った作品は、一目見ただけでは何が凄いのか分からなかった。説明を聞いても意味不明だった。この授業で紹介されるものは世の中の大半の人は知らなかったり興味がないものだと思う。このようなものは自己満足なのだろうか。

全ての人々が芸術に関心がある訳ではないことは事実です。世の中には多様な価値観があるので、各自それに

従って生きていけば良いと思います。本講義が終了する頃には現代美術の考え方も変化して、ある種の世界観が見えてくると思います。芸術文化が人間の心を涵養する有効な手だてとなることを願っています。日本には「洗耳」という美しい言葉があります。この意味を考えてみましょう。

1-2. シュルレアリスム 1920年代～

ダダとシュルレアリスムの関係は二卵性双生児の関係と言えるでしょう。ダダからシュルレアリスムへと発展した美術や文学を指します。「超現実主義」と言います。現実を超越した意識下の世界。可視ではなく不可視の世界を現しました。フランスの詩人アンドレ・ブルトンにはシュルレアリスムを「思考の真の機能を表現するための、純粋なオートマティズム(絵画的自由連想)。理性による支配をまったく受けないところで、そしてあらゆる美学的、道徳的先入観の外で記述された思考¹⁾」と定義しました(シュルレアリスム宣言 1924年)。フロイトの夢や無意識、性などの精神分析と関係を結んだ表現と言えます。シュルレアリスム絵画には、大きく二つの流れがあり、マックス・エルンストやミロなどのオートマティズムやコラージュで無意識の世界を抽象的に表現したものと、サルバドール・ダリ、ルネ・マグリットのように夢や意識下の世界を具体的な人物や風景をつかってあり得ない現実を描いたものがあります。ヒトラーが台頭するとシュルレアリストたちはニューヨークに移り住んで、アメリカの次世代に大きな影響を与えました。彼らは、その後の抽象表現主義を生む萌芽となったのです。

シュルレアリスト：イブ・タンギー、ロベルト・マッタ、ジョアン・ミロ、サルバドール・ダリ、ルネ・マグリット、ポール・デルボー、マルク・シャガール、アルベルト・ジャコメッティ、アーシル・ゴーキーの作品を紹介。

その時代の他の美術

キュビズム、フォービズム(野獣派)、表現主義、構成主義、デ・ステル、未来派、抽象などの作品を紹介。

ダダ、シュルレアリスムとの関連や考え方の違いを検証した。ピカソやブラック、マチス、カディンスキー、タトリン、モンドリアン、キリコ、ボッチョーニ、ブランクーシなど20世紀を代表する作家も見逃せない。

1) 学生の質問・疑問と教員のコメントから

シュルレアリスムの作家や作品について、学生の質問・疑問と筆者の答えで意味を補完し概観する。摩訶不思議な世界観に興味を惹かれるようである。特に著名な

サルバドール・ダリやルネ・マグリットには関心が高い。
現在では幼稚園からの美術教育にコラージュ、デカルコマニー、フロッタージュ、想像画などが取り入れられているが、シュルレアリスムの果たした役割なのである。

Q 1. シュルレアリスムのダリやマグネットの絵にはトリックアートに通じる作品が沢山あった。

人々は、だまし絵が好きようです。現在あるトリックアートとは一線を画しますが、絵が分かり易いのでダリやマグネットは人々に受け入れられるのでしょうか。しかし人間の脳は分かりすぎると、それ以上の思考を遮断してしまいます。イブ・タンギーのように何が描かれているのか判然とせず、地獄のようでもありこころの中の深い模様でもあると言う方が見る人のイマジネーションが広がって深淵な世界に導くことが多々あるようです。

Q 2. シュルレアリスムを代表する作品の数々を見て、日常では感じられない発見出来ない感覚があるように思いました。ルネ・マグリットのパイプの絵が好きです。作品に共感するという気持ちが不思議なことに思えてきました。一体作品の何に共感を抱くのか、説明を求められて、すぐに答えられることではない気がします。もしかしたら答えのないものなのかもしれません。作品を見ていて、ふっと感じたことでした。

マグリットのパイプの絵、「これはパイプではない」は、厳密には絵具とキャンバスそのもののものです。イメージの裏切りをねらったコンセプチュアルアートとも言えます。心を揺さぶられた瞬間に共感することが出来たのだと思います。ダダやシュルレアリスムの作品は無意識や意識下の世界などを表現しているので日常では体験出来ない世界を味わうことになります。美術を制作する作家は言葉を越えた世界を創造していますので、他者が言語化した意図を、鑑賞者が違う感じ方をしてもよいと思います。人を好きになるのに、さしたる理由が入らないのに似ています。

Q 3. サルバドール・ダリの絵は他の絵に比べリアルに感じる。他と同じグループに属しているのですか？

ダリのように脳内をそのままリアルに描けたら楽しいでしょうね。多重なイメージをCGで合成したように描ける想像力は、その裏に徹底した写実描写力の努力があるはずです。ダリは口ひげの特異な風貌と奇行で、とても人気のある作家でした。一時、シュルレアリストグループに属していたようですが除名になっています。しかしシュルレアリスムの国際展などには、外せない存在として一緒に展示されたようです。

Q 4. ダリの「ロブスター電話」は何に分類されるの？

古いダイヤル式の黒電話の上にロブスターが受話器となっている作品です。思わぬ出会いの作品はシュルレアリスムの特徴と言えるでしょう。象が竹馬をはいたような長い脚の作品や時計が柔らかくなって眠っているような風景なども、あり得ない現実です。シュルレアリスムの面白さはそこにあるのです。

Q 5. シュルレアリスムの夢に見た事などを絵にすることなど一体何を意味するのか未だに分からない。

著名な作家や小説家は夢をもう一つの人生として捉えています。つまり、起きているときも、寝ているときも人生を2倍楽しんでいる訳です。フロイトの精神分析などとリンクした時代背景から生まれた芸術とも言えます。自然を再現することを放棄した作家達は意識下の世界や夢にもう一つの世界観を見つけたのです。SFの小説や映画は、夢想から始まっているのではないのでしょうか。

Q 6. イブ・タンギーの作品が日本画に見えました。

イブ・タンギーは何とも不思議な絵を描きます。昼とも夜とも分からない。月面や海底の様にも見えます。荒漠とした世界にガスがたれこめ奇妙な物体や怪奇生物のような物が配置されています。空間はあるが奥行きがない画面は日本の昔の絵画の様に見えます。怖い夢の様な景色は日本の地獄絵の様にも見えます。

2) シュルレアリスム関連として映像作品の紹介

シュルレアリスムをより理解する手掛かりとして、現代の映像作家の作品を紹介した。美術の系譜は連綿として繋がっている。現在、見ている宇宙や怪獣映画などのSFはシュルレアリスムから始まっています。

Q 1. ヤン・シュヴァンクマイエルのアニメーションの意味が全然分かりませんでした。

チェコを代表するヤン・シュヴァンクマイエルのパペットアニメーションはシュルレアリスムの系譜の中から生まれました。人間の不条理を色濃く現しています。隣接する大国の体制に挟まれて苦悩したチェコの歴史の代弁者とも言えます。私たちは日夜見るメディアは、誰でも分かるような中庸なところに狙いを定めて制作されています。知らず知らずの内に受け取り手の意識の統制が行われているとしたら恐ろしい話です。世には中庸レベルの上も下も存在します。文学も科学もそうです。自ら疑問を持ち解いて行く姿勢も涵養したいと願っています。

3) 美術の見方考え方についての質問

シュルレアリスムの作品の内容に対して不思議な世界観があるため疑問が発生する。また、アーティストが職業として成り立つのか、デザインの学生らしい進路に対する心理も読み取ることができる。

Q 1. 芸術作品は分かりにくくて暗い印象のものが多いような気がします。人はそう言うものの方が深遠な魅力感じるのでしょうか。意味を持たせなければ価値は下がってしまうのでしょうか？

シュルレアリスムは潜在意識やオートマティズム（絵画的自由連想、自動書記）、夢などをモチーフにしていますので、他人の心や脳内をのぞくようなものです。心のひだの未だ触れられたことのない所を刺激されるようなものです。第一次と第二次世界大戦のはざまで、人々の苦悩と厭世観は相当であったかと推測されます。時代の空気や背景は、意図しなくても必然的に反映されると思います。暗い印象に見えるのもそのせいかも知れません。それが作品を意味が深く深淵な世界に導いていると思います。現在は時代背景が違いますので、作家は好きなことを、好きなようにやればよいと思います。

Q 2. この時代の作家はどのようにして食べていったのでしょうか。美術学校は沢山あったのですか？

1885年に東京美術学校（現・東京芸術大学）が開校、1880年には京都府画学校（現・京都芸術大学）が開校しています。1696年にはベルリン芸術大学が開学していますので、ヨーロッパなら美術学校は沢山あったはずですが、サロンやアカデミーに属していた作家は裕福だったでしょうが、アバンギャルドのダダやシュルレアリスムの作家は人々に理解されない美術だったので生活は相当苦しかったと思われます。今ではこれらの作品は手につけられないくらい高額の作品になっています。

2. 脱イリュージョン：抽象表現主義, アンフォルメル, 具体美術

2-1. 抽象表現主義 1940年代中頃～

アブストラクト・エクスプレッショニズムのこと。シュルレアリスムの影響から発生した絵画で行為（アクション）や激しい筆致、色面（カラーフィールド・ペインティング）などで画面上に再現性を目的にしない新たな抽象の場を作り出した。二次元のキャンバスの特性をより特化した作品を指す。詳細や補完は下記の教員コメントを参照。

ジャクソン・ポロック、マーク・ロスコ、ウエレム・デ・

クーニング、フィリップ・ガストン、フランツ・クライン、リチャード・ディーベICON、クリフォード・スティール、ハンス・ホフマン、ロバート・マザーウェル、ヘレン・フランケンサール、アドルフ・ゴットリーフ、リー・クラズナー、モーリス・ルイス、サム・フランシスの作品を紹介。

1) 学生の質問・疑問と教員のコメント

抽象表現主義の作家や作品について、学生の質問・疑問と筆者の答えて意味を補完し概観する。巨大な抽象表現主義の絵画を実際には見たことがある学生は少数である。再現性を目的にしない行為を伴った絵画に、絵画そのものの意味を問い直すようである。絵が上手いとか下手とかの価値が開放されるのか質問も多い。多様な考えの絵画があることが望ましい。

Q 1. 抽象表現主義の作品はなぜ大きいのか？

厳密に言えば、抽象表現主義はアメリカの美術のみ適用されます。アメリカに亡命したシュルレアリストや前衛的アーティストなどの影響を受けたアメリカの若いアーティストが作り上げた抽象絵画を指します。抽象表現主義の台頭によって美術の中心はパリからニューヨークへ移ったと言えます。抽象表現主義の特徴は以下の通り。

- ①「巨大なキャンバス」：巨大な絵画が多く見るものを驚嘆させる。
- ②「オールオーバー」：どこに焦点を合わせているとも無く色面や線が広がっているため、画面上の外まで繋がるような空間を思わせる。
- ③作家の表現行為のフィールド（場）である。

Q 2. ジャクソン・ポロックの行為そのものが精神として現れています、そのような意味でよいのですか？

ジャクソン・ポロックの行為の絵画はアクションペインティングと言われます。キャンバスを床に置いて、油絵具やペンキ、エナメル塗料をしたたらせるドロッピングの技法で行為の軌跡と集積そのものが絵画です。絵画史上画期的な事件と言われています。行為の集積の場、二次元のキャンバスであることの特化、三次元のイリュージョンの排除、地球の重力などを意識して強靱な精神力で作られた作品は見る人を魅了して精神世界へ誘うのでしょうか。

Q 3. ジャクソン・ポロックのドロッピングアートの二面性ってどう言うことですか？

二次元である平面のキャンバスの特徴をより特化し

て、イリュージョンを排した行為の痕跡や集積が、結果として絵画の中に別な三次元的空間を作り上げたことを指します。行為の軌跡が集積となり時間の厚みとなり、地と図の間に空間が発生しています。

Q 4. モチーフやテーマなしで表現できるのが抽象表現主義の特徴ですか？

シュルレアリスムをより抽象化して、現実の風景やモチーフを再現することを目的としなかった。表現の源泉となる風景やモチーフを契機として沈潜させた上澄みを結晶化させたのが抽象表現主義の絵画といえるでしょう。アクションペインティングはそこに行為の集積を主要素として、より積極的に身体が関与しています。ウエレム・デ・クーニングはアクションペインティングと呼ばれていますが人物を素早い筆致で描いている例もあります。

Q 5. 抽象表現主義の絵画はユニークさ、親しみ易さは、誰でも出来る意外性をつくということからきているのでしょうか？

今回のレクチャーで抽象表現主義の絵画が好きとか、すごく自分の感性に合っていて受入れられたとの感想が多かったです。誰でも出来そうで、誰もが出来ない。未踏の荒野を開拓して道や畑を作ったのは抽象表現主義の作家たちです。最も身近な自己の行為そのものが作品となり、それが深い精神性となって現れることを発見したのです。皆さんの心と何らかの共振をしたと思われます。各々共振するものが違うので自分に合うものを探せばよろしいと思います。

Q 6. マーク・ロスコの絵画で説明していたシンメトリックってなんですか。

ロスコはロシアからアメリカへ移住した作家です。シンメトリー、シンメトリカルとも言います。左右対称のことです。ロスコの絵画は色面のシンメトリックでしたね。教会や寺院、神社の祭壇はシンメトリーな構成で、厳かで崇高な雰囲気を漂わせています。ロスコの絵画の前にたたずむと緩やかに膨らんでくる色面の中に身体が包まれます。宗教的な尊厳に近いモノを感じさせてくれる絵画です。体験してほしいと願っています。

Q 7. マーク・ロスコの自殺に関して：芸術家は自殺する人が多いのはなぜですか。それくらいでないといえないのですか。

人を殺めたり道連れにするようなら、ひと静かに消えると言う方法もあるでしょう。しかし肉親や近親者に与

える悲しみや精神的ショックはかなり大きいようです。自分の事しか考えないようなことは人間として寂しい気がします。人には愛を与え、見返りを求めないのが究極の愛だそうです。そうは行かない葛藤も人間の愛すべきところですが、芸術家だから自殺することが目立つのでしょう。日本でも依然として自殺する方は多く、年間の交通事故死の3倍の3万数千人いるそうです。自己を厳しく追及すると精神的に病む芸術家もいるでしょうが、要は狂気が芸術の本質ではないと言うことです。きわめてノーマルな精神と肉体を持ちながらも、創造する作品や脳内がアバンギャルドもしくは狂気であればよいのです。思わせ振りの身振りからは芸術は生まれません。

Q 8. フィリップ・ガストンの絵の変化にビックリしました。何か理由があるのですか？

フィリップ・ガストンは禅や書や墨絵に興味があったそうです。ジョン・ケージ（現代音楽家、禅や易学、連歌などに通じていた）とも親交がありました。日本ではあまり紹介されていないのが残念です。作品の変化については、どうやら K.K.K. によって犠牲になった人々や社会的な残忍さなどを表現しているそうです。彼はアメリカの良心と言われ、とても人気のある作家です。感想の中で、可愛いが、とても怖いものを感じると記した学生がいました。あの積み上げられた靴は、犠牲になった人々を現しているようです。止むにやまれぬ必然性があって彼の絵が変化したのでしょうか。やっと本物の自分の表現と出会ったのでしょうか。「人をだませても自己のころはだませない」。

Q 9. モーリス・ルイスの流し込みの絵画を見ると、絵画に筆は必要ないのですね。

カラーフィールド・ペインティングを代表する作家モーリス・ルイスの絵画は美しい色の集積です。スティニン（絵具を流し込み、染み込ませる）と言う技法です。アクリル絵具を緩く溶いて、立てかけた綿布に流し込みます。絵具を乾燥させては流し込みを繰り返し、綿布に色を染み込ませます。実物を見ると巨大な綿布のキャンバスに染み込んだ多層な色が驚くほど美しく、行為と作画がこれほどマッチした作品は珍しいでしょう。筆も描写力も必要としない絵画があってもよろしいと思います。

2-2. アンフォルメル 1950年代～

「非定形の美術」、アール・アンフォルメルとも言い、パリを中心に起こったヨーロッパ版の抽象表現主義。染み（タシスム）や分厚い絵具をストロークしたり、絵具

チューブでキャンバスに直接絵を描いたり、土や粘土、アスファルトなどの物質を絵具に混ぜ、素材を重視した作品などの抽象絵画を指します。パリにいた各国の画家や日本人の画家も大勢参加しました。

ジョルジュ・マチュー、アルベルト・ブーリ、ピエール・スラージュ、アントニオ・タピエス、ジャン・フォトリエ・今井俊満、堂本尚郎、森田子龍(墨人会)、ジャン・デュビュツフェを紹介。

1) 学生の質問・疑問と教員のコメント

アンフォルメル作家や作品について、学生はジャン・デュビュツフェのアル・ブリュットのユニークな作品に興味を示している。森田子龍(墨人会)の前衛書はアンフォルメルではないが関連として提示した。学生の心をつかんだようである。

Q 1. ジャン・デュビュツフェの作品はどこで見られますか。

彼は美術における権威主義を嫌い、アンフォルメル作家と呼ばれるのも嫌いました。生(き)の芸術、アル・ブリュットを提唱して、子供や未開の人々、精神に病んだ人々の絵を収集・展示をして、自己の作品の源泉としています。初期の絵画作品は土、砂、アスファルトなどの物質を絵具に混ぜて、壁を引っ掻いたようなとぼけた人物像などを描いていました。ポリウレタンの大きな「4本の木の群れ」はニューヨーク近代美術館(MoMA)にあります。パリのポンピドーセンターにも絵画やうねうねとしたユニークなウレタン彫刻があります。「ダンディー」は箱根の使者として箱根彫刻の森美術館にあります。

Q 2. 日本人は書のようなものになぜ惹かれるの？

森田子龍(墨人会)の書は、抽象絵画みたいでもあり、それを超える精神世界を見せてくれました。抽象表現主義のフランツ・クラインやロバート・マザーウェルの絵は書みたいです。サム・フランシスの絵画は墨蹟のにじみや余白のように見えます。日本の書の漢字は象形文字なので、文字自体に有形の姿をイメージ出来るからでしょう。禅の影響で無や空白、余白の美学を私たちの身体に入っているからだと思います。実際の書は和紙に書かれ、滲みを自在にコントロールするために「どうさ止め」と言う、ニカワとミョウバンを混ぜた液を薄く塗布しています。書き上げた後は表具屋さんで裏打ち処理をしてあります。

2-3. 具体美術とは 1954年～

抽象表現主義、アンフォルメルと同時期に日本でも同様な美術運動があった。具体、具体美術協会とも言う。関西の芦屋で吉原治良を中心に結成され世界的に著名な運動であった。行為の結果が作品になると果敢に実験した美術である。詳細や補完は下記の教員コメントを参照。

吉原治良、白髪一雄、村上三郎、元永定正、田中敦子、金山昭、嶋本昭三の作品とパフォーマンス映像を紹介。

1) 学生の質問・疑問と教員のコメント

日本発の国際的な美術動向である具体美術。学生の祖父、祖母にあたる世代の人々のパフォーマンスや実験活動に対するエネルギーの熱意に驚いたり感心したのが実情であろう。長らく日本は、ヨーロッパ美術の模倣を展開してそれを評価してきた歴史がある。ここにきてようやく独自の現代美術の表現を模索したのである。

Q 1. 具体美術は抽象表現主義やアンフォルメルの中で生まれたのですか。概念を教えてください。日本人だけのものですか。

具体美術協会は関西の芦屋を中心に吉原治良を師として結成された美術運動です。吉原は「われわれはわれわれの精神が自由であるという証を具体的に提示したい」²⁾と宣言して「人の真似をするな。なんでもいいから自分の表現を見つけろ」と若者に檄を飛ばし、行為による絵画、パフォーマンス、物質による立体と、当時としては革新的な作品が作られました。その成果は具体が「Gutai」として世界のアートシーンの中で評価されています。世界的な潮流のなかで抽象表現主義やアンフォルメルと具体美術が同時多発的に生まれたと言えます。アンフォルメル側では具体はアンフォルメルの活動の一つとして捉えている思惑があったようです。アンフォルメルの作家ジョルジュ・マチューを日本に招請して交流を深めました。相互に影響はあったと思われますが、具体は絵画にとどまらず物質による立体やパフォーマンスなど取り入れた先駆的な独自の運動と捉えられています。参加者は日本人だけです。

Q 2. ロープぶら下がり、紙破りなど見ている方はおかしくて笑ってしまいますが、何か変わったものを作るために、そういう表現をしているのか、自分がそういう表現したいのか。

吉原治良の指導のもと、競争のように独創性を切磋琢磨したと考えられます。白髪一雄のロープにぶら下がって足でストロークの痕跡を残す絵画や村上三郎の連続す

る紙破りなどを、まじめに夢中になってやれることが素晴らしいことです。表現を模索している内に到達した作品が変わった表現になると思います。他に、金山昭はリモコンカーの軌跡を絵画にしました。嶋本昭三は絵具の入った瓶を石に投げ飛び散った絵具を絵画としました。彼らは数々の実験を制作の源泉としていました。

Q 3. 田中敦子の「電気服」は感電もさることながら電球や蛍光灯は熱くはないの。

具体展の舞台でのパフォーマンスのために作った作品。色の付いた電球や蛍光灯が点滅する衣装を着用しましたが、感電しないように身体にビニールを巻いたそうですが、もちろん断熱の処理も考えたと思います。当時の田中敦子の情熱は、電球を上回るほど熱かったのでしょうか。

この作品は具体を代表する作品として人気の作品です。

その時代の他の美術

藤田嗣治、バルチャス、ジョージア・オキーフ、フリーダ・カーロ、エドワード・ホッパー、福田平八郎、鶴岡政男、中村宏、山下菊治、岡本太郎、瑛九、難波田龍起を紹介。

戦後に独自の活動をする良質な作家の作品を紹介した。バルチャス、オキーフ、フリーダ・カーロ、ホッパーは静謐な具象絵画で人気が高い。鶴岡政男、中村宏、山下菊治のルポルタージュ絵画は戦後の復興や混乱を表している。美術動向や美術様式は時代の空気を顕著に現しているが、その周辺で活躍する作家はいつの時代でも多く、美術に多様性があることも理解をさせる。

3. 大衆文化の夜明け①：ネオダダ、ポップアート、フォトリアリズム

3-1. 大衆文化の夜明け前

抽象表現全盛の中、大衆文化の夜明けと言われる、ネオダダ、ポップアートの前哨と言われる表現がある。今でもポピュラーな人気を誇っている作家たちである。

アレクサンダー・カルダー、ルイズ・ネーベルソン、エスコバル・マリソール、ジョセフ・コーネルを経て。

1) 学生の感想から抜粋

意味を補完し概観するために、各作家の作品の感想や作風が分かるように、この項から学生の感想を記載した。

■モンドリアンが大好き、影響をうけた、他の作家に影響

響を与えたことが嬉しい（アレクサンダー・カルダーのモビール）■ジョセフ・コーネルの BOXART が好き■アレクサンダー・カルダーの針金のドローイング、空き缶の鳥、モビール、好き、見えないものを映し出して素敵、ジュエリー素敵、楽しくなる■ルイズ・ネーベルソンのジャンクアート好き■エスコバル・マリソールの木彫作品のセルフポートレート、パーティーや天皇など、コーラを飲む「LOVE」、好き■ジャンクアート好き、興味ある、ガラクタの美を再発見した。

2) 学生の質問・疑問と教員のコメント

大衆文化の夜明け前の作家や作品は、カルダーの針金によるユニークな作品やコーネルの BooxArt は特に有名。

学生は、ジャンクと呼ばれている廃品を集めた作品や集積、集合のアッサンプラージュ作品に強い興味を示す。

Q 1. カルダーのサーカスの作品はどのくらいの大きさですか。2時間上演とは何をしていますか。

カルダーのサーカスはニューヨークのホイットニー美術館に収蔵されています。239.4×239.4 cm と割と大きなものです。サーカスで行われる全ての演目が盛り込まれているのが作品群の特徴です。パリに渡ったカルダーは、「サーカス」の針金彫刻を巧みに操り、本物のサーカスのように空中ブランコをさせたり、擬音付きの即興のパフォーマンスでショーを行いました。前衛芸術家をはじめ市民に熱狂的に支持されパリの人気者だったそうです。カルダーは2時間の上演で入場料を稼いでいました。ジャン・コクトー、ミロ、アルプ、デュシャン、モンドリアンなど多くの前衛芸術家と知り合ったのも「サーカス」の作品が取り持ったのでした。映像は、ニューヨークのホイットニー美術館やグッゲンハイム美術館などで入手出来るようです。PAL 方式なので、日本では NTSC への「変換再生」が必要かと思います。2004 年、札幌芸術の森美術館の「作家からの贈りもの」展では、カルダーのサーカス映像が上映されていました。

Q 2. カルダーのジュエリーは販売してないと言いましたが、モビールは販売してるようでした。

カルダーのジュエリーは、一つ一つ手作りによって生みだされ、家族や知人のために作りました。線状の金属をたたいて平たくして造形した物が多く、手の痕跡を残した親しみのあるジュエリーは、どんな輝かしいダイヤよりありがたいものだったに違いありません。自分の心が入らないコピーしたものを販売するは、愛しいものを失うようで嫌だったのではないかと思います。モビー

ルのレプリカは販売しているようです。これも似て非なるもので、工業的にキットとして作られています。本物のモビールは手の痕跡が残る味わい深いものなのです。ジュエリーとモビールは表現方法は違えど根本は同じといえるでしょう。

Q 3. マルセル・デュシャンは多方面に影響を与えていて本当にすごい、彼を超えたアーティストはいますか。

カルダーの「モビール」の命名はマルセル・デュシャンです。モビールは風で動く彫刻なのでキネティックアートとも呼ばれています。デュシャンのレディ・メイド「自転車の車輪」はキネティックアートの第1号なのです。マルセル・デュシャンなしには現代美術は語れないほど大きな存在と言えます。特にネオダダやコンセプチュアルアート、シミュレーションアートなどに大きな影響を与えています。概念によって、時代をメビウスの輪のようにひねりを入れて変革させるような作家は何世紀に一人と言えるでしょう。日本では桃山時代に総合芸術としての茶の湯の規範を確立した千利休に同じような例を見るのみです。

Q 4. エスコバル・マリソールの木彫作品の大きさは？

等身大の作品がほとんどです。あらゆる芸術手法（絵画、写真、コラージュ、アッサンブラージュ、石膏直取り、木彫など）を彫刻に取り入れ、虚と実や粗と密など柔軟で統制の取れた彼女の作品世界は、無二のオリジナリティを感じさせてくれます。女性らしい感性で社会の中で立ち振る舞う人々や著名人の肖像などを冷ややかに社会批評を織り交ぜて軽快に見せてくれます。

Q 5. 素敵な廃材が手に入るところを紹介してください？

ルイズ・ネーベルソンはニューヨークの大きなゴミ箱を毎日のようにあさっていたそうです。立体イラストでお馴染みの日比野克彦さんは芸大生協の裏にあるゴミ箱から段ボールを拾ってきて作品を作っていました。本校なら木工室、金工室、セラミック工房の廃材がお勧めです。暗室や版画工房では、失敗した無価値な写真や版画に思わぬ拾い物があります。私が以前、廃品による巨大なインスタレーションの作品を作るときには、資源再生の清掃工場で入手したことがあります。病院や理学系の実験機器や器具などの収集は、医学的な安全性の見地からお勧めできません。危険です。

3-2. ネオダダ 1950 年代中頃～

新しいダダの意味。ダダの作家達はオブジェを否定的

に使用したが、ネオダダの作家達は絵具や素材と同じ感覚で肯定的に使用した。抽象表現主義からポップアートへの橋渡的存在と言える。ポップアートの中にくられることもある。廃品や廃物を使用するジャンクアートと言えるコンパイン絵画のロバート・ラウシェンバーグや国旗や標的などの記号を絵画にしたジャスパー・ジョーンズがネオダダの顔と言える。ジョン・ケージは彼らの師でありチャンスオペレーションなどで思想的影響を与えた精神的な支柱と言える。

ロバート・ラウシェンバーグ、ジャスパー・ジョーンズ、ジョン・ケージの作品を紹介。

1) 学生の感想から抜粋

ポップアートの橋渡しとして特に重要な作家、ジョーンズとラウシェンバーグ。ジョン・ケージは環境音楽や実験音楽の創始者。アートとの関わりも深い。

■ネオダダ好き、ユーモアがある■ジャスパー・ジョーンズの3段重ねの国旗、アメリカの地図、感動した■ロバート・ラウシェンバーグのコラージュ好き、面白い■ジョン・ケージの4分33秒やってみて、0分0秒もいい、音楽でのチャンスオペレーションの考えがよい。

2) 学生の質問・疑問と教員のコメント

日常にあるモノをコンパインするラウシェンバーグのベットカバーの作品について学生の質問・疑問と筆者の答えで意味を補完する。

Q 1. ロバート・ラウシェンバーグのベットは本当に絵を描きたくてベットカバーに描いたのか、表現したくて描いたのか、分からなかったです。

ラウシェンバーグは自らの絵画や立体作品をコンパイン（立体や平面を寄せ集めて関連性を持つこと）と名付けました。夜遅くまで制作に没頭して、気がついたら次に描くキャンバスが無かったのでマットレスとベットカバーに絵を描いたそうです。その行為が私生活に密着したもろもろな物質がコンパイン出来ることを発見したといえるでしょう。実際には抽象表現主義のなごりと言える痕跡で、既存のオブジェなどに絵具を塗りつけた汚しと言えるものを行いました。それは、新品のオブジェ（ここではベットカバーとマットレス）であっても絵具を塗るマーキング行為によって、本来の使用目的とは別のジャンクとしての絵画的要素となり、絵画の中で同質化に成功したと言えるでしょう。彼は描いたと言うより表現を発見したと言えるでしょう。

3-3. ポップアート 1950 年代末頃～

大衆文化の夜明けと言われるポップアートはアメリカとイギリスのブリティッシュポップがある。フランスのヌーボレアリズムとも関係が深い。ヌーボレアリズムはポップアートよりネオダダに近い存在と言える。アメリカのポップアートより5年ほどブリティッシュポップの活動が早かった。第二次世界大戦で戦火の痛手を受けたヨーロッパと違い、アメリカは近代産業の発展で大量生産、大量消費による商品が溢れ、マスメディアの発達によりテレビ、雑誌、マンガ、広告が日常に氾濫した。それを風景として見るのは当然といえる。ポップカルチャーとして芸術が大衆化を果たした役割は大きい。詳細は下記の教員コメントを参照。

ロイ・リキテンシュタイン、ジェームズ・ローゼンクイスト、トム・ウッセルマン、クレス・オルテンバーク、ジム・ダイン、ラリー・リバーズ、ミンモ・ロッテラ、レーモンド・ヘインズ、フォステル、エド・ルシャー、ロバート・インディアナ、アーネスト・トロヴァ、ジョージ・シーガル、エドワード・キーンホルツ、アンディ・ウォーホル、ジョン・チェンバレン、ウェスターマン、ルーカス・サマラスの作品を紹介。

1) 学生の感想から抜粋

親しみやすいポップアートの作家を理解する手がかりとなるであろう。40年過ぎた現在でも新鮮な感覚が魅力なのである。身近な日常に制作のイメージはある。

■ポップアートは親しみやすい、好き、ユーモアがある、飽きない、色使いがくっきりして好き■ロイ・リキテンシュタインのマンガの絵画が好き、女性の口もとなどのクローズアップしている絵画は魅力的■アプロプリエーション(流用)は新しい方法として面白い■ジェームズ・ローゼンクイストの成長計画こわい、看板の様に大きく描くことで、部分が抽象となることを発見したところが凄い■クレス・オルテンバークのソフトスカルプチャー、ハンバーガー&ポテト、レーズンパン、洗濯バサミ、スプーンとチェリーの噴水、マッチの燃えさし、ロンドンの膝小僧、ユニーク、好き■アーネスト・トロヴァの車の人間面白い■ラリー・リバーズのマネの娼婦の白人と黒人を逆にした作品好き■ロバート・インディアナのLOVE好き■アンディ・ウォーホル、Befor and After、色を塗る作品、キャンベルスープ、マリリン、凄い、好き、おしゃれ、綺麗、見方が変わった■エドワード・キーンホルツ、テレビの顔の作品が好き。

2) 学生の質問・疑問と教員のコメント

芸術の大衆化によって、アートが分かりやすく馴染みの作品が多かったようである。質問も多岐にわたり大量生産、大量消費にまつわる商品や映画スター、イメージの流用、ポップアートのスター、アンディ・ウォーホルの興味や作風など、学生の質問・疑問と筆者の答えで意味を補完し概観する。この項目が多いのは、ポップカルチャーから影響を受けた、広告、CMなどが私達の身近なものとして受け入れられているからであろう。

Q 1. ポップアートの作品はただ連続的に並べればよいのか。大量生産、大量消費社会を賛美するための手段や表現なのか。

大量生産、大量消費によって出現した物質やメディアを一つの風景として描いたのです。スーパーの商品棚のように連続した物を表現することもあり得るでしょう。ウォーホルのキャンベルスープやブリロの洗剤の箱などは、アメリカの人にとって、ありふれて取り立てて見向きもしない存在でしょう。日本で言えば、トマトジュスやお茶のペットボトル程度のものです。その程度の物をウォーホルが作品にしたので、今まで誰が考えもしなかった表現方法の作品が出てきたので、人々は新鮮な衝撃を受けたと言うことです。どうやら日本人がコカコーラがカッコいいとかキャンベルスープがカッコいいと思うのとはニアンスが違うようです。

Q 2. コカコーラってアート界(欧米人)にとってどんな存在なのでしょう。日本だと何に置き換わるでしょう。

上記を参照。但しコカコーラやマクドナルドはアメリカ国力の世界戦略そのもののものです。もはや世界中にコークの無い所を探す方が難しいと思います。日本だと、馴染みの栄養ドリンク。世界戦略の見地では、お寿司(鮭ではない)や豆腐。日本料理もブームだそうです。

Q 3. アプロプリエーション(流用)を使った作品は、著作権で問題にならなかったのでしょうか。

著作権については専門でないので以下を引用します。

「他者の作品をそのまま複製化し、自らの作品とすること。複製化された作品のコンテクスト(文脈)から現前するイメージを借用し、別のコンテクストの中に借用されたイメージを組み合わせることによって新しい作品を作ろうとする企てである。この現前という用語自体は、制作の単なる技術あるいはするイメージとは、一般に流布している既製品、広告、メディア等あるいは著名な(誰でも知っているような)芸術作品に付随するイメージ(あるいはその「像」そのもの)である。これらは時にはそ

のイメージを忠実に再現し、借用者自身の作品として提示される場合もある。このようにその作品がオリジナルの忠実なコピーであっても、年代や制作者を偽り鑑賞者や収集家を欺くことを目的としない限り、贋作とは区別される。一見センセーショナルなこの手法であるが、こうした借用の根本的な考え方は、20世紀初頭に端を発する手法の流れを汲んでいる、二次元的な「ファウンド・オブジェ」と等価物であるとする見方もある。この手法もオリジナル重視に対する挑発的な行為の一種であるが、アプロプリエーション方法ともいえる。」³⁾
(真贋のはざま・近藤由紀著より引用)

流用がアートの世界では創造活動として認められています。パロディも許されます。しかしながら、先般話題になった、日本人画家が知人のイタリア人画家の作品に酷似した絵を複数出品したと言う事件は、オリジナルをそっくり真似た盗作・贋作として創造者としては許されない行為なのです。

Q 4. ポップアートは大衆にとってポピュラーになったのですか？

ウォーホルのシルクの版画などは割と安いので飛ぶように売れたそうです。江戸時代の浮世絵が大衆と密接になったのと似ています。欧米の美術の大衆化が、日本にやっと追いついたのです。絵画の主題としても、神や貴族などを描く時代から変遷して、日常のモノやコトがモチーフとなった訳ですから、大衆にとっても芸術が手の届くところにあるポピュラーなものになったのではないのでしょうか。

Q 5. ポップアートの作品になぜモンローがひんぱんにでてくるのか。モンローはなぜあんなにセクシー。アメリカではマリリン・モンロー、フランス・パリではキキとセックスシンボルがいますが、日本にはセックスシンボルと言える人がいますか。

モンローは出生証明も不明なような境遇で、とても不遇な少女期であったと言えます。女優として時代の寵児となってからは、虚像としてのセックスシンボルを演じたのでしょう。精神的な葛藤が彼女を苦しめたのは言うまでもない。フェロモンを全開にしながらも、貞淑さを併せもつモンローに世の男性は悩殺されたことでしょう。死後も悲劇のヒロインとして神話が一人歩きしました。アーティストも面白い素材としてモンローを使ったと思います。パリのキキはもう少し古い話ですが、モデル、歌手として前衛芸術家たちのアイドルだったそうです。日本には60年代それを許す土壌がなく、アンダーグ

ランドの中で、ごく一部の人々に愛された女優さんがいたそうです。横尾忠則さんは浅丘ルリ子さんをヌードにした作品を作っています。もちろん彼女はヌードになるようなキャラクターではないので、想像上のものです。

Q 6. アンディ・ウォーホルは自分の痕跡を残さない作品を作りましたが、メッセージはなかったのですか。

ウォーホルは、「私の作品は表面だけである、裏には何も無い」と言ったそうです。痕跡さえ入れない作品の徹底した無化が、時代を強烈に映し込む鏡の役割として彼は認識していたのです。これが他のポップアーティストと違うところです。痕跡や手技は抽象表現主義やそれ以前の美術の名残を感じさせますが、それを無化させたウォーホルの作品は画期的な出来事なのです。ポップアートの中でも図抜けた存在と言えるでしょう。

Q 7. アンディ・ウォーホルの映画も知りたいです。

「エンパイヤー」「イート」「眠り」「キス」を定点から長時間の撮影した映画など、コンセプチュアルアートの実験映画を制作しました。さしたる変化もない映画に長時間付き合うのも大変かと思います。

Q 8. ポップアートの絵画作品の部分から抽象的要素を引き出した。のところを詳しく教えてください。部分を切り取ると抽象絵画になるとのことでしたが、そういうことなら世の中にある、どの具体的な絵画にも同じことが言えるのでしょうか。

これはすべての絵画に当てはまる訳ではありません。ロイ・リキテンシュタイン、ジェームズ・ローゼンクイストに言えることです。特にローゼンクイストのモチーフをランダムに構成した具象絵画がとてつもなく巨大なため、近くで見ると具象であったものが抽象表現的に見えると言うことです。彼は看板描きのアルバイトをしているときにこのこと発見して作品に取り入れているそうです。ロイ・リキテンシュタインの絵画はコミックの一場面をモンドリアンのような色調で、太い線と色面とドットのみで構成です。これは具体的な形を描いてあるので意識しづらいのですが、モンドリアンのグリッドと色面の絵画と同じように捉えることができます。2人ともそれを意識して作品の構成要素として制作しているところが、他の人の描いた作品とは違う所といえるでしょう。そう見えるのと、そう描いたのでは相当な違いがあるのです。

Q 9. ポップアートが「ウィット」に富んでいるとは。

「ウィット」(Wit)は機知、機転、とんち、などと訳さ

れます。例) クレス・オルテンバーグの洗濯バサミは「ウィット」に富んでいて、こども心と呼ばれられる。作品の背景には、近年蔓延してきたスノブ(Snob: えせ紳士)の社会的規範に一撃を食らわせ、笑い飛ばしてやろうと言うアメリカ人のユーモア精神が見える。また公共空間に洗濯バサミを設置し受入れる市民や行政も「ウィット」に富んだ人々と言えるだろう…など。

Q10. ポップアートはシュルレアリスムや抽象表現主義より解釈の幅がせまいので気楽に鑑賞できる。今までの授業でよくわからないものを見続けていたせいか、分かり易いということが逆につまらないと感じてしまう。

これまでのアートの動向が刺激となって脳内の許容量が増大したと言うことです。同じ人間として、先人の創意工夫から学ぶことは多いと思います。人は剛が続くと柔を求め、時代は必ず揺り戻しがあるのです。ポップアートの反動でミニマルやコンセプチャルへと変動します。

Q11. 洗濯バサミのような場違いであるが、ちゃんと意味のある面白いモニュメントはあまり日本では見られないと思った。日本にはあのようなモニュメントがありますか。

「ウィット」(Wit)の欄でも書きましたが、日本のなかであのようにあつけらかんとしたモニュメントは存在しません。日本人の特性でしょうか、公共空間に設置されるものは、まじめな芸術したものが行政をはじめ市民も求めているようです。それが愛されているかという別話で、作品の周りに自転車だらけとか、手入れもされず悲しい状況なのも日本なのです。欧米は凱旋門や戦勝記念碑など公共のモニュメントの意味を十分に理解されている歴史があります。日本では自然石に記念の歌碑などを設置し、自然に侘びた風情の趣きを感じていた日本との違いでしょう。

Q12. ウェスターマンの木箱はマグリットの棺桶の作品と関連性はあるのでしょうか？

ウェスターマンの作品はユーモアに溢れていますね。「く」の字型の木箱は小さな棺桶です。取っ手のつまみが十字架でした。良く観察しています。マグリットの棺桶の作品との関連性は分かりませんが、どちらの作家もだましのユーモアが好きですので、ウェスターマンは間接的に影響を受けているかもしれません。

Q13. ROCK: 音楽とビジュアルの融合したアートだと思う。

実はアートシーンより音楽の方が時代の先取りは早い

と思います。昔、イギリスのロックシーンのミュージシャンはほとんどが、美術学校出身と言われていました。アートと音楽の創造の根っ子は近いと思われます。ROCKと密接な関係をするのが、ヒッピー文化でLSD(ドラッグ)によって極彩色の幻覚をもとに70年代に一世を風靡したのがサイケデリック文化です。終息するのも早かったです。

3-4. フォトリアリズム (スーパーリアリズム)

1960 年末頃～

人物像や風景などを超細密に写真のように描く絵画や、人体から直接型取りをした人物像などをスーパーリアリズムやフォトリアリズムと言う。抜群のテクニックを誇り、絵画や彫刻に一つのあるべき姿勢を示した。

チャック・クロース、リチャード・エステス、ジョン・デ・アンドレア、ドウェイ・ハンソン、ドン・エディ、マルコム・モーリーの作品を紹介。

1) 学生の感想から抜粋

絵画が絵画たらしめる超写実。徹底して推し薦める技量に感心は高い。写真技術が高まって、それを超えようとする作家が出てくるのも必然性のあることである。

■フォトリアリズム絵画凄い、圧倒される ■フォトリアリズムの彫刻好き ■チャック・クロースは凄い ■リチャード・エステスの絵は写真以上である。

2) 学生の質問・疑問と教員のコメント

超絶技巧に息を呑まれた学生が多い。その意味に懐疑的な学生の声も見逃せない。写真で良いのでは、の声もうなずけるが、制作の魂はそれを凌駕する。

Q1. フォトリアリズムの作品は写真に見間違ふ。制作時間は。大きさは。何に描いているの。絵具は。どうやって描くの。描く意味がないと思う。写真でいいような気がする。ポップアートからの流れが分かりません。

チャック・クロースのスーパーリアリズムの肖像画は高さ274.3cmのキャンバスに描かれています。一枚の絵を完成させるのに数ヶ月を掛けるそうです。素材はアクリル絵具を使用しエアブラシで描きます。スライドをプロジェクターでキャンバスに投影して輪郭をなぞります。そこから一つ一つ精密に色で塗り込めて行くのです。大変根気のいる作業かと思います。ただ、写真を元に行っているが写真を超える表現をねらって光の映り込みやピンぼけなどをより強調しています。リチャード・エステ

スのバスとショーウィンドウの絵は幅 132.1 cm とそれほど大きな絵ではありません。素材は油彩で手描きです。画面全てにピントがありますので、かなり高度なテクニックと膨大な描き込みを必要とします。もちろん写真をプロジェクションして描いていますが、何枚かの写真を合成して描くようです。光の反射などを強調して写真では捉えられない世界を作り出していると思います。写真でも良いのですが、そこに人間の思いをのせていく絵画に人生を捧げる人もいて良いのではないのでしょうか。ポップアートの流れから派生した美術と言えるでしょう。抽象全盛からポップアートになって、その後若いアーティストがフォトリアリズムを求めたと言えます。

Q 2. フォトリアリズム (スーパーリアリズム) に似た、最近話題の巨大なリアルな人間の作品が見たいです。

絵を見たように描きたい、彫刻を実物のように作りたと思うのは人間の本性なのかもしれません。ジョン・デ・アンドレア、ドウェイ・ハンソンの蠟人形みたいな作品を先例に、最近の動向としてリアルな彫刻が出てきました。最近話題の巨大なリアルな人間の作品はロン・ミュエクの巨大少年の作品です。

3) 美術の見方考え方についての質問

学生の感想や質問をまとめた「上遠野通信」は、学生に他者との考え方やモノの見方の違いを意識させるようである。人と比べる必要はなく、学生それぞれに個性がある。個性を尊重し伸長させる手立てとしたい。

Q 1. なんだか皆の質問集を読む度に考えさせられてしまいます。私は、自分の中にあるものだけで、物を作ってきましたが、もっと周りの物を見るだけではなく、そこから無理矢理にでも疑問をしばらく出す姿勢が大事なんだなあと、今更ですが、こういった分野に向いていないのかなあ、と思い始めてきました。

この授業は現代美術の授業なのでデザインとは少し異なります。個々の作家には、それぞれの概念があることを理解する手だてとなって頂ければ幸いと思っています。あるがままを認める。それは自己にも、他者にも言えることです。これからいろいろと体験のなかから自己が形成されてきますので、焦らず自分探しを楽しむ 4 年間で良いのではないのでしょうか。

その時代の他の美術

オブアート (オプティカルペインティング)

1960 年代中頃～

ポップアート後の動向、錯視効果を利用したアート。

ヴィクトル・ヴァザリリ、ブリジット・ライリーの作品を紹介。

4. 大衆文化の夜明け②：ブリティッシュポップ、ヌーボレアリズム、日本のネオダダイズム・オルガナイザーズハイレッドセンター

4-1. ブリティッシュポップ (イギリス) 1950 年代中頃～

エジュアルド・パオロツツイやリチャード・ハミルトンがポップアートの先駆者と言える。ハミルトンの「いつたひが今日の家庭をこれほどに変え、魅力的にしているのか」の小さなコラージュはポップアートの代表作。彼が教員をしている王立美術大学の教え子から優秀な作家を輩出した。デイヴィッド・ホックニーやロン・キタイ、パトリック・コールフィールドなど絵画を中心に落ち着きのある作風に特色がある。3-3. ホップアート、4-2. ヌーボレアリズム (フランス) は関連。詳細は下記の教員コメント、学生の感想を参照。

フランシス・ベーコン、ルシアン・フロイトを経てリチャード・ハミルトン、ロン・キタイ、ピーター・ブレーク、デイヴィッド・ホックニー、パトリック・コールフィールド、アレン・ジョーンズ、エジュアルド・パオロツツイなどの作品を紹介。

1) 学生の感想から抜粋

初めて見る作品が多く、イギリスの作家に魅了されたようである。アメリカの作品のように大衆文化の事物をあっけらかんと示すのではなく、大衆化を促進しながら、魅力のある画力を示す具象絵画や立体表現の新たな地平を開拓したと言える。

■フランシス・ベーコン、人間の不安感を示していた■ルシアン・フロイト、少女の絵の目が特に印象的■ブリティッシュポップのポップアートがイギリス発と聞いて驚いた、アメリカの作品よりブリティッシュポップの方が絵画的で親しみやすい、独自性や感性を感じる、アメリカの影響を受けているのが分かった。ダダやシュルレアリスムに比べて線で構成されている絵が多くシンプルで好印象、リアルに描かれている部分とコラージュのような平面的な部分が混在して面白い、アニメのように絵がかれたアメリカのポップアートより魅力的、芸術作品は地

域の特性が現れていると感じた、あっさりとしたスマートな作品なのに、どれも深みがある印象、上品で紳士的な印象■リチャード・ハミルトン、代表作のコラージュより描かれた作品のほうが好き■ロン・キタイの色使いと空間が好き、オハイオギャングの絵が好き■ピーター・ブレークの新聞の絵が好き、勲章のある絵印象深い、MASUKED ZEBRA KID 好き、デザイン的要素があって好き、ビートルズのジャケットのジョージ・ハリソンの目が描かれてなくて悲しい■デイヴィッド・ホックニーのクレヨンの絵が素敵、龍安寺の写真作品好き、フォトコラージュ難しそうだが楽しそう、デザイン的要素があって好き■パトリック・コールフィールド、白黒の婚約指輪の画面が好き、すっきりして雰囲気が綺麗、色数が少ないのに周辺に他の色が見えてくるようで素晴らしい、惹かれた、つぼの絵好き■アレン・ジョーンズの女性が家具になるのがすごい、本物の人間を使って写真で表現した方がリアルで良いのでは■エジュアルド・パオロツィ、シルクスクリーンの象が可愛い。

2) 学生の質問・疑問と教員のコメント

ポップアートと言うとアメリカの印象があるようである。その気運はイギリス発である。作品にも表現の地域特性があることを理解することは重要である。学生の質問・疑問と筆者の答えで意味を補完し概観する。

Q 1. プリティシュポップはアメリカのポップアートより認知度がかかなり低い気がしました。どうしてですか？

戦後の日本はアメリカを窓口に見ていましたので、プリティシュポップよりアメリカのポップアートの方が情報量も多く馴染みがあると思います。私が学生の頃の 80 年代はイギリスのデイヴィッド・ホックニーやフランシス・ベーコン、ルシアン・フロイトも断然人気がありました。「ニュースカルプチャー」(80 年代の新しいイギリスの彫刻の動き) のトニー・クラグやバリー・フラナガンなどが台頭してイギリスの現代アートがもっと身近でした。それは世田谷美術館を中心にイギリス美術を積極的に紹介したからです。イギリスの美術の特徴は、流行と関係なく独自の道を歩む作家が多く、通の美術愛好家や作家に支持されていました。

Q 2. 国ごとに作品のニアンスが違う印象をうけます。

美術の大きな流れや様式が発生するのは、地球規模の共通する潜在意思が突き動かされているなにかがあるのでしょうか。しかし作品のニアンスは国や地域により表情がことなります。それは国民性や歴史的背景、宗教観などが反映されるからでしょう。通信手段や交通手段の発

達によってグローバル化が促進されています。しかし美術の世界では、欧米を中心に価値基準が形成されています。東洋や南米、アフリカのアーティストは、欧米の文脈にない現代の価値を創造するオリジナル性が要求されています。近年は日本のマンガやアニメ、アキバなどの文化がリスpektされています。村上隆がアートワールドで受け入れられたのには必然性があったと言えます。

Q 3. RCA 王立美術大学を教えてください。

ロンドンにある王立の大学院大学で、著名な作家を輩出している。近年はビジュアルデザインに力を入れているようです。日本人の留学も多い。ロンドンにはセントマーチン、チェルシー、ゴールドスミスなどの美術大学が有名です。

Q 4. 作品のタイトルには意味不明なものが多いが、これは作者が訳分からないタイトルをつけているのか、それとも作者にだけ理解されることがあるのか。

難解なタイトルを付ける代表はマルセル・デュシャンと言えるでしょう。タイトルにも謎掛けを人生にも謎を掛ける作家だからです。リチャード・ハミルトンはデュシャンを崇拜して、イギリス版大ガラスのレプリカを作った人です。「いつたい何が今日の家庭をこれほどに変え、魅力的にしているのか」はデュシャンの影響でしょう。欧米の作家には、無題 (untitled) と表記するのがかなり見かけます。または「リングと赤いバラとテーブル」など即物的なタイトルを付ける人も多いです。日本人の方が詩的で修辭的なタイトルが多いです。

4-2. ニューボレアリスム (フランス) 1950 年代末頃～

アメリカのネオダダと共通点が多い。廃物やファウンドオブジェ (見いだされたオブジェ)。フランス版ポップアートとも言える。独自の顔料を開発してパフォーマンスとの関連で作品を作ったイブ・クラインやジャンクアートによるアッサンブラージュで社会を表出する作品が多い。3-3. ホップアート、4-1. プリティシュポップは関連。詳細は下記の教員コメント、学生の感想を参照。

アルマン、セザール、ジャン・ティンゲリー、ニキ・ド・サン・ファル、イブ・クラインなどの作品を紹介。

1) 学生の感想から抜粋

ジャンクを使った集積や集合の作品が多い。学生は日常の何気ない品々がアートに変身することに、強い関心を示すことが伺える。

■ヌーボレアリズムのジャンクアートは潔くって好き■アルマンの赤ちゃんの人形を一杯を詰めた作品恐い、グロテスクで奇妙、ゴミ箱が作品になるのがすごい、真空管の作品印象深い■セザールの大きな親指の作品見てみたい■ジャン・ティンゲリー、すごいジャンクアート■ニキ・ド・サン・ファル、女性像のナナちゃんがよかった、カラフル好き、カラフル嫌い、イタリアの彫刻公園クロットの庭行ってみたい■イブ・クライン、「人体測定」の女拓にビックリ、衝撃、抵抗感あるけど好き、インターナショナル・クライン・ブルーすごくいい色、見てみたい（画材店で販売されてます）。

2) 学生の質問・疑問と教員のコメント

フランス版ポップアートであるがアメリカやイギリスのポップアートと性格が異なる。ネオダダのように廃品を使う作家が多い。イブ・クラインの衝撃のパフォーマンスに驚きと関心を惹いたようである。日本では馴染みの作家が多いことが分かる。

Q 1. イブ・クラインの裸の女性を使ったパフォーマンスは、芸術とセクハラ境界がむずかしい。

例えば、日本には芸術系の学校にヌードデッサンがあります。ヌードの女性の絵がデパートの美術売場に陳列してあります。街角には女性の裸の彫刻があります。美術とはそういうものだとなんの疑問もなく批判もなく容認されています。ところが現代アートにおいては表現の過激さゆえに、作家が意図しないところで、受け手が生身の性を極度にあぶり出してしまうようなことがあります。イブ・クラインが行った裸の女性を使った女拓パフォーマンスは日本の状況と何が違って、なにが同じなのでしょう？ 芸術表現とセクハラ、いわゆる「性的嫌がらせ」とは、その動機に根本的な違いがあります。この授業では、造形を通して人間像を語る場合、性や人体を外して本質に迫ることができないと思っております。ちなみに、アメリカでは街角に女性の裸の彫刻があったらポルノグラフィーとの認識だそうです。このように地域や受け手の人それぞれに考えが違うことを認めながら授業を進めてまいります。

Q 2. ヌーボレアリズムの作品は日本にあるものが沢山あったが、日本にゆかりがあるのでしょうか。

アルマン、セザール、ジャン・ティンゲリー、ニキ・ド・サン・ファル、イブ・クラインは日本でも展覧会が多く開催されています。ジャン・ティンゲリーはセゾン現代美術館、箱根彫刻の森美術館などにあります。セザールは箱根彫刻の森美術館や清春白樺美術館などにありま

す。ニキ・ド・サン・ファルは熱心なコレクターがいて、ニキ・ド・サンファル専門のニキ美術館が那須高原にあります。熱烈な支持者がいるということです。ちなみにイブ・クラインは日本に柔道の修行にきています。講道館四段でヨーロッパに柔道を広めました。

4-3. ネオダダイズム・オルガナイザーズ（日本）

1960 年代初期頃～

日本の反芸術運動。ネオダダオルグとも言う。吉村益信を中心に「読売アンデパンダン」などで活躍。奇異な格好をして銀座を練り歩いたパフォーマンスや篠原有司男のボクシングペインティングは有名。活動は短期間で終止符を打った。

吉村益信、赤瀬川原平、篠原有司男、荒川修作、風倉匠などの作品紹介。

1) 学生の感想から抜粋

日本のアバンギャルドの活動を知らない学生には衝撃であったようである。彼らの突破力があって現代美術が醸成されているのである。興味の一端が伺い知れる。

■日本の 60 年代の現代美術いろいろあって面白かった、もっと紹介してほしい、こんなに面白い人たちがいたのだと興味深かった、おかしいことをことをまじめに淡々とすることに共感■吉村益信の剥製のブタはリアルなのに美味しそうで面白い、衝撃をうけた、大ガラスのからすの作品はデュシャンに引っ掛けて笑える■篠原有司男、ボール紙のバイクの作品すごい。モヒカン強烈、ボクシングペインティング面白い。

4-4. ハイレッドセンター（日本）1960 年代初期頃～

高松・赤瀬川・中西の頭文字をとってハイレッドセンター。芸術と日常を攪拌するアートを実践した。彼らの活動は日本の現代美術史において、具体につぐエポックと言えるであろう。創造性や発想のありようは群を抜く。その後、各自は各々の道を歩むが、現代美術の最前線を歩む。詳細は下記の教員コメント、学生の感想を参照。

高松次郎、赤瀬川原平、中西夏之の作品を紹介。

1) 学生の感想から抜粋

芸術が芸術として存在するのではなく、芸術と日常を攪拌することによって見えなかったものが見えてくる。彼らは美術概念の拡張に大いに貢献した。絵を描く、彫刻を作るのみが芸術でないことが理解できたようである。

■ハイレッドセンターのシェルターの計画面白い、奇抜な作品ばかり、山手線事件：自分が乗り合わせたらびっくり、清掃や物を落とす行為が作品になってしまう芸術の幅の広さを感じた。パフォーマンスはぶっ飛んで面白かったが、本人たちが一番楽しかったのでは■高松次郎、影の絵好き、本物のよう■赤瀬川原平、お札の作品面白い、下着の作品不思議な存在感があった、全てが面白い、超芸術トマソン：四谷階段好き微笑ましい、越境する影面白くて好き、凹なのに凸素敵、風のレコード好き、好き、面白い■中西夏之、洗濯バサミ痛そう、すごい、芸術と日常を攪拌するのがかっこいい。

その時代の他の美術

工藤哲巳、三木富雄、山口勝弘、野田哲也、四谷シモン、須賀啓、小島信雄、震嘔 (AY-O)、岡田博、池田満寿夫、菊畑茂久馬、秋山祐徳太子、手塚治虫、草間彌生、横尾忠則、亀倉雄作の作品を紹介。

2) 学生の感想から抜粋

国際的にも著名な女性作家、草間彌生の印象が強いようである。横尾忠則、亀倉雄作のデザイン、ポスター表現は今でもインパクトを保っていることが分かる。

■草間彌生、自分の精神に直接問いかけているように思えた、嫌いなものを克服するために制作するのが新鮮。かぼちゃと鏡の部屋が宇宙より広いのが印象的で不思議、綺麗、軍手を素材としたソフトスカルプチャーが興味ある、増殖させる覇気がすごい■横尾忠則、構図や色彩のセンスが良い、今でも新鮮、デザインとアートの中間もありえることを認識■亀倉雄作、東京オリンピックのポスター良かった、普遍的なのですね。

3) 学生の質問・疑問と教員のコメント

日本のネオダダイズム・オルガナイザーズ、ハイレッドセンター、その時代の他の美術について総括。

学生は、1960年代の作品解説から時代背景について興味を持ったようである。急速に社会が経済成長する高揚感は今では見られないものである。現代美術が「社会の鏡」たる所以である。作品においても世界観を広げてくれるものが多く興味的一端が伺い知れる。学生の質問・疑問と筆者の答えで意味を補完し概観する。

Q 1. 1960年代は現在より社会に対する関心が強い印象を受けました。どんな世の中だったのですか。

60年代はテクノロジーの黎明期と言えるでしょう。1961年ソビエト連邦のガガーリンが人類として初めて

宇宙飛行を成し遂げ「地球は青かった」とコメントしました。それから8年後の、1969年にアメリカはアポロ11号で月面に着陸したのです。テレビに釘付けになって生放送をみました。ベトナム戦争(1960年～75年)も連日放映されていました。日米安保闘争での学生運動も過激でした。東大の安田講堂が占拠されたのは1969年でした。60年代はキューバ危機、ケネディ大統領暗殺、東海道新幹線開通、東京オリンピック開催、マルコムX暗殺、中国文化大革命、ミニスカートが流行る、キング牧師暗殺、ワルシャワ条約機構軍がチェコスロヴァキアに侵攻、高度経済成長、公害、ビートルズなど激動の時代とも言えるでしょう。国家に忠誠な国民が個人の権利を主張する国民へと変化した時代でもあります。

Q 2. 昔はとても激しいパフォーマンスアートをやっていたようですが、今やったら捕まりそうなのですが、やっている人はいるのでしょうか。

主張する方法や表現は変遷していますが、激しいパフォーマンスアートをやっている作家は相変わらずおります。法律に違反するような行為は今も昔もお縄なことに変わりません。

Q 3. 赤瀬川原平の千円札裁判で捕まってしまうのはやり過ぎな感じがします。法廷写真がありました。裁判所内は写真を撮れるのでしょうか。今でもお金を題材にした作品は危ないのですか。

赤瀬川原平さんは紙幣偽造ではなく模造罪です。国の定めたお札と紛らわしい物を作った罪です。弁護用の証拠品として作品が法廷内に陳列され弁論や審議を含め、一種のアートパフォーマンスの様相を呈していたそうです。結局、赤瀬川さんは懲役3ヶ月執行猶予1年の有罪判決を受けました。1年間お利口さんにしてしまうと刑が失効するのです。写真は裁判官側から撮影されているので、証拠品として押収されていた作品ともども返還されたものと思われます。他にお金を作品にしている作家はいます。アメリカの作家で100ドル札をロットリングで精密にイラスト描写してお店で買い物をするそうです。これはニセ札ではなく、絵画として100ドル以上の価値を商店主に買い取ってもらって売買は成立して買い物ができる方法です。こんな方法でも生きて行けるアメリカの寛容さが好きです。日本では最近、会田誠が屏風絵の下地に一万円札を白黒コピーして金箔がわりに貼って絵を描いた作品があります。いわゆる「金」として意味の還元です。ちなみに、お札をコピーすると、コピー機が検知してメーカーは警察への通報義務があります。

Q 4. 赤瀬川原平は芸術家ですか作家ですか。どうしても原平さんみたいになれるのでしょうか。

赤瀬川原平さんはアーティストのほかに芥川賞作家の尾辻克彦でもあります。現在はこの作家名は使用せず赤瀬川原平で出筆活動を行っています。「老人力」は記憶に新しい。老人力の命名は建築家で建築史家、東大教授の藤森照信さんです。どうしても原平さんみたいになれるのでしょうか。それは、まなざしの柔らかさと最良の脳内リゾート開発の達人だからでしょう。物事に几帳面であるが、角がない。そして本人談。「優柔不断の人」だそうです。眉間にしわがない。「人間てだいたいこんなものだとわかってくると、悩みというの干からびてきて、爪の先でべりっと剥がれたりする」と言っています。

Q 5. 60年代の作品は画期的でした。現在の作品はあまり画期的とは思えません。

生まれ落ちる時代によって社会的背景や思想は変遷します。これは運命と言えるもので、作家もしくは全ての人が、あらがうことができません。60年代は第二次世界大戦も終わり、アメリカを頂点に経済の復興が目覚ましく、大量生産が可能となりTVなどメディアの飛躍的な発達がありました。人類が月面に到達したのは69年でした。今日より明日が輝かしい、そのような時代にはある種の高揚感が発生します。ポップアートのあっけらかんとした脳天気な作品は時代のリトマス試験紙と言えるでしょう。その反面、ベトナム戦争への参戦やキューバ危機、ケネディ大統領の暗殺、公民権運動（黒人差別に対する運動）とキング牧師の暗殺。世界中で発生した学生運動。武装によって世直しを謳った過激派なども登場しました。個人の権利や自意識の目覚めも顕著になった時代です。それらを背景にシリアスなコンセプチュアルアートやミニマルアートが誕生したとも言えるでしょう。アースワークは当時の若者の厭世観や極度に商業化されたアートに対する意義申し立ての意味もあります。

さて、現代を考えてみましょう。携帯電話やパソコンなどの伝達手段が、よりパーソナルな次元に降りてきてバーチャル化する一方です。アートより事実のほうが早く。そして先鋭的です。瞬時に世界の情報を入手できる時代は、他者と照らし合わせることが可能となり、せっかく先鋭と思って創造した作品が、他者の後塵を排していたと言う話もあり得る時代です。ですから大きな様式のムーブメントも発生しにくい時代です。そのうえ思いもしない画期的な方法が社会の中に流通しているので、アーティストの個は埋没しつつ社会を緩やかにあぶりだしているのが現状といえます。

Q 6. 草間彌生のように自分の病気を克服して行くためや病気（幻覚）などを元にして制作するアーティストは他にいますか？

オブセッション (Obsession 妄想, 脅迫観念) アートと言います。草間彌生さん以外はヌーボレアリスムの作家、ニキ・ド・サン・ファルの若い時の作品に、人体を布や石膏で作った散弾銃で撃ち抜く作品で克服した例があります。これと似た作品にアウトサイダーアートがあります。精神的疾患を持ちながら、美術教育を受けずにオブセッションなアートを作っている人はたくさんいます。

Q 7. 横尾忠則のポスターは浮世絵の色合いで新鮮でした。

写真製版を使用したシルクスクリーン技法です。プロのシルクスクリーン刷り師と共同で制作します。色数も自由。浮世絵風にすることも、クレヨン風、油絵風にすることもできます。ポスターなどのグラフィック作品は世界の横尾として評価されています。ニューヨーク近代美術館には多数のポスター作品が収蔵されています。最近、横尾忠則はグラフィックや商業作品の仕事は一切しないことを宣言してアート作品に邁進するそうです。

以上で、「ダダイズムからポップアートと1960年代の美術まで」の美術様式を、学生の講義感想や質問を交え現代芸術の歴史を概観し表現の根幹を明らかにした。

IV. 結語

本研究は、「ダダイズムからポップアートと1960年代の美術まで」の約50年間の現代美術の様式を解説したものである。

美術概念の大きな変革と言える、ダダから始まって、シュルレアリスム、第2次世界大戦中から始まった抽象表現主義、戦後のアンフォルメル、具体美術、ネオダダ、ポップアート、ブリティッシュポップ、ヌーボレアリスム、フォトリアリズム、オプアートネオダダ・オルガナイザーズ、ハイレッドセンターなど、それに各美術様式と時代背景を同じにする代表的な、その他の美術を併せながらアメリカ、ヨーロッパと日本を横断的に網羅した。

特に、作品の制作意図を示す「現代芸術の基本理念、表現の時代背景、表現の地域特性、作品概念、表現論」の観点から概観した。各項目ごとに現代美術が理解できるように、学生の質問や感想に答える形で考察を交えながら作品事例をあげて、詳細に表現の根幹を明らかにした。

学生の現代美術に対する戸惑いや興味は、徐々に理解

から親しみへと変化し、それに応じて質問や感想の内容も変化するのも教育者として興味深い。デザインや芸術文化を創造するためには、先人の歴史を学ぶと同時に芸術文化も学ばなければならない。創造の源泉として、本研究が考え方の大きなヒントになるであろう。

熱心に取り組んでくれた学生に敬意を表したい。

引用文献

- 1) ロバート・アトキンス：現代美術のキーワード・東京：美術出版社，p.148，1993
- 2) 吉原治良「具体美術宣言」1956年10月（『芸術新潮』1956年12月号掲載）
- 3) 近藤由紀「真贋のはざま」アプロプリエーションから
http://www.um.utokyo.ac.jp/publish_db/2001Hazama/07/7200.html

参考文献

- ・ロバート・アトキンス：現代美術のキーワード．東京：美術出版社，1993

- ・美術手帖編集部：現代美術事典 アンフォルメルからニューペインティングまで．東京：美術出版社，1984
- ・美術手帖編集部：現代美術 ウォーホル以降．東京：美術出版社，1990
- ・美術手帖編集部：現代美術入門．美術出版社，1986
- ・H.W. ジャンソン：美術の歴史 第4部近代世界．東京：美術出版社，1990
- ・H.H. アーナスン：現代美術の歴史．東京：美術出版社，1995
- ・エドワード・ルーシー＝スミス：現代美術の流れ 1945年以降の美術運動．東京：パルコ出版，1986
- ・榎木野衣：爆心地の芸術．東京：晶文社，2002
- ・中村信夫：少年アート．東京：弓立社，1986
- ・クリストファー・フィンチ：ポップアート オブジェクトイメージ．東京：パルコ出版，1979
- ・巖谷國士：ユリイカ ダダ・シュルレアリスム．東京：青土社，1981
- ・ケネス・クウツ＝スミス：ダダ．東京：パルコ出版，1976
- ・artscape 現代美術用語集
<http://www.dnp.co.jp/artscape/reference/artwords/index.html>
- ・フリー百科事典 ウィキペディア（Wikipedia）

現代芸術論におけるデザイン学生の授業感想と教員からの通信 #2

ミニマルアートからニューペインティングまでの現代美術

上遠野 敏

札幌市立大学デザイン学部

妙録：本研究は「ミニマルアートからニューペインティングまで」の20年間の現代美術を分かり易く解説したものである。本学デザイン学部の授業「現代芸術論」での毎回の授業感想で書かれた学生の質問や疑問を、次の授業までに筆者が返答を作成して「上遠野通信」として配布したものを基にしている。特に関連の深い記述を抜粋して、講義で教授した内容や、美術の考え方、学生からの質問や感想の分析と考察を交えて、現代美術の基本理念、表現の時代背景、表現の地域特性、作品概念、表現論の観点から明らかにした。デザインや芸術文化を創造するためには、先人の歴史を学ぶと同時に芸術文化も学ばなければならない。創造の源泉として、本研究が考え方の大きなヒントになるであろう。「ダダイズムからポップアートと1960年代の美術まで」を#1、「ミニマルアートからニューペインティングまで」を#2、「1980年代の美術～現在（2007年）まで」を#3とした。現代美術の系譜を通して作品の理解を深めることを目的としている。

キーワード：現代美術の基本理念、表現の時代背景、表現の地域特性、作品概念、表現論

I. 研究の背景・目的

芸術は「哲学の具象」である。特に現代美術は「時代を映す鏡」とも言われ、時代背景と密接な関係を結んだメッセージが現れている。それは表現の自由を最大限に保障している証である。しかし現代美術に対して本学デザイン学部の学生を含め人々の情報量は極端に乏しく、難解であり垣根が高いと感じているのが一般的である。鑑賞する側にも多少の知識を必要とするのは「美」の価値観が時代とともに変化して、創造の概念が拡張しているからと言える。本学2年生を対象にした「現代芸術論」の講義では、1910年代のダダイズムから2007年の現在までの流れを、先人のユニークな創造の作品スライドを見せながら、筆者が現代美術家としての目を持って易しく解きほぐした。表現の自由を尊重しながら、発想の展開を理解することは、デザイン活動においても自己の心を解放して創造空間を拡張してくれるものと確信している。

本研究では「ミニマルアートからニューペインティングまで」の20年間の作品を通して講義した内容と併せて、学生から寄せられた質問に答えることによって、「現代芸術の基本理念、表現の時代背景、表現の地域特性、作品概念、表現論」の観点から現代芸術の歴史を概観し表現の根幹を明らかにした。

学生の現代美術に対する戸惑いや興味は、授業を進めの中で理解が深まり親しみへと変化する心理も読み取ることができる。本学の特徴である看護学部との学部連携

の授業においても、デザイン教育においても現代美術の創造の歴史を系譜を通して理解を深めることは、人間性をより豊かにして、デザインや看護の専門性をより拡充することが期待できる。

II. 研究方法

1. 現代芸術論について

受講生88名、本学デザイン学部2年生76名、札幌市立高等専門学校専攻科1年生12名。

選択科目、2年次前期、90分×15回、2単位

〈科目のねらい〉

現代芸術の基本理念とその特徴を、時代背景や地域特性とともに概説する。モダンアート、ダダイズム、シュルレアリスム、抽象表現主義、ポップアート、ミニマルアート、アースワーク、コンセプチュアルアート、ポストモダニズム等について、代表的な作家の作品を紹介しながら、歴史的・地域的特徴について概観する。

〈授業の目標〉

- ・20世紀から現在までの現代芸術が系譜を通して理解することができる。
- ・現代芸術の理解を深めることによって、デザインの専門性を拡充することができる。
- ・表現の自由を尊重し、発想の転換や創造の概念を学ぶ。

表 1 現代芸術論シラバス

第1回	現代美術概説：モダンアートから現代までの流れ1	アート関連：ショートフィルム紹介1
第2回	現代美術概説：モダンアートから現代までの流れ2	〃 2
第3回	芸術の転覆①：マルセル・デュシャンの反芸術的たぶらかし	〃 3
第4回	芸術の転覆②：ダダイズム，シュルレアリスム	〃 4
第5回	脱イリュージョン：抽象表現主義，アンフォルメル，具体美術	〃 5
第6回	大衆文化の夜明け①：ネオダダ，ポップアート，フォトリアリズム，オブアート	〃 6
第7回	大衆文化の夜明け②：ブリティッシュポップ，ヌーボレアリズム，ネオダダ・オルガナイザーズほか	〃 7
第8回	概念の構築：ミニマルアート，プライマリー・ストラクチャー，コンセプチュアルアート	〃 8
第9回	物の言葉を聴く①：アースワーク	〃 9
第10回	物の言葉を聴く②：アルテポーベラ，もの派	〃 10
第11回	ポストモダニズム①：ニューペインティング	〃 11
第12回	ポストモダニズム②：1980年代の美術・アートメディアとしての写真，ニュースカルプチャーなど	〃 12
第13回	多様化する表現：1990年代の美術・シミュレーションほか	〃 13
第14回	物質と非物質の行方：現在の美術	〃 14
第15回	映像アートの検証	

〈授業の流れと内容〉

授業シラバスの中盤部分の第8回から第11回までの講義での現代美術のながれが本研究の考察事項である(表1を参照)。

授業では豊富なスライド資料と映像資料，レジュメ，参考資料を用いて行われる。第8回，概念の構築：ミニマルアート，プライマリー・ストラクチャー，コンセプチュアルアート，第9回，物の言葉を聴く1：アースワーク，第10回 物の言葉を聴く2：アルテポーベラ，もの派，第11回 ポストモダニズム1：ニューペインティングを紹介した。併せて，70年代日本の美術の状況も取り上げた。

同時に，アート関連のショートフィルムも毎回紹介している。アート系の映像は，マスメディアに取り上げられることも少なくマイナーとも言える。しかし良質な映像が多く学生の感性と知識を立体的に涵養するためにを行っている。映像についての考察は別稿で取り上げる。

2. 学生の授業感想について

「現代芸術論」では毎回の授業終了時に講義の感想を書いてもらっている。授業感想は出欠確認もかねている。真摯な感想が寄せられて，授業内容が伝達できていることが確認できる。講義で聞き漏らしたことや疑問に思ったことの質問も多いことが分かった。2回目の授業から毎回，レジュメと併せて授業感想や質問，疑問に答えるA4サイズ，8ページの「上遠野通信」(図1)を発行した。学生との往還の中から，現代美術が系譜を通して理



図1 レジュメと上遠野通信

解することが可能な110ページを超えるテキストを作成した。

本研究では「ミニマルアートからニューペインティングまで」の上遠野通信の中から，特に関連事項の深い学生の質問と筆者の答えの記述を抜粋した。意味の補完をするために，各美術様式の講義内容の簡略な説明と紹介した作家も併せて掲載した。

III. 研究成果と考察

「ミニマルアートからニューペインティングまで」の20年間の美術様式の変遷のながれから「現代芸術の基本理念、表現の時代背景、表現の地域特性、作品概念、表現論」の観点で、学生の授業感想や質問を交え現代芸術の歴史を概観し表現の根幹を明らかにする。

1. 概念の構築：ミニマルアート

コンセプトチャルアート

1-1. ミニマルアート 1960 年代中頃～

ミニマリズム、ミニマルとも言う。物語性や装飾性、再現性を最小限度に切り詰めた均一な美術を言う。ポップアートで大衆化された美術を否定し、抽象表現を徹底して推し進めた。矩形な立方体や連続する形態のミニマル彫刻とシンプルな色面とグリットなどのミニマル絵画がある。同時代にミニマル音楽や建築にも波及した。

ミニマル彫刻：ドナルド・ジャット、カール・アンドレ、ダン・フレビン、リチャード・セラ、ジョエル・シャピロ、エバ・ハッセ、ジャッキー・ウインザー、リチャード・アーシュワガー、ロバート・モリス、ジョン・マックラケン

ミニマル絵画：フランク・ステラ、エルズワース・ケリー、ロバート・ライマンの作品を紹介。

1) 学生の感想から抜粋

最小限度に切り詰めた、徹底したシンプルな造形に魅力を感じた学生が多い。ミニマルアートの作家は作品と置かれる空間との調和も巧みである。空間を操作、支配するインスタレーションによって作品が光り輝くことを学生は感じたようである。絵画作品においても、シンプルな色面とグリットによる表現は訴求力と静謐さを併せ持って心に響いている。

■ミニマルアート：徹底したシンプルさが印象的、図面で指示して発注するのに驚いた、製品デザインに似ている、工業的な雰囲気です今まで見てきた作品と違う感じがした、現代にも通じるものがある、自分でも出来そうなところが魅力、あんな作品を作りたい、親しみ易い、今までのアートの中で一番強い印象を受けた。

■ミニマル彫刻：■ドナルド・ジャット、すっきりしておしゃれ、シンプルな造形が良い、自分の部屋に置きたい、面白い■カール・アンドレ、組木の作品が面白い、1の整数の石のモニュメントの一番好きな石を選びたい■ダン・フレビン、蛍光灯の作品綺麗、蛍光灯の光は死ぬ

前の目の光のようなイメージ、欲しい、気に入りました、日常にある物でも形を変えれば作品になることを認識、蛍光灯は照明にも作品にもなるし手の届く位置なので取り替えもできるので実用になる■リチャード・セラ、プロップの作品危うくて不安をかりたてられた、設置も大変そう、シンプルでかっこいい、半円筒形の対の作品好き、巨大なモニュメントを学校にも置きたい■ジョエル・シャピロ、ひと形の作品可愛い■エバ・ハッセ、箱の中が大量のチューブの作品触ってみたい、細やかな箱に女性らしさを感じる■リチャード・アーシュワガー、フェーク作品気になる■ジョン・マックラケン、板に色をコーティングしただけでも芸術作品に見えてしまう。■ミニマル絵画：■フランク・ステラ、好き、シンプルな絵画飾りたい■ロバート・ライマン、白が好き、温かい感じがする、欲しい、見てみたい。

2) 学生の質問・疑問と教員のコメント

ミニマルアートの作品が、あまりにシンプルでストイックなため、工業製品のように人間の生身の感覚が見えない。その思考に興味を示している。

Q 1. ミニマル彫刻を作っている時、何を考えているのだろう。

ミニマルアートを代表する作家ドナルド・ジャットは形態を徹底して単純化して基本の構造だけを造形しました。作品は色や素材、大きさを図面に書き発注して工業製品のように手の痕跡さえ入れませんでした。そこに思わせぶりな物語性や個性が入り込むのを嫌がったのです。ミニマルアートの作家は論文を書くほどに理論武装をした作家が多いのです。彼らは彫刻による空間の操作も取り入れました。抽象表現を研ぎすまして純化する画期的で究極な造形を目指したと言えます。

1-2. プライマリー・ストラクチャー 1960 年代中頃～

ミニマルアートとして括られることがあるが、厳密にはミニマルアートではない。プライマリー・ストラクチャーは基本的・構造のある彫刻を指す。ミニマルアートとの違いは、形態を構成（コンポジション）して原色の色彩を施すことにある。カロの作品が代表的。アンソニー・カロ、フィリップ・キングの作品を紹介。

1) 学生の質問・疑問と教員のコメント

ミニマルアートに近いが、一つのかたまりの中で構成の妙を駆使する作品が多い。ミニマルアートやプライマリー・ストラクチャーの立体作品は台座がなく、床や壁に直接設置するのが特徴。見慣れない造形の類型を見た

いとの問題であった。

Q 1. プライマリー・ストラクチャーには他にどんな作品がありますか？

ミニマルアートのように最小限度に切り詰めた表現に、基本の構造をコンポジション（構成）した作品をプライマリー・ストラクチャーと言います。アンソニー・カロやフィリップ・キングは代表的作家です。ミニマルアートの作家はプライマリー・ストラクチャーのようにコンポジションすることさえ否定した作品を制作しましたが、プライマリー・ストラクチャーの作家は他にもいますが資料がありません。

1-3. コンセプチュアルアート 1960 年代中頃～

概念芸術、観念芸術、アイデアアートとも言う。ミニマルアートの人を寄せ付けない美術やポップアートの商業化された美術に対する反動として出て来た。作品の形態より概念を優先する。記録や言葉だけのアートもある。ビデオアートやパフォーマンスアートもこれに入る。マルセル・デュシャンのレデ・メイドの概念がコンセプチュアルアートの先例となっている。詳細は下記の教員コメントを参照。

ソル・ルイット、ジョセフ・コッス、アート&ランゲージ、ハンス・ハーケ、ジョン・バルデッサリ、メル・ボックナー、河原温、松沢宥、荒川修作、ダニエル・ピラン、ヨゼフ・ボイス、ナムジュン・パイク、ピエロ・マンゾーニの作品を紹介。

1) 学生の感想から抜粋

絵や彫刻とは違う、概念の美術に対する発想や構想の新鮮さに興味が現れている。プロセスやメッセージ、身体そのものがアートになることに関心を寄せている。

■コンセプチュアルアート：様々な表現方法があって面白い、誰でも出来そうだが出来ない、言葉遊びは楽しい、コンセプチュアルアートの芸術家が多いのにびっくり、コンセプチュアルアートはユーモアがあって好き、人の心を動かす物に媒体は関係ないということの根本を見せられた、外国の人の作品より日本人の作品の方が何となく共感できる■ソル・ルイット、作品が好き、■ジョセフ・コッス、ネオンアートかっこいい■ハンス・ハーケ、ドイツのナチを告発した作品：どうやって床を剥がしたのか気になる、ひどい歴史を一言で表した感じが伝わる、凝結立方体の水の循環の作品（プロセスアート）が面白い■ジョン・バルデッサリ、文字の作品もあるのですね

■河原温の浴室シリーズはインパクト大、日付絵画の作品で自分の生を表すという考えが素敵、ちゃんとした美術教育を受けていないのに人々に認められる作品を残して才能を感じた■松沢宥、日本にも文章だけのコンセプチュアルアートがあるのが驚き■荒川修作、養老天命反転地の作品見たい■ダニエル・ビュランヌ、ストライプが好き、社会の中で場を変容させるのがすごい■ヨゼフ・ボイス、フェルトとピアノの作品奥が深そうだが伝わるものがあつた、社会彫刻で七千本の樫の木を植える作品のスケールと考え方がすごい■ナムジュン・パイク、ビデオインスタレーションのテレビはロボットみたいで愛らしい■ピエロ・マンゾーニ、自分から出たもの全てアートという考え方がすごい、うんちの缶詰の発想とユーモアが良い、アートの基準は人によって全く違うことを認識した、地球の台座の発想が好き、コンセプチュアルアートを知らなければピエロ・マンゾーニを知れと自分の中に意識が出来た。

2) 学生の質問・疑問と教員のコメント

コンセプチュアルアートや前出のミニマルアートの意味が良くつかめない戸惑いも見える。コンセプチュアルアートは、これまでの美術のように視覚に訴える側面からあまりにも唐突にモノがコトとして概念そのものが立ち上がるからであろう。芸術は哲学の具象であるの所以である。世界のコンセプチュアルアーティストを代表する河原温の活動に興味を示している。人間の存在を証明するために多様な方法があることが望ましいと考える。現在ではコンセプトなき作品は存在しないと考える。彼らの果たした役割は大きい。

Q 1. コンセプチュアルアート、ミニマルアートが分からない。

美術が持っている多数のボキャブラリーの中から、概念がより特化した作品をコンセプチュアルアートと言います。元はと言えば、マルセル・デュシャンの反芸術のたぶらかしから始まっています。現在のアートにおいて、作家のコンセプトなきアートは存在しません。ただ全面にそれを押し出していないから気づかないこともあります。美術も歴史の系譜のなかで各種の考えを通過して現在があると言えるでしょう。ミニマルアートもコンセプチュアルアートとは趣きが違いますが、コンセプチュアル表現の一翼と言えるでしょう。より純化して、そぎ落とした結晶が作品として立ち上がっています。ミニマルアートは極限の形態ゆえに他の追随を許しません。だからその後の作家は模倣となってしまいうようです。一時代のムーブメントとして終息してしまいましたが、美術にお

ける革新性としては大きな事件として評価されています。

Q 2. コンセプチュアルアートの言葉のアートが良く理解できなかった。

ジョン・バルデッサリやメル・ボックナーはキャンパスに直接言葉を書いて絵画としました。そこには言葉によるメッセージが発せられています。それらを機に言葉によるメッセージアートが80年代末に登場してきます。河原温の日付絵画なども文字によるアートです。記号を絵画にしたジャスパー・ジョーンズなどが先例と言えるものです。

Q 3. 河原温に興味があった。日付何枚描いているの。

河原温は世界のコンセプチュアルアーティストとしての高い評価を得ています。彼は渡米後、略歴やポートレートを一切公表していません。公の場にも姿を現すこともなく、インタビューさえ存在しません。作者の個をニュートラルな状態にすることによって見えてくる世界観を日付絵画“Today”シリーズなどで現しています。つまり、見る人の人生の営みや世界の出来事もこの絵画にオーバーラップする事が可能となるのです。日付絵画“Today”シリーズはいつでもどこでも日々制作されているようです。しかしその日の24時間以内に描けなかったものは廃棄にしているようです。一種の修行のようですね。おそらく彼は、死ぬまでやるでしょう。その絵を収める段ボール箱には、移動先の新聞の1面も同時に収められています。世界的な視野に立ったオリジナルの概念構築の1例といえるでしょう。(キャンパスの大きさはそれぞれに異なりますが、一枚一枚、アクリル絵の具で精緻に手描きされています)

Q 4. ビデオアートとは何なのでしょう？

ナムジュン・パイクがビデオアートの創始者と言われています。当時、実験映像はフィルムが主でビデオテープの作品をビデオアートとして区別していたようです。ビデオアートの特色は映像もさることながら、複数のテレビなどの機器と映像を空間の中でインスタレーションする作品などを指します。

3) 美術の見方考え方についての質問

概念の美術の理解から、美術の制度や作品に対する疑問も醸成される。授業も回を重ねるごとに理解が深まる。そこから新たな謎や疑問が出てくるのは当然といえる。これは今後の美術・デザイン教育の上でも興味深いことである。制度や規範から開放された先に真の自由があり

表現がある。答えることによって新たな意味を作り出すと考える。今後も体験や経験を通して独自の考えを構築して欲しいと願っている。

Q 1. この授業を受けるたびに自分では思いつかないような作品を見ることができて刺激になって良いです。「何でもアリ」のような印象も受け、少し困っています。

人間の思考と創造の実験の歴史が現代美術と言えるものです。その成果を認識して大いに刺激を受けることは、今後の創作活動の糧となるでしょう。一見、何でもアリのように見えますが、そこには作家の創造の苦心によって、未知の荒野を切り開いた成果を我々が享受している訳です。誰もが思いもよらないこと、または思っても美術という俎上に乗せなかったものを作品として表現したことによって、我々は「それもあるよなあ」と認識するから、何でもアリと思わせるのです。でも表現の自由と言う言葉は、そのようなことを指すのではないのでしょうか。「何でもアリ」が最上なことなのです。

Q 2. 精密な人物画でも宗教彫刻でも、ただ一色に塗りつぶされた絵画だったとしても、同じ芸術として人々に愛されているのだという事実改めて感心した。

人によって、カラーが好き、うどんが好きとかそれぞれに嗜好があります。それは尊重されるべきものです。作品もそのようです。違いがあることを認め、それぞれを尊重することは大切です。一色に塗りつぶされた絵画にも熱烈な支持者がいることに思いをはせてみましょう。人間の存在証明が作品でもあります。それを見ることによって共有できる幸せを感じて、もっと愛してください。

Q 3. 嫌悪感する作品もあったが、そういう感情をあたえるのが目的の作品も一つの表現ではないだろうか。最近の作品(アートに限らずマンガとかいろいろ)の中で性やタブーを題材で取り上げられると「この人はすごい」と言われているような気がしてならない、表現や問題提起の発信というより、むしろ商業的なにおいがする。

いろいろな考え方がありますので、そうであるとも言えるし、そうでは無いとも言えます。見る人の判断に任せます。性的な表現においても、現実の社会の方がもっと進んでいて過激です。ただ、アート作品は、真の人間像を求め、よりイマジネーションを高める展開を作品の中に込めているとは言えます。作品には、ある種の品性が現れます。心の貧しい人の作品は、意識しなくても品性として表現に表れるでしょう。ねらいだけでは、受け取り側も賢いので永続性はないと思います。

Q 4. 誰の作品は〇〇派であると言うのは誰が決めているのですか？ 作品を作った本人が宣言しているのか、評論家が分析して分類しているのか、何を基準に分類されているのかわかりません。

〇〇派と表記すると一族郎党、労働組合のように団結して何事を…するイメージがありますが、そういったものではありません。音楽のジャンルで説明すると理解できるでしょう。クラシック、ジャズ、ロック、ヒップホップなど聴けば分類できますね。また、ロックにもハードロック、パンクロック、ヘビメタなどに細分化できます。もちろん分類出来ないものも登場します。アートも同じようなものと認識してください。時代が時代を創り、不易流行なのです。

Q 5. 作品の意味や意図は作者が発信するのか。他者が考え出すのか。

両方です。作家もコメントを発し、評論家、批評家やメディアが文章などに現します。それをもとに双方がさらに肉付けして高次元なものとして作家論、作品論などが書かれて発信します。河原温のように一切のコメントを発しない作家は、誰かが作品を言語にしている訳です。

しかし、本来、作品の答えはひとつとは限りませんので、作品の前でいろいろ想像しながら、独自の見方をするのも楽しいものです。

Q 6. 作品には額や台があることに何の疑問を持たずにいましたが、授業では無いものも沢山紹介されています。額や台は何のためにあるのか分からなくなった。

もともととは、日本においても西洋においても建築物に付随する作品を制作したので額縁も台座も必要なかったのです。それらを切り取って独立した作品として、納まりを良くする装置、契機として発明したのが額縁と台座です。美術と言う呼び方になったのも、それらと同調した比較的新しい概念だと思います。作品には額や台があることに何の疑問を持たずに、当たり前と思っている皆様のような方が人類の歴史の中では少数派なのです。現代の美術においては額縁や台でフレーミングすることに制約の収まらない作品が出てきたので不用とも言えます。日本では明治以降の欧化政策のなかで、ヨーロッパの概念を移入しましたので、日本画に金の額縁がついていることの不自然さを誰も考えることをしなかったのです。規範や常識に疑問を持つこともアートの一環なので、制度に対しても自分の考えを持ってみましょう。

Q 7. 人は自分の中の言いたいことを誰かに伝えたい、認めてもらいたいと思ったときに芸術と言われるものを

作るのでしょうか？ 自分の表現活動において、この授業で何かをつかみたいです。

表現において迷子になることは良くあることです。作品構想をより高いハードルに設定したり、独創的な未知の展開を模索すると、高い壁に突き当たり、もがき苦しみます。数ヶ月、何も手につかないときもあります。それは現状の自分より向上しようとする姿勢の現れでもあり、創造の産みの苦しみでもあります。だからいいのです。心の葛藤や造形の腐心によって磨かれ、より魅力的な人間になってください。認めてもらいたいや伝えたいは二次的なことと思います。本質は自己の精神と対話して、今出来ることに真摯に打ち込めば、自ずと道は開くものです。まずは足元に光を照らしてみましょう。

Q 8. 誰か一人でもそのアートを「すごい！」「素晴らしい！」と感じる人がいるなら、誰が作ったものでも、誰が排泄したものでもアートになりえるのでは。

そのようにいけば誰でも作家となれるのですが、それがアートとして世に認知され支持されるのは別の次元のようです。言葉が話せて、文字が書けても、素晴らしい小説は書けませんね。写真は誰でもシャッターを切れば写りますが、いい写真は別ものです。「芸術は哲学の具象である」その所以を再度考えてみましょう。

2. 物の言葉を聴く①：アースワーク（アースアート、ランドアート）

2-1. アースワーク 1970 年代～

アースアート、ランドアートとも言う。ポップアートの極度に商業化された美術を嫌い、ベトナム戦争への厭世観が後押しをして、アメリカの若者を野に還した。アメリカ西部の荒野に巨大な大地の工作物を制作した。

ストーンヘンジやサーペント・マウンドなどを前例にしている。同時期、イギリスでは自然に対して敬虔な態度で接して最小限度の痕跡や歩行によってアースワークが行われた。80 年代にアンディ・ゴールズワージーによって自然の事象と調和するアースワークが作られ、自然と人間の関係を再考させるものであった。詳細は下記の教員コメントを参照。

古代の遺跡を先例として

ストーンヘンジ (BC 1800 年～BC 1400 年、イギリス)、環状列石 (縄文後期、秋田大湯遺跡)、サーペント・マウンド (アメリカ、オハイオ州)、ナスカ地上絵 (100～600 年ペルー)

アメリカ：ロバート・スミッソン、マイケル・ハイザー、ウォルター・デ・マリア、ナンシー・ホルト、ジェーム

ズ・タレル, デニス・オッペンハイム, アナ・メンディンタ

ブルガリア: クリスト

イギリス: リチャード・ロング, ロジャー・アックリング, デビット・ナッシュ, アンディ・ゴールズワージー

ベルギー: ボブ・バーシュレーン

日本: イサム・ノグチ (米) 野村仁, 吉田重信, 高橋睦治の作品を紹介。

1) 学生の感想から抜粋

アトリエを離れ、自然の中で作品を作ることに興味深い感想を寄せる。自然の素材や事象、現象を捉えて行為と記録が密接なアートに共感しているようである。20世紀は人間が自然を征服してきた歴史である。今世紀に入り温暖化や自然の大きな変動に環境問題が意識される。自然に敬虔な態度で接してきたアースワークの考えを参考にしたい。

■アースワーク: 感動するものばかりであった、理解が深まった、ダダやポップアートより共感できる、一番興味ある分野、絵画や彫刻よりアースワークの方が芸術作品として好き、自然の美しさや奥深さを再認識出来る作品ばかりであった、規模が大きいのには驚いた、自由奔放で地球を楽しんでいる、死ぬ前に見に行きたい、実際に見たらちっぽけな悩みなど吹き飛んでしまうだろう、巨大な作品より小さい作品が好き、太陽の流れ・月の流れ・石・雪を使ったもの楽しそう、自分でも制作してみたい、見てみたい、国によって作風が違うのが興味深い、自然との調和や変化が見れて興味深い、圧倒的な存在感で壮大な感じがした、壮大な景色と相まって目を惹くものが多かった、自然物で作られた作品はありがたい感じがする、アースワーク作品をはじめて沢山みました・自由に綺麗で大好きになりました、一つ一つの作品がユニーク、面白い活動、地球を愛している、自分の狭い世界観をもっと広げていきたいと思った、イギリスのアースワーク: いくつかの同じものを集めてきて手を加えてつくるなど地道さが自然の形成の時間の流れのように感じられた。

■アメリカ: ■ロバート・スミッソン, グレートソルトレークに設置したスパイラル・ジェッティが空に浮かんでいるよう見えて素敵、もっと詳しく見たかった、グーグルアースで本物が見られて感動的 ■マイケル・ハイザー, ダブルネガティブの作品は地球全てが作品とする発想の大胆さに驚いた ■ウォルター・デ・マリア, 雷を呼び寄せるポールがたくさん立っている風景が好き、最後に自然が作品を完成させるのがすごい ■ナンシー・ホルト, 天体を意識させる作品が興味深い、トンネルの作

品素敵、差し込む光が綺麗、自分の庭に置いて見たい ■ジェームズ・タレル, 自分の求める地形 (ローデン・クレータ) を探してその場を活かして行為を加えるのがすごい、空を切り取って見せるのが良い、タレルの作品の穴から空をずっと見てみたい。自然と一体になれる、天体を意識させる作品が興味深い ■デニス・オッペンハイム, 身体一つで出来るのがいい ■アナ・メンディンタ, 全身泥まみれになって擬態するのが印象的。

■ブルガリア: ■クリスト, 傘を大量に配置・建物をまるごと包む・地球をキャンバスに見立てると言ったスケールの大きな発想が素晴らしい、大掛かりな作品が多いので費用が大変そう、作品自体よりその作り方や社会との関わり方に注目されているように思います、クリストは作品の自由を守るため莫大な費用を全て自分で集めると聞きました。

■イギリス: ■リチャード・ロング, 歩行によって作られたラインの作品が好き、世界中でちょっとした痕跡を残す作品が素晴らしい ■ロジャー・アックリング, 虫メガネ一つで作品が作れるのがすごい ■デビット・ナッシュ, 接ぎ木でドームを作る発想がすごい、倒木を余す所無く使うのがすごい ■アンディ・ゴールズワージー, 自然のちょっとした変化を作品で視覚化して見事、葉っぱを使った作品綺麗、岩を包んだ紅葉が綺麗、紅葉で作った作品感動的、石を重ねてバランスをとる作品がすごい・哀愁を感じた、湖に枝を刺し円環が映り込む作品が好き、雪のアースワーク綺麗で感動、つららの作品良い、自然の中に自然の物を不自然に置いている所がとても美しい、ノースポール (北極) での作品の東西南北と太陽の運行について: フェアバンクス (アラスカ) では白夜の時太陽は沈まず2時頃地平線すれすれからまた日が昇ってきました。

■ベルギー: ■ボブ・バーシュレーン, 葉っぱ (生命) は時間と共に水分が無くなるのが分かった。

■日本: ■イサム・ノグチ (米), 枯山水に水を入れた作品好き ■野村仁, 月の運行を記録する作品が面白い。

2) 学生の質問・疑問と教員のコメント

アースワークの講義を聴いて、自分も制作してみたいとのコメントを寄せる学生は多い。北海道の自然豊かな土壌ではなおさらであろう。地球の自然を保全しながら

アースワーク的な思考をすることは有意義であろう。なにより21世紀には自然に対して何をすれば良いのかを問われているのだから。

Q 1. アースワークの作品が良かった。

特に自然が豊かな北海道ではアースワークが向いてい

ると言えるでしょう。現に高専生は13年間に渡り、森羅万象を素材とする「夏のアースワーク」や、雪や氷のエネルギーを素材とした「冬のアースワーク」を実施して大きな成果を現しました。形態を作る事を優先するのではなく、環境保全に留意しながら自然の懷に抱かれ、その声に耳を傾け、自然の事象や現象の中から真理を見つける体験は崇高なことと言えるでしょう。なにより21世紀に求められるデザイナー像は、環境に対してどのようなコメントを発することができるかが、特に重要に成ってくると確信しています。アースワークの講義の中では、初期のアメリカの作品の革新性と環境への無感心について紹介しました。それとは考えが異なるイギリス系作家のアースワークで、環境の保全に最大限配慮して敬虔な態度で自然と一体となった作品などを紹介しました。彼らの根底には日本の禅の思想が入っているようです。自然のなかで人間は生かされていることの東洋思想を西洋の人々も緩やかに気づきだしたようです。逆に、近年の日本や中国は「自然を征服する」側の思想にすっかりはまってしまうね。経済を優先にして自然を省みないつけを子孫に残したら可愛そう…。

Q 2. アースワークで使用する土地代や制作の費用は。

多くは支援者や芸術財団等のファウンデーションから支援を受けるようです。公共の再生プロジェクトなどで制作を依頼された場合は予算化された経費が支給されます。クリストのアートプロジェクトは全て自費で運営されています。構想のドローイングなどをコレクターや美術館などに売却して費用を捻出しています。それは作品の自由と公平性を保証するためだそうです。

Q 3. 宇宙にアース (Space?) ワーク作った人はいますか。

アメリカは1969年7月20日、アポロ11号で人類初の月面着陸をしました。アームストロング船長が月面に星条旗を立てた(領土であること)のが宇宙初? のアース(ムーン)ワーク? と言えるかも知れません。NASAでは宇宙にメッセージ発信したり、火星や木星を探索したりと超スペースワークを展開しています。人智を超えたところで人類は活動を初めているようです。なにせ150億光年前の光を今見ている訳ですから時間の概念を超越しています。イサム・ノグチの初期の作品に月から見える「顔」のランドスケープアートを提案した作品があります。ナスカの地上絵や万里の長城など宇宙から認識できる遺跡もあります。千利休のわずか二畳の茶室、妙喜庵待庵は、その小ささゆえ想念としての宇宙の広さを感じさせます。銀閣寺の向月台や銀沙灘、月待山は月

を愛でるための装置としての造形です。アースワークにおいて天体の運行や事象を作品に取り入れている作家は多いです。太陽はあなたの視線を受けてはくれませんが、月はあなたの視線を柔らかく受け止め、そして想いの先に視線を投げかえてくれます。万葉のいにしえのアース(スペース)ワークとも言えるでしょうか。

Q 4. 大学の帰りに石山緑地に寄ったりします。周りの切り立った岩と様々な彫刻作品が、吸応し合ったり対立したりして、場の空気がその彫刻によって変化しているのを感じます。今回のアースワークを見て芸術家の作品が、周りの環境と呼応して生まれた磁場のようなものを通して見ると世界の見え方が変化するという点で、芸術作品はある種のメディア・媒体的な存在なのかと思ったりします。

このような場でこのような考えを持てるのは素敵なことです。芸術作品はおっしゃる通りに空間を変容させる一つのメディアとも言えますね。日々の中から物事の本質を考える姿勢に感心しました。石山緑地は國松明日香教授(高専)を代表とする彫刻集団「サンク」の造形です。イサム・ノグチのモエレ沼公園造成など札幌市には芸術活動に理解のある行政の方がいます。都市の再生や活性化に芸術文化が重要なメディアであることも認識したいですね。

Q 5. アースワークは大学の授業の中ではやらないの?

残念ながら大学の授業の中で実施する授業時間を確保するのが難しいのです。美しい芸術の森キャンパスで自主的な活動を支援できればと思っております。日頃から自然をよく観察し、事象、現象の理を発見することもアースワークと言えるでしょう。月の出は毎日約50分ずつ遅れて昇ってきます。ちょうど帰宅の時間帯に大きな満月が東の空に昇ります。三日月は夕方には西の空に沈んでしまいます。夜更けに月が昇り、日中に空に浮かんでいる月を見ることもあります。自然は刻々と変化して連続している時間のなかでは、その変化を認識することがあまりありません。週に一回の散歩で毎週、毎週の劇的な自然の変化をみることができます。先週咲いていた花はもう見られない。だから花は愛しいのですね。そんなところから始めて感性を豊かにしてみましょう。

3) 美術の見方考え方についての質問

アースワークから美術の制度や考え方が醸成されて、質問が導き出される。アーティストの勇氣に自己を振り返ったり、国によっての考え方の違いや、創作の根源や身近な事例など、多様である。丁寧に答えることによ

て、学生の思考の源泉となることを願う。

Q 1. これまでの私にはアートは紙と筆さえあればできるものというような固定概念がありました。でも今回の講義でアースアートを見て、その固定概念は消え去りました。もっと広い視野で世界を見れば、今まで気がつかなかったアートがいっぱいあるかもしれないと思いました。

紙と筆、もしくは鉛筆1本でも立派にアートはできます。ただアートはこうでなければいけないと言うものではありませんので、固定概念を振り払うことは、より自由な精神になれたということです。世界には地球全体がアトリエと言う作家もいます。楽しく豊かな人生を創作と共に歩むのも良き生き方かも知れません。

Q 2. 日本でも公共の場にいろんな造形物があればもっと楽しいのと思いました。

日本にもパブリックアートはたくさんあります。これまではモニュメントにシンボリックな役割を持たせ、機能やコミュニティの役割はあまり考えなかったようです。一時的パブリックアートなどを提案する方法もあります。

Q 3. 日本人、他の国の人にとって芸術の概念の違いは、

宗教感、歴史、人種の違い、教育、食べ物、気候などによって考え方は変わり概念の醸成も違います。違うから良いのではないのでしょうか。白人系の人たちは自分たちが人類のなかで最も優れた人種であると優越感を持っているといわれています。そんなステレオタイプの思考はさておき、現代美術は欧米の価値観ではかられたスコープを通して物事が判断されています。アートの流通と経済活動も欧米を中心に回っています。別のスコープから見ると違った価値判断が見えてきます。日本人の場合、現代美術という洋服がやっと違和感なくフィットしてきたようなものです。日本人の八百万の神&仏教&土俗宗教観は曖昧のなかの振れ幅の中に真実を求めています。欧米の人からみたら何が言いたいのか明確ではないと見えるのかもしれませんが。インターナショナルになるためには欧米の文脈にこれまでなかった新鮮な概念を打ち出す必要があると思います。印象派がジャパネスクに目を向けたのも、キュビズムやダダの作家がアフリカ美術に目を向けたもの欧米の文脈にこれまでなかった新鮮なものとして受け入れたのでした。

Q 4. 芸術家とは何かを観客に伝えたいから、作品を制作しているものと個人的には思っています。その時代の流れによって、理解しやすいものであったり、理解し難

いものであるかは、以前の流派に反発するように（つまり理解しやすい流行の次は、理解し難いものになる場合が多い）流れを決めていくのは、作品が無機物ではなく、血の通っている人間のような存在に高めているという事実は面白いなあと思ってしまいます。

なるほど、このような考え方もありますね。作品を血の通っている有機的な見方はおもしろいですね。これからも研鑽して独自の考えを持って視点を獲得してくださいね。事実は小説より奇也。

Q 5. 先生は滝野霊園のモアイなどをどう思いますか。あれらは何か意味があってあるのでしょうか。

私は時々観測にいらしています。モアイは増えて33体モアイ菩薩となっております。大きな石像のお釈迦様も出来ました。ストーンヘンジ、バビロニアの有翅馬像？など世界のご利益を独り占めの感があります。オーナーの趣味なのでしょう。膨大な費用をかけた「ありがた感」にあふれています。約2kmのそれらのアプローチを抜けると、ミニマル彫刻のような連続した墓石が数万個並んでいます。都築響一氏の「珍日本紀行」のなかで珍スポットとして紹介されています。

Q 6. いろいろな作品を見て、小さい頃外で遊んだ記憶が蘇った。何の意味もなく、石とその辺の草をむしって積み重ねてみる…今は何も考えずにそういったことが出来なくなっている。

大人になると知識や教養、規範でいっぱいになります。なかなか人前で出来なくなりますよね。子供は、全てを手にとって、舐める様に確認しながら遊ぶことが認識を確立することの上で重要です。作家は子供の心を宿した大人なのです。自己目的のためには、石や草でも遊びます。一度、心を解放してシロツメクサの花冠などを作って見てはいかがでしょうか。環境や自然からの啓示を頂けるかと思います。

3. 物の言葉を聴く②：アルテ・ポーヴェラ もの派 その他の同時代美術

3-1. アルテ・ポーヴェラ（イタリア）1960年代中頃～

直訳で「貧しい芸術」だが、日常にある素材を用い隠喩的なイマジネーションを喚起させる造形に特色がある。

詳細は下記の教員コメントを参照。

ヤニス・クネリス、マリオ・メルツ、ミケランジェロ・ピストレット、ジョバンニ・アンセルモ、ジョゼッペ・

ペノーネ、ルチアーノ・ファブロ、ジュリオ・パオリーニ、ジルベルト・ゾリオ、ピエル・パオロ・カルゾラーニ、カリン・サンドラ（ドイツ）の作品を紹介。

1) 学生の感想から抜粋

アルテ・ポーヴェラはネオダダやヌーボレアリスムのように、ジャンクアートではない。素材そのものが持っている言葉に耳を傾けてイメージーションをつぐむ作品が多い。物質そのものの組合せで、固有な言葉を語らせる作品が新鮮で面白いようである。

■アルテ・ポーヴェラ：素材をそのままいかした味わいが良かった、シンプルなかたちをしている、イメージーションが出来て面白い、物質に固有な言葉を語らせる作品が新鮮、物と物の関係をもっと考えなければと思った、感覚が好き。

■ヤニス・クネリス、画廊に生きた馬 12 頭の着想にビックリ、生き物をアートに使うには常に同じ姿でないところが面白い、素材の固有の言葉が感じられます、造形がダイナミック、物質がエネルギーに変換出来ることを認識される■マリオ・メルツ、ドーム型の作品の危うげな感じが良い、ワニがぶらさがっていたり果物が飾られていたりネオンやドームなどユニークな所は良かった、ワニと数字の取り合わせが新鮮、自然界の定理定数初めて知りました自然から発生するものはきれいにまとまるのにビックリ■ミケランジェロ・ピストレット、鏡面に描かれている絵を見たい自分も作品の一部に取り込まれてみたい、鏡面の作品の映り込みの作品に惹かれた、その空気感を楽しむ試みが面白い、鏡面の作品は周りの空間や人を作品の中に取り込み境界を無くすところが面白い、自由の女神のような作品は日本の観音様を思わせた・巻き付いている布は芥川龍之介の「蜘蛛の糸」に出てくる人々に見えた、合体彫刻は面白い、鏡を使って宇宙より広い空間を作ることに感動■ジョバンニ・アンセルモ、磁力やエネルギーなど不可視なものを可視化するのが興味ある、ねじれの作品の奥深さに驚いた、ねじれの作品自体にエネルギーを持たせた状態は何か言い知れない内なる物を感じさせる、石と石の間にレタスを挟む作品の驚かされた、石に乗って紙に描かれた手のドローイングは霧の向こうから手を差し出しているようだった実物を見たいです■ジョゼッペ・ペノーネ、木の本性まで剥く根性がすごい、ブロンズの木枝の水を引く発想が良い■ルチアーノ・ファブロ、クリスタルの鳥の足のような造形が奇麗、イタリアの地図を物質化してぶら下げるのがユニーク■ジュリオ・パオリーニ、ギリシャやローマの先人達を意識しやすいのだと感じた■カリ

ン・サンドラ、壁や卵をつるつるに磨き上げ景色が映るのがすごい発想、ディテールを魅せる写真も重要、あんな写真撮れるになりたい、他の磨いた作品がありますか興味あります。

2) 学生の質問・疑問と教員のコメント

アルテポーベラの直截的なインスピレーションに興味や疑問が発生する。モノとモノをチョイスして結合させるような化学変化を醸し出すのかも創造となる。視点を変えれば全てアートにもなりえるのではないだろうか。

Q 1. アルテ・ポーヴェラの作品は日常にあるもの、既存のものは1つ1つ素晴らしいアートに仕上がっている。これが無ければアートは出来ないということは無いのだと感じた。今までのアートに対する考えが覆された気がする。それにしてもアートだと言い張れば、何でもアートになるのだろうか？ 実際のところ境目はあるのだろうか。

Q 2. 見る人の創造に任せると言われて少しがっかりしました。このような発想は、なんだか自分の表現したいものから逃げているような気がする。ちゃんと制作で何を表したかったのか解説されるのが好きです。

Q 3. たくさんの作品に触れることができました。このような芸術を生み出すとき作者は必ずしも伝えたいものやコンセプトなどを考えているのか気になった。今回はインスピレーションというか直感的な作品が多かった。

美術の流れの中で日常の物質を使うのは、これまでも登場してきましたので理解出来たかと思います。アルテ・ポーヴェラの作家たちは物質には固有の言葉があり、イメージを喚起させる「ちから」がある事を発見したのです。物と物は会おう事によりどんなイメージの化学反応を引き出す事が出来るのを実験したのです。ですから、このようにすればこうなるという予定調和で作品を制作している訳ではありません。彼らは物質の神秘性やイメージを引き出す「チャネラー」の役割を作品で表しています。見る人に判断を委ねているように見えますが、深い洞察力、歴史的考察、熟知した思考などのフィルターを武器とした立派な作家なのです。一見、誰でもマネが出来そうですが、それをイメージする力がなければ持続性のあるものにならないでしょう。禅の庭は、禅の公案（禅問答で師が投げかける課題）とも言われ作庭者の「内なる魂の表現」と言われています。実に厳しく凛とした表現です。しかし見る人には「いかに見ても、解釈してもよろしい」と、融通無碍（ゆうずうむげ：一定の考え方にとらわれることもなく、どんな事態にも滞りな

く対応出来ること)の寛容さです。瞬時に自己の心に問い、瞬時に判断をくだす。とらわれないこととは、最も自由で、最も個人を尊厳している禅の考え方であり慈愛なのです。日本は奥が深いですね。

Q 4. マリオ・メルツの作品のフィボナッチ数列は何で出来ているのですか。ネオンで作る意味があるのですか。

フィボナッチ数列は自然界の定理定数だそうです。ひまわりの種を中心から見ると、そのような配列になっているようです。1・2・3・5・8・13・21・34・55・89・144・233・377…となるようです。数字はネオンで表現しています。当時は脱物質系の新しいメディアとして数字を表現するのに都合良かったのではないのでしょうか。今のように、LEDや液晶ビデオプロジェクターなどがあつたら、非物質の映像を使ったかも知れません。

Q 5. カリン・サンドラの卵はゆで卵じゃないですね。

生卵です。綺麗に景色が映り込んでいました。あまりにも美しく磨かれていましたので大理石でつくった卵のように見えました。物質に最小限度の行為を入れて最大限の特性を引き出す優れた事例です。作る。創る。造る。つくる。ことを考えさせる作品でもあります。白い壁の作品も景色が映り込むほど磨き込んだ作品です。彼女の作品は実態としては存在しますが、いわゆる虚空の作品とも言えます。

3-2. もの派(日本) 1960年代末～

モノとコトのものである。物ではない。アルテ・ポーヴェラと同じような動向であるが、もの派にはアルテ・ポーヴェラのような隠喩的なイマジネーションを喚起させる造形より、ものどものをどのように布置して関係項をどのように結ぶのかなど、禅の庭のような造形感と素材の扱い方である。多摩美の斉藤義重教室から育った関根伸夫の「位相一大地」を先例に李禹煥を精神的支柱としていた。詳細は下記の教員コメントを参照。

斉藤義重を師として、李禹煥、関根伸夫、原口典之、菅木志雄、山中信夫、成田克彦、小清水漸、榎倉康二、北辻良央の作品を紹介。

1) 学生の感想から抜粋

現代美術の本場は欧米である。日本人の顕著な活動には自信を貰えるのか、目を輝かせる。自己との感性がしっくりといく造形が多いのであろう。先人を励みに、日本人しかない感性で、自信を持って自己の表現を見つけて欲しいと願っている。

■もの派(日本)：良いと思う作品が多かった、独特な作品がたくさんあった、やっていることはシンプルなことだがすごく素敵な作品に出来上がっていて惹き付けられる、立体だからこそ出せるような作品でアイデアが面白くて驚きました、物質の特質を利用した作品が多く面白かった、既にあるものや自然を使って何かを表現しようという行為は面白いし見ている側が色々考えさせられるものがあってもいいと思う、スライドの中に色が少なかったように思う。

■斉藤義重(師として)、ベニアにドリルで描いた作品が好き、シンプルで禅的な感覚に見えた、作品を見たいと思った■李禹煥(リー・ウーハン)、ガラス板を石の自重で割れる作品は衝撃を受けました、絵画作品のストロークや点は平面的でシンプルな線で構成されているのに気配や空間を感じて興味深い、絵の具のかすれ具合が良い、アジア・東洋の空間を感じた、日本的なので共感できた、感性に訴えるものがある、「間」「空気」が良くて魅せられた、四隅の筆致が好き、落ち着く感じが良い、感覚が奇麗■関根伸夫、「大地位相」の虚と実の発想が面白い、スコップで地面を掘って出来た作品がもの派を代表する作品と知ってアートの奥深さを改めて感じた■山中信夫、部屋全体がカメラの考えが良い■成田克彦、角材を木炭にするのはビックリ■小清水漸、水を思わせる木のレリーフは良い■榎倉康二、染みの作品は初めて見ました。

・アルテ・ポーヴェラともの派にまたがる感想

■物にはイメージがついてまわるので集積された物が膨張したり躍動したりして心の中で踊り狂うようでどの作品も本当に面白かった、今日のスライドはスッキリしているのにとっても斬新なもので美術が身近に感じられた、作品によってその空間や見る側の感覚がガラリと変わると思います、物と物との関係といったものがアートになるのだと思った、アルテ・ポーヴェラともの派の概念が似ている、アルテ・ポーヴェラやもの派は「秘密基地」的な想像力願望が芸術にはあるのではと思った。

2) 学生の質問・疑問と教員のコメント

・アルテ・ポーヴェラともの派にまたがる質問

アルテ・ポーヴェラともの派は美術の動向は違うが、物の言葉を聴く姿勢は似ている。しかし物語をつぐむ根底の考え方の歴史観が違う。作品を見たいという欲求の現れは歓迎すべきことである。

Q 1. 日本はシンプルでイタリアの源泉はギリシャと言ってましたが、ギリシャは複雑と言う意味ですか？

ギリシャは複雑という意味ではありません。日本のシンプルさは仏教の禅や、神道の簡素さから来ていると思われるので理解の範疇なのですが、イタリアのイメージはギリシャからローマ文化と流れていますので、ギリシャ神話の読み取りが必要ということです。不幸なことにギリシャ神話に通じてないので、元ネタの解釈が難しいと述べた次第です。

Q 2. スライドでいろいろな作品を見てきたけど、実物を見たいと思いました。すぐ行けるおすすめの所を紹介してください。

アルテ・ポーヴェラやもの派の作品はインスタレーション（仮設）の作品が多く一次的に設営する作品が多いです。つまり永久に展示出来る作品ではありません。北海道では芸術の森野外美術館に、もの派作家のその後の作品が数点あります。芸術の森美術館には李禹煥の版画のコレクションがあります。国立近代美術館や東京都現代美術館などにコレクションを見ることができます。イタリアをはじめ著名な美術館にはアルテ・ポーヴェラの作品がコレクションされていますので機会があったらご覧ください。残念ながら日本では、もの派もアルテ・ポーヴェラも知らない方がほとんどではないでしょうか。

・もの派の質問

もの派の作品は、空間や造形のシンプルさがあり、日本もしくは東洋のすがすがしさが現れている。学生は、自己に照らし合わせて、その根本に触れたいのであろう。

Q 1. 李禹煥の絵画作品から、習字（書道）の持つ、何らかの意味、言葉のメッセージを消して、芸術作品にすることは可能ですか。意味・メッセージこそが作品なのでしょうか。

書の場合、図としての文字が、意味的にも表現としても圧倒的な存在感を示します。それで良いのではないのでしょうか。李禹煥（リー・ウーハン）は書と同じような筆致を使って絵画を描いていますが、ストロークや置かれた点を通して、気配や空気感を表現しています。桃山時代の画家、長谷川等伯は松を描いて、松ではなく冬の凜とした冷え枯れた気配を描いたと言われています。

文字も記号です。犬や猫には意味をなさないものですね。文字を換骨奪胎すれば別の次元が発生すると思われます。

Q 2. 関根伸夫さんの「位相一大地」の積み上げた円柱の土の塊は何層かに分かれていましたが、地層を生かして作られたのでしょうか？

関根伸夫さんの「位相一大地」の作品はもの派の代表的作品であるばかりではなく、戦後を代表する現代美術と言われています。アースワーク作品でもあります。1968年、第1回神戸須磨離宮現代彫刻展招待作品です（直径2.2m 高さ2.6m）。友人5、6人とスコップで掘った土をベニア板の型枠に少しずつ位相して踏み固めたのです。ですから地層も天の方向へ少しずつ積み重なったのです。スコップがあれば芸術は出来るのですね。

Q 3. 原口典之さんの作品は水でなくて廃油なので、万が一風等で廃油が溢れたら大変では。

黒々とした廃油は鏡のように景色を映し出します。人間が何らかの経済活動を経て廃棄物となることに、人と自然と時代の関係を意味付けするものがあると推測されます。廃油が環境汚染をしないように配慮したことは間違いないでしょう。

3-3. その他の70年代の美術

もの派全盛であったが、それとは違う美術を制作している作家は大勢いる。70年代に活躍した作家を紹介。

福島敬恭、桑山忠明、山田正亮(以上日本のミニマルアート)、流政之、若林奮、村岡三郎、豊福知徳、山本正道、細川宗英、砂澤ビッキ、中川幸夫、つげ義春の作品を紹介した。

1) 学生の感想から抜粋

村岡三郎のユニークな造形と発想の面白さに共感したようである。70年代の作家の活躍があって現在がある。

■村岡三郎、「貯蔵・蠅の生体とその運動量」の中が気になる、ビニールにコンクリートを入れて重さで作る「自重」などアイデアが素晴らしい作品が出来るのに感心■
つげ義春、子供の頃から読んでました・小さい時はほとんど理解できなかったが感覚で面白さと罪悪感を感じた。

2) 学生の質問・疑問と教員のコメント

もはや、つげ義春を知らない世代なのである。優れた文化を紹介する責任が大人にはある。

Q 1. 最後に紹介した漫画の人は誰ですか。漫画はアートと呼べるものなのですか。

つげ義春さんです。シュルレアリスム的手法の漫画「ねじ式」などで日本を代表する漫画家です。文学を超えた漫画、芸術を超えた漫画と言われ多くの知識人に支持されている作家です。MANGA や ANIME は世界に発信している日本の文化です。絵描きの中でも色々な表現のグラデーションがあることが望まします。優秀な漫画家の作品は総合芸術（ストーリー・構成・画力）として相当レベルが高いです。「AKIRA」大友克洋は世界的なスーパースターなのです。世界の宮崎駿もしかり。

3) 美術の見方考え方についての質問

講義が進み現代に近くなると、時代がリンクして身近な所や事が自己に思い当たる。それに対しても学生を涵養するために丁寧に答える事こそ大事なことである。

Q 1. 先生の解説があってこそ理解が出来ます。作品の解説は非常に難しいですね。特に作者が語らない場合、解説する人とはどのような人なのでしょう。主観的、見る目ですか。

プロ野球や相撲などの解説はプロ経験者が多いですよ。美術の場合、美学や現代美術を勉強した評論家や学芸員、アートジャーナリストなどが評論や批評、解説を書きます。美術の場合、引退するプロ作家という人がいませんが、美術を良く熟知している作家は創造者としての視点から他者の作品分析や解説に長けています。思考と経験の蓄積から客観的に作品を評価する見る目も有しています。

Q 2. 色々なスライドの作品を見ていると芸術の森の野外美術館へ行って見たくなりました。お勧めの作品ありますか？

ダニ・カラバンの作品は環境と場の特性をリサーチして作った好例といえます。授業の中で紹介した作家やこれから紹介する作家の作品もあります。この授業で身に付いた感性で、改めて作品を見ってみるもの自身の変化が確認できて良いのではないのでしょうか。丘の最上にあるアントニー・ゴームリーの作品は空間に調和しています。他にも著名な作家の作品がコレクションされています。見るべき作品が多いので、ゆっくり触れ合ってみてはいかがでしょうか。札幌芸術の森野外美術館は設営の計画年度終了後は新しいコレクションを入れないので、10年後、20年後、変化する美術状況のニーズに答えられるかは心配な所があります。

Q 3. 何も考えずに無心で自分の中の何かの放出というか、「デザイン」ではなく「アート」な作品を作ってみました。

現代美術はデザインや工芸や建築出身のアーティストも多く、どこを出るかより、何を思考するのが重要です。大いに自主制作をして楽しんでください。よく芸術は自己完結して、独りよがり、自己満足で、とステレオタイプの発言があります。そのような言葉は美術の何たるかを良く理解していない人が簡単に口にしています。現在の美術は社会とのコミュニケーションを造形に取り入れ、社会に対する問題意識を提示したり提案する作家も多々おります。時代と共に、拡張する多様なメディアと表現方法が理解頂けると思います。20 世紀のデザイナー、アーティストとして社会に何をアクセスして何を発信するのが問われているのです。

Q 4. 全てのものに対して、良し悪しの判断, Yes, No の判断が出来ないと特に感じる今日この頃です。自分は何をわかっていて何がわかっていないのか、何を知ればいいのか。

人と比べると齟齬（そご：くいちがひ、ゆきちがひ）が生まれます。君たちはまだ若いので、器で言えば水が底の方にしか溜まっていない状況です。これから色々なことに会って啓示を受けます。そこから確信と言えるモノをつかまえて深く掘り下げることが可能です。書物との出会いも同じです、必要に迫られてこそ確信のある書物を求めて出会います。善悪や Yes, No の判断も社会的要請に請われると瞬時的な判断が求められ出来るようになります。まず、得意なことや好きなことに磨きをかけて自信をつけましょう。

4. ポストモダニズム①：ニューペインティング

1970 年代後半～

4-1. ニューペインティング 1970 年代後半～

(新表現主義：ネオ・エクスプレッショニズム)

ニューウエーブの絵画の時代。ミニマルアートやコンセプチュアルアートの禁欲的な態度を嫌い、純粋に絵を描きたいと言う若者が台頭した。人々も取り残されたようなミニマルアートやコンセプチュアルアートと違い、分かり易い伝統的な具象絵画を熱烈に受入れた。彼らは物語性や隠喩を画面に取り入れ、あらゆるものからイメージを借用して制作を行った。世界的な動向として広まった。現在は普遍的に力のある作家を残して画壇から消えた作家が多い。著名なアートディーラーが戦略的に仕掛けた美術とも言われた。詳細は下記の教員コメントを参照。

アメリカ：ジュリアン・シュナーベル、ディヴィット・サーレ、ロバート・ロンゴ、エリック・フィッシュル、ジョナサン・ボロフスキー、テリー・ウインターズ、ロス・ブレクナー、ドナルド・バチュラー、スーザン・ロットエンバーグ、キース・ヘリング、ジャン・ミッシェル・バスキア、ケニー・シャーフ、マーク・コスタビ

ドイツ：アンゼラム・キーファー、ゲルハルト・リヒター、ジグマー・ポルケ、A・R・ペンク、ゲオルグ・バセリッツ、ヨルグ・イメンドルフ、ジリ・ゲオルグ・ドクピル

イタリア：エンツォ・クッキ、サンドロ・キア、フランチェスコ・クレメンテ、ミンモ・パラディーノ、サイ・トウォンプリー

イギリス：リサ・ミルロイ

フランス：クロード・ヴィアラ、ジャン・シャルルブレ

日本：有元利夫、堀浩哉、辰野登恵子、根岸芳郎、松本陽子、大竹伸朗、関口敦仁、近藤克義、吉本作次、小林正人、吉沢美香、福田美蘭の作品を紹介。

1) 学生の感想から抜粋

絵画の復権の時代である。学生は、分かり易さと親しみやすい造形に心を奪われたようである。絵を描く行為は、意外にプリミティブな行為である事が理解できる。だが奥が深いのも事実である。世界的な潮流となったニューペインティングは著名な作家の数も多い。地域特性や時代背景が見事に読み取ることが可能な感想である。

■ニューペインティング：新しい試みで新鮮、国の状況や環境が芸術にも浸透しているのが興味深かった、いろいろな美術がひっくるめられて面白い、意味がないというものがあり意味を知りたいと思った、綺麗な色がたくさん出てきて楽しかった、子供が描いたようなものが多かったが様々な技法が興味深かった、創作の材料はどこにあるのか分からない・見逃してはいけないと思った、意味のあるものやないものなどなんでもありで見ていて面白い、いろいろアイデアが作品に詰まっていると思った、アメリカとドイツの作品の雰囲気の違いは色んな意味でショックでした、私達の時代に近づいていくにつれ芸術が多様化して行くのが非常によく分かった、ニューペインティングは簡潔すぎて一過性な感じがした。

■アメリカ：ハッピーな感じが好き、アメリカの作風が好き、色が鮮やかな作品が多い■ジュリアン・シュナーベル、プレート・ペインティングを見て発想はいつどこで湧くか分からないものだと思った、皿を割って貼った作品が好き、割れた皿を用いるなどどんなものでも作品にしてしまうアーティストの考えが浮かぶのが不思議

議、すごく大きい作品ですね■ディヴィット・サーレ、多重なイメージの重なり合いが面白い■ロバート・ロンゴ、社会の危機感がよく出ていた、レリーフや立体と絵の取り合わせが面白い■エリック・フィッシュル、ブラインドからさす光のスリット表現が好い、登場する人物など作品が印象的、人それぞれに解釈できるのが素敵、絵にストーリー性を感じるのと明るく少しエロティックな感じが入っているのが良い■ジョナサン・ボロフスキー、ベルリンの壁に描いた走る人の絵見てみたい、ガラス窓のルビーの作品は窓越しに（当時の）東ベルリンの状況を示す絵だと知り深いものを感じた、人型の作品が好い、ベニアでつくられたモノクロの人の作品は影のようで不気味な印象、ハンマーリングマン（靴職人）が動くのに驚いた・見てみたい■テリー・ウインターズ、胞子や細胞の絵は不思議な感じ■ロス・ブレクナー、宇宙を表現しているのが幻想的、宇宙は不思議な感じがした、宇宙は想像力をかき立てられる、絵で癒される、宇宙に興味あるので好感を持った■ドナルド・バチュラー、子供心を喚起させ和みます、欲しい作品です、ほのぼのとして良かった、可愛い雰囲気が出ている、可愛い、最高に良い■キース・ヘリング、作品が好き、可愛い、ポップですごい、コラボTシャツでご存知■ジャン・ミッシェル・バスキア、シュガー・レイ・ロビンソン（伝説のボクサー：元世界ミドル級および世界ウェルター級チャンピオン）の王冠の作品が好い、逆さまの日本語が絵に描いてあって気になった（「クールの誕生」と描かれていました。バスキアはアカデミックな勉強に憧れていました。日本の本も作品のヒントにしていたので抜き出したのでしょう）最高に良い、子供の絵のようだが色使いが新鮮ですすごい絵、可愛い。

■ドイツ：何か心を打たれるものがありました、生まれや環境で大分違いが出てくると認識、国により独自色がある、旧東ドイツの作家は時代や環境の影響が強い傾向にある、ドイツの作品は時代背景が反映されてとても暗い印象を受けた、戦争が心に傷を負わせているのが分かる、コンセプトチャルボイの多いと思った、重い感じがした。

■アンゼラム・キーファー、精神性の重いメッセージが伝わった、辛い絵が多い、戦争の反省や贖罪の意味が読み取れた■ゲルハルト・リヒター、色々な作品をもっと見たい、ナチを表した作品や死んだ女性の絵がシュール、ぼけた写真のような絵画はイメージネーションを刺激する、幻のようなはかない感じが美しい■ジグマー・ポルケ、旧東ドイツから見た日用品のあこがれのまなざしで社会の状態を見て取るのがなるほどと感じた■A・R・ペンク、記号のような絵なのに旧東ドイツの悲惨さひた

むきさが出ていた■ゲオルグ・バセリッツ、オーストリアの美術館で見ました大きくて人がみんな逆さまで哀しい絵が多いが色使いが綺麗だった■ジリ・ゲオルグ・ドクピル、ろうそくで絵をかけるのが驚いた。

■イタリア：色鮮やかであるがそれとは違う良さや歴史を感じた、色感がいい、不思議な感じがした、意味を知るにはいろいろ学ばないといけないと思った、ギリシャ神話のイメージがするが意味が読み取れなかった。

■フランス■クロード・ヴィアラ、空豆型のパターンペインティングが好き。

■日本：色合いが自分に近いモノを感じた、日本人の作品も良かった■有元利夫、絵が嫌い、中世の絵画のよう■松本陽子、ダークロックの勢いがいい、岩というより羽に見えた、絵具を布で拭き取る技法やってみたい■大竹伸朗、色鉛筆の日本景が嫌い、網膜シリーズが綺麗、コラージュがすごい、絵画のエネルギーを感じる作品が多い■日比野克彦、段ボール紙でこんなにつくってすごい、デザインとアートの融合を感じる■小林正人、絵画の一本の線を引き続けて3月をかける根性がすごい■福田美蘭、未来的な感じがして作品に興味を持った、視覚トリックのよう。素晴らしい才能を感じました。

2) 学生の質問・疑問と教員のコメント

絵画の主題、表現論、地域特性、歴史認識論、商業としての芸術と多方向な質問が寄せられた。自分たちが生まれた時代に活躍した絵画の時代への共感と、自己の自信と不安が交錯する事実は興味深いものがある。

Q 1. 先進的なアートもアメリカが中心である事実はなかなか興味深い。どの様な世界も似ているようなものですが、アカデミックに傾けば一般性を失い、一部でしか評価されず、一般性に重心を置くとアカデミック側にうとまれる。自分としてはバランスが大切だと思うのですが、砂糖と塩で比重を均一にしようとして時代の流れを形成していくアートの世界というものは面白い。

なかなか箴言（しんげん：いましめ、格言）なお言葉を頂きました。冷静な客観視が素晴らしい。アートは経済活動の一環ですのでアメリカを中心としてアートが流通しています。作品の価値も経済の裏付けがあってこそ成立しています。そこには新たな作家を発掘して支援して育てる、の意味も含まれています。日本では経済至上主義のエコノミックアニマルと揶揄されていて、お金が動いているのに、こと芸術に関しては無理解でアートマーケットの成立さえ不完全なのです。いまだに作家に精神論的生活を要求し糊口をしのぐ作家像…という状況です。これが日本人は世界の子供と言われる所以です。

だから山村浩二のアニメーションの「頭山」の上でお花見をしながら憂さを晴らす…これが日本の状況ではないでしょうか。アカデミックは元々、学門、芸術の推進機関のことを指しています。現在では形骸化された既定路線を踏襲する作家や作品を指します。アカデミックと一般性はおっしゃる通りです。日本では公募展のサロンという世界の美術とは乖離した画壇が形成されてアカデミックと一般性が同居しています。なかなか世界に発信出来ない小世界なのではないかと思われませんが、日本の鑑賞者もそれを求めているのが現状ではないでしょうか。人それぞれの生き方が望ましいのですが、新たな地平を切り開く心意気を支援する状況も望まれます。アートは社会を映す鏡です。今、生きている同時代の作家のライブな作品が一番興味深いのではないのでしょうか。いろいろな考え方で流れを形成することを享受しましょう。

Q 2. ジュリアン・シュナーベルの作品が最初が100万、200万、後に1億2億になると聞いて作品の価値、値段というものはどのように決められるのか気になった。

女性のアートディーラー「メアリー・ブーン」と世界のアートの動向を決定する力のあるアートディーラーの「レオ・キャストリ」は共同で、ジュリアン・シュナーベルを戦略的に売り出したのです。プレートペインティングはマスコミにも大きく取り上げられ、アート界にも新鮮なショックを与えました。評判が評判を呼び一躍時代の寵児になったのです。コレクターが欲しがり個展を開く度に値段が高騰したのです。それは「シュナーベル・エフェクト」と呼ばれました。評判の作家の個展はオープン前にコレクターやマスコミなどを招待し、内覧会で即日売ることが多いのです。現在ではシュナーベルは作られた神話とされています。しかしながら彼の絵によってニューペインティングがはじまり、ポストモダンの扉も開いたのです。

Q 3. ロス・ブレクナーの宇宙空間のような絵は、どんな画材でどのように描いたのですか。

油絵具で描いています。色を何層にも塗り重ね、サンドペーパーをつけたサンダーなどで擦りだして下の色を出しています。なかなか神秘的な絵でしたね。ロス・ブレクナーの絵画は精神性の高いオリジナリティーを感じます。良質な画家として評価されています。

Q 4. スーザン・ロッテンバーグさんは馬ばかり描いているというお話でしたが、なぜか気になりました。本当に馬に魅せられている人っていますよね。なぜでしょう？ 他の動物でも特にそういった作家はいますか。

正確には馬の絵ばかりではありません。女性ダンサーが回転して手がぶれている状況を斜め上から見た絵などがあります。日本ではあまり紹介されていませんが馬の絵を多く描いているようです。馬に魅せられている作家は世界に大勢います。アメリカのデボラ・パタフィールドはジャンクを使った馬の彫刻を作っています。馬に神聖を見るのではないのでしょうか。イギリスの作家のマーク・ウォリンジャーは一時、写実的なサラブレッドの絵を描いていました。大きなお金が動くシステムが競馬にはあり、経済としての戦略的な交配などを揶揄する作品なのでしょう。

Q 5. ゲルハルト・リヒターは何を表現していこうとしているのでしょうか。

ポップアート時代から現在まで、常にトップランナーとして現代美術のなかで活躍するスーパースターの1人がゲルハルト・リヒターです。写真を元にしたピンぼけの絵画は人々にイメージを強く喚起させ増幅を促します。題材は日常や政治など、ある種のルポルタージュ絵画と言えるもので、時代の表現者とも言えるでしょう。本物を見ると見事な絵画力で感動します。カラーチャートの作品やガラスを積層して映り込ませる作品、スキーでストロークを付けた抽象絵画など幅広いバリエーションがあります。

Q 6. ドイツと同じように日本も戦争の傷跡があるはずなのに全然違うのかなと感じた。

第二次世界大戦の終わりから1989年までドイツは東西に分裂していました。東西冷戦のイデオロギー体制によって同じ国民が離ればなれになる。その困難さや傷跡は想像にあまりあると思われます。日本人はアメリカの傘の下で、戦争責任や賠償もリセットされ、海に囲まれているのでボーダーをめぐるトラブルも少なく問題意識も希薄なのかも知れません。

Q 7. ヒトラーも絵を描いていたようで評価されていたのか気になります。

ヒトラーはウィーンの美術大学に不合格になり成功しなかったようです。政治・軍隊のトップになると、当時全盛のドイツ表現主義やダダ、シュルレアリスムなどの前衛表現を有害であると激しく非難し「退廃芸術」と烙印を押して排除しました。アカデミックなロマン主義や写

実的な表現を好み自分の気に入った作品を公認芸術として認めました。これはコンプレックスの裏返しとも取れる行為で自己の埋められない過去に仕返しをして決着させたのでしょうか。他者の表現行為や人権を尊重出来ない人を「ファシスト」と呼ぶのでしょうか。

Q 8. 国によって世界の見え方の視点が違うところが面白いと思った。一概にひとくくりにはできないが、日本はどんな位置にいるのだろうか？

Q 9. 国によって作風が変わるのは見ていて楽しいです。

国によって固有のアイデンティティがあります。歴史性、民族性から醸成される考え方、表現の仕方も当然違いが発生します。個々のナショナリズムの尊重があつてこそグローバル化があるといえます。ただ受け手側には当然、ステレオタイプのイメージが発生します。日本と言えば、いまだにフジヤマ、ゲイシャ、サムライ、ハラキリ、…近年ではアキハバラ(アキバ)、ガングロ…などがインプットされているようです。私達も諸外国をステレオタイプのイメージで見ているのではないのでしょうか？ 日本は意識する、しないは別にして仏教や神道が精神や心理の中に深く流れていることは間違いありません。正月は神社でお参り、葬式は仏教、結婚式はキリスト教式、というのも八百万の中の異国の神として受入れる寛容さの現れです。アメリカにはアメリカのフロンティア精神が、ドイツにはドイツの心の精算の問題が、イタリアにはイタリアの重層な文化の流れがあり、その違いが面白いところではないのでしょうか。

Q 10. 先生の授業は毎回、全然知らないことを教えていただけなので楽しいです。でもどんどん分からない世界が広がってゆく作品が多いような気がします。芸術家と私の脳、何か違うのでしょうか。

Q 11. 授業で、いろいろ学ぶとアートというものが良く分からなくなる。奥が深い。

知らない作品が多く混乱や戸惑いも良く理解できます。学ぶほどに謎がうまれるものです。知識をその先へ繋げたいと言う欲求の現れで歓迎すべきもののなのです。疑問がうまれたら独自に調べてみましょう。現代芸術論で学ぶ、ダダから現在までの美術表現は20世紀の歴史の中で現されてきました。これは事実であり、このような歴史を一部しか知らされずに日本人のほとんどの人が享受出来なかったのは、日本の美術教育や美術の制度、それを含めた社会制度そのものに何か問題があるかと思います。ファッション、スポーツ、音楽、文学、芸能、社会、政治、経済、事件、事故がリアルタイムにもたらさ

れるのに、なぜ美術は知らされないのでしょうか？ デザイナーと言うアート最も近い人々は、アートとデザインが相互に影響を与えていることを学ぶ必要があります。芸術家の脳も皆様の脳もさほど変わりはありません。ただアーティストは表現すべき造形言語をいっぱい蓄えているので作品として表せるのです。皆様も心を全開に開放して森羅万象をインプットする所から始めてください。アウトプットするものが出てくるはずですよ。

Q12. 今までたくさんのアートを見て、その本質を捉えることができない。その人それぞれで良いと言うけれど、作者が本当に言いたかったことと違うことを感じるのはやはり鑑賞する上でよくないのでしょうか？ 何も分かってないということになるのでしょうか？

札幌市立大学とは？ これを的確に言える人はいないでしょう。大学とは建物のことは指しませんね。学生、教員、授業、施設、職員などモノとコトが総体となって色々な切り口から語ることが出来ますね。それと同じで誰も作品の本質を性格に捉えることはできません。なぜなら制作している作家自身も正確な着地点を求めて作っていないからです。ここはデザインと違うことです。作りながら悶え苦しみ、もっと先へ、もっと良いモノが出来ると作家は思っています。鑑賞者が本質を捉えようと思ったら、まず実物の作品に接してみましょう。作者からのメッセージが何か伝わってきたらしめたものです。作家は色々なことを思いめぐらして制作しています。クイズや答案のように正解は一つではないのです。さらに作品の本質が知りたければ図録を読むなり作品集、評論文などで研究してみましょう。作品とあなたの心がどのようにシンクロさせるのかを楽しみましょう。

Q13. モダンアート(アメリカ)というのは、中世のアートに比べてなんと下品なことか、安いことか！ しかし、そう思いながらも、モダンアートの美しさに改めて気がついた時、それはとても高貴なものにかわり興味深く私の胸の中に沈むのだろう。だが今日見たスライドも良くわからない。ドイツの作家達は表現が暗いと思います。

表現の自由も保証されていますので、感想の自由も保証されています。ちなみに今回紹介した作品はポストモダンの作品です。現代美術のことを以前はモダンアートと言っていました。時代を重ねるとモダンは古い概念となりましたので、現代ではコンテンポラリーアートが現代美術を現す言葉となりました。モダンアートとは、現在ではミニマルやコンセプチュアルアートを含むそれ以前を指します。線引きは割と曖昧ですが、ポップアートなど

は、もはやモダンアートに入っています。現代の美術は真の評価が定まっていませんので、100～200年後に何が残るのかも不明です。歴史の中で評価の定まった作品を鑑賞者が評価するのは楽なことなのです。評価の定まっていない作品を独自の視点で評価することが面白いのです。本物の現代美術作品に触れて涵養してください。ドイツ人の作品も意図してセレクトしている訳ではありません。80年代に活躍が顕著な作家を紹介しました。ドイツ人の心の痛みを知る機会になれば幸いです。

Q14. 自分の好きなことをやっている人たちが毎回紹介されていて楽しい授業なのですが、今日は改めて自分の好きなことを自由にやっている素晴らしさを感じました。上手い下手というのはそれでも最低限必要なのでしょうか。作品とは技術あつてのものなののでしょうか。

技術を全面に出して作品の中で語ってしまうと、作品の真に言いたかったことを後退させることがよくあります。技術は10年やれば上手くなります。10年やってものにならない大工さんや職人さんは稀です。創造の根幹は発想と何をメッセージするかが第一であって、第二に表現を具現化する技術が必要となってきます。両輪と言えませんが、駆動エンジンは第一と思ってください。自分の好きなことを自由にやっている素晴らしさを感じて頂いて嬉しく思います。表現の自由を認識できたということです。誰にも邪魔されることがない自己表現をできるフィールドを獲得することは素晴らしいことなのです。自己研鑽を期待しています。

Q15. 時代のニーズに合っていくと売れていくようですが、ニーズに合わせて作っている人はいるのでしょうか？ デザイナーはニーズに合わせて作ることがメインであるように思いますが、アートは誰か他人や時代のニーズに合わせて作るものなののでしょうか。

アートの場合、時代のニーズに合わせて作っているようでは遅いのです。ニーズを作り出すような作品のみが時代のニーズを作ると認識しています。独自の作品世界を創出すると、やがて時代がこちらに回ってくるようです。但し、人気作家になるとコレクターに請われて作品の注文(ニーズ)を受けて制作する作家もいます。

以上で、「ミニマルアートからニューペインティングまで」の美術様式を、学生の講義感想や質問を交え現代美術の歴史を概観し表現の根幹を明らかにした。

IV. 結語

本研究は、「ミニマルアートからニューペインティングまで」の20年間の現代美術の様式を解説したものである。

シンプルな造形で美術様式を変革させたミニマルアートから始まって、関連するプライマリー・ストラクチャー、概念の自立を図った企てのコンセプチュアルアート、地球の自然や天体と調和をアートで示したアースワーク、物の言葉を聴いて造形をする、アルテポーベラとの派、ポストモダニズムの扉を開けたニューペインティングとその他の美術を併せながらアメリカ、ヨーロッパと日本を横断的に網羅した。

特に、作品の制作意図を示す「現代芸術の基本理念、表現の時代背景、表現の地域特性、作品概念、表現論」の観点から概観した。各項目ごとに現代美術が理解できるように、学生の質問や感想に答える形で考察を交えながら作品事例をあげて、詳細に表現の根幹を明らかにした。

学生の現代美術に対する戸惑いや興味は、徐々に理解から親しみへと変化し、それに応じて質問や感想の内容も変化するのも教育者として興味深い。デザインや芸術文化を創造するためには、先人の歴史を学ぶと同時に芸術文化も学ばなければならない。創造の源泉として、本

研究が考え方の大きなヒントになるであろう。

熱心に取り組んでくれた学生に敬意を表したい。

参考文献

- ・ロバート・アトキンス：現代美術のキーワード。東京：美術出版社，1993
- ・美術手帖編集部：現代美術事典 アンフォルメルからニューペインティングまで。東京：美術出版社，1984
- ・美術手帖編集部：現代美術 ウォーホル以降。東京：美術出版社，1990
- ・美術手帖編集部：現代美術入門。美術出版社，1986
- ・H.W. ジャンソン：美術の歴史 第4部近代世界。東京：美術出版社，1990
- ・H.H. アーナスン：現代美術の歴史。東京：美術出版社，1995
- ・エドワード・ルーシー＝スミス：現代美術の流れ 1945年以降の美術運動。東京：パルコ出版，1986
- ・榎木野衣：爆心地の芸術。東京：晶文社，2002
- ・中村信夫：少年アート。東京：弓立社，1986
- ・クリストファー・フィンチ：ポップアート オブジェクトイメージ。東京：パルコ出版，1979
- ・巖谷國士：ユリイカ ダダ・シュルレアリスム。東京：青土社，1981
- ・ケネス・クウツ＝スミス：ダダ。東京：パルコ出版，1976
- ・artscape 現代美術用語集
<http://www.dnp.co.jp/artscape/reference/artwords/index.html>
- ・フリー百科事典 ウィキペディア (Wikipedia)

現代芸術論におけるデザイン学生の授業感想と教員からの通信 #3

1980年代の美術から現在(2007年)までの現代美術

上遠野 敏

札幌市立大学デザイン学部

抄録：本研究は「1980年代の美術から現在(2007年)まで」の四半世紀の現代美術を分かり易く解説したものである。本学デザイン学部の授業「現代芸術論」での毎回の授業感想で書かれた学生の質問や疑問を、次回の授業までに筆者が返答を作成して「上遠野通信」として配布したものを基にしている。特に関連の深い記述を抜粋して、講義で教授した内容や、美術の考え方、学生からの質問や感想の分析と考察を交えて、現代美術の基本理念、表現の時代背景、表現の地域特性、作品概念、表現論の観点から明らかにした。デザインや芸術文化を創造するためには、先人の歴史を学ぶと同時に芸術文化も学ばなければならない。創造の源泉として、本研究が考え方の大きなヒントになるであろう。「ダダイズムからポップアートと1960年代の美術まで」を#1、「ミニマルアートからニューペインティングまで」を#2、「1980年代の美術～現在(2007年)まで」を#3とした。現代美術の系譜を通して作品の理解を深めることを目的としている。

キーワード：現代美術の基本理念、表現の時代背景、表現の地域特性、作品概念、表現論

I. 研究の背景・目的

芸術は「哲学の具象」である。特に現代美術は「時代を映す鏡」とも言われ、時代背景と密接な関係を結んだメッセージが現れている。それは表現の自由を最大限に保障している証である。しかし現代美術に対して本学デザインの学生を含め人々の情報は極端に乏しく、難解であり垣根が高いと感じているのが一般的である。鑑賞する側にも多少の知識を必要とするのは「美」の価値観が時代とともに変化して、創造の概念が拡張しているからと言える。本学2年生を対象にした「現代芸術論」の講義では、1910年代のダダイズムから2007年の現在までの流れを、先人のユニークな創造の作品スライドを見せながら、筆者が現代美術家としての目を持って易しく解きほぐした。表現の自由を尊重しながら、発想の展開を理解することは、デザイン活動においても自己の心を解放して創造空間を拡張してくれるものと確信している。

本研究では「1980年代の美術から現在(2007年)までの現代美術」の現在の美術と言える四半世紀の作品を講義した内容と併せて、学生から寄せられた質問に答えることによって、「現代芸術の基本理念、表現の時代背景、表現の地域特性、作品概念、表現論」の観点から現代美術の歴史を概観し表現の根幹を明らかにした。

学生の現代美術に対する戸惑いや興味は、授業を進めの中で理解が深まり親しみへと変化する心理も読み取ることができる。本学の特徴である看護学部との学部連携

の授業においても、デザイン教育においても現代美術の創造の歴史を系譜を通して理解を深めることは、人間性をより豊かにして、デザインや看護の専門性をより拡充することが期待できる。

II. 研究方法

1. 現代芸術論について

受講生 88名、本学デザイン学部2年生 76名、札幌市立高等専門学校専攻科1年生 12名。

選択科目、2年次前期、90分×15回、2単位

〈科目のねらい〉

現代芸術の基本理念とその特徴を、時代背景や地域特性とともに概説する。モダンアート、ダダイズム、シュルレアリスム、抽象表現主義、ポップアート、ミニマルアート、アースワーク、コンセプチュアルアート、ポストモダニズム等について、代表的な作家の作品を紹介しながら、歴史的・地域的特徴について概観する。

〈授業の目標〉

- ・20世紀から現在までの現代芸術が系譜を通して理解することができる。
- ・現代芸術の理解を深めることによって、デザインの専門性を拡充することができる。
- ・表現の自由を尊重し、発想の転換や創造の概念を学ぶ。

表 1 現代芸術論シラバス

第1回	現代美術概説：モダンアートから現代までの流れ1	アート関連：ショートフィルム紹介1
第2回	現代美術概説：モダンアートから現代までの流れ2	// 2
第3回	芸術の転覆①：マルセル・デュシャンの反芸術的たぶらかし	// 3
第4回	芸術の転覆②：ダダイズム，シュルレアリスム	// 4
第5回	脱イリュージョン：抽象表現主義，アンフォルメル，具体美術	// 5
第6回	大衆文化の夜明け①：ネオダダ，ポップアート，フォトリアリズム，オブアート	// 6
第7回	大衆文化の夜明け②：ブリティッシュポップ，ヌーボレアリズム，ネオダダ・オルガナイザーズほか	// 7
第8回	概念の構築：ミニマルアート，プライマリー・ストラクチャー，コンセプチュアルアート	// 8
第9回	物の言葉を聴く①：アースワーク	// 9
第10回	物の言葉を聴く②：アルテポーベラ，もの派	// 10
第11回	ポストモダニズム①：ニューペインティング	// 11
第12回	ポストモダニズム②：1980年代の美術・アートメディアとしての写真，ニュースカルプチャーなど	// 12
第13回	多様化する表現：1990年代の美術・シミュレーションほか	// 13
第14回	物質と非物質の行方：現在の美術	// 14
第15回	映像アートの検証	

〈授業の流れと内容〉

授業シラバスの後半部分の第12回から第15回までの講義での現代美術のながれが本研究の考察事項である(表1を参照)。

授業では豊富なスライド資料と映像資料，レジュメ，参考資料を用いて行われる。第12回ではポストモダニズムのニューペインティング以外の美術を紹介。1980年代の美術とアートメディアとしての写真表現やイギリスのニュースカルプチャーなどを取り上げた。第13回では、多様化する1990年代の美術を取り上げ、活動が顕著なシミュレーションを中心に紹介した。第14回では物質と非物質の行方：現在の美術状況を紹介。第15回には映像アートの検証を取り上げた。同時に、アート関連のショートフィルムも毎回紹介している。アート系の映像は、マスメディアに取り上げられることも少なくマイナーとも言える。しかし良質な映像が多く学生の感性と知識を立体的に涵養するために行っている。

2. 学生の授業感想について

「現代芸術論」では毎回の授業終了時に講義の感想を書いてもらっている。授業感想は出欠確認もかねている。真摯な感想が寄せられて、授業内容が伝達できていることが確認できる。講義で聞き漏らしたことや疑問に思ったことの質問も多いことが分かった。2回目の授業から毎回、レジュメと併せて授業感想や質問、疑問に答えるA4サイズ、8ページの「上遠野通信」(図1)を発行した。学生との往還の中から、現代美術が系譜を通して理



図1 レジュメと上遠野通信

解することが可能な110ページを超えるテキストを作成した。

本研究では「1980年代の美術から現在(2007年)までの現代美術」の上遠野通信の中から、特に関連事項の深い学生の質問と筆者の答えの記述を抜粋した。意味の補完をするために、各美術様式の講義内容の簡略な説明と紹介した作家も併せて掲載した。

III. 研究成果と考察

「1980年代の美術から現在(2007年)までの現代美術」の現在の美術と言える四半世紀の美術の変遷のながれから「現代芸術の基本理念，表現の時代背景，表現の地域特性，作品概念，表現論」の観点で、学生の授業感想や

質問を交え現代芸術の歴史を概観し表現の根幹を明らかにする。

1. ポストモダニズム②：1980年代の美術

1-1. アートメディアとしての写真の台頭

絵画や彫刻、デザインの美術教育を受けたアーティストが、写真をアートメディアとして使用する表現が台頭した。世界的な動向で写真芸術としてではなく、絵画と同じように、アートツールとして写真を用いている。詳細は下記の教員コメントを参照。

アメリカ：シンディー・シャーマン、ロバート・メイプルソープ、サンディ・スコグランド、ウィリアム・ウェグマン、マイク&ダグ・スタン（スタン・ツインズ）

イギリス：ギルバート&ジョージ

ドイツ：ベルント&ヒラ・ベッヒャー、ローター・バウムガルテン

日本：杉本博司の作品を紹介。

1) 学生の感想から抜粋

この時代、写真を用いるアーティストが増大した。写真家の写真とは観念も概念も違い、アートを表現するために写真を用いている。学生はこのことに新鮮な感覚を感じたようである。自分でも出来るかもしれないと思わせる感覚は重要である。

■アートメディアとしての写真の台頭：絵画でなく写真の分野でもアートが成り立ち認められていることを始めて知った、80年代は写真を取り入れたアート作品が多くなった、写真の作品がいろいろ見られて楽しかった、光の当て方（視点）によるストーリー性の増大や広がりによってささやかな場所を深く見つめてしまうような作品に仕立ててしまうことに感動、アメリカの写真アーティストの作品はセクシュアルな部分が多く今の若い人たちが気に入るやすいと思った、写真のはじめの方は過激だったけどその時代背景が見えました。

■アメリカ■シンディー・シャーマン、高校時代から興味があったので改めて見られて良かった、映画のシーンの様な写真が好き、絵画のような写真は斬新■ロバート・メイプルソープ、リサ・ライオンのファン、理想の肉体は美しい、綺麗な花はエイズでの死を予感■サンディ・スコグランド、手の込んだセットがすごい、セットの不思議さと写真のもつリアリティが混ざり合っていて良かった、物づくりの細かさやモチーフが面白かった、造形された猫が老夫婦をかこんで都会における孤独を表す作品がすごい、人間と猫をどちらが主体であるか分か

らなくしているのが都会の孤独をさらに印象深くしている、実際に人間がいる空間につくり物を置いて新たな空間を作り出す作品に興味を持った、青とオレンジのコントラストが良い、干しぶどうやチューリップの花など根気のいるセットづくりで感服、猫や魚の作品が好き、やってみたく■ウィリアム・ウェグマンの飼い犬のマンレーが小さいマンレーの彫刻を認識しようとしている写真が可愛くて好き、マンレーをつかった「嵐の夜」の作品は嵐の記憶を蘇らせる不思議な作品、ポストカードが欲しい、マンレーが可愛い■マイク&ダグ・スタン（スタン・ツインズ）、写真もメディアであるということを始めて認識されました、写真技術が新鮮、バラの写真すごく好き、セピア調が良い、印画紙をカラージュしているのがカッコ良い、また写真をやりたくなった。

■イギリス■ギルバート&ジョージ、社会へメッセージが感じられた、ポップな写真は今の時代にも合うしおしゃれ、表情や構図が良い、おじさんのユニット良い、色使いが良い。

■ドイツ■ベルント&ヒラ・ベッヒャー、すごく興味を持てたし想像をかき立てられた、産業遺産などの類型が美しかった■ローター・バウムガルテン、シンプルな造形だが心に響く、木のタイルを剥がした中に赤い羽を1枚が印象的、自然の中に作り物を置くのが面白い。

■日本■杉本博司、白と黒の空間がたまらない、綺麗、世界の海の水平線すごく良かった、ハゲタカのジオラマの写真が良い、映画1本を写真の収めると何も写っていない作品が哲学的、世界観が好い、作品がすごく好きになりました。

2) 学生の質問・疑問と教員のコメント

写真は直截的な事物を描き出す情報量の多いメディアである。そこに身を置いて出会いを待つ写真芸術と違い、作家は丹念に造形物やセットを作り作品として写真で表現する。現実と仮想を織り交ぜ、時代の表現者としての作品に関心を寄せる。

Q 1. ベルント&ヒラ・ベッヒャーの写真作品の意味は？

ベルントとヒラはご夫婦です。20世紀の産業遺産と言える物件を世界中の類型を求めて撮影しています。タイポロジー（類型学）の写真と言われています。写真の作品ですが、ベネチアビエンナーレでは彫刻賞を頂いています。産業遺産を長年撮る事によって記録的なモニュメントとして評価を得たことになります。ベッヒャー夫妻の写真は被写体の高さの中間位置かやや下方にカメラがセットされています。鉱山の巻き上げ機などの背の高い

被写体は相当高い足場が組まれた事が推測されます。その上に影が出来ない曇天の日の撮影である事が写真から読み取れます。

Q 2. アートにはセクシャルは欠かせないのだなあと思った、人間の身体は身近であるがゆえに魅力的なのだろうか。特に今回、エイズに関する作品が多かったのが印象的だった。

Q 3. アーティストには、やはりゲイやレズが多いのか、それともカミングアウトしている人が多いだけなのか。

Q 4. 性をテーマとしたアート：性とアートは、その時代、時代を反映させている気がする。永遠のテーマなのかな。

Q 5. シンディー・シャーマンをはじめ、性を題材とした作品はすごいと思う反面結構ショッキングなものが多かった、女性だからこそああ言うテーマで思いつきテーマのものが出来るのでしょうか。また問題にはならないのでしょうか？

人間像を表現する場合、表面の美しさなどを論じるだけでは物事の本質には迫れないことが多いですね。多様な角度から真実を追求すると、当然ながら性も一つの問題としてクローズアップされます。山村浩二アニメ「年をとった鰐」も同様です。即物的な表現は回避されていますが作品は性の本質を突いています。アーティストは真理探究が創作の糧なのです。自分をごまかしてまで表現を曲げることを嫌います。真実に忠実に生きようとして必然的にカミングアウトする場合もあるでしょう。各々の個人の問題ですから多様な生き方があるのが望ましいのです。私たちが常識や規範に無意識に縛られているのを意識出来ていない方が哀しい事実かもしれません。このような考えを持てるのも 80 年代位からの価値観の一つと言えるでしょう。性をテーマとした作品は特別なことではなく、多くのアーティストによって制作されています。表現の自由の現れです。良く誤解されるのがポルノグラフィーとの混同です。ポルノグラフィーは性的情動を煽動する事を目的にしています。アートは何らかの問題提起を作品を通して表現しています。それが性であること……なのです。人間の身体はいつでも魅力的なものです。ですから恋愛感情などが生まれます。男と女、男と男、女と女もあり得るでしょう。ゲイに関わらず性に奔放となればエイズに感染することがあるので自分の身体は自分で守るのは当然な事です。

シンディー・シャーマンは社会における男性から見た作られた女性像をあぶり出しています。男性週刊誌などのピンナップの女性像をはじめ学校や職場での女性像など、全て男から見て都合の良い愛玩的な女性像を自ら被写

体となって告発しているのです。レイプなどの男性の暴力によって身も心もズダズタになった女性像を演じているのです。しかし性的な身体は彼女自身ではなくフェイクな作り物で、まがまがしさをより引き出しています。作品は一見ショッキングに見えますが入念に作られた造形なのです。これをアートと言います。

ロバート・メイプルソープをアメリカでの展覧会で見ました。性器や性的な表現が多々ありましたが、どれも美しいアートと言える写真でした。親子が仲良く鑑賞していたのが印象的でした。その後、彼の展覧会が日本で開催されましたが、性的な表現の写真は一切展示されていませんでした。法律や国民性の違いがあるでしょうが、問題を回避する美術館側の姿勢にも問題があるのかもしれないですが、性＝卑猥、けしからぬ、とそれを許さない国民性があるのも事実です。

Q 6. カラー写真よりモノクロやセピアの写真の方が神秘的で、静けさがあるように感じますが、作家たちは使い分けているのでしょうか。

カラー写真にはカラーでしか表せない良さがあります。モノクロやセピアは色彩をミニマムに切り詰めているので、写真が余計なおしゃべりをしない良さがあります。今回ご覧になった作家の作品が良かったので神秘的で静謐な表現に見えたのです。それほど作家の写真は素晴らしいと言うことです。カラー写真を自分の思った色に再現（焼く）のはとても大変な事なのです。プロの写真家でも自分で焼く人は少なくプロのプリンターに付きっきりになって指示を与えながら焼く事が多いのです。モノクロやセピアの場合、自分で焼けますのでデッサンを描く様に光で濃淡を操り納得が行くまで焼けるのです。

ロバート・メイプルソープの場合、晩年の花の写真はカラーでと使い分けたようです。それまでモノクロにこだわったのはカラーを操る自信がまだなかったからと言っていました。杉本博司さんの場合、全てがモノクロです。現在、デジタルが主力となって、印画紙や暗室用品の中小企業がなくなっています。全てデジタルな世界がくるのでしょうか。

1-2. ニュースカルプチャー（イギリス）

80 年代にイギリスで彫刻のニューウェーブが台頭した。今までにない造形言語でミニマルとも抽象彫刻とも違う、人々との距離を縮めるような親しみのある彫刻が作られた。プライマリー・ストラクチャーのアンソニー・カロ、フィリップ・キングを師として次世代の作家がニュースカルプチャーの動向を示した。詳細は下記

の教員コメントを参照。

ジョン・デービス、デビット・マック、リチャード・ディーコン、アニシュ・カプア、アントニー・ゴームリー、エドワード・アーリントン、トニー・クラッグ、バリー・フラナガン、ビル・ウッドローの作品を紹介。

1) 学生の感想から抜粋

ミニマルアートの切りつめられた形態の反動か、純粹に造形の創造性を楽しむ彫刻表現である。インスタレーションでの空間操作も取り入れた造形は、より自由で学生の心を楽しませたようである。想いもしない発想が刺激となっている。

■ニュースカルプチャー：今まで見て来た美術様式のなかで一番強く衝撃を受けた、芸術性が明快。

■イギリス■デビット・マック、ユーモラス、瓶の水で立体を作るのが好き、水の作品は本物の女性が入っているようで驚きました、バービーがコンテナを持ち上げている作品面白い、バービー人形がたまらない、雑誌の集積で作品を作るのがすごい、雑誌の洪水の表現が面白い■アニシュ・カプア、顔料を振りかける作品が美しかった、単純な作業で最良な結果を出す作品のに感銘、お椀型の作品の虚空の作品を見たい■アントニー・ゴームリー、人体の内側に人間の真の姿を表すことに感銘、パンを食べたところが人型になっていてすごい作品、体育館の中にテラコッタの人形がびっしりと2万體並べてあるのが自分の好みにあう■トニー・クラッグ、物を並べているだけなのに奇麗、グラデーションに並べたプラスチック作品が綺麗、無意識に秩序づけて並べて行く感覚に悦を感じる、石膏の歯の作品良かった■バリー・フラナガン、跳ぶうさぎの像が面白い■ビル・ウッドロー、洗濯機を切り抜いてギターやチェンソーを作るのは面白い。

2) 学生の質問・疑問と教員のコメント

デビット・マックの作品は楽しい。学生の感想にも記載されてる通りである。バービー人形とコンテナの作品はあっぱれである。アートは楽しさも重要。

Q 1. デビット・マックのバービー人形とコンテナの作品は先にバービーを大量に並べて上にコンテナを載せているのですよね。潰れないように先に計算を出しているんですか？

多分、何度かの試作を繰り返して経験の中から数量や重量を割り出しています。もちろんバービーを先に置いて

てコンテナの載せる手先のレベルを揃えていると思います。クレーンで直接載せるとバランスが取れないので、ジャッキの上にクレーンでコンテナを載せてから慎重に降ろしていると思われます。しかし意表をつく作品ですね。見ていて痛快。アートは楽しさも必要かと思います。

1-3. 80 年代の彫刻・立体・インスタレーション

単体の彫刻や絵画に飽き足らず、空間全体を支配するインスタレーション手法を採用する作家が台頭、場の特性や歴史性、社会性を認識し空間を変容させる美術動向が多くなった。詳細は下記の教員コメントを参照。

アメリカ：ジュディ・シカゴ、レッド・グルームス、マーク・ディ・スベロ、ジュディ・ファフ、デボラ・パタフィールド、ルイズ・ブルジョワ、ジョン・エイハン、ナンシー・ドゥワイヤー

ドイツ：レベッカ・ホーン、ウルリッヒ・リュクリーム、ボルフガング・ライブ

フランス：クリスチャン・ボルタンスキー、ジャン＝ピエール・レイノー

ポーランド：マクダレーナ・アバカノビッチ

日本：戸谷成雄、遠藤利克、深井隆、舟越桂、土屋公雄、寺内曜子、川俣正の作品を紹介。

1) 学生の感想から抜粋

彫刻の概念がより拡張して多様な表現を見せる。現実空間を支配する立体作品には圧倒される。

■80 年代の彫刻・立体・インスタレーション：インスタレーションの作品はアイデアしだい何でも作品になるので面白い。

■アメリカ■ジュディ・シカゴ、女性像を皿や性器で表すのがすごい■レッド・グルームス、地下鉄の作品がにぎやかで子どもの見るようなアニメのワンシーンのようでわくわくします■デボラ・パタフィールド、馬の彫刻には虚無感がある■ルイズ・ブルジョワ、おぞましい世界観を感じます、六本木ヒルズの蜘蛛の彫刻見ました■ナンシー・ドゥワイヤー、文字の家具が面白い、文字の引き出し欲しい。

■ドイツ■レベッカ・ホーン、自動でバイオリンが動く作品が良い、装置と音を作って展示するのが画期的、ハイヒールとバイオリンの作品が印象的■ボルフガング・ライブ、花粉で作品を作る発想がすごい、くしゃみでないの。

■フランス■クリスチャン・ボルタンスキー、死者の光のモニュメントが良い、明かりの使い方がほのかで綺麗。

■ポーランド ■マクダレーナ・アバカノビッチ、ポーランドの歴史と人々の悲しさが伝わってくる作品。

■日本：急速に発達するコンクリート社会で木のぬくもりが恋しくなって木彫作品が増加したのだろうか（昔から日本では木彫の作品が多いです。この時代によく木彫作品で現代美術の中で活躍出来る作家が出てきたと言うことです）、木を使った作品は温かみを感じる。

■深井隆、「逃れいく思念」は椅子に羽がついているのがおしゃれ ■舟越桂、人物の木彫作品は見ると安らぐ不思議な感じが好き、人物の顔がかっこいい ■寺内曜子、室内と外の大きな空間を意識させる作品は見ていて気持ち良かった。

■その他：写真やニュースカルプチャーは今まで見た作品より入り込みやすかったし、絵よりインパクトが強い、作品にはお国柄や性別が良く現れているのが面白い、女性の作品は男性の作品とは別の雰囲気を感じる、絵画より写真や彫刻に惹かれる、彫刻は面白い、女性でも有名な作品を生み出す人がいることを認識、アイルランドの旅行に言った時巨大な跳ぶうさぎが道路に沢山いました。見たことがあるのものが紹介されると嬉しい。

2) 学生の質問・疑問と教員のコメント

やはり日本人作家に関心を惹くようである。特に舟越桂の彫刻は静謐で崇高な人物像である。制作方法について明らかにした。他に、講義を進める中で作品から社会的な思考へと発展する質問もある。

Q 1. 遠藤利克さんの作品で「火は神聖なもの」と解説がありましたが、どこからきている思想ですか？

神道や仏教、仏教と習合した修験道などからきています。火は魑魅魍魎の跋扈を滅し穢れや煩惱も滅するので、清浄で神聖なものと言われています。遠藤利克さんの作品は柩（ひつぎ）と言われています。滅しても、なお現れる神聖な生命の水脈を表現したのでしょう。

Q 2. 舟越桂さんの作品は服も木ですか？

作品の服も木彫です。素材は楠（樟：くす）です。楠は香りがとても良い木で白檀の変わりに香木として仏像に使われる木です。昔は樟腦の原料にもなりました。舟越さんの上半身像の作品の場合、服の部分と頭部は別々に作ります。頭部は差し込み式です。手がある場合は手を差し込むタイプの作品もあります。布のしわなどはあえて簡略化して彫り着彩を施しています。舟越さんの作品は鎌倉時代の玉眼が入ったりアリズム表現とゴシックの彫刻にインスピレーションを得ています。元々、木彫には着彩が施され玉眼も入っていましたので、それを踏

襲したのです。現代の新たな人物像を新鮮な切り口で照射した木彫作品として世界的に評価されています。

Q 3. 舟越桂さんの人物像の目はわざと斜視にしていると聞きました。

目は大理石を削り出して義眼の様な物を作っています。瞳の虹彩なども丁寧に手描きでつくられます。クリヤーラッカーを何層にも塗って目の光沢も出しています。後頭部付近をノコで切り取り、丁寧に木を内ぐりをして目の部分まで貫通させて大理石の目をはめ込んでいます。はめ込む角度によって目は斜視にもより目にも出来ます。舟越さんの好みとして、やや遠くを茫洋と見ている。けして観客と視線をあわせない。ですからやや斜視気味に見えるのです。そこに人間像の深淵さを表したのです。

Q 4. 作品のコンセプトは必ず必要なのでしょうか？

コンセプトなき作品など存在しません。ただコンセプトを造形言語の筆頭にするか否かに違いがでます。長年蓄積のある作家は、根底に大きな川の流れのようなコンセプトが横たわっていますので、1作ごとにコンセプトを土台から作る必要はないだけです。何を表現したいのか？ 物事の真理はなにか？ 時代は、環境はと考えると必然的にモノを創るコンセプトは出てきます。ただ物を見て写す作業なら、自己である必要はないのです。

Q 5. 80年代から女性の作品が急に増えましたね、時代背景があるのでしょうか？

現在は、どこの芸術系の大学も女性の方が多いです。80年代から女性アーティストの進出が顕著になったのは、女性の大学進学率が向上したからです。70年代から女性の社会における地位向上などの運動があって国民の意識も変わってきました。もちろん欧米を手本としているのは言うまでもない。今や文化的な事への興味は女性が圧倒的です。コンサートに行っても、講演、美術鑑賞でも、有名レストランのランチも女性でいっぱいです。世の男性が仕事に追われ文化的な営みを作れない社会になっているのも事実なのです。

Q 6. 自己やメッセージ、ニュースありきのコンセプトであると私は思うのですが、ポストモダニズムの作品などを見ると、コンセプトありで「魂」であるメッセージ等を乗せるのも面白いし、コンセプトだけという「虚」の乗り物を人々に提示、展示するという魅せ方も、中々面白いものであると感心しています。

面白い見方ですね。多重な読み取りに感心しています。

おっしゃる通り、いろいろな考え方や提示方法があるから面白いのです。実は、虚実皮膜の薄皮と薄皮の間とところが創造者にとって一番面白いところなのです。それだけ多様な考えが表現出来る「場」を尊重して作ってきた所に価値があります。人の営為ほど面白いものはないですね。

2. 多様化する表現 1990 年代の美術

2-1. ネオ・ジオ (シミュレーション)

ネオ・ジオとはネオ・ジオメトリックのこと。幾何学的コンセプトアートを指すが、シミュレーションアートと同意義なために呼称が飲み込まれてしまった。

では、シミュレーションとは？ 私達が馴染みのあるのは、火災訓練や防災訓練などを本当にあったような状況を作り出しあらゆる想定をシミュレーションするなど、飛行機の操縦士を養成するフライトシミュレーションなども耳にしますね。日本のお寺にはシミュレーションと言える作品が多いのです。宇治の平等院は藤原頼通が現世でも極楽な生活をしているのに、来世でも極楽に行きたいと願い、西方浄土を観想するために現世に極楽浄土の阿弥陀の世界を作らせたのです。極楽浄土のシミュレーションと言えるものです。釈迦の教えが衰退する末法の世で庶民は疫病や殺戮に苦しめられていました。でも頼通は庶民のことなどこれっぽっちも思っていないところが哀しい。ネオ・ジオ (シミュレーション) は 90 年代の動向であるが、実は 80 年代半ばから動き出していた。ではシミュレーションアートとは何か？ レプリカや紛い物をアプロプリエーション (流用) して現代社会をあぶり出そうとした美術のことを指します。現在ではあまり使われなくなった美術用語です。詳細は下記の教員コメントを参照。

アメリカ：ジェフ・クーンズ、マイヤー・ヴァイズマン、アシュリー・ビカートン、ピーター・ハリーの作品を紹介。

1) 学生の感想から抜粋

ジェフ・クーンズの作品がとてもインパクトがある。美術の新たな概念を作り上げた功績は大きい。

■ネオ・ジオ (シミュレーション)：シミュレーションは見えて面白い■ジェフ・クーンズ、お土産物を拡大する作品の考えが新しい、ウサギとか豚の作品は可愛くて好き、美術の新たな概念を作り上げた。

2) 学生の質問・疑問と教員のコメント

ジェフ・クーンズの作品に集中した。彼の作品概念が、現在の村上隆や多くの作家の起点になるものである。

Q 1. ジェフ・クーンズのバスケットボールが水に浮かんでいる作品が黒人社会を表現しているとか、どうして分かるのですか。作家が説明するのですか？

作家が説明したと思われます。当時、ジェフ・クーンズはネオ・ジオ (シミュレーション) の代表作家として美術雑誌によく取り上げられていました。その作品解説にそのようなことが書いてありました。まず考えてみましょう。日本の豊かな状況は世界では当てはまりません。南米になぜサッカー選手が多いかわかりますか？ エチオピア・ケニア・タンザニアに長距離選手が多いのはなぜでしょう。身体能力の高さもさることながら、貧しくて靴が無くてもボール一つあれば出来るスポーツだからです。マラソンなどは裸足でも OK。ローマオリンピックで金メダルを獲得したのは裸足のランナー、アベベ選手 (エチオピア) でした。アメリカのプロバスケットプレーヤーには黒人が多いですね。貧しくても (水面下) でも浮かび上がるために、ボール一つに命を託してサバイバルを勝ち抜いた姿がそこにあるのです。どうやら、日本の様に大学に全入学できるような、おしなべて機会均等の社会状況とは違うようです。

Q 2. ジェフ・クーンズの「ラビット」の説明がよく分からなかった。風船にステンレスをかけたのですか。

夜店に売っている銀色のうさぎの風船。それを型取りしてステンレス鋳造をしてピカピカに磨き込んだ作品が「ラビット」です。アプロプリエーション (流用) で日常的なローカルチャーの産物を彫刻と言う台座に載せてしまうことによって、ハイクルチャーに仕立ててしまう企てなのです。現代社会をシミュレートしたということです。本物を見た時、彫刻としてとても可愛いのと、その発想の良さに強く心が打たれたことを思い出します。

Q 3. ジェフ・クーンズは自分の手ではなく職人に作らしているということですが、作らなくてもコンセプトを提示するだけでアーティストになれるんですね。

マルセル・デュシャンのレデ・メードを覚えていますか。ミニマルアートのドナルド・ジャッドは図面を書いて作品は工場で作る発注作品です。クリエートすることは創造であり直接作らなくても創っているのです。身近なところでは、建築を考えてみましょう。清家清先生が作った札幌市立高等専門学校の校舎は清家先生が力仕事をして直接作った物ではありませんが、清家先生の作品

ですね。ですから銀閣寺は足利義政が創ったのです。侘び茶の茶道具は職人が作ったのではなく千利休が創ったのです。直接作りたい作家は作ればよろしい。概念で新しいシステムを創る作家がいても良いのではないのでしょうか。

2-2. 他の 1990 年代美術

90 年代の美術の動向はシミュレーションが最も台頭したが、それらの動向と関わりを持ちながら多様な表現が見られました。情報化時代になり瞬時に世界の物事が分かるようになると、個々の作家が独自の作品を模索して流派や動向と一緒にする必要になったのではと考えられます。この時代の特徴はメッセージによるアートやインタラクティブアート、ビデオインスタレーション、フィギュアアートなどの作品が顕著である。80 年代に引き続き写真によるアートも相変わらず多い。詳細は下記の教員コメントを参照。

アメリカ：ハイム・スタインバック、マイク・ケリー、アラン・マッカラム、ジェニー・ホルツァー、バーバラ・クルーガー、ダン・グラハム、ロバート・ゴーパー、クリスチャン・マークレー、チャールズ・レイ、トニー・アウスラー

イギリス：マーク・クイン、リチャード・ウィルソン

ドイツ：キキ・スミス（ドイツ生まれアメリカ育ち）

カナダ：ジェフ・ウォール

バハマ：ジャニン・アントニ

ポーランド：クシュシトフ・ウディチコ

チェコ：ヤナ・スターバック

日本：アラキー（荒木経惟）、森村泰昌、岡部昌生、青木野枝、柳幸典、宮島達男、内藤礼、笠原恵美子の作品を紹介。

1) 学生の感想から抜粋

90 年代はシミュレーション以外、美術様式としてのジャンル分けが出来ないくらい多種多様である。多様であることは個の尊重である。ますます現在の美術に近づくことが認識できる。

■多様化する表現 1990 年代美術：90 年代あたりから表現方法がさまざまになりジャンル分けが出来なくなっているのが理解出来る、詩や文字というジャンルが出てきてアートの幅がどんどん広がってきた、どれも人間のあり様が 90 年代以前とはだいぶ変わってきたのかなと思った、病的というかその時代のストレスが痛いほど伝わるものが多いと感じた、自分でも作りたい。

■アメリカ ■マイク・ケリー、ぬいぐるみの作品が可愛い ■アラン・マッカラム、10 万個のカプセルの様な作品に驚き ■ジェニー・ホルツァー、テキストの美術にすごく興味を敷かれた、電光掲示の文字のメッセージ作品が印象に残った、グッゲンハイムに螺旋に配置された電光掲示板の作品がすごい、LED の光の文字の作品を真っ暗な部屋で見たい。光が綺麗 ■バーバラ・クルーガー、T シャツで知っていた、作品がポップで好き、メッセージや言葉によるアートは興味深い ■クリスチャン・マークレー、心の音楽を聴くのが良かった、すべて裏側に展示された写真が気になる ■トニー・アウスラー、人形に顔のプロジェクションはインパクト大。

■イギリス ■マーク・クイン、自画像が全て自分の血液を凍らした作品に驚き。

■ドイツ ■キキ・スミス、ショックを受けた、人間の本质を形にして、それを他の人を考えさせることもすごい、人間とは何？ 生きる意味は何？ と興味あります。

■カナダ ■ジェフ・ウォール、図書館の中に巨大なおばあちゃんは最高、人が哀しいのが一番哀しい。

■バハマ ■ジャニン・アントニ、石鹼とチョコレート病理心理の作品がすごい。

■ポーランド ■クシュシトフ・ウディチコ、公共の建築物に政治的な映像プロジェクションはすごい。

■チェコ ■ヤナ・スターバック、肉のドレスにびっくり、胸毛のシャツが面白い。

■日本 ■アラキー（荒木経惟）、作品が好きなのでもっとやってほしかった ■森村泰昌、作品の情熱を感じる ■岡部昌生、ベネチアの記事を見て興味を持っていた、作品を見てみたい、時代の表現者ともいえる ■青木野枝、鉄の作品はシンプルだけど惹き付けるものがあって好き ■柳幸典、各国の国旗の中を蟻が漂う作品はすばらしい、ウルトラマンの作品を直島で見ました日の丸を表しているとは初耳です、ウルトラマンで日の丸がユニークで面白い ■宮島達男、LED の生から死のカウントダウンすごい、光が綺麗。

■その他：心の音楽に共鳴した。大学の周辺なら川が流れる音とか鳥の鳴き声とかを聞かないのは絶対にもったいない、日本人の作品も面白かったし分かりやすい印象を受けた、毎週どんどん作品が自由になってきて面白いと思いました。こんなのも作品になるんだというものがあってちょっと発見した感じで楽しい、日本人のアーティストも結構いるんだと思った、光を使う作品はわくわくして好き、今回の作品は広告にありそう（アートが見方や考えを開拓して提示、広告がそれを後追いつけるのが現状ではないでしょうか）、カフェとアートが密接なのが良い。コンテンポラリーアートって分かりやすいとこ

ろがある。

2) 学生の質問・疑問と教員のコメント

社会に対するメッセージアートから自己の表現に照らし合わせたり、人間の本性を真摯に問う作品の関心からの質問に答え、美術の考え方を明らかにする。

Q 1. ジェニー・ホルツァーやバーバラ・クルーガーの作品のように、絵画や彫刻だけがアートではないということ気付かされ、芸術の可能性をも見せられた気がします。自分は絵も下手で、デザインの世界に少し不安を感じていました。表現したいイメージがあるのにそれを形にできない。伝えられない。そんなやるせない気持ちが最近は生まれてきました。でも今日、先生の話聞いて、自分にも出来るかもしれない、弱気になる必要はないんだ、ということ気付かされ、勇気づけられました。表現する、そして伝える手段はたくさんあります。その手段をどう選び、組み合わせるかが自分の作品を作る大事な一歩になるように思います。今日、先生の話聞いて本当に良かったです。

ありがとうございます。デザインやアートは見栄えより、まず心ではないでしょうか。一生懸命なところがあると良質なモノへと磨かれていきます。清家清先生は良く5本の指を例えて、「5本の指よりその間にあるものが面白いのです。」と言っていました。つまり現在、職業として世に認められている建築とか広告とかインダストリアルデザインとかもさることながら、それとそれを繋ぎ新たな価値創造を造り出すことに努力しなさいということです。人と同じでなくて良いのです。人と比べる必要もありません。自分が泳ぎたい水をまず作ることから始めましょう。聴く耳を持つ謙虚な姿勢を持ちながら、自信を持って頑張ってください。期待しています。

Q 2. キキ・スミスさんは人間について追求した結果、どういった答えがでてきたのですかね？

キキ・スミスさんは人間とはこういうモノではないかと一生追求している作家です。答えを求めているのではなく、作品を通して人々に提示をして考える材料としているのです。彼女の作品は精神としての人間をふまえつつ、肉体としての器や動物の側面の物質としての人間像を赤裸々に追求しています。ですから、見る人にも衝撃を与える様な直接的な表現が多いのです。生き物を殺して生命を維持する。そして排泄する。妊娠する。出産する。人と人がいがみ合う。ずるい人間。むつみ合う人間。愛すべき人間。それってすべて事実ではないですか。美と醜を超えた先に真の創造があることをキキ・スミスさ

んは示しているのではないのでしょうか。

3) 美術の見方考え方についての質問

アーティストは性の問題提起も作品です。性をタブー視せずに人間の根幹として向き合う姿勢を涵養する。

Q 1. 今まで「性」について考えるのはいけないことだと思っていましたが、最近この授業で色々な作品を見て、少しずつ抵抗感がなくなってきた気がします。「こういう考え方もあるのだ」という別の考え方を受け入れられるようになったのでしょうか。

性を肉体面からも精神面からもしっかり考えないと自分を大切に考えていないことに繋がります。自分を大切にしてください。性＝淫靡ではないのです。心が淫らなことが問題なのです。人間の本質を理解するには、性も当然大きな問題でこれからも深く考える必要があります。何より生命の神秘のおおもとです。おろそかにしてはなりません。

3. 多様化する表現：物質と非物質の行方

1990年代末～現在の美術

3-1. 1990年代末～現在の美術

2001年の9・11事件のテロにより国際状況に緊張がもたらされた。アーティストの作品にも直接的か間接的に影響が現れた。アジアの国力が益すことによりグローバル化が促進されて各種国際展が多い。主要な国際展では著名な作家に出品依頼が集中する状況まで発生した。

どこに見に行っても同じような作家ばかりとアートも二極化が見える。映像のアートが相変わらず多い。空間全体を使用するインスタレーション作品は、映像においても、立体作品においても、特別なことではなく当たり前の様に行われるようになった。新たなデジタルコンテンツのメディアが登場すると、メッセージによるアートやインタラクティブアートはやや下火となった。現在の傾向は物質から非物質へ、そしてまた物質への流れとなりフィギュアアートがよりリアルに作られ人類への警鐘的役割りを果たしている。彫刻においても絵画においても写真表現においても、パソコンが画材と同じレベルのツールとなると、もう一度、物を作る原点から表現の中に活路を見いだしているように思える。美術の流派や動向が無くなり、個人の創意や社会的な関わりにおいて活動する時代ではないだろうか。詳細は下記の教員コメントを参照。

日本：福田美蘭、村上隆、奈良美智、中村正人、中原公

大, 松井紫朗, ヤノベ・ケンジ, 会田誠, 西山美なコ, 小林孝亘, 須田悦弘, できやよい, 森万里子, 日野之彦, 棚田康司, 三沢厚彦, 塩田千春, 渡辺剛, 澤田知子, 大巻伸嗣, 小谷元彦, 本城直季, 柴田敏雄, 小野裕次, Mr. アメリカ: マシュー・バニー

イギリス: ダミアン・ハースト, チャップマン兄弟 (ジャック&ディノス)

ドイツ: トーマス・ルフ, ヴォルフガング・ティルマンズ, アンドレアス・グルスキー, カタリーナ・フリッチュ, フランツ・アッカーマン, バルケン・ホール, ロレッタ・ルックス

イタリア: マウリツィオ・カテラン, バネッサ・ピークロフト

オーストラリア: ロン・ミュエク, パトリシア・ピッチニーニ

ブラジル: ヴィック・ムニッツ, ペアトリス・ミリャゼス, トニーコ・レモス・アウアット, エルネスト・ネト

アルゼンチン: レアドロ・エルリッヒ

南アフリカ: マルレーネ・デュマス

中国: 祭國強

韓国: スウ・ドーホーの作品を紹介。

1) 学生の感想から抜粋

真にライブな美術と言えようか。学生の歩みと同時代の美術である。雑誌やメディアで見る作家も多く、作品の解説を聞くことにより理解をさらに増して、数多くの感想が寄せられた。「違って良い」と子育ての言葉にもあるが、美術もまったく同じである。多様な表現や考え方があることによって、芸術文化は益々豊かなものとなる。

■多様化する表現: 物質と非物質の行方, 1990年代末～現在の美術: 芸術文化はその時代を象徴しているところがあるが今回は今の時代なのでリアルに伝わってきた、自分が好きな作品が多くて楽しかった、自分の好みに合う作品が多かった、すごく表現の幅が広がっていて自由さを感じた、知っている作家さんが出てくるようになりました、優しい感じのものがあ子どもの良さが出ているのが良い、ドイツの作品と日本の作品は何か通じるようなものを感じ日本人とドイツ人は少し似ていると思った、アーティストのティストとか作風は必ずしも1つとは限らないし無理に限らない方が良いと思いました、今日のは、苦手な作品がいくつかありました、人体系は怖いですが、現在って一番分らないです、混沌として何をやってもいいし何をやっていいのか分からなくもあり

難しい、今日見た現在の美術は日常から離れた印象で何となく世の中と戦っている感じがした、世の中を楽しんでいる感じの作品も見たい、物質の性質を利用した作品が多く面白かった。

■日本: 日本人の作家の作品が好きです、表現の仕方に共感出来る部分が多い気がします、理解出来ない作品でも惹き付けられる。

■福田美蘭, 視点というものを鑑賞者に一任するのではなく絵画の方から新たな視点を提示していて斬新、名画を違う角度から描く発想が面白い、名画の他の視点の作品は絵が上手くないと出来ない作品だと思う、絵画の中の人の視点から描くなんて思いつかない、絵の中の人物にも命があって目が見えるんだ、視点の違いでもっと作品が面白くなるんだ、表現技法が思いつかないような視点から見えていて好き、おすしと豆ごはんのカラー反転絵画が衝撃的、天井と壁のコーナーピースの絵画と額縁の仕組みの不思議さ、発想が新鮮な驚き、相当な想像力が必要と感じた、固定概念を払い柔軟な考え方を学びたい。

■村上隆, 初期の作品が今のと違って驚いた、作品が可愛い、カイカイキキ可愛い、よく理解出来ない、オタク文化を汚された気がする。

■奈良美智, 作品が印象的だった、独特の口元は見透かされているような神秘を感じた、目を閉じた人形(?少女)の絵がじっくり見ると目の周りの青が本当に血管のようでそのリアルさと全体的な人間を模してはいるが確実に人形(?少女)にしかない可愛らしさが合わさっていて怖かった■中村正人, コンビニ看板のパターンやマクドナルドの看板を使った作品は考えもしない発想で面白い、ポップアートに通じるものを感じた、金沢の21世紀美術館で見ました・工芸出身で驚いた記憶がある、看板は意外に大きなものなのですね■中原公大, レゴ17万個の作品が印象に残った、形態がユニーク■ヤノベ・ケンジ生理食塩水のタンクの中で浮遊してみたい、他の作品の中にも入ってみたい、イエロースーツが面白い、メカニックスーツ夢があって良い、作品の発想が良い、高校の担任の同級生で作品みました、小学生男子の頭の中みたいでメカニクな未来でした、放射線防護服の作品を芸術の森美術館で見た、大きな作品を1人で作るのがすごい、近未来なのに懐かしい、昔のアメリカのアニメに出てきそうな造形にハマりました■西山美なコ, 一目惚れしました、シュガークラウン綺麗で繊細、綺麗、シュガークラウンは繊細ではかない感じが心惹かれた、食べ物で作った作品が大好きなので欲しい、砂糖でどうやって作ったのか気に成ります、リボンの付録の様なドレスアップルームが綺麗■できやよい, テレビで見た■森万里子, 巫女の作品が好き、UFOが綺麗、近未来のイメー

ジをしっかり持っている、お金をかけただけあって綺麗で美しい、脳波を映像にする作品に実際に入ってみたい、企業の新商品みたい■日野之彦、展覧会で見た、子供の神聖な部分と内に秘められた俗物的な陰の部分を併せ持った印象的な作品、足を食べている作品が怖い■三沢厚彦、“ANIMALS”を旭川に見に行ってきました、動物が実物ではないけど、日々近くで触れ合うことができないキリンや象など近くで見れたらこんな気持ちかなと面白く感じました、気持ちが安らぐ様な表情、思わず触りたくなるような肌、展覧会自体の見せ方は大変良くて充分に楽しむことが出来ました、わくわくしたり気持ちが高ぶる作品がとても多くて素晴らしかった■塩田千春、ドレスの作品が意味深■渡辺剛、身近な山はあるのです■澤田知子、自分が変装して写真にするのは面白い■小谷元彦、作品が綺麗、バンビや女性の構成が好い■本城直季、作品には驚いた、ジオラマを可能な限り本物ばく見せるのではなく、本物を作り物ばくみせる逆転の発想を面白く感じた、写真がミニチュアを撮ったように見える、本物か偽物かがだまされるぐらいすごい、本当にミニチュアの模型と思っていたので驚いた、作品集持っています、特に好き■小野裕次、シャンドリアの写真が水のようにも見えて綺麗。

■アメリカ■マシュー・バニー、拘束のドローイングの意味が今日分かった、実際に出来たドローイングを見た、すごく面白い人だと思った。

■イギリス■ダミアン・ハースト、サメのホルマリン漬けにビックリ、赤ちゃんがおなかに入っている人体表現がすごい■チャップマン兄弟(ジャック&ディノス)、おぞましい表現だが考えさせられる。奇形な人体表現は苦手、あまり抵抗は無かったが何を表現しているのか分からなかった。

■ドイツ■トーマス・ルフ、ドイツ人の端整なポートレートが印象的■ヴォルフガング・ティルマンス、写真が綺麗で見いった、写真に感動した、ネガがない写真好きです、カップの中のカオスの写真が好き■カタリーナ・フリッチュ、ねずみの作品が可愛い、3mの作品はいらないけどミニチュアが欲しい■ロレッタ・ルックス、作品好き、写真の女の子は可愛い・肌の色といい首筋のラインというなじといいまさに完璧です(絵画と写真の良さを併せ持った作品ですね。少女や子どもの頭部をCGでやや拡大して幼さを誇張しています)。

■イタリア■マウリツィオ・カテラン、プレーメンの作品が好き、骨の作品なのにチャーミング、骨のプレーメンの音楽隊はシュールながらも温かさと笑える面白さが感じられて好きだ、あれの小さいものがあれば自分の部屋に飾ってみたい、パウロ4世の作品は宇宙(神)から

の贈り物が隕石で神を信仰している者たちをまとめる者に送られたと考えられる、隕石が落ちてきた作品すごく可愛いと感じた■バネッサ・ピークロフト、本物のパフォーマンスを見てみたい、女性の姿が綺麗。

■オーストラリア■ロン・ミュエク、初めて見た時衝撃を受けた作家、作品が好きです、あれだけリアルな人物像を拡大して作れるのに感心■パトリシア・ピッチニーニ、DNAを操作する事への人類に警鐘の生き物たちですね、人間らしさのある生き物の生活が見えるようだった、幹細胞の生き物が気持ち悪かった、作品が好き、芸術的観点の性とは美しく面白いものですね。

■ブラジル■ヴィック・ムニッツ、レンズという自分の眼とは違う眼を通して作品を撮る楽しさを体験したいと思った■ベアトリス・ミリャーゼス、花のような作品が好き、現代の芸術の中でも綺麗な絵画、今の時代でもこんなに綺麗な絵を描く人がいて嬉しかった■トニーコ・レモス・アウアット、じゅうたんの毛を集めた作品がよかった、バナナドローイングは出来そうな気がするのでやってみたい■エルネスト・ネット、垂れ下がる優しい形が素晴らしい、竹林のようにも見えて日本的に見えた、あの中でリラックスしてみたい。

■アルゼンチン■レアドロ・エルリッヒ、金沢の21世紀美術館で見てみたい。

■南アフリカ■マルレーネ・デュマス、展覧会で見ました、死んだ人の絵はちょっと気持ち悪い。

■中国■祭國強、花火の作品が綺麗、中国の作品が見れたのが新鮮。

■韓国■スウ・ドーホー、展覧会で見ました。

■その他：この授業は視野を広げてくれるので大好きです、最初からの感想や質問が返却されて自分の考えていることの流れが見えて面白かったです、感想がプリントに載っていて驚きました、ありがとうございます、精進します、食べ物を使った作品は何となく抵抗があります、バチがあたるような気がします。

2) 学生の質問・疑問と教員のコメント

現在のリアルタイムの美術を的確に解説することは難しい。なぜなら、作家も日々考えを新たにして制作しているからである。雨後のタケノコのように、新しい美術が出てくる。人々にインパクトを与えた瞬間から普遍性との戦いに追われる。そんな中、強靱で目に物を見せてくれる作家だけが評価される。学生の興味のあるモノ、コト、人の質問には、現代を象徴する美術そのものの姿が顕著に現れていて興味深い。

Q 1. 現在の美術の呼称は？ 90 年代 2000 年代の呼称は？

現在は多様化が促進されて呼称はありません。90 年代はネオ・ジオ、シュミュレーションなどがありました。最近では村上隆の「スーパフラット」などがありました。アーティストも賢明になって、昔見たいに「赤信号みんなで渡れば怖くない」方式ではないパーソナルな思考や方法を模索しているようです。

Q 2. 村上隆はキャラクターも日本画も面白い展開でよかった。なぜキャラクターにたどりついたのだろう。

東京芸大の日本画出身です。もともとはノーマルな日本画でしたが、利き腕が腱鞘炎になるほど精緻な絵を描いていました。大竹伸朗さんの作品展を見てショックを受けて現代美術へシフトしました。当初はシュミュレーションアートの騎手（ランドセルプロジェクトや加勢大周プロジェクトなど）としてデビューしたのです。もともと漫画家やアニメーターになりたかったそうですが才能がないのであきらめて芸大に入ると本人が言っていました。1984 年の芸大の大学祭に実行委員として宮崎駿（風の谷のナウシカの公開のころ）講演会を企画したのが村上隆です。やはり捨てきれない憧れがあったのでしょう。日本画はもともとフラットな表現なのです。マンガもセルアニメもフラットであることを認識して DOB ちゃんが誕生したのです。そこからスーパーフラットのキャラクター絵画やフィギュアのパラダイス。彼は、もともとオタクだったのですからツボにはまった表現なわけですが、しかし、ヒロポンちゃんなどのフィギュアはなぜかオタクたちから「こんなのオタクじゃない」と一瞥され、いじけた時期もあったそうです。現在、村上隆はアンディ・ウォーホルのようにファクトリー制を敷いて大勢の制作スタッフを使って制作しています。桃山や江戸時代の狩野派のようなアート制作&アートマネジメント組織を目指しているようです。実際、村上隆の作品を見ると、実に手堅くしっかり描かれていて、厳しいプロの仕事師としての側面も見えます。彼の言葉を紹介しましょう。「村上嫌いとか、村上の作品のどこが良いのかわからないとか、批判はいくらでも受け付けます。それより世界とどう戦うのかの言葉を用意していないやつから何を言われても勝負にもならない。」

Q 3. 1990 年代からフィギュアを意識した作品が出てきたと講義で言ってましたが、なぜ、この時代に目立つようになったのでしょうか。人々の眼が、物質があふれる世の中に慣れきってしまって、即物的な見方になってしまったとも考えられますか？

20 世紀のこれまでの人体彫刻はフォルム（形）やマス（量塊）やムーブメント（動姿）を美の規範としていましたので、フィギュアのような作品が登場しても「こんなの彫刻じゃない」と一瞥にもされなかった状況がありました。フォトリアリズムの様な人体彫刻もマネキンのようなもので色物として見られてきたのです。フィギュアが作品として登場するのはジェフ・クーンズの「ラビット」やキッチュな置物をアブロプリエーション（流用）してフィギュアにしたローカルチャーをハイカルチャーに変換する企てがあつたからこそと思います。コンセプチャルな表現の枠の中で表現の生命線を獲得したのです。現在は村上隆を筆頭にフィギュアが花盛りです。サブカルチャーと言うローカルチャーを抜きに文化を語ることは出来なくなった時代の現れと歩調を同じくしています。

Q 4. 西山美なコさんのシュガークラウンの作品すごい！ 永く保つものなののでしょうか？

西山美なコさんは少女文化や宝塚に興味があるようです。ですから雑誌リボンの付録のような切り抜き組み立て作品を巨大につくります。シュガークラウンの元はシンデレラのガラスの靴の展開から出たそうです。壊れやすくてはかないものの象徴的作品と言えます。時に壊れた作品も展示されています。金属の筒を土台に砂糖・卵白。ゼラチンの混ぜたものを絞り口から絞りだし丹念に絵を描くようにジュエリーを作るように制作していると思われます。菓子や砂糖細工でこのようなものはありますが、形の出来映えや装飾に感心があり意味を問う事はありません。これを美術作品として提示する所に意味の発生が生まれるのではないのでしょうか。展示の際にはアクリルケースやガラスケースの中に収められ公開されています。シュガークラウンは実に繊細に作られていて感心します。

Q 5. 森万里子さんの数億円かった「Wave UFO」の作品がすごかった。鑑賞者の脳波を見せるというのは「こういう波形だ」という映像をだす」というプログラムの機械を作っているのですか？

「Wave UFO」は 2005 年のベネチアビエンナーレのアーセナーレ（造船所）会場の企画部門に展示されました。正式には脳波を見せるのではなく、脳波から送

られた信号を入力してプログラム変換された画像を見せる作品です。内部に入るためには2時間～3時間待ちの状況でした。やむなく断念しましたので、その映像は見えていません。システムのプログラム等の技術協力も当然得られていると思われます。画像は何通りかのプロットタイプを当てはめて映像を見せるのではなく、鑑賞者からサンプリングした脳波の情報をカオス的にどんどん画像が増殖や変化して行く画像と思われます。

Q 6. 今日の現代的な作品を見て、すごいメッセージ性の強いものが多いなと思いました。ヤノベさんのイエロースーツとかチャップマン兄弟みたいに環境汚染を訴えたものとか……。

全ての作品が社会性を帯びている訳ではありませんが、近年の作品は社会への警鐘と言える作品を多く見かけようになりましたね。ヤノベ・ケンジさんの作品はチェルノブイリ原発事故（1986年、現：ウクライナ）で放射能に汚染された場所を元に人類のサバイバルを意図した作品が作られています。そこから自然界の放射能を感知してある数値に達すると動き出す作品が作られています。チャップマン兄弟の異形、奇形の人物像は社会のモラルや規範を問う作品だそうです。社会問題や戦争などの惨禍をモチーフにしている事は間違いありません。ベトナム戦争でアメリカは化学兵器・ダイオキシンを使用した枯葉剤を散布しました。この薬品は催奇性が極めて高いので胎児に奇形を生じさせます。今でもベトナムの人々を苦しめています。そのような事例を参照している事は考えられます。パトリシア・ピッチニーニの作品はDNAを操作することへの警鐘です。人類は神の領域まで踏み込んで、この先どうなるのでしょうか。

Q 7. 写真：アンドレアス・グルスキーは人気ですか？地下の写真を撮る日本人の作品も好きです。

アンドレアス・グルスキーはドイツの写真アーティストです。よくご存知ですね。ベルント&ヒラ・ベヒャーを師とするベッシャー派の一人です。師と同じく累計学（タイポロジー）の写真といえます。スーパーマーケットの整然と並んだ品物、証券取引所のデスクとパソコンとパイパー、サンパウロの階層の駅舎などデジタル処理で見事なパースペクティブな世界を構築していて素晴らしい写真です。ドイツの美術館で作品を見ました。地下の写真は畠山直哉さんです。渋谷や東京の地下水路をライト1本の照明で表現しました。鉱山のダイナマイトの発破の写真や野球場に中古車が詰め込まれた見本市を上空から撮影した写真などで有名。「2001 ベネチアビエンナーレ」にも選出されました。

Q 8. マシュー・バニーがクレマスター3で口でくわえているチーフのようなものは特殊メイクですか。

「クレマスターフィルムバージョン」2003年のリミックス版解説バージョンでその姿が記憶にあると思います。こんな大きな口を開けている事は不可能なので特殊メイクで作っていると思います。フリーメーソン（イギリスで発生し世界中に派生した男性の秘密結社）の徒弟役であるマシュー・バニーが口を封じて修行の目的を達する姿勢そのものを表しているかのようです。美術といいセットといい実に周到に作られています。作品は映像に収斂するばかりではなく、それらの美術やセット、展開としての写真まで作品として提示されます。マシュー・バニーの作品は全貌を把握する事があえて困難なような作り方に成っています。

Q 9. マシュー・バニーはワセリンが好きなのでしょう。私もタバコを作品に使おうと思っていました。すごい沢山落ちていてげんなりします。

ワセリン (vaseline) 元々は商品名。原油の高沸点留分から得られるメタン系炭化水素を主成分とするゼリー状物質。さび止め、軟膏、化粧品などに使用⁹⁾。(はてなダイアリー HP より)

「クレマスター3」ではマイスター役のリャード・セラ(彫刻家)が熱で溶かしたワセリンをぶちまけてグッゲンハイム美術館の螺旋の通路に流れるワセリンを徒弟の修行のタイマーとしていました。日本文化を元にして制作された「拘束のドローイング9」では、捕鯨文化とクジラの油脂のイメージを表していました。高温で溶けるワセリンを型にに入れて固まった所をクジラを解体するかのようには鯨刀で切り刻む。固まって粘性を維持しているワセリン。半透明な物質性に魅力があるのではないのでしょうか。タバコはダミアン・ハーストの作品にあります。肺ガンなどの元と言われています。経済活動と医療費の問題などを表すことが可能ですね。モラルの問題として「げんなり」を表現しますか。

3) 美術の見方考え方についての質問

新しい時代の美術が出来れば当然のように、制度やモノの考え方の見方の疑問が発生する。それを誘発させる力がアートにあることを認識したい。学生は実に正直に自己と社会を見ているのかが分かる。

Q 1. どの作品を見て思いますが、時間や労力を惜しんでいては良い作品は作れないのだと感じました。作品の中には制作過程を考えると気が遠くなりそうなものもありますが、時間をかけた分、心に溜まる作品に成るのだと思います。

作品を見るのは一瞬ですが作るのは大変です。ご自分で作られて意のままに成らないことが多々あるかと思います。作家は制作しながら深く沈潜してオリジナルは何か。言いたい事は何か。と思考を常に問い直しながら作品を作っています。全人格をかけて時間や労力を惜しまず制作しています。その時間の中からこそ結晶化された良質な物が出てくると信じています。もし借り物の言葉で作品が上手出来たとしても自己も他者もごまかすことは出来ません。真性に自己を問う作業がアートといえるものです。

Q 2. 芸術家の身体の中には少なからずグロテスクなものが含まれているという考えが今日の授業を受けて思い浮かんだ。人間には残酷な一面もあるし、その感覚が人の中心的な部分に直結していくという考え方も私の中にはある。実際にそのような大切な感覚を無くして生きて行けるとは思わないし、生きて行く上で必要な事なのだろう。その中にユーモアとグロとエロチックを生み出すアーティストはすごいと思わせる1時間半だった。

人間はグロテスクでエロチックな生き物です。昨日食べた肉は死肉であり腐肉なのです。生命を奪って食卓を飾ります。人の不幸も嫌いではありません。意外に残酷なところがあります。エロティシズムはもともと美と官能からでた美学的な言葉なのです。エロチック＝猥褻と成ったのは近代や現代のことと思います。私達の身体は視点を変えればエロとグロの塊です。欲求を自制したり暴走させながら生きています。しかし、それを認めながらも崇高な精神も併せ持つことが出来ます。そこが人間の面白いところですね。ユーモアで清も濁も飲み込むアーティストは真正な人なのです。

Q 3. 時代背景や風潮、表現の自由……今回見た作家の中で浅はかなコンセプトで作品を作っている人はいないと思うが、本人のモラルの問題で片付けるには、色々としんどいと感じる作品が多かったと思います。

モラルは各々によってボーダーラインの引く所が違います。一言でモラルの問題として片付けられませんね。チャップマン兄弟の異形、奇形の人物像は社会のモラルや規範を問題提起していること自体が作品の大きなコンセプトでもある訳です。ですから、これは容認出来ないと言う人がいてもよろしい訳です。作品はビジュアル

で見ることが可能ですから、多少モラルを逸脱しても良質と言えるかもしれません。世の静かに潜行している「悪」などは表面に見えないだけに真に悪質なのです。でも実態が見えないだけに人々の目が向かないだけなのです。

Q 4. メディアでアートは出来るだろうか？

私は数学者も物理学者もアーティストだと思っています。今まで誰もがなし得なかったビジョンを頭に描けるからです。絵や彫刻、映像だけがアートではありません。メディアでアートは出来ます。メディアはこうあるべき。コンテンツはこうあるべきなどはありません。自分たちで新しい道を作ってはいかがでしょう。

Q 5. 今まで紹介された作品の中でも自分の性格やコンプレックスが反映されたものがあった。

優位性はコンプレックスの裏返しです。コンプレックスは人を大きく成長させてくれます。著名な作家ほど強烈なコンプレックスと優位性の表裏一体と言えるでしょう。

4. お勧め映像&アニメーション

映像も現代美術を語る上では外せない。1970年代から現在までの実験映像やアニメーションをセレクトして現代美術として紹介したものを掲載する。学生は毎回の映像作品を楽しみに授業に出ていたようである。良質な映像は学生の感性和知識を立体的に涵養する。

①ヤン・シュワンクマイエル

1934年チェコのプラハ生まれ。世界を代表するパペット、クレイアニメーションの映画監督。

「悦楽共犯者」1996年／87分 一部のみ上映。

男女6人、各々の誰にでも思いあたる快樂原則（郵便配達婦の一コマ2分程度）

「地下室の怪」1983年／14分

おつかいでジャガイモを地下室へ取りにいった少女だが……夢かうつつか……シュワンクマイエル長編の傑作「アリス」1988年／84分の元となった短編。

「闇・光・闇」1989年／7分

クレイアニメの傑作。魚は水が分からない……不条理の極。永い間チェコの体制が抑圧された背景の現れか？

「永遠の対話」1982年／4分35秒

アルチンボルドー（16世紀のシュールな肖像画家）の肖像画風の三者の永遠の対話。「本能」や自然を象徴する野菜や果物。「技術」や技能を象徴する台所用具類。「理性」や知性を思わせる文房具類。いつだって「ひと」の理性は本能に負けてしまう。この三者のバランスのなかで文明や文化は築かれ繰り返されている。

「情熱的な対話」1982年／2分55秒

男と女の情熱。恋愛とは夢遊病者のようなものである。お熱が下がると、やっかいな現実が待ち受けている。怖いですね。すざましい「崩壊」が見もの。ひとくれの粘土でのアニメも見事。

「フローラ」1989年／24秒

アルチンボルドー風のひとが瞬く間に腐敗して崩れて行く。生命の短さを条理で、ひとの運命を不条理で表現。コップの水はかなわぬ願いか？

②マシュー・バーニー

マシュー・バーニーはアメリカの現代美術家。自らが出演する映像作品の中で用いた彫刻をインスタレーションとして発表している。パートナーである歌手のビョークとの間に娘が一人いる。

「クレマスター フィルムバージョン」2003年のリミックス版解説バージョン／31分

「クレマスター 3」の後半部分の「ジ・オーダー」と題されたNYグッゲンハイム美術館の螺旋の5層を使った映像。フリーメーソン（イギリスで発生し世界中に派生した男性の秘密結社）の徒弟のゲーム。キーポイントにアメリカの超巨匠、彫刻家リチャード・セラを起用する。崇高な知性と周到な思索で創造された異世界。もはやアートは「もの」や「こと」から別次元へ。

③ブラザーズ・クエイ

1947年アメリカ・フィラデルフィア生まれ。ステーブとティムの双子。ロンドン王立美術大学（RCA）でグラフィックデザインを学ぶ。ヤン・シュヴァンクマイエルを敬愛し多大な影響を受ける。

「ストリート・オブ・クロコダイル」1986年／22分

1942年ゲシュタポ将校に路上で射殺されたポーランドの画家、作家のブルーノ・シュルツの短編集「肉桂色の店」（1937）の中の1篇「大鰐通り」が原作。人形（パペット）の動きが秀逸。人間の役者では、このリアリティー

を演じるのは無理でしょう。凄いイマジネーションと租界の神秘に彩られています。セットも情景も見事。パペットアニメーションの最高傑作。

「ヤン・シュヴァンクマイヤーの部屋」1984年／14分
チェコの人形アニメ作家シュバンクマイヤーが弟子に知識と技術を伝授する。弟子はクエイ兄弟の分身か？セットが秀逸。針1本の動きに注目。あなたもお弟子さんになってアニメ制作の現場に立ち会いましょう。

④柏尾和直

札幌高専工芸デザイン卒業、同専攻科修了、京都芸大大学院構想設計修了、同大学院博士課程メディア・アート領域満期退学、現在京都市立芸術大学非常勤講師。「陰∞隠輪花」は札幌高専5年の卒業制作である。アニメーションを組み込んだ映像作品を中心に、駆動する装置型作品やドローイングなどの平面作品、それらを使用したパフォーマンスなど多様なメディアで作品を展開中。

「陰∞隠輪花」1998／15分

「陰∞隠輪花」は「星の王子さま」をヒントに、点燈夫やウワバミを媒介に、子供の純粋なこころを失った大人の浄化、再生の物語である。世阿弥や茶の湯への憧憬やシュヴァンクマイエルやBrクエイの影響が反映されているが、セットなどの美術も全て手作りで、弱冠20歳の作品としては秀逸である。その後も、独自の表現を模索する真摯な姿勢で作品を制作。映像の新世代として活躍が期待されている。

⑤トニー・ヒル

1946年ロンドンに生まれ。不思議な実写映像を駆使。人気のある映像作家の1人である。

「車輪の歴史」1992年／1分

車輪変遷とそれを軸に、風景が回転する不思議な映像。

「ヴェアーを持つ」1993年／1分

ヴェアーの先にカメラ？ 観客が振り回される。

「時報映像」1990年／1分

ビッペン時計の長針を水平レベルにした不思議な映像。

超短編、わずか1分に心血を注ぐ心意気に注目。どうやって撮ったのだらうと不思議テクを駆使し痛快至極。人生はかくも楽しく遊べるものです。遊ばれることが大好き

なあなた。そろそろ一人遊びしてみましようか。

⑥ジョルジュ・S（シュウィツゲーベル）

スイスを代表するアニメーション作家。

「鹿の一生」1995 年／5 分 15 秒

狩人に拾われた鹿の物語。自然から隔離され人や猟犬に馴れ過ぎた鹿が塀の外に出た……悲劇が、善意と悪意は表裏一体なのだと思うせる。

⑦山村浩二

東京造形大学絵画科修了。日本を代表する短編アニメーション作家。

「頭山」2002 年／10 分

頭山（あたまやま）は落語の演目の一つ。男の頭上で非現実世界が入れ子状態に展開。日本の浮き世を鋭く諷刺。山村浩二の描画が秀逸なアニメ。23 の映画祭で受賞・入賞を果たした。

「年をとった鰐」2005 年／13 分

フランスの童話映像化。線による描写がすばらしい。年老いた鰐と蛸お嬢さんの愛情悲話。

⑧束芋（たばいも）

京都造形芸術大学卒業。現代の社会を風刺したアニメーションを制作。

「にっぽんの台所」1999 年／6 分 20 秒

主婦の台所と自殺、リストラなど現代社会を風刺したアニメーション。（ビデオインスタレーション）

⑨アウレル・クリムト（スロヴァキア）

パペットアニメーションとピクシレーション（実写コマ撮り）のチェコの新星

「怖いもの知らずのフランチ」2002 年／16 分 16 秒

その名の通り怖いもの知らずのフランチがお化け酒場で大暴れ。木彫で作られたパペットは必見。

⑩オットマー・グッドマン

スイスが生んだピングの原作者。1992 年に第一巻のビデオ発売。1 年ほどしてテレビ放映し爆発的人気となる。第 1 巻には「僕はピング」「ピングの魚つり」「ピングの卵のおもり」「ピングのスキーレース」の 4 作品が収録され初期の傑作ぞろい。万国共通ピング語の発

想の良さやクレイアニメの面白さを存分に発揮。当時は新鮮な驚きであった。世界中の大人から子供までを魅了している。

「ピングの魚つり」／5 分

ピングが魚つりに出掛けアザシのロビと初のご対面。2 人（ひき）のやり取りから心温まる友情が芽生える。動きといい言葉（万国共通ピング語）といい秀逸。初期の傑作中の傑作。

⑪森本晃司

ANIMATRIX「アニマトリックス」、映画「マトリックス」をモチーフに、9 つの短編からなるオムニバスアニメーション、「ビヨンド」はその一編。

「BEYOND」ビヨンド 2003 年／14 分 30 秒

「ビヨンドメイキング」8 分 45 秒

東京のとある近未来と昭和が混在された世界。猫を探しているうちに超常現象が……俯瞰しておれる景色が圧巻。

1) 学生の感想から抜粋

お勧め映像&アニメーションの中から、山村浩二の「年をとった鰐」の感想を例に抜粋して学生の声を掲載する。学生は映像から多様な視点の感想を寄せてくれる。紙幅の関係から山村浩二の「年をとった鰐」を例にして創造とは何かを読み取る参考とする。

■山村浩二アニメーション「年をとった鰐」

■「女性的役割の支えによって成功を収めたサクセスストーリー的な感じでしょうか。昼は日常の生活の支え、夜はセックスの支え、献身的な彼女が気付かない所で自身に浸透し最終的にはそれが自分に手を煩わす事なく生きながらえる力となっている。最後の生け贄の少女達は成功を収め力を持った人間に群がる性人形って所でしょうか。この世界の中では食欲＝性欲で結びついているように感じられたので、見ていて少し泣きそうになりました。愛とは一体なんなのでしょう。」

（上記は学生の感想です：なかなか意味の深い読み取りですね。真実は現実を超えたところに存在しますね。愛とは無償の行為だそうです。素晴らしい精神を宿している人も結構いますので世の中も捨てたものじゃないですよ。）

■「私はこの山村浩二先生の作品を見れたけど、この授業を受けて良かったと思うくらい、好きになりました。目が離せない映像を作ると言うことの難しさを感じます。

動きがリアルすぎず、単純すぎず……というのがツボです。「The old Crocodile」も「頭山」のようなメッセージ性たっぷりの作品だと思いました。「愛しい人を食べてしまいたい」という感情は様々な意味があるんだと、彼女なら許してくれる。たとえ1本脚を食べても、という「甘え」。もう我慢できない！ という欲望のぶっつけ対象。それが恋人。徐々に変わる鰐が抱く蛸への感情が、どこかでStopをかけないと止まらない人間のどうしようもない性質を生々しく表しているなと思いました。（これも学生の感想です：同じく意味の深い読み取りですね。愛と甘えは別物なのですが、ない交ぜに行われるのが「恋愛」です。脳が冷静に判断しようとしてもDNAが情動を促進させてしまうようです。人間とはそのようなものです。そのもどかしさが良いのではないのでしょうか。人間と動物との違いは、それを思い悩み葛藤するところにあると思います。だから成長するのです。）鰐の食欲と愛情の天秤が結局食欲の方にあっさり傾いてしまう所が残酷だが童話が原作で子どもへの教訓なのかもしれない■原作を読みたくなった■何千年生きて来た鰐なのに考え方が幼くて可笑的■孫娘の息子の鰐を食べたり仲良くなった蛸食べたのは残酷で図々しい、何も食べないで餓死しようと決めたはずなのに、人間の娘を食べちゃったりする決意の弱さに飽きました■鰐の心が無垢だから同情や切なさを感じられる■食べる音がリアル■蛸を食べてしまって悲しかった（余談：蛸は時に自らの脚も食べてしまうそうです、多分無痛なのでしょうね）■鰐に毎日足を1本ずつ食べられているのに最後まで気付かず最後までワニに尽くし続けた蛸がすごくかわいそうにも、ある意味幸せ者だとも思えた。知らない方が幸せなこともあると思った■恋人の蛸を食べちゃって苦い涙を流した鰐の後悔を感じた■私達はスーパーで売っているパックの切り身とかを食べて実感が無いけど、食べる行為は重くて怖いことだと感じた■ボールペンでの手描きの絵に味がある（どうやらボールペンだけではなさそうですがペン1本で何が出来るか？と突きつけられているようです）■単純な線で鰐の感情が表現出来ている■線と塗りつぶしだけでしか作られていないのに「頭山」より衝撃的だった■シンプルな色合いが好き■浜辺と波をボールペンだけで表現して心惹かれた■鰐はひどい事をしているのに憎めない■鰐が黒から赤へ変色して行く意味が分かった■鰐が黒から赤へと体の色が変化するのは日の光だけではなく蛸に対する思いからでもあると思った■蠅・音・涙が印象的な効果■ナレーションのピーター・バラカンがいい雰囲気を出していた■いけにえの少女が笑って食べられるのにゾッとした■オープニングやエンディングの字幕がいい。

以上で、「1980年代の美術～現在（2007年）まで」の美術と映像アートを学生の講義感想や質問を交え現代芸術の歴史を概観し表現の根幹を明らかにした。

IV. 結語

本研究は、「1980年代の美術から現在（2007年）までの現代美術」の四半世紀の現代美術の様式を解説したものである。

美術概念は時代背景とともに大きく変遷する。1980年代の美術はニューペインティング以外に多様な表現がある。アートメディアとしての写真表現やイギリスのニュースカルプチャーなど特筆すべき美術を取り上げた。さらに多様化が促進されたのが1990年代の美術である。特に活動が顕著なシミュレーションを中心に紹介した。物質と非物質の行方で現在の美術状況を紹介した。他に映像アートの検証を取り上げた。同時に、アート関連のショートフィルムも抜粋して学生の感想で映像の批評を試みた。現在の美術は定形化された美術様式はない。グローバル化が促進されたゆえの状況である。検証するために世界的な視点で横断的に網羅した。

特に、作品の制作意図を示す「現代芸術の基本理念、表現の時代背景、表現の地域特性、作品概念、表現論」の観点から概観した。各項目ごとに現代美術が理解できるように、学生の質問や感想に答える形で考察を交えながら作品事例をあげて、詳細に表現の根幹を明らかにした。

学生の現代美術に対する戸惑いや興味は、徐々に理解から親しみへと変化し、それに応じて質問や感想の内容も変化するのも教育者として興味深い。デザインや芸術文化を創造するためには、先人の歴史を学ぶと同時に芸術文化も学ばなければならない。創造の源泉として、本研究が考え方の大きなヒントになるであろう。

熱心に取り組んでくれた学生に敬意を表したい。

引用文献

- 1) ワセリン「はてなダイアリー」
<http://d.hatena.ne.jp/keyword/>

参考文献

- ・ロバート・アトキンス：現代美術のキーワード。東京：美術出版社、1993
- ・美術手帖編集部：現代美術事典 アンフォルメルからニューペインティングまで。東京：美術出版社、1984
- ・美術手帖編集部：現代美術 ウォーホル以降。東京：美術出版社、1990
- ・美術手帖編集部：現代美術入門。美術出版社、1986

- H.W. ジャンソン：美術の歴史 第4部近代世界。東京：美術出版社，1990
- H.H. アーナスン：現代美術の歴史。東京：美術出版社，1995
- エドワード・ルーシー＝スミス：現代美術の流れ 1945 年以降の美術運動。東京：パルコ出版，1986
- 榎本野衣：爆心地の芸術。東京：晶文社，2002
- 中村信夫：少年アート。東京：弓立社，1986
- クリストファー・フィンチ：ポップアート オブジェクトイメージ。東京：パルコ出版，1979
- 巖谷國士：ユリイカ ダダ・シュルレアリスム。東京：青土社，1981
- ケネス・クウツ＝スミス：ダダ。東京：パルコ出版，1976
- artscape 現代美術用語集
<http://www.dnp.co.jp/artscape/reference/artwords/index.html>
- フリー百科事典 ウィキペディア (Wikipedia)

第 2 部

〈第 2 部の掲載内容〉

作品紹介（既発表を含む）

作品紹介

文部科学省知的クラスター創成事業「札幌 IT カロツツェリアの創成」研究成果

城 間 祥 之, 酒 井 正 幸, 杉 哲 夫

Yoshiyuki SHIROMA, Masayuki SAKAI, Tetsuo SUGI

ビジネス EXPO 第 21 回北海道技術・ビジネス交流会

アクセスサッポロ 2007 年 10 月 24 日－10 月 25 日



視覚障がい者用音声・触覚情報表示機（TAJODA マウス型）



加圧脈波計 (APMOS)

作品紹介

Exhibition View 2007

望 月 澄 人

Sumitto MOCHIZUKI

「地球色展」

府中市美術館市民ギャラリー 2007 年 7 月 10 日－7 月 16 日

「デジタル・イメージ 2007 展」

O美術館 2007 年 12 月 22 日－12 月 26 日



〈イシヤマバード ルウの家〉
CG 作品 B 全 地球色展 府中市市民ギャラリー



〈イシヤマバード ギンズの実験室〉
CG 作品 B 全 地球色展 府中市市民ギャラリー

12 Peaces of Loop Animation
DRINKING COCKTAILS WITH YOUR EYES vol. 1



Start For The Horizon



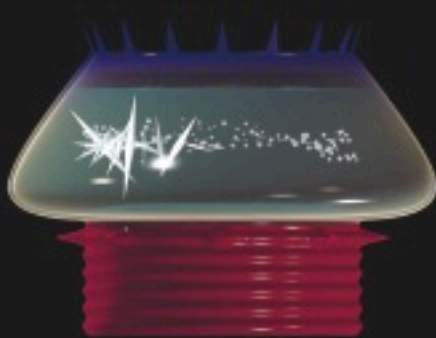
A Secret



Reminiscences



Full Of Expectation



Temptation Of Death



Grief And Hope

12 Peaces of Loop Animation <DRINKING COCKTAILS WITH YOUR EYES>
視線で飲むカクテル Vol.1 ポスター

CG 作品 B 全 デジタル・イメージ 2007 展 O 美術館

地平への旅立ち Start For The Horizon／秘め事 A Secret／回想 Reminiscences
期待に満ちて Full Of Expectation／死の誘惑 Temptation Of Death／嘆きと希望 Grief And Hope



12 Peaces of Loop Animation <DRINKING COCKTAILS WITH YOUR EYES>
視線で飲むカクテル Vol.2 ポスター
CG 作品 B 全 デジタル・イメージ 2007 展 O 美術館
再会の喜び Joy Of A Reunion／陶醉の舞踏 Dance Of Intoxication／うきうきする気持 Cheerful Feelings
共感 Sympathy／衝撃 Shock／至福の時 The Time Of Supreme Bliss

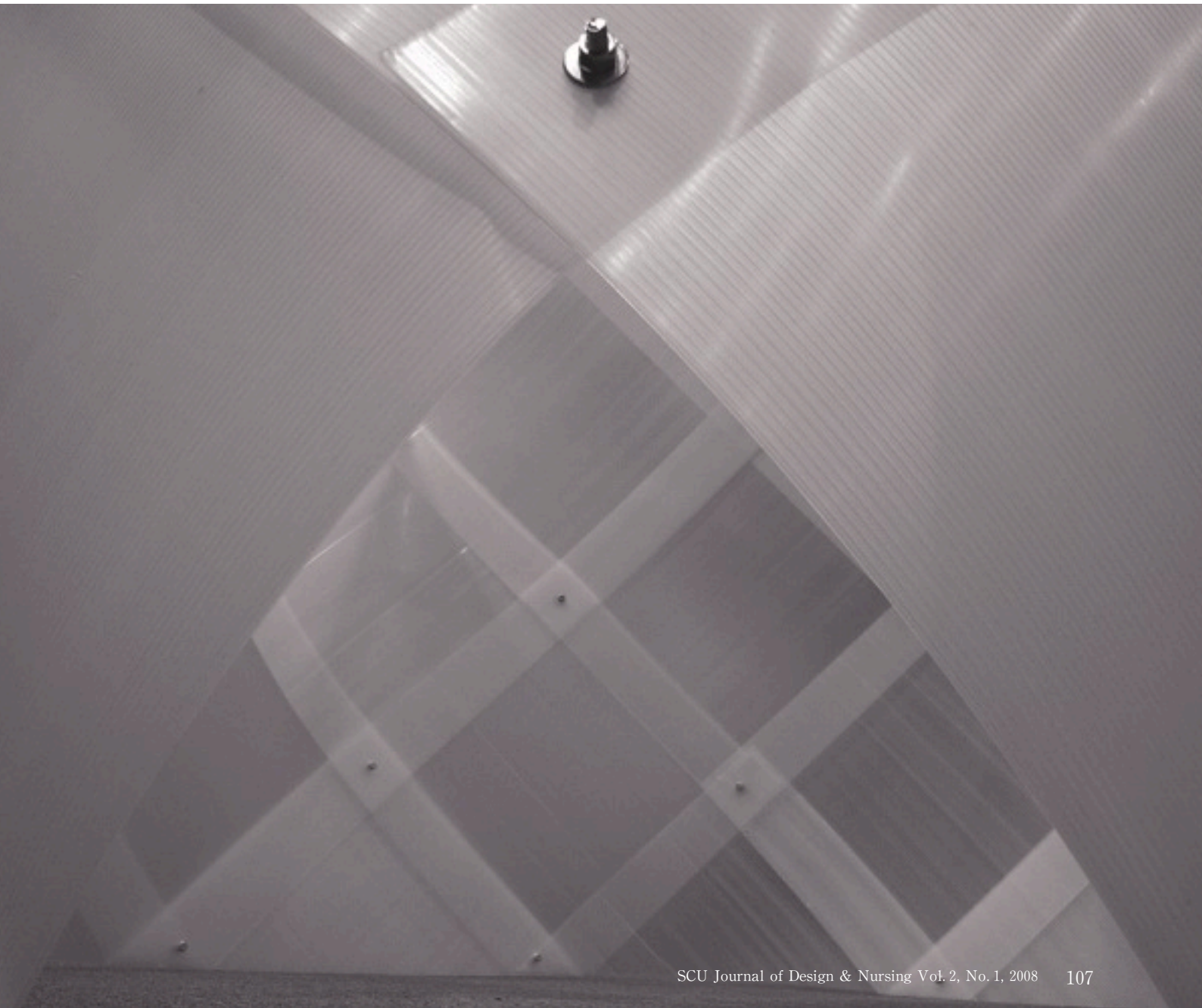
作品紹介

被災地における仮設プライベート空間研究 その1
「養生シェルター」

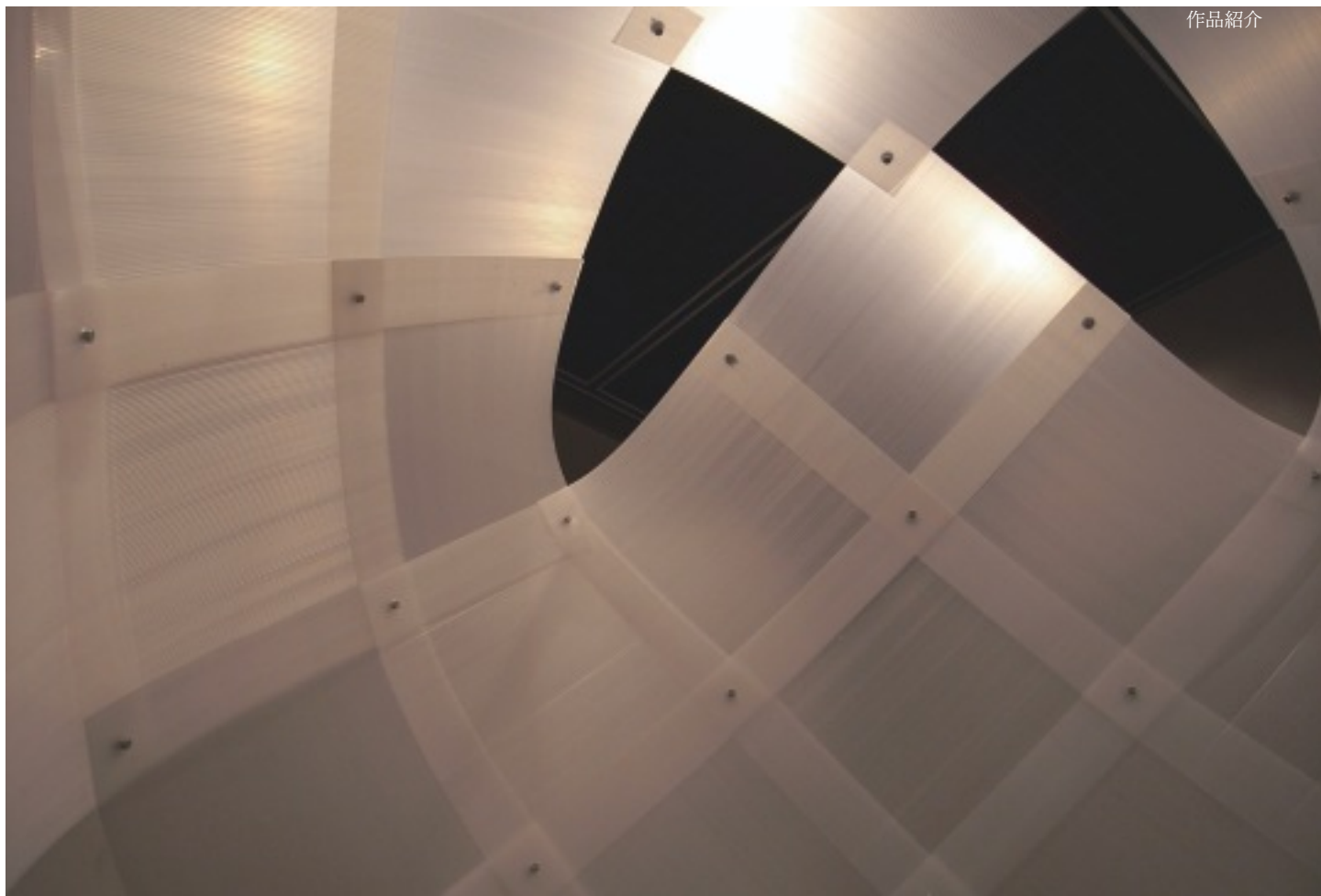
山田 良

Ryo YAMADA

Contemporary art of the garden city 2007-2008
“THE LAND OF SNOW AND WIND” 展
北海道立文学館 2008年1月24日(木) - 2月3日(日)





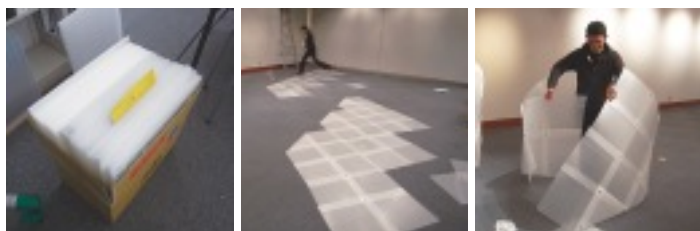


建設現場で使用する養生シートによる仮設プライベート空間です。安価かつ地域を問わず手に入る素材により組立て可能にしました。畳一枚分の市販シートを8等分し、それら37枚をボルトでつないだのち組み上げます。

●組立時間（1ブース）：作業員一名にて約40分

●一般的な材料価格（1ブース）：

養生シート・300円（畳一枚分）×5枚＋ボルト・25円×40組＝計2500円



①A3サイズの段ボール箱に収納 ②平面状にボルトでつなぎます ③ひとりが中に入る状態で組み上げます



展示会場エントランス



編集後記

「札幌市立大学研究論文集」の編集・発行は、今年度から“地域連携研究センター”に設置された紀要編集委員会の業務となった。紀要編集委員会では、まず、論文投稿者にとってより明確な執筆指針となるよう昨年度に規定された投稿要領の一部修正・追加等を行ない、また、編集委員会と査読者とのやり取りをより透明にするため査読書類を規定した。

本論文集の第1部には原著論文1編、研究報告5件が投稿された。これらの論文は、査読者による厳正なる査読、査読結果に基づく論文の修正、修正論文の再査読、論文の再再修正、および編集委員会による最終審査等を経た。結果的に本論文集の第1部として、原著論文1編、研究報告6件を掲載することとなったが、デザインと看護の多様な研究成果が掲載されることは両学部の研究領域を理解する上で非常に喜ばしい。さらに、開学2年目にして両学部の融合研究の成果が報告されることは特筆される。

第2部はデザイン学部の作品紹介（無審査）であり、3件の作品・制作物を掲載したが、これらの作品は芸術・制作系教員の多様な創作・研究活動を理解する一助になるものと確信している。

今後の検討課題としては、論文投稿の締め切り期限、査読期間、創作系随想や文芸論のような抽象的創作文の掲載規定の新設、投稿要領や査読規定の想定外の事象に対する迅速な対応等があげられる。

学年末の多忙な中、短期間での査読・再査読の労を引き受けて下さった査読者の皆様、論文投稿された皆様、編集業務に不慣れな委員長を協力に補佐して頂いた紀要編集委員の皆様にご協力、誠に有り難うございました。

紀要編集委員長 城 間 祥 之

SCU Journal of Design & Nursing
札幌市立大学研究論文集 第2巻第1号

編 集 紀要編集委員会
城間祥之，田中敏明，矢部和夫，齊藤雅也，
吉川由希子，佐藤公美子，菅原美樹，上田理子
表紙デザイン 吉田和夫
発 行 日 2008 年 3 月 31 日
発 行 札幌市立大学 地域連携研究センター
〒005-0864 北海道札幌市南区芸術の森 1 丁目
電話 011-592-2346 ファックス 011-592-2369
URL <http://www.scu.ac.jp>
印 刷 所 株式会社アイワード
〒060-0033 北海道札幌市中央区北 3 条東 5 丁目 5 番地 91
電話 011-241-9341 ファックス 011-207-6178

ISSN 1881-9427



札幌市立大学
SAPPORO CITY UNIVERSITY

●大学本部・デザイン学部：〒005-0864 札幌市南区芸術の森1丁目 ●看護学部：〒060-0011 札幌市中央区北11条西13丁目
●サテライトキャンパス：〒060-0003 札幌市中央区北3条西4丁目 日本生命札幌ビル 5F